

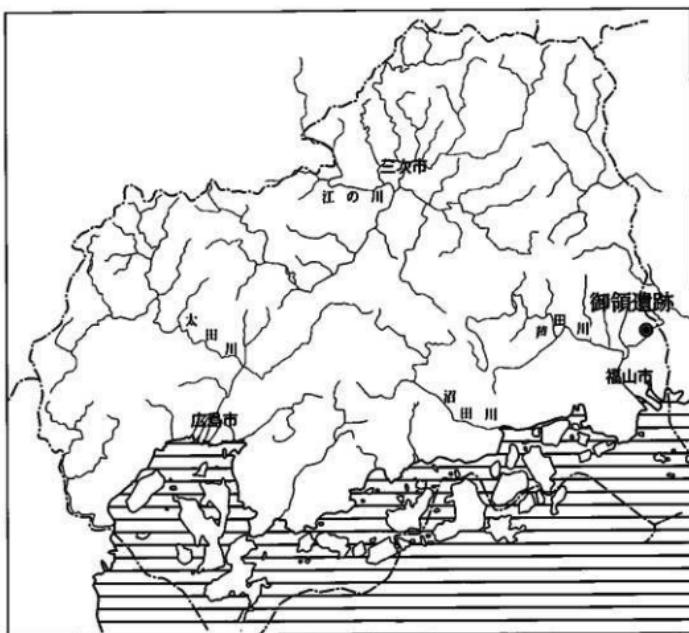
國道313号道路改良事業に伴う  
埋蔵文化財発掘調査報告(4)

御領遺跡(第6次調査2013)

2016

公益財団法人 広島県教育事業団

# 国道313号道路改良事業に伴う 埋蔵文化財発掘調査報告(4)



2 0 1 6

公益財団法人 広島県教育事業団

## 例　　言

- 1 本書は、平成 25（2013）年度に発掘調査を実施した国道 313 号道路改良事業に係る御領遺跡第 6 次調査（広島県福山市神辺町上御領）の発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査及び整理作業・報告書作成は、広島県東部建設事務所との委託契約により公益財団法人広島県教育事業団が実施した。
- 3 発掘調査は辻　満久、山澤直樹が担当した。
- 4 出土石器の石材鑑定については柴田喜太郎氏の肉眼観察による。
- 5 出土遺物の整理復元は辻、山澤と賃金職員の大田けい子、有原ひろみ、木村和美、西山梨香、下戸成葉子が、遺物の実測・図面の整理・写真撮影は辻、山澤が担当した。
- 6 本書の執筆・編集は辻が担当した。
- 7 図版と挿図の遺物番号は同一である。土器の断面は須恵器は黒塗り、他は白ヌキとした。
- 8 本書に使用した北方位は平面直角座標第Ⅲ座標系北（日本測地系）である。
- 9 第 2 図は国土交通省国土地理院発行の 1:25000 地形図（神辺）を使用した。
- 10 遺構の略号は、SD：溝状遺構 SX：性格不明遺構である。
- 11 御領遺跡における過年度調査の表記については、公益財団法人広島県教育事業団が実施した国道 313 号道路改良事業に係る調査は「第〇次調査西暦」とし、それ以外の調査は「〇年度調査」とした。
- 12 記録類及び出土品は、広島県立埋蔵文化財センター（広島市西区観音新町四丁目 8-49）で保管している。

## 本文目次

1 はじめに	1
2 位置と環境	2
3 調査の概要	9
4 遺構と遺物	10
1 遺構	10
2 出土遺物	12
5まとめ	119

## 挿図目次

第1図 周辺遺跡分布図 (1:25000)	3
第2図 第4～6次調査区位置図 (1:2500)	6
第3図 第1～3次調査区位置図 (1:2500)	7
第4図 遺構配置図 (1:300)	8
第5図 SD1 実測図 (1:60)	折込1
第6図 SX1 実測図 (1:60)	11
第7図 出土遺物実測図 1 (1:3)	13
第8図 出土遺物実測図 2 (1:3)	14
第9図 出土遺物実測図 3 (1:3)	15
第10図 出土遺物実測図 4 (1:3)	16
第11図 出土遺物実測図 5 (1:3)	17
第12図 出土遺物実測図 6 (1:3)	18
第13図 出土遺物実測図 7 (1:3)	19
第14図 出土遺物実測図 8 (1:3)	20
第15図 出土遺物実測図 9 (1:3)	21
第16図 出土遺物実測図 10 (1:3)	22
第17図 出土遺物実測図 11 (1:3)	23
第18図 出土遺物実測図 12 (1:3)	24
第19図 出土遺物実測図 13 (1:3)	25
第20図 出土遺物実測図 14 (1:3)	26
第21図 出土遺物実測図 15 (1:3)	27
第22図 出土遺物実測図 16 (1:3)	28
第23図 出土遺物実測図 17 (1:3)	29

第 24 図 出土遺物実測図 18 (1 : 3) . . . . .	30
第 25 図 出土遺物実測図 19 (1 : 3) . . . . .	31
第 26 図 出土遺物実測図 20 (1 : 3) . . . . .	32
第 27 図 出土遺物実測図 21 (1 : 3) . . . . .	33
第 28 図 出土遺物実測図 22 (1 : 3) . . . . .	34
第 29 図 出土遺物実測図 23 (1 : 3) . . . . .	35
第 30 図 出土遺物実測図 24 (1 : 3) . . . . .	36
第 31 図 出土遺物実測図 25 (1 : 3) . . . . .	37
第 32 図 出土遺物実測図 26 (1 : 3) . . . . .	39
第 33 図 出土遺物実測図 27 (1 : 3) . . . . .	40
第 34 図 出土遺物実測図 28 (1 : 3) . . . . .	41
第 35 図 出土遺物実測図 29 (1 : 3) . . . . .	42
第 36 図 出土遺物実測図 30 (1 : 3) . . . . .	43
第 37 図 出土遺物実測図 31 (1 : 3) . . . . .	44
第 38 図 出土遺物実測図 32 (1 : 3) . . . . .	46
第 39 図 出土遺物実測図 33 (1 : 3) . . . . .	47
第 40 図 出土遺物実測図 34 (1 : 3) . . . . .	48
第 41 図 出土遺物実測図 35 (1 : 2、2 : 3、実大) . . . . .	92
第 42 図 出土遺物実測図 36 (2 : 3) . . . . .	93
第 43 図 出土遺物実測図 37 (2 : 3) . . . . .	94
第 44 図 出土遺物実測図 38 (2 : 3) . . . . .	95
第 45 図 出土遺物実測図 39 (2 : 3) . . . . .	96
第 46 図 出土遺物実測図 40 (2 : 3) . . . . .	97
第 47 図 出土遺物実測図 41 (2 : 3) . . . . .	98
第 48 図 出土遺物実測図 42 (1 : 2) . . . . .	99
第 49 図 出土遺物実測図 43 (2 : 3) . . . . .	100
第 50 図 出土遺物実測図 44 (2 : 3) . . . . .	101
第 51 図 出土遺物実測図 45 (2 : 3) . . . . .	102
第 52 図 出土遺物実測図 46 (1 : 2) . . . . .	103
第 53 図 出土遺物実測図 47 (1 : 2) . . . . .	104
第 54 図 出土遺物実測図 48 (1 : 2) . . . . .	105
第 55 図 出土遺物実測図 49 (1 : 2) . . . . .	106
第 56 図 出土遺物実測図 50 (1 : 2) . . . . .	107
第 57 図 出土遺物実測図 51 (1 : 2) . . . . .	108

第 58 図 出土遺物実測図 52 (1 : 2) ······	109
第 59 図 出土遺物実測図 53 (1 : 2) ······	110
第 60 図 出土遺物実測図 54 (2 : 3, 1 : 2) ······	111
第 61 図 出土遺物実測図 55 (1 : 3) ······	112

## 図 版 目 次

図版 1 a 空中写真 (西から)	図版 20 出土遺物 16
b 空中写真 (東から)	図版 21 出土遺物 17
c 空中写真 (上空から)	図版 22 出土遺物 18
図版 2 a 空中写真 (北東から)	図版 23 出土遺物 19
b S D 1 (東から)	図版 24 出土遺物 20
c S D 1・S X 1 (東から)	図版 25 出土遺物 21
図版 3 a S D 1 中央部 (東から)	図版 26 出土遺物 22
b S D 1 隅部 (東から)	図版 27 出土遺物 23
c S D 1 西側 (東から)	図版 28 出土遺物 24
図版 4 a S D 1 断面 A-A' (東から)	図版 29 出土遺物 25
b S D 1 断面 C-C' (東から)	図版 30 出土遺物 26
c S D 1 断面 D-D' (東から)	図版 31 出土遺物 27
d S D 1 断面 E-E' (東から)	図版 32 出土遺物 28
e 調査風景	図版 33 出土遺物 29
図版 5 出土遺物 1	図版 34 出土遺物 30
図版 6 出土遺物 2	図版 35 出土遺物 31
図版 7 出土遺物 3	図版 36 出土遺物 32
図版 8 出土遺物 4	図版 37 出土遺物 33
図版 9 出土遺物 5	図版 38 出土遺物 34
図版 10 出土遺物 6	図版 39 出土遺物 35
図版 11 出土遺物 7	図版 40 出土遺物 36
図版 12 出土遺物 8	図版 41 出土遺物 37
図版 13 出土遺物 9	図版 42 出土遺物 38
図版 14 出土遺物 10	図版 43 出土遺物 39
図版 15 出土遺物 11	図版 44 出土遺物 40
図版 16 出土遺物 12	図版 45 出土遺物 41
図版 17 出土遺物 13	図版 46 出土遺物 42
図版 18 出土遺物 14	図版 47 出土遺物 43
図版 19 出土遺物 15	図版 48 出土遺物 44

圖版 49 出土遺物	45	圖版 56 出土遺物	52
圖版 50 出土遺物	46	圖版 57 出土遺物	53
圖版 51 出土遺物	47	圖版 58 出土遺物	54
圖版 52 出土遺物	48	圖版 59 出土遺物	55
圖版 53 出土遺物	49	圖版 60 出土遺物	56
圖版 54 出土遺物	50	圖版 61 出土遺物	57
圖版 55 出土遺物	51	圖版 62 出土遺物	58

### 表 目 次

第 1 表 出土土器觀察表 ······	49
第 2 表 出土遺物計測表 ······	113

## 1はじめに

御領遺跡（第6次調査）の発掘調査は、国道313号道路改良事業に係るものである。本事業は国道313号線の交通渋滞の緩和と沿線各地域の産業・経済・文化の発展に寄与する目的で計画され、国道486号の東端と国道313号の接点の福山市神辺町渴野から神辺町下御領～上御領を結ぶ延長3.8kmの4車線バイパスとして計画されている。

広島県福山土木建築事務所（現広島県東部建設事務所、以下、「東部建設事務所」という。）は平成7年8月2日付で、福山市神辺町下御領の事業地内の文化財の有無及び取扱いについて広島県教育委員会（以下、「県教委」という。）と協議した。これを受けて県教委は現地踏査を行い、東部建設事務所に平成12年7月21日付けで、試掘調査が必要な箇所が存在する旨を回答した。県教委は平成12年12月及び計画変更に伴い平成15年1月、平成17年4月に試掘調査を実施し、確認した遺跡の範囲を東部建設事務所に通知した。これを受けた東部建設事務所は、平成19年10月29日付けで「埋蔵文化財発掘の通知」を福山市教育委員会（以下、「市教委」という。）に提出し、市教委は平成20年1月17日付けで、事前に発掘調査が必要である旨を通知した。

こうした経緯を踏まえて東部建設事務所は、事業の進捗状況に合わせ、発掘調査は平成20年度から複数年での分割実施とした。また、平成24年5月28日に追加・変更地内において市教委が試掘を実施したところ新たに遺跡の広がりを確認したので、この部分について第6次調査調査を実施することとした。

第6次調査は、平成24年12月18日付けで、東部建設事務所が財団法人広島県教育事業団（以下、「教育事業団」という。）に発掘調査の依頼を行い、教育事業団は平成25年3月6日付けで、発掘調査の届けを市教委に提出し、同年4月に両者は委託契約を締結した。発掘調査は平成25年4月8日～7月19日まで調査を実施した。また、調査途中で調査区外へ延びる遺構を確認したので、この部分について東部建設事務所、市教委、県教委で対応を検討し、第6次調査で合わせて実施すること（本文中拡張区が該当）とした。

調査期間中の平成25年6月29日には現地説明会を実施し、102名の参加を得た。

本報告書は、以上のような経緯のもとに実施した御領遺跡（第6次調査2013）発掘調査の成果をまとめたものである。今後の埋蔵文化財の資料として、また本地域の歴史の一端を解明する手がかりとして、少しでも寄与できれば幸いである。

発掘調査にあたっては、東部建設事務所、市教委、地元の方々に多大なご協力をいただいた。記して感謝の意を表したい。

なお、発掘調査は平成20年度に第1次調査2008、平成21年度に第2次調査2009、平成22年度に第3次調査2010、平成23年度に第4次調査2011、平成24年度に第5次調査2012、平成25年度に第7次調査2013を実施した。

## 2 位置と環境

御領遺跡は、広島県福山市神辺町下御領から上御領南部の南北約1.4km、東西約1.6kmの広範囲に所在する広島県内最大級の集落遺跡である。

御領遺跡が存在する神辺平野は、世羅台地を源とする全長約86km、流域面積約70km<sup>2</sup>の県内で第三位の規模を持つ芦田川の下流域に形成された県内でもっとも発達した冲積平野である。南東に流れて福山湾に注ぐ芦田川と、芦田川に流れ込む高屋川、箱田川、加茂川など南流する中小河川群の堆積作用により、東西に長く広がる冲積地が形成された。

遺跡は、平野北東部に位置する。この辺りは、吉備地方の中心地に近く、文化的な影響を色濃く受ける地域であり、県内でも有数の遺跡密集地となっている。このため、近年、福山市教育委員会（神辺町教育委員会）は埋蔵文化財保護行政に精力的に取り組み、当該地内での開発に先立ち、遺跡、遺構の把握等の詳細な試掘調査や、個人住宅の建て替えや水道管の埋設等に至るまで調査を実施し遺跡の保護に多大な成果をあげている。この章ではこれらの成果等を踏まえ、遺跡周辺地域の歴史的な環境について概観する。

### 旧石器時代

亀山遺跡<sup>(1)</sup>でナイフ形石器、備後国分寺跡周辺で有茎尖頭器<sup>(2)</sup>が発見されているほか、宮脇遺跡（新市町）<sup>(3)</sup>で細石核が出土している。これらはいずれも単発的な資料や発見で、具体像を知るには資料が不足しているのが現状である。

### 縄文時代

遺跡は湾岸部や神辺平野に散在的に分布する。湾岸域では洗谷貝塚<sup>(4)</sup>（後期）、大田貝塚<sup>(5)</sup>（中期～後期）、神辺平野域では御領遺跡、大宮遺跡など、後～晚期の遺跡の存在が知られ、後期から晩期にかけての時期に湾岸部から平野部への生活拠点の移動の可能性も指摘されている。本調査<sup>(6)</sup>でも晩期の土坑が調査され、比較的良好な資料<sup>(7)</sup>を提供している。

### 弥生時代

この時代から遺跡が多く確認されている。神辺平野で最古段階の亀山遺跡<sup>(8)</sup>（前期前葉～）、大宮遺跡<sup>(9)</sup>（前期中葉～）では環濠集落の形成を、御領遺跡（上手橋町地点前期中葉～）<sup>(10)</sup>でも環濠集落の一端が確認され前期、中期、後期にかけて溝を伴い区画単位に比較的大規模な集落が形成され、その周辺に集落関連の土坑や柵列等が確認されている。

後期に入ると、御領遺跡は拡大拡散が顕著で、多くの集落関連の遺構等が確認されている。備後国分寺地点では高床倉庫群、御野小学校地点では竪穴住居跡が明らかになっており、大宮遺跡C地点<sup>(11)</sup>でも吉備地方の搬入土器等が出土している。

墳墓については集落ほど明らかになってないが、主に丘陵地に墳墓群が展開する。当該地の北西約2kmに方形の墳墓<sup>(12)</sup>が存在する愛宕遺跡では特殊壺の破片が、栗井峠遺跡<sup>(13)</sup>では箱形石棺を主体とする可能性がある墳墓から四国西部の特徴を持つ長頸壺が確認され、在地の要素に加え、外来的要素が加わり、後期の多様性を物語っている。



第1図 周辺遺跡分布図 (1:25000)

- 1 御領遺跡 A (第1調査地点), B (第2調査地点), C (第3調査地点), D (第4調査地点), E (第5調査地点), F (第6調査地点), G (第7調査地点), H (御野農協地点), I (上手撫町地点)
- 2 上御領中組古墳群 3 八丈岩遺跡 4 上御領下組古墳群 5 下御領古墳群 6 表山古墳群 7 寒水寺裏山遺跡
- 8 寒水寺古墳群 9 深水古墳群 10 藤森古墳群 11 国分寺裏山遺跡 12 国分寺裏山古墳群 13 迫山古墳群
- 14 大宮遺跡 (C地点) 15 大宮遺跡 (C地点) 16 大宮遺跡 (C地点) 17 溝下遺跡 18 草江古墳群
- 19 辻木古墳群 20 足長古墳群 21 小山池廐跡 22 備後國分寺跡 23 古代山陽道

## 古墳時代

集落、墳墓について資料が増加しつつある。集落関係では、国鉄井原線建設に伴う発掘調査で古墳時代初頭の溝が確認され、古式土師器等の良好な資料が出土した。御野農協建設に伴う発掘調査では古式土師器や中期の土師器の良好な資料等が溝から出土した。これらの既存の調査や福山市教育委員会による確認調査などに加え、今回の調査では主に弥生時代中期から後期にかけての溝が確認され新たな資料を提供している。<sup>(20)</sup>

墳墓関係では、当該地の直近に古墳時代を象徴するような前期から中期にかけての大規模な古墳や前方後円墳の存在は確認されていないが、三角縁神獣鏡を出土した潮崎山古墳をはじめとし、芦田川流域とその支流域には小規模ながら前方後円墳が単発的に散見される。しかしながらこれら首長的な古墳を築いた人々の系譜がたどれるような領域、系列、継続性は認められない。ただ、時期や内容は明らかでないが当該地の南側、高屋川左岸の下御領足永の丘陵に小規模ながら全長34mの足長第1号古墳（前方後円墳）が存在する。御領遺跡周辺で後期後半になると北側丘陵部に横穴式石室を主体とする群集墳が多く営まれている中、南側丘陵地には群集墳が認められず横穴式石室墳2基が存在するのみである。また、芦田川流域や支流域の後期古墳の中には比較的大きな前方後円墳であり長大な横穴式石室を有する二子塚古墳、巨石を使用した横穴式石室の大迫金環塚古墳などが存在する。これらの古墳は後に切石や横口式石櫛を採用した終末期古墳につながる地域性や系譜等を持ち、周辺地域の前期～中期にかけての古墳の様相との違いが認められる。当該地北側丘陵部に後期～後期後半にかけて迫山古墳群や群集墳が築造され、南側丘陵周辺の古墳のありようと合わせ注目される。

## 奈良時代

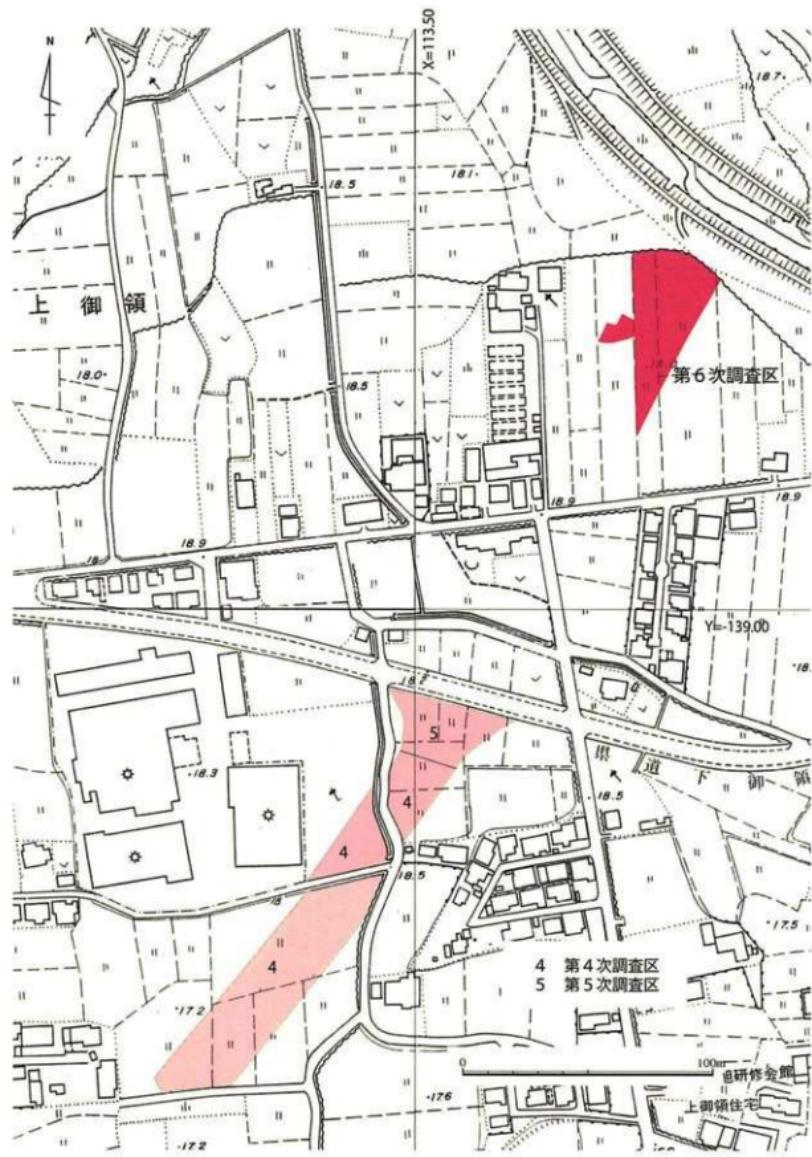
比較的近くに小山池廃寺、中谷廃寺など白鳳寺院が建立されている。この時期の寺院は古墳時代後期にその中心があったと思われる当該地から西部の芦田川支流服部川周辺ではなく、むしろ当該地にほど近い神辺平野の沖積地の東部に存在する。寺院経営の母体となる経済的基盤の中心領域が拡大というより変動していったと思われる。

古代律令制の確立の中で、国の分割、郡の分割が実施され、当該地は備後国安那郡となり北側丘陵裾に備後國分寺、古代山陽道が整備され、郡衙等も当該地周辺に整備設置されていったと思われるが、大宮遺跡、御領遺跡で古瓦の出土はあるものの、その所在等の確証は得られていない。

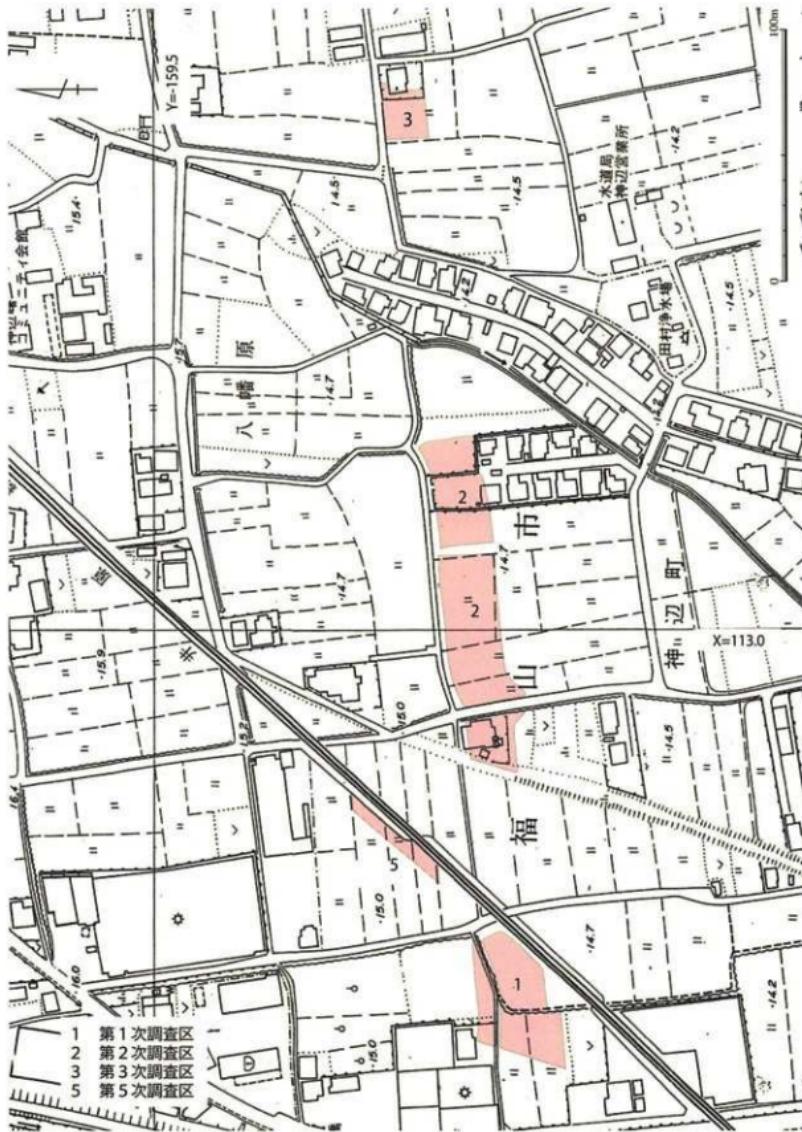
## 註

- 1 広島県教育委員会『亀山遺跡—第1次発掘調査概報—』1982年
- 2 小都隆「資料紹介 備後國分寺跡採集の有茎尖頭器」『草戸千軒 NO.39』広島県草戸千軒町遺跡研究所  
1976年
- 3 村上正名「宮脇遺跡石器時代遺跡」『広島県文化財調査報告第2集』広島県教育委員会  
1962年
- 4

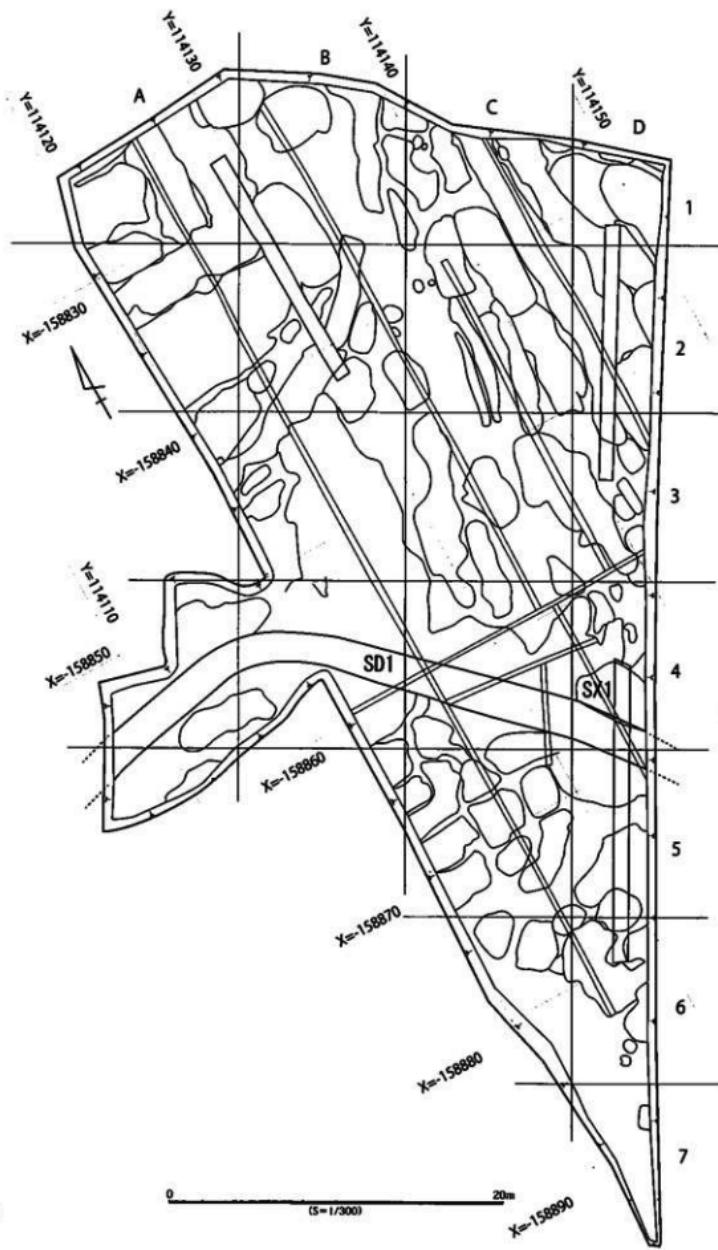
- 4 福山市教育委員会・洗谷貝塚発掘調査団『洗谷貝塚』 1976 年
- 5 広島県教育委員会「広島県尾道市大田貝塚」『広島県文化財調査報告第9集』1971 年
- 6 広島県教育委員会「御領遺跡第1次発掘調査概報」 1976 年
- 7 広島県教育委員会「大宮遺跡第4次発掘調査概報」 1981 年
- 8 神辺町教育委員会『神辺町埋蔵文化財調査報告XⅢ—御領遺跡上手辯町地点発掘調査報告一』 1998 年
- 9 財団法人広島県教育事業団『国道313号道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告(1) 御領遺跡(第1次調査 2008)』 2012 年
- 10 財団法人広島県教育事業団『国道313号道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告(2) 御領遺跡(第2次調査 2009) 御領遺跡(第3次調査 2010)』 2013 年
- 11 公益財団法人広島県教育事業団『国道313号道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告(3) 御領遺跡(第4次調査 2011) 御領遺跡(第5次調査 2012)』 2015 年
- 12 広島県教育委員会『亀山遺跡—第1～5・6次発掘調査概報—』 1982～1986 年
- 13 広島県教育委員会『大宮遺跡第1～5次発掘調査概報』 1978～1982 年
- 14 註8と同じ
- 15 神辺町教育委員会『神辺町埋蔵文化財調査報告XⅢ』 1993 年
- 16 神辺町教育委員会『神辺町埋蔵文化財調査報告II』 1983 年
- 17 神辺町教育委員会『神辺町埋蔵文化財調査報告VII』 1988 年
- 18 神辺町教育委員会・神辺町立歴史民俗資料館『歴史民俗資料館資料目録X(考古資料3)』 1992 年
- 19 註16と同じ
- 20 広島県教育委員会・(財)広島県埋蔵文化財調査センター『神辺御領遺跡—国鉄井原線建設に係る発掘調査報告一』 1981 年
- 21 広島県教育委員会・(財)広島県埋蔵文化財調査センター『神辺御領遺跡—神辺農業協同組合御野支所建設にかかる一』 1980 年
- 22 脇坂光彦「広島県芦品郡潮崎山古墳について」『古代学研究90』古代学研究会 1974 年
- 23 脇坂光彦「大佐白塚古墳研究メモ」『芸備8』芸備友の会 1979 年
- 24 神辺町教育委員会『神辺町埋蔵文化財調査報告III』 1984. 神辺町教育委員会『神辺町埋蔵文化財調査報告VII』 1987 年
- 25 広島県教育委員会『小山池廃寺第1・2次、3次発掘調査概報』 1977・1979 年
- 26 神辺町教育委員会『備後中谷廃寺』 1981 年



第2図 第4～6次調査区位置図 (1:2500)



第3図 第1～3次調査区位置図 (1:2500)



第4図 造構配図 (1:300)

### 3 調査の概要

御領遺跡は福山市神辺町下御領から上御領に所在する。

本遺跡は南北 1.4km 東西 1.6km の範囲に広がる県内最大規模の遺跡である。東と南を高屋川、北は東西に延びる丘陵裾、西は南北に走る国道 313 号で区切られた標高 17 m 程の平坦地に立地する。

第 6 次調査区は第 5 次 A 調査区の北東側 100 m の位置にあり、調査区の南側には 20 ~ 30 m 間隔で第 7 次調査区に続いている。調査区の北側から東側にかけては高屋川が、蛇行して南流している。高屋川とは北側の道路を挟んで 20 m の至近距離でその北側は、標高 120.5 m の独立丘陵の裾が迫る。

調査区は東西 20 ~ 25 m、南北 60 m の南北を長辺とする三角形状をしており、調査面積は 1633m<sup>2</sup> である。調査前の状況は全面が水田である。後世の削平を受けたと思われる遺構の残存状況はならずしも良好ではない。地表面から 30 ~ 50cm 挖り下げたところで、弥生時代から古墳時代にかけての遺構を検出した。

調査は調査区の形に合わせて、東西南北に 10 m × 10 m のグリッドに分割した。東西方向の西側から東側へ順に A から D のアルファベットを付した。また南北方向には北側から南側にかけて順に 1 ~ 7 の数字を付した。東西南北の交わった区画（グリッド）をアルファベット + 数字の順に呼称している。遺構から分離した状態で出土した遺物の取り上げはこのグリッド名称を使用した。また、調査途中で遺構の広がりを確認した部分については拡張区（B4 区西側及び A4 区・A5 区）とした。

検出した遺構は、溝状遺構（SD 1）1 条、その他性格不明の遺構（SX 1）1 基のほか、粘土探掘坑と推測できる不定形の土坑を多数検出した。粘土探掘坑は淡黄褐色砂質土が坑内に堆積し、平面形は長方形から不整円形まで様々な形をしていた。深さは 20cm から 1 m ほどのものまであり、一定していない。また、底面は凸凹しており平坦ではない。遺物は埋土中から弥生土器の小片が出土したり、底面近くからビニール袋が出土したものもあり、近代以降のものであろうと推察できる。

地元の話では近代の一時期に当地方で瓦を主とする窯業が盛んに行われ、瓦用の粘土探掘と合わせて農地の整備も行われたとのことであり、検出した土坑から判断しても、妥当なものであろうと思われる。

これらの粘土探掘坑と思われる土坑の攪乱により、遺構の遺存状況は悪く、遺構の一部は破壊されていた。また、遺物は調査区内からも遺構と分離した状況ではあったが、多量に出土しており、瓦粘土探掘及び農地整備によって、攪乱されたものと判断される。

## 4 遺構と遺物

### 1 遺構

水田耕作土（0.3～0.4 m）を除去すると直下に淡黄褐色粘質土（検出面）があらわれた。この粘質土の上面で遺構を検出した。検出した遺構は溝状遺構（SD 1）1条と性格不明の遺構（SX 1）1基である。この他に淡黄褐色の砂質土が上面に堆積した不定形の土坑を多数確認した。これらの土坑は底面や壁面が一定でなく凸凹しており、また、底面近くでビニール袋やガラス瓶が出土している。この種の遺構については、検出にとどめ、その中で、大きなものや、上面で土器等の遺物を確認したものについてのみ、掘り下げを行った。

#### SD 1 (第5図、図版2b～4d)

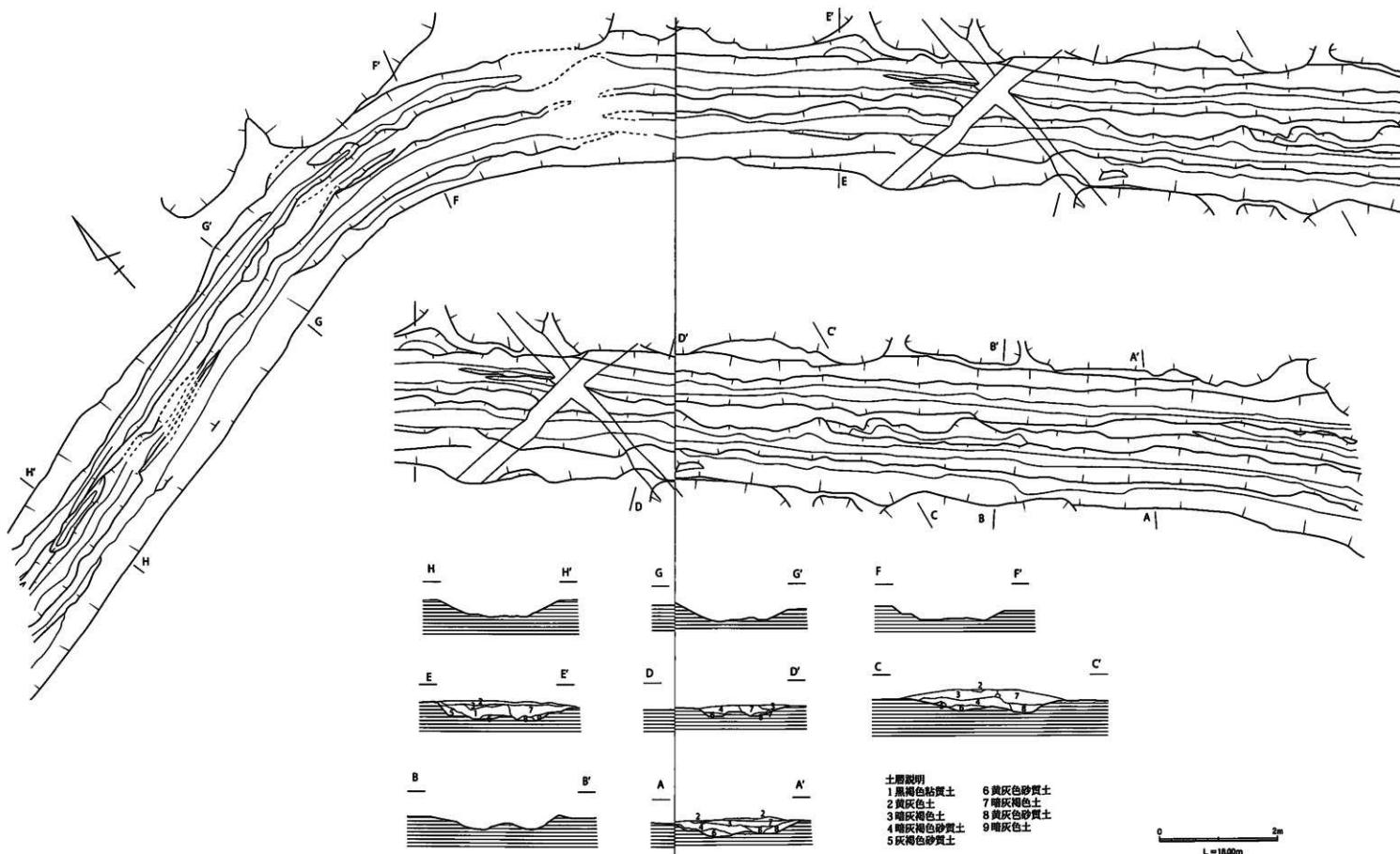
調査区の中央部にあり、東はD4区の南側・D5区の北側付近から北西方向に伸びてC4区の南側付近から中央へB4区の中央部付近を経由してA4区の南側半分およびA5区の北側中央付近を経てA5区の西側に伸びる溝状遺構である。遺構は長さ34～35m、幅1.8～2mで、B4区の中央部付近から鈍角気味（120°前後）に緩くカーブを描いている。遺構の東西両端部は調査区外に伸びると思われ、全形は不明であるが、溝状遺構の北側隅部付近にあたると想定できる。溝の深さは0.3～0.4mで、東西部分では底面の標高差はほとんどない。

溝底面には溝状遺構の上面の形状に並行するように2条ほどの幅0.2～0.3mの小さな溝が確認出来る。2条の前後関係については土層観察や平面観察からでは判断できなかった。この溝は途中一部で不明な部分も存在するが、ほぼ一定の間隔を置いて併行するような配置状況となっている。このようなことからすれば、両者が同時存在したないしはそれほど時間が経ないうちに造られた可能性が高いと思われる。少なくとも、同時に存在しないと考える場合でも、先の溝の状態を配慮している形跡がうかがえるので、その場合は溝をある程度拡張したと考えるほうが自然であろう。

遺物は溝内の全ての場所から万遍なく出土しており、遺物の出土していない区画は存在しなかった。水田耕作土直下=遺構検出面から溝の底面まで重層的に土器が詰まっていた。これらの土器は上面や中位あるいは溝底面に密着した状態で出土したものなどさまざまな位置から出土しているが、出土位置で時期的な差は見られなかった。また、比較的遺物の少ない場所はあるが、全く遺物が出土していない場所はない。

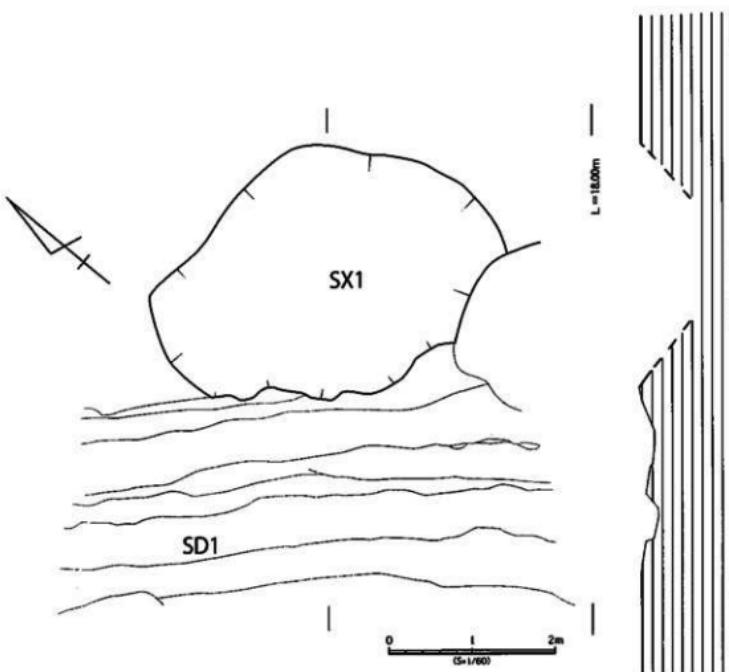
出土遺物の多くは弥生土器であるが、土師器がこれらに交じって少なからず出土している。また、少量ではあるが縄文土器も散見できた。この他に、石器類が散在的に出土した。遺物の総量は中コンテナでおよそ60箱であった。

さまざまな時期の遺物が混在する点、出土遺物の多くがローリング等の影響と思われる端部が丸みを帯びている点、さらに接合できた遺物がほとんどない点などから判断すると、本遺構は複



第5図 SD 1 断面図 (1:50)

折込 1



第6図 SX1 察測図 (1:60)

数時期にわたり、底面を含めて搅乱された可能性が高い。また、通常の溝状遺構がある程度の深さがあるのを考えれば、本遺構の上面は調査前にかなりの部分が削平等により消滅していた可能性が極めて高い。使用された時期については出土した土器等から弥生時代前期末から古墳時代前半までと幅広い。

#### S X 1 (第6図、図版2c)

D4区の中央部にあり、調査区境に接する場所に位置する。前述したSD1と東端部付近で重なる。SD1と同様の黒褐色系の粘質土を埋土としており、土層観察では重複関係については確認できなかった。平面形は $3.1 \times 3.8$ mのやや不整な梢円形で、深さは1.5m以上である。底面については湧水が激しく確認できなかった。遺物は遺構内からある程度まとまって出土した。出土位置は上面から中位(調査部分)まで量的にばらつきはあるものの、偏りがあまりなく出土した。遺物は土器が大半で、時期については概ね弥生時代後期末から古墳時代初頭と推定できる。

## 2 出土遺物

### (1) 概要

遺物は S D 1, S X 1, および調査区内から出土した。大半は土器であるが、このほかに土製品、石製品、石器も出土した。出土量はコンテナ 120 箱程で、S D 1 からの出土遺物が 60% 程度を占める。出土遺物の図化にあたっては遺物が多量にあるため、復元等で器種や器形のプロポーションが判明するものや特徴的なものを中心としている。

土器については遺構毎にその他の遺物については一括して述べることとする。

S D 1 から出土した土器は縄文時代後期～古墳時代までのもので構成されており、縄文土器、弥生土器、土師器、製塙土器がある。このうち主体を占めるのは弥生土器である。土器の多くは断面がローリングを受けており、ほとんどのものが単独もしくは数点のみの接合で、完形もしくはほぼ完形のものは皆無に近かった。部位的には底部の多さが目についた。

土器以外には、土製品（分銅型土製品、有孔円盤、勾玉）、石製品（菅玉）、石器（石斧、石包丁、石鎌、スクレーパー、楔形石器、使用痕のある剝片、加工痕のある剝片）が出土している。

S X 1 から出土した土器は弥生時代後期後半から古墳時代初頭頃のもので構成されており、弥生土器、土師器がある。大半は弥生土器で、弥生時代後半から古墳時代初頭頃のものが多く、SD1 に比べると比較的限定された時期幅に収まる。

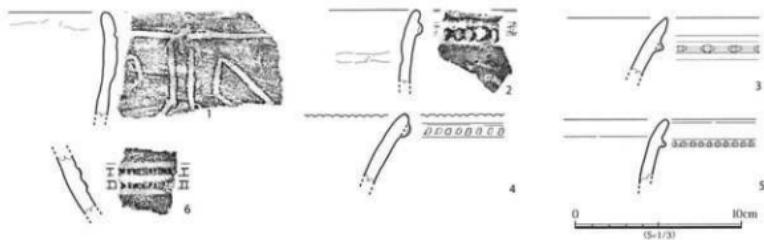
### (2) 土器

#### S D 1 出土土器 (1 ~ 570, 第 7 図～第 31 図、図版 5 ~ 図版 35)

1 ~ 6 は縄文土器である。1 は深鉢型土器の口縁部で凹線が緩く巡る。後期前半頃のものと思われる。2 ~ 5 は深鉢型土器で口縁部直下に刻み目のある貼り付け凸帯を巡らせる。4 は口唇部にも刻み目を施す。6 は胴部片で刻み目凸帯が 2 条巡る。いずれも、晩期後半頃のものと思われる。

7 ~ 496 は弥生土器である。7 ~ 96 が壺型土器である。7 ~ 25 は頸部が窄まり外側に八字形にのびて口縁端部にいたる壺形土器である。口縁部と頸部にかけて数条の凸帯を巡らせる。7 ~ 8・10・13・16・18 ~ 25 は凸帯に刻み目を施すものである。口縁部は 7 ~ 19 のように外側に拡張され断面が三角形状をなすものと 13・16・25 のようにほぼ水平な端面を有するものがある。7 ~ 9・11 ~ 14・16 ~ 22・24 のように口縁端部に刻み目を施したものもある。端面は無文のものと 13・16・20・21・24 のように鋸歯状もしくは斜格子状の文様を持つものがある。

30 ~ 37・39 は外側に強く外反する口縁部を有するもので、口縁端部には斜格子文 (30 ~ 32・37) や円形浮文 (33) を施したものなどがある。また、38・40 ~ 42 のような無頸壺もあ



第7図 出土遺物実測図1 (1:3)

る。40～42は口縁端部を外側と内側に拡張し、拡張部に円形浮文を貼り付けたものである。

46～49, 53～56, 59～62は複合口縁壺で、46～49のように複合鋸歯文が巡らされているものもある。56は外面に沈線が2条巡りこの沈線の間を板状工具の端部を利用して連続刺突文を施している。口縁部外面が無文化したものもある。

65～70は口縁端部が上方と外側に拡張されたもので拡張部分に凹線や刻み目状の刺突文をめぐらせたものや無文のものがある。69は上方に拡張されたものである。68はハ字形に開く口縁部で口縁の傾斜が変化する部分に下方に伸びる粘土帯を巡らせ、そこに細い粘土でドーナツ状の輪を貼り付け巡らせたものである。

76～86は口縁部に凹線が残っているものである。77や78, 83は無文化している。84や86は複合口縁の接合部付近で、口縁部を欠いている。

85は頸部に太い刻み目の凸帯が巡り、87はやや長頸で、頸部には沈線が巡る。90は端部がやや外反し、外反部に円形の小さな穿孔が2個一組単位で巡らされていたと思われる。

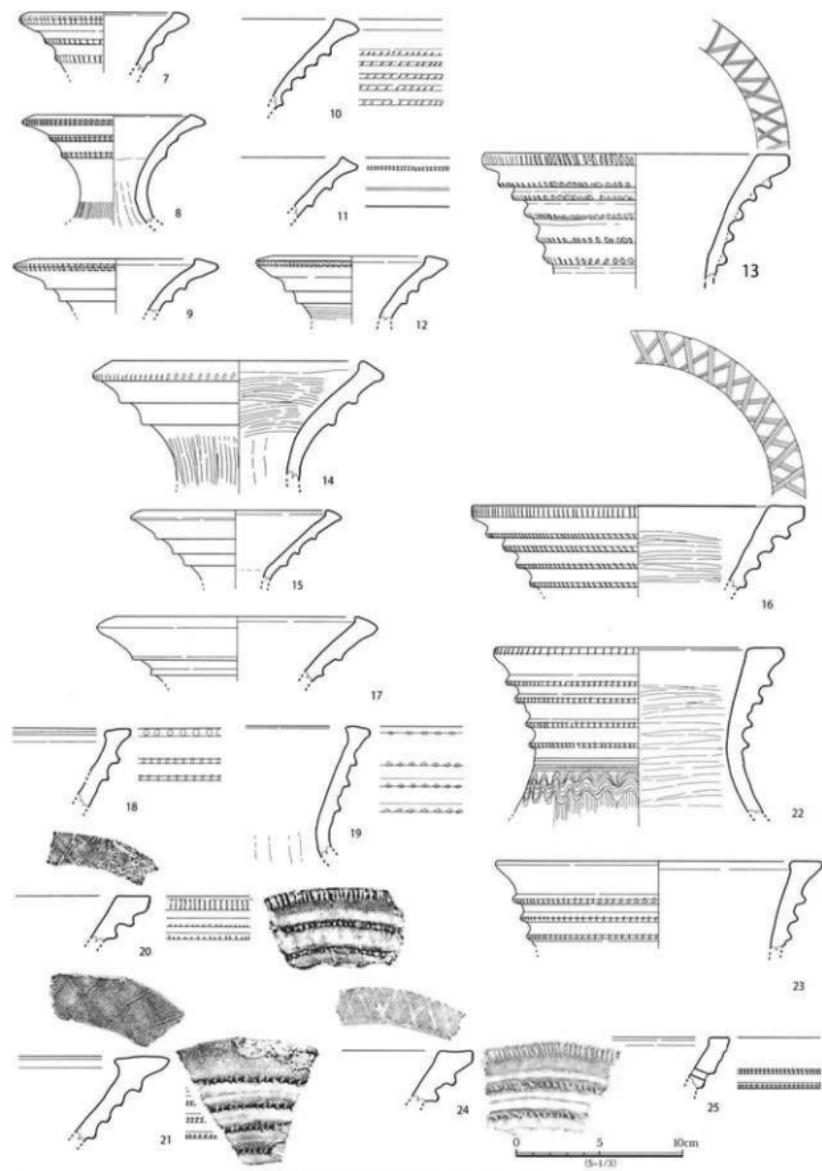
94～96は真っ直ぐ斜め外方に伸びる長頸気味の壺形土器の口縁部である。

97～194は甕型土器である。97・98・100～102はL字状の口縁で端部に刻み目を施し、屈曲部付近から条線を巡らせるものである。97は円形の列点文を巡らせている。99・103～121も基本的にはL字状口縁であるが、口縁端部は無文である。外側により強く外反する。断面が三角形をなすものもある。122～129はL字状の口縁の下部に凸帯を持つもので、無文のものと刻み目を持つものがある。131・132は口縁がより長く外反したものである。135・138～144は口縁が上方に拡張され凹線が巡らされるものである。138や141は頸部境に粘土を貼り付けそこに刻み目を施している。

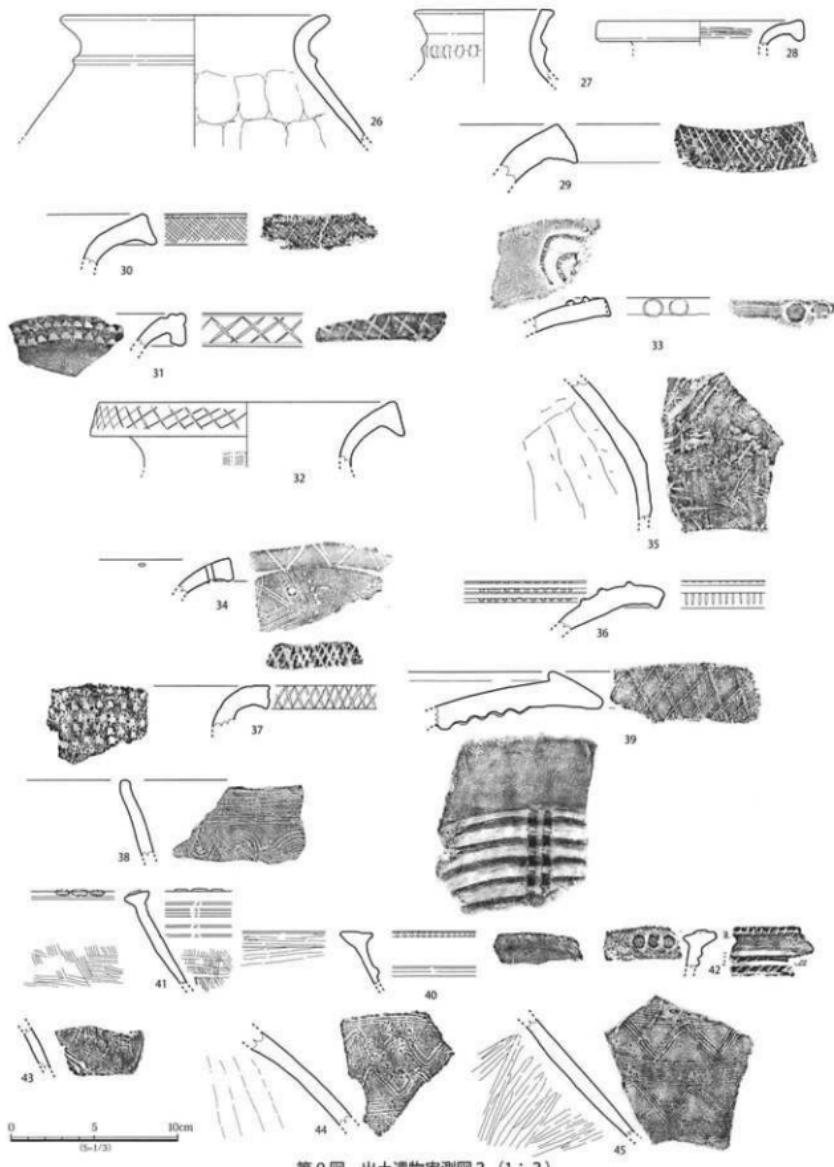
145～160は頸部からく字形に屈曲して外側斜め上方に伸びる口縁部を持つもので、外面が無文のものや凹線もしくは沈線を巡らせるものがある。

161～181は頸部から一旦く字形に屈曲し外側斜め上方に短く伸びて、上方に垂直気味に立ち上がる口縁部を持つもので、凹線も巡らせるものと無文のものがある。

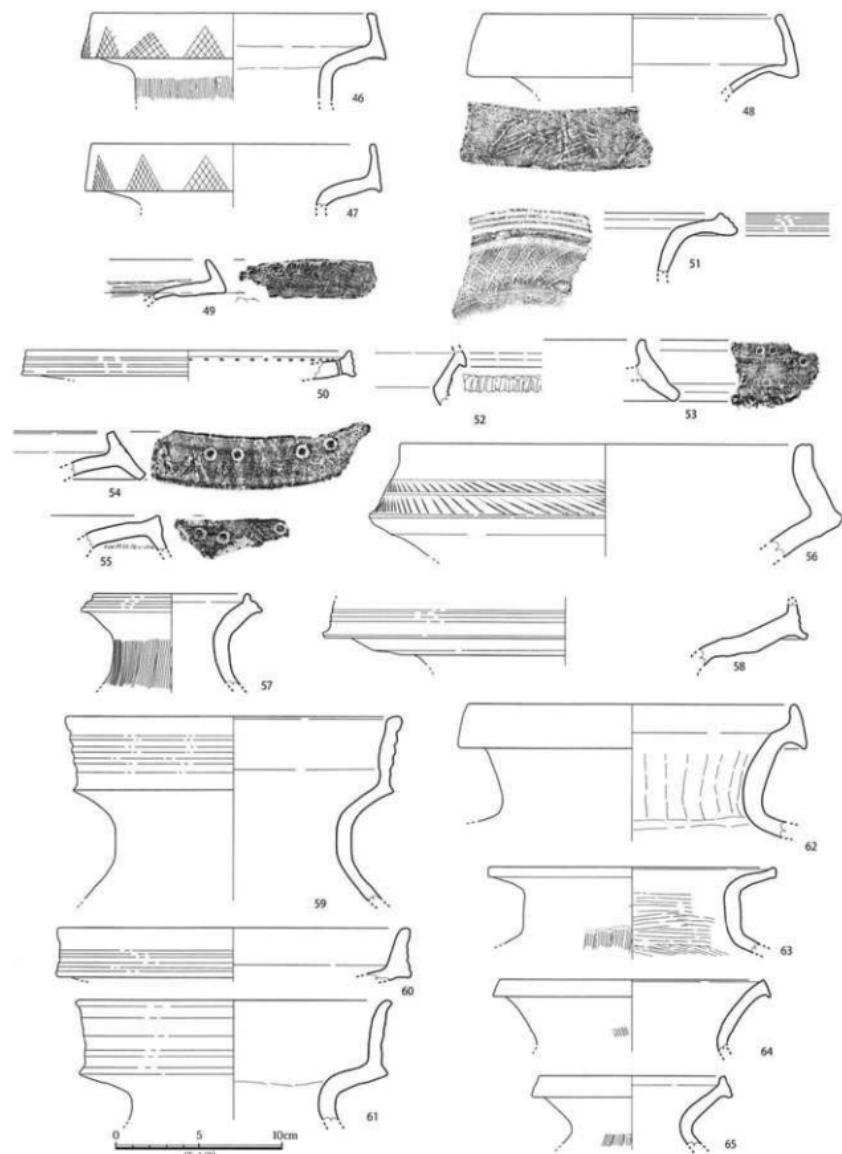
182～194はく字形に単純屈曲するもので、端部は概ね平らか丸い。中にはわずかに上方に



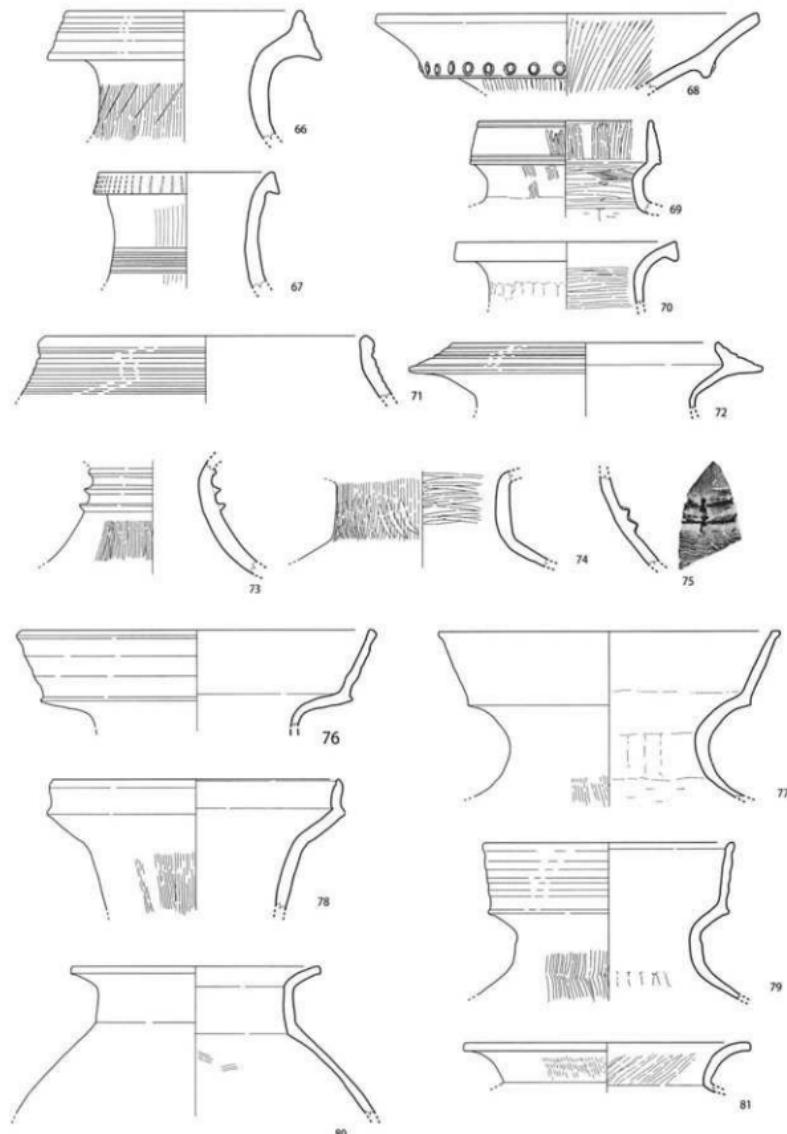
第8図 出土遺物実測図2 (1:3)



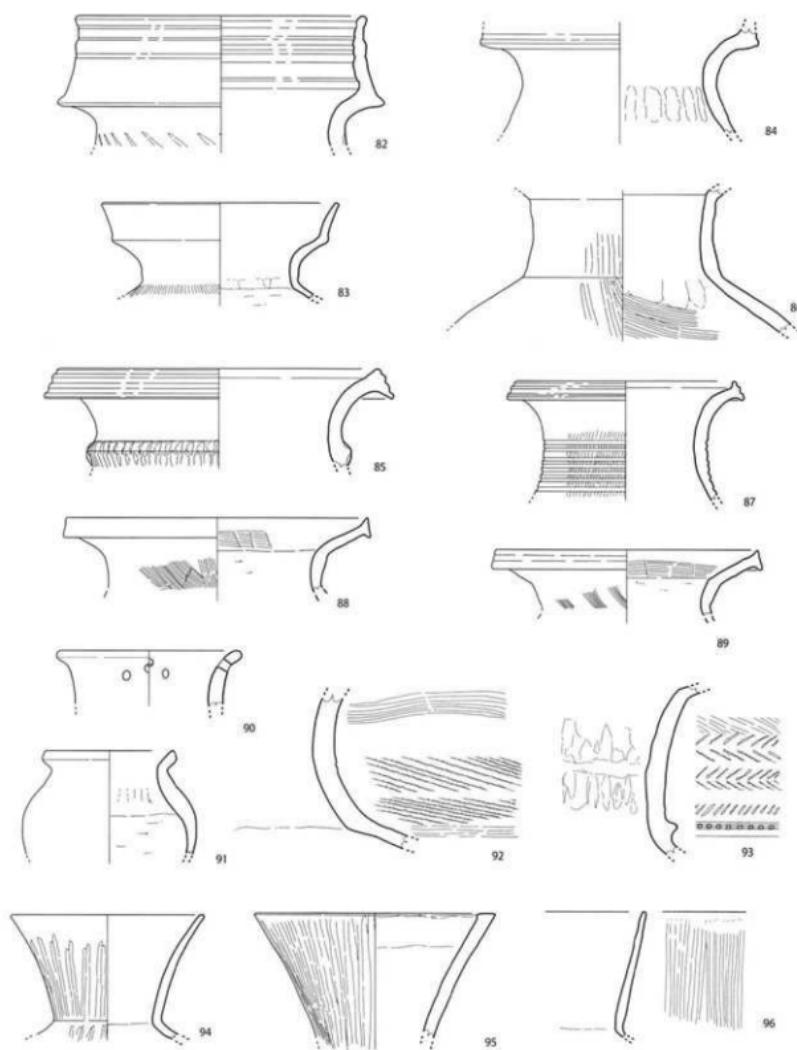
第9図 出土遺物実測図3 (1:3)



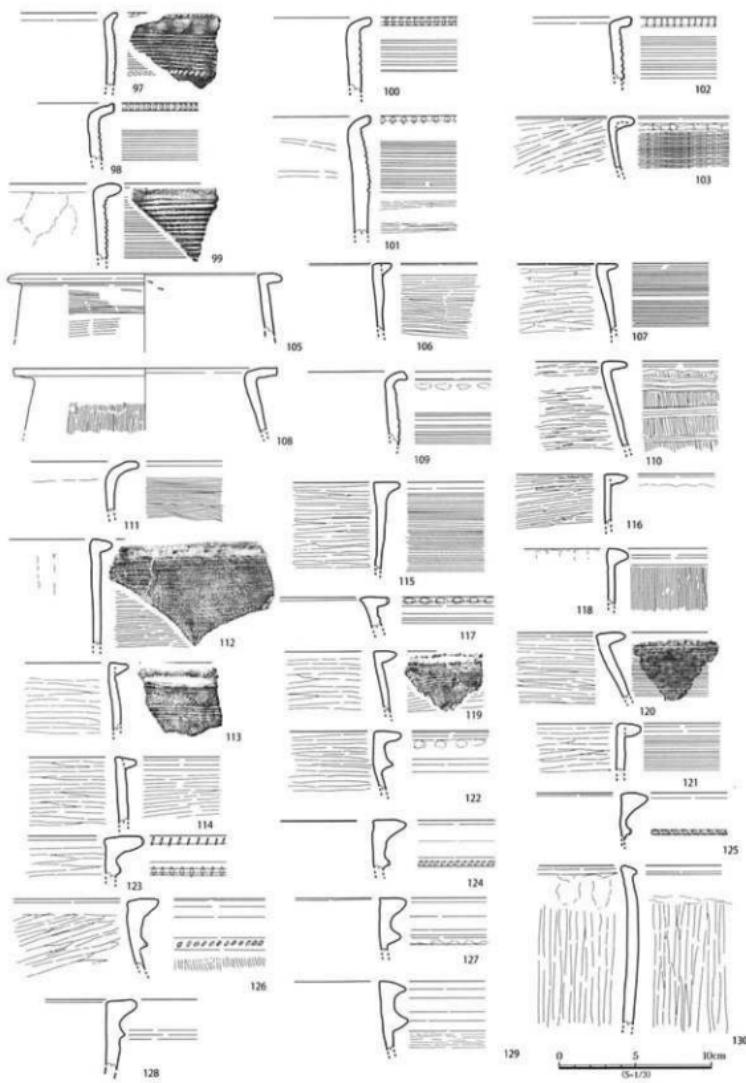
第10図 出土遺物実測図4 (1:3)



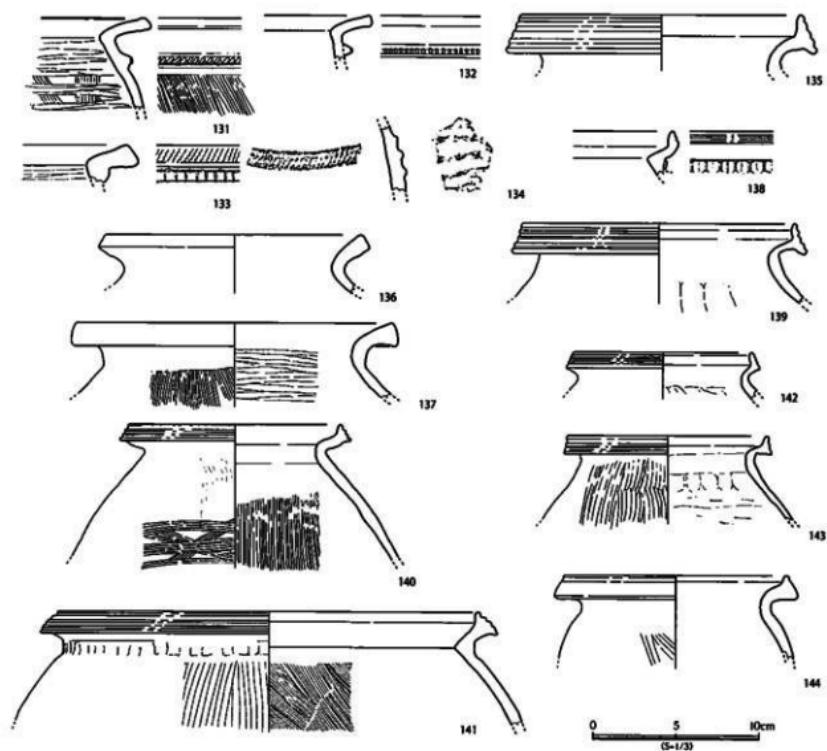
第11図 出土遺物実測図5 (1:3)



第12図 出土遺物実測図6 (1:3)



第13図 出土遺物実測図7 (1:3)



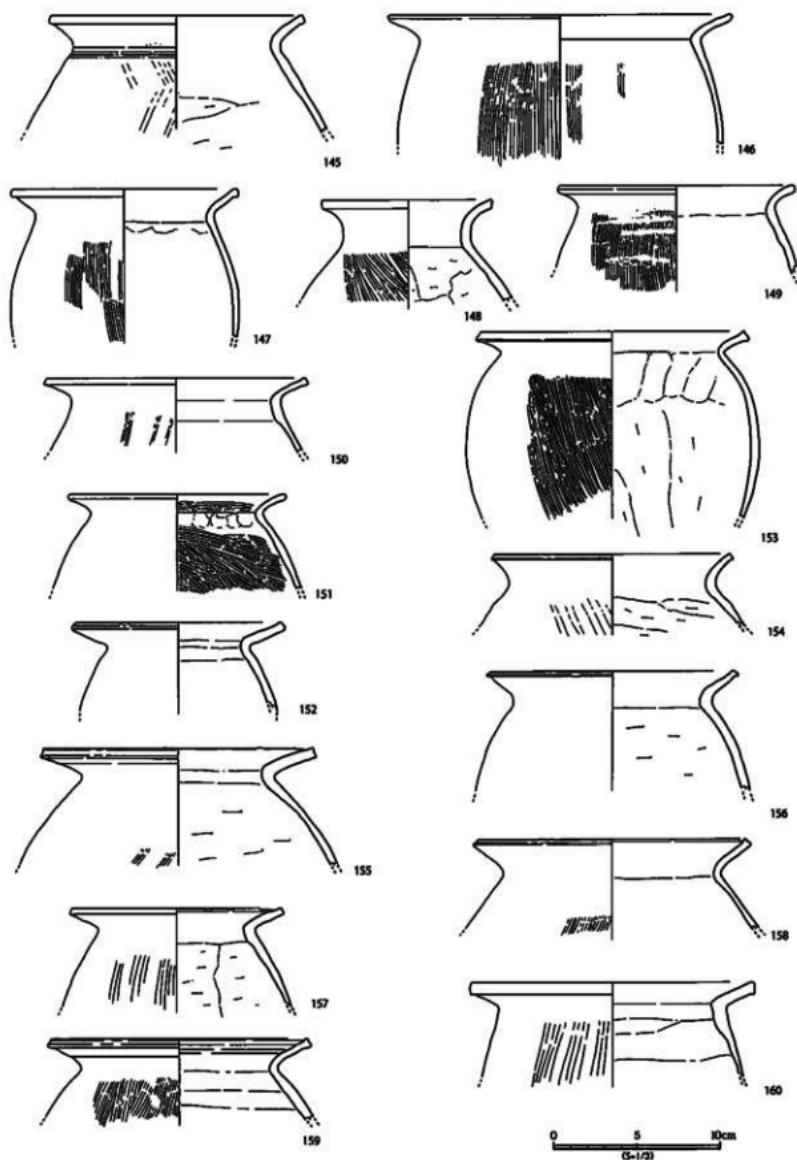
第14図 出土遺物実測図8 (1:3)

拡張され凹線を巡らせているものがある。

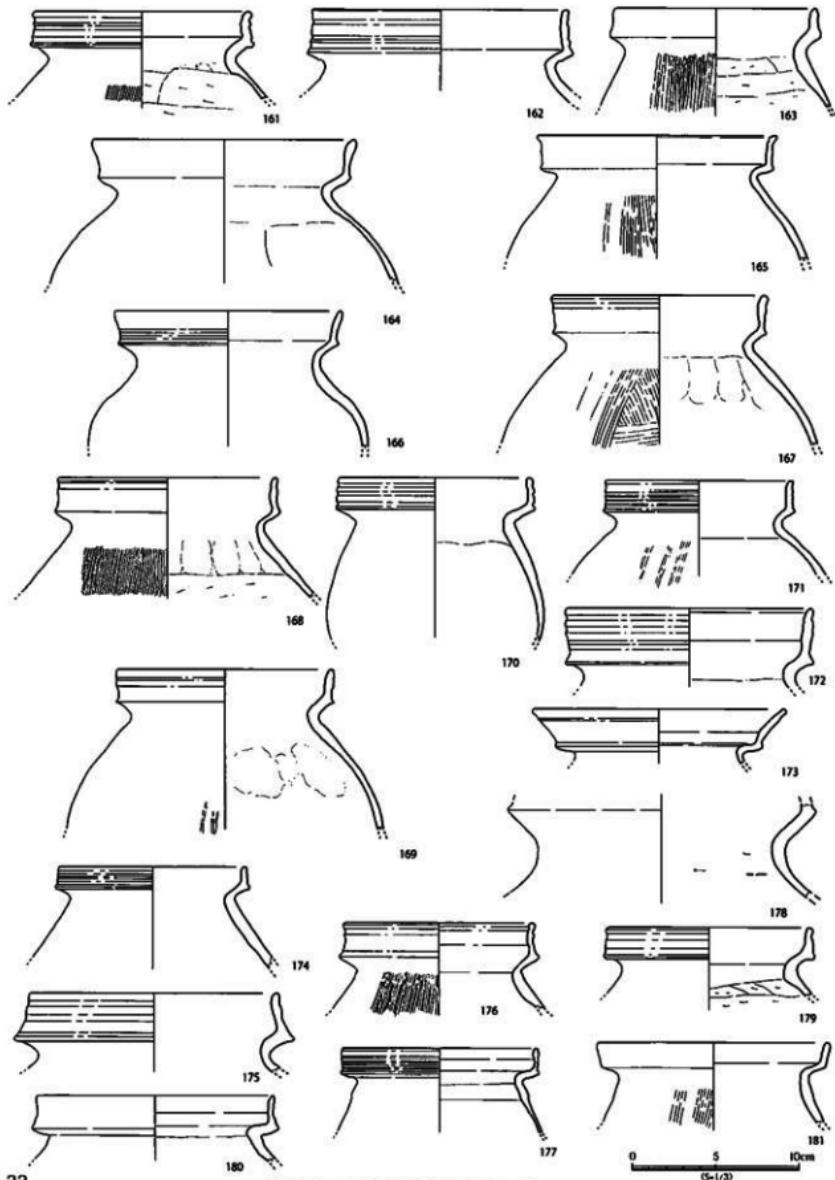
195～231は高杯である。195～210は杯部である。196～200は外側斜め上方に伸びて、口縁直下付近から垂直に上方に伸びて口縁端部に至る。外面には凹線が巡る。

201～209は体部は外側上方に緩やかに伸びて頸部付近で段をなして、上方に強く外反しながら口縁端部に至るものである。端部は丸く收めるものやや尖り気味に收めるものがある。209のように段がなくなっているものもある。

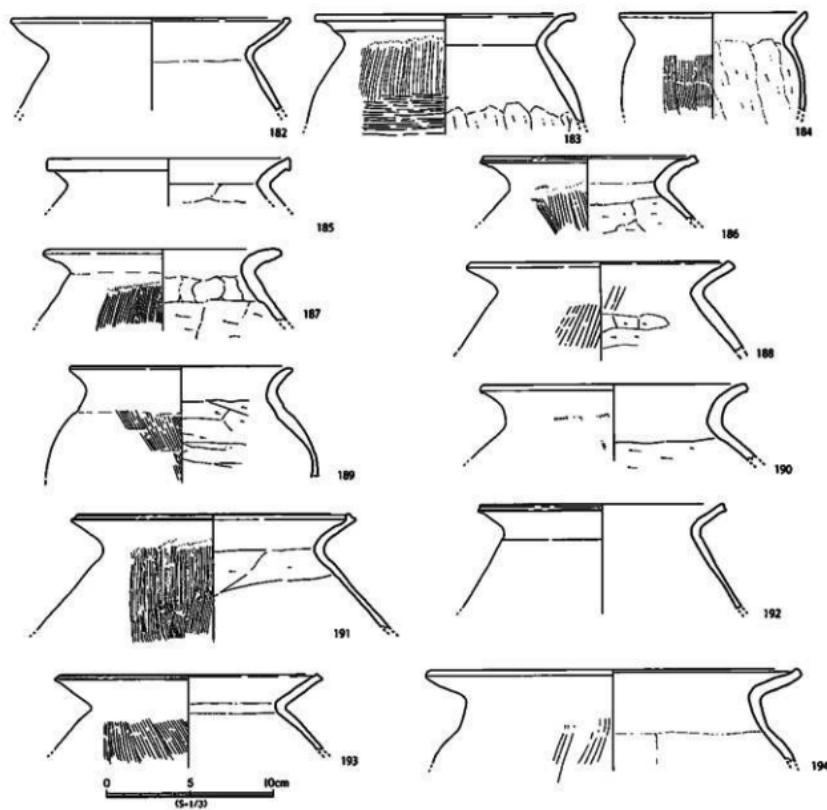
211～230は脚部である。211～213, 215は脚端部が下方に拡張されたものである。凹線が巡るものもある。214, 223～230は脚端部を単純に收めるものである。214は凹線を巡らせ、上下2列に円形の小穿孔を巡らせている。小さな円形の穿孔が多い。228は矢羽の透かしと思われる。



第15図 出土遺物実測図9 (1:3)



第16図 出土遺物実測図 10 (1:3)

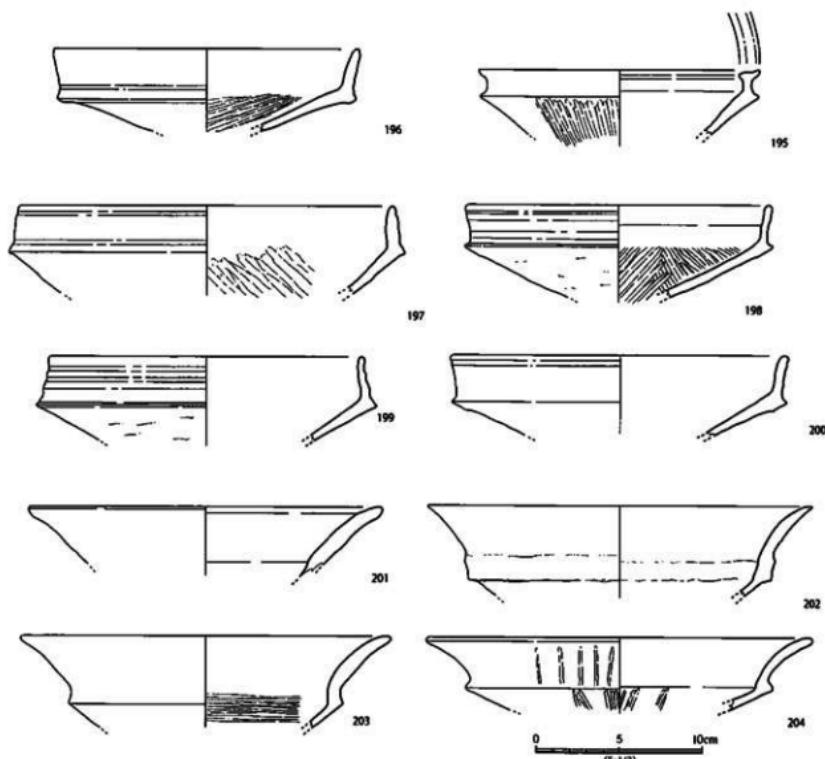


第17図 出土遺物実測図11 (1:3)

231～233は器台である。231は凸帯が巡り、小孔が穿孔されている。232は端部付近で外側下方に伸びて脚端部にいたる。脚端部は上下に拡張されて、凹線が巡る。また屈曲部付近で円形の穿孔が確認できる。233は脚部の拡張部に複合鋸歯文が巡っている。

234～247は鉢である。口縁部が強く外反するものや緩い頸部を持つもの、やや内湾気味に收まるものなどがある。241は端面を持ち、そこに凹線が3条巡っている。

245～252は椀である。鉢よりも器高が低くなるものを椀として取り扱った。端面を持つもの、

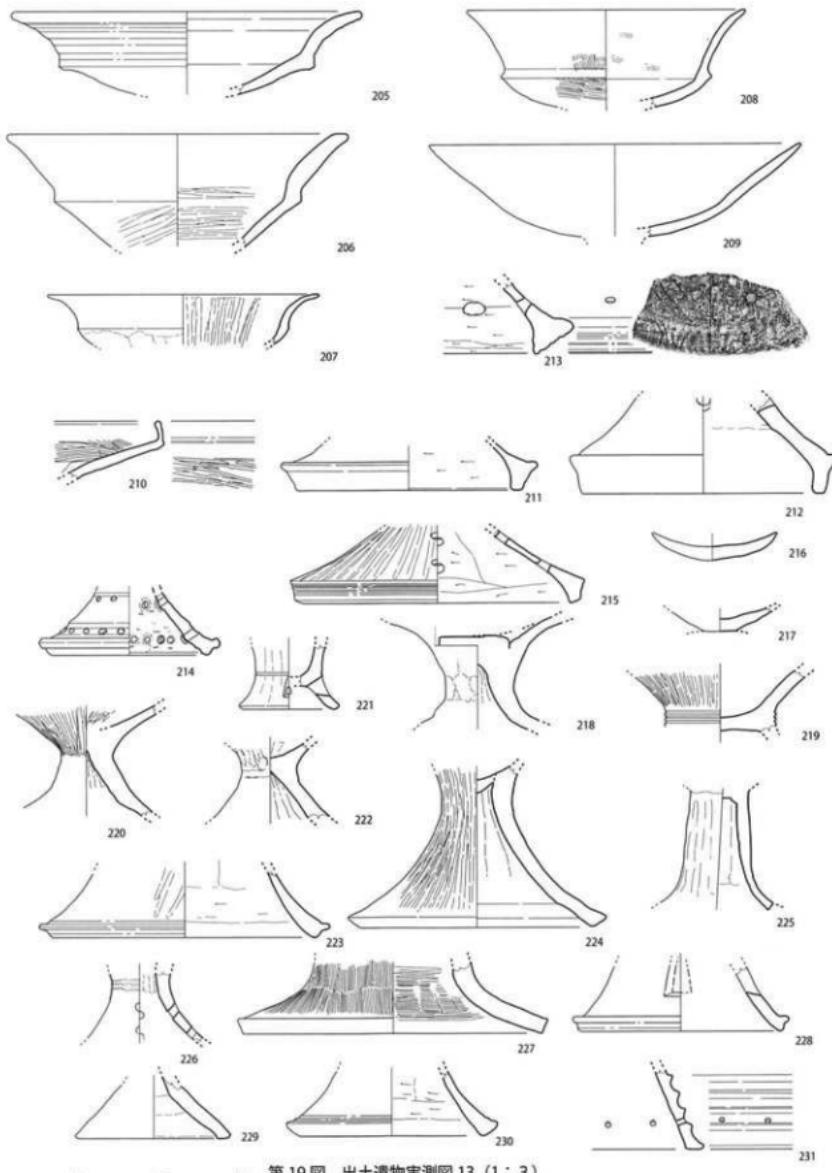


第18図 出土遺物実測図12 (1:3)

外側に短く外反するもの、尖り気味に收まるものなどがある。252は手捏ね土器である。

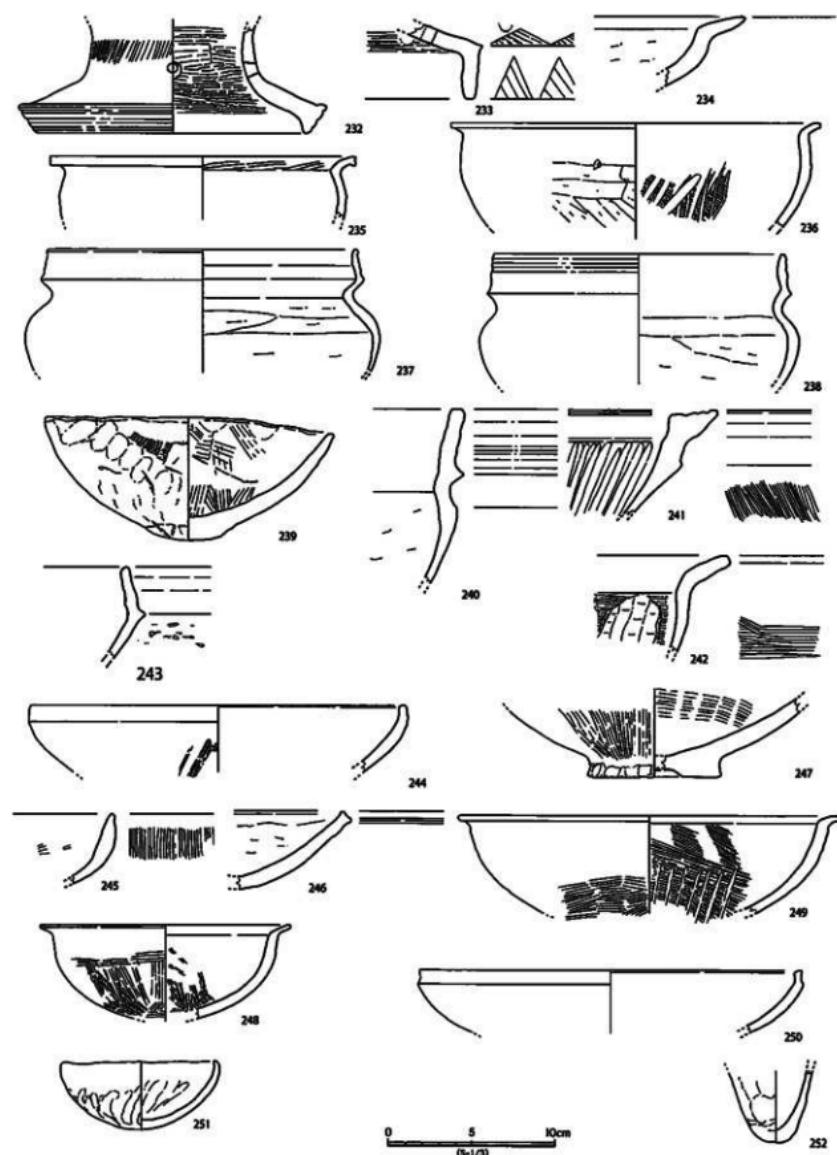
253～496は底部である。底部は出土遺物の内でも量が多く、どの器種に対応するのか判断できなかった。底部は形状などから、底部底面が平らなもの（平底、253～433）、底部底面が内側に凹むもの（凹底、434～468）、底面が突出もしくは小さなボタン状となるもの（469～474）、底部の凹がさらに強くなり脚状となるもの（478～485）、そして底部底面に穿孔のあるもの（486～496）に大別した。

平底のものは数が多く、底部から体部への立ち上がりが直線的に外側斜め上方に伸びるもの（253～332）、外側に外湾氣味に開くもの（333～392）、逆に内湾氣味になるもの（393～433）に細分した。概ね直線もしくは外湾氣味のものから内湾氣味のものへと時間とともに移行すると考える。

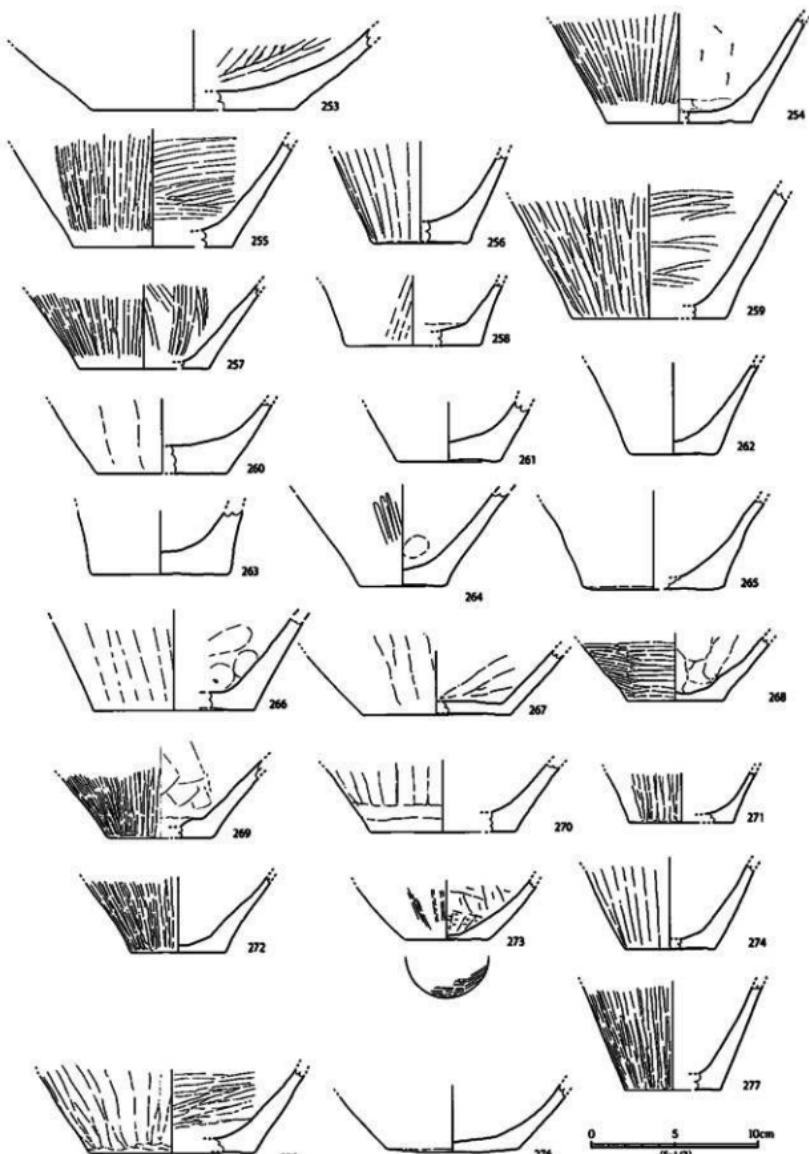


第19図 出土遺物実測図13(1:3)

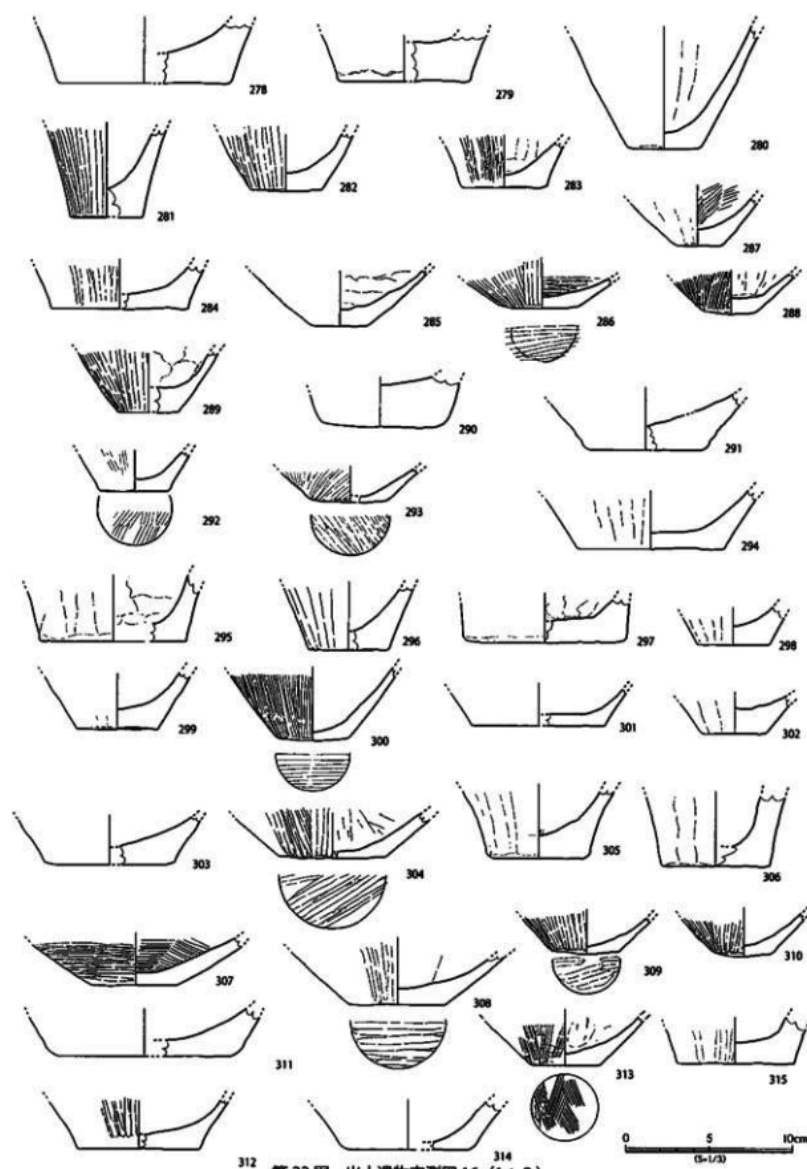
A horizontal number line starting at 0 and ending at 1. There are four tick marks on the line, including the endpoints. The first tick mark is labeled  $0$ , the second is labeled  $\frac{1}{3}$ , the third is labeled  $\frac{2}{3}$ , and the fourth is labeled  $\frac{5}{3}$ . The distance between each tick mark is equal.



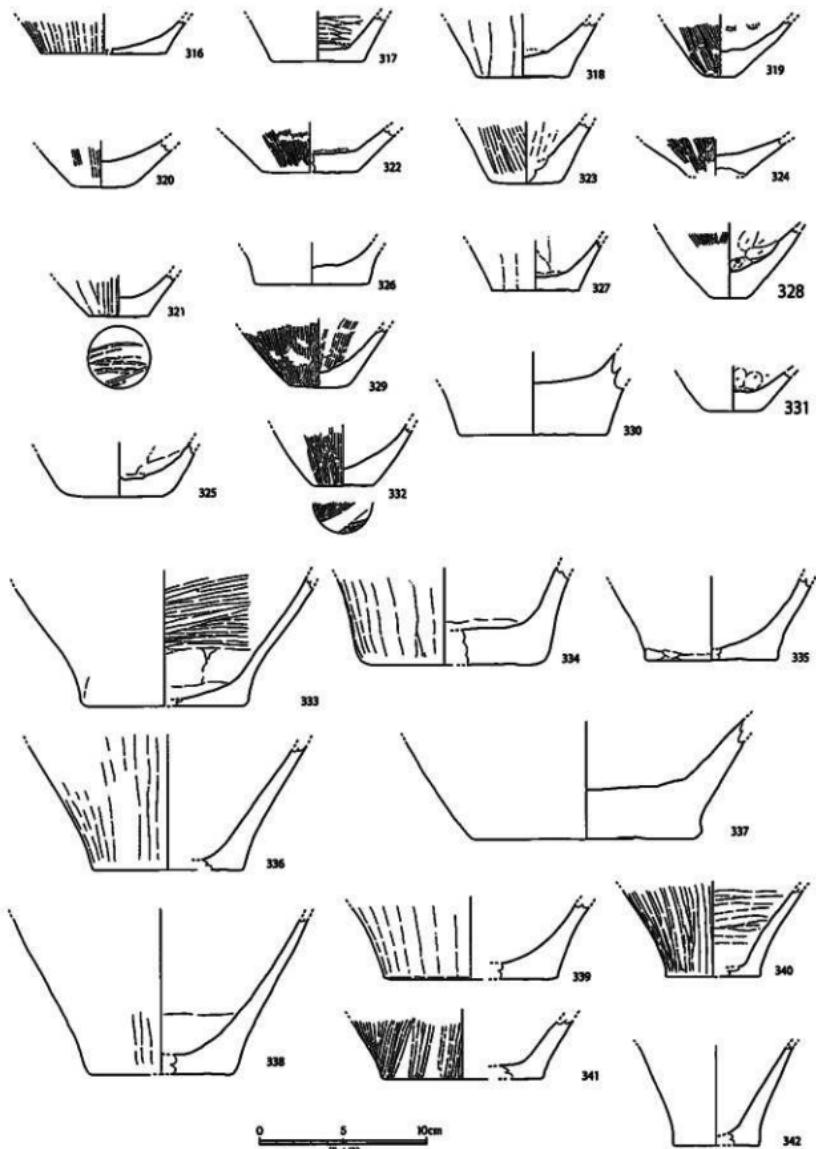
第20図 出土遺物実測図 14 (1:3)



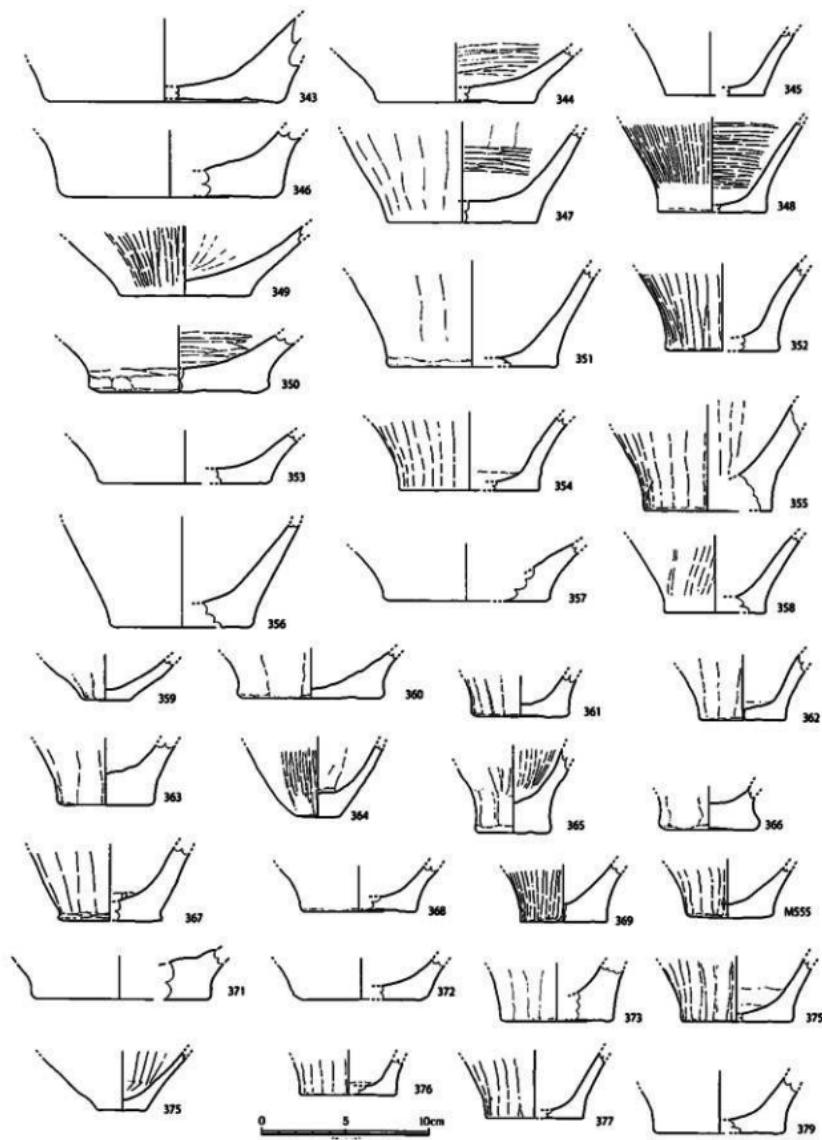
第21図 出土遺物実測図 15 (1:3)



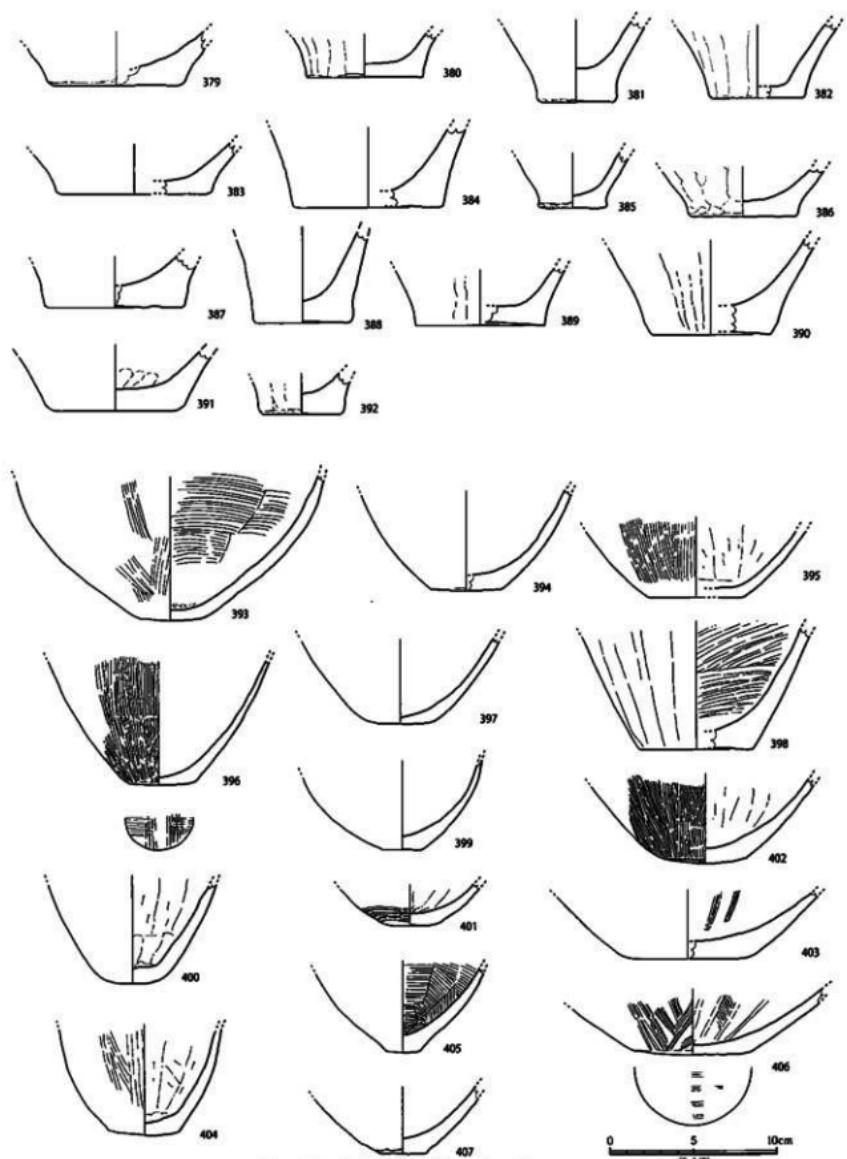
第22図 出土遺物実測図16 (1:3)



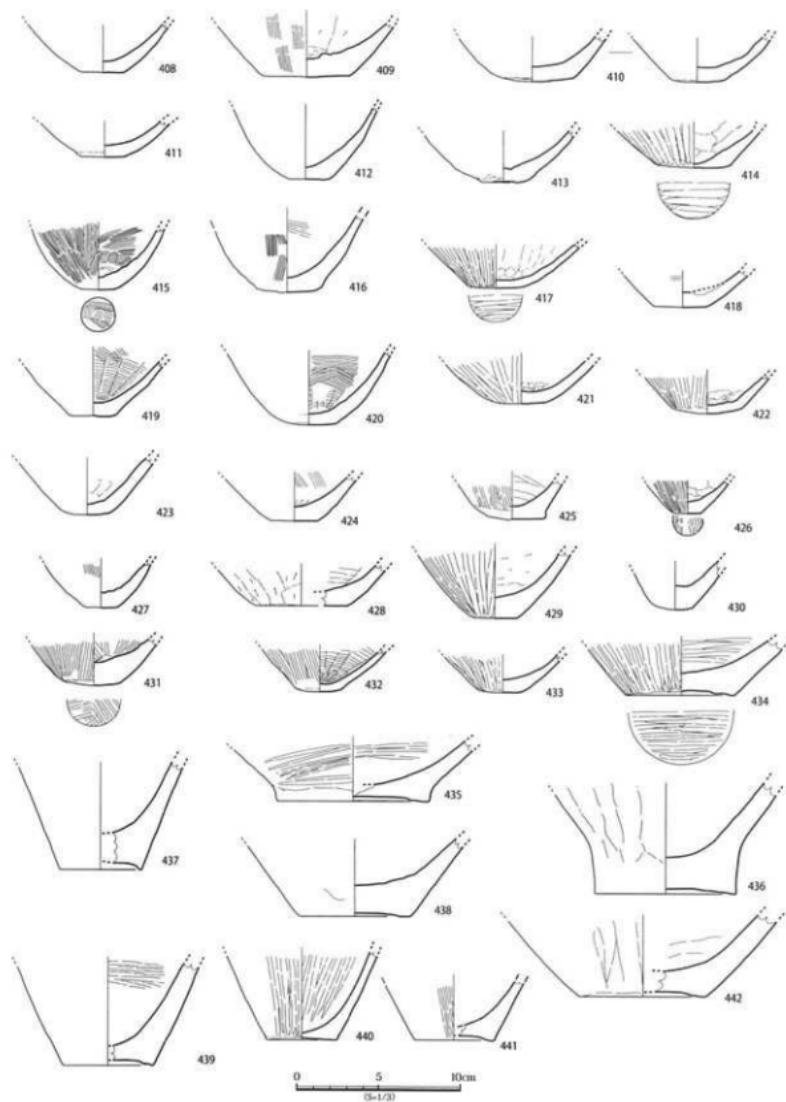
第23図 出土遺物実測図 17 (1:3)



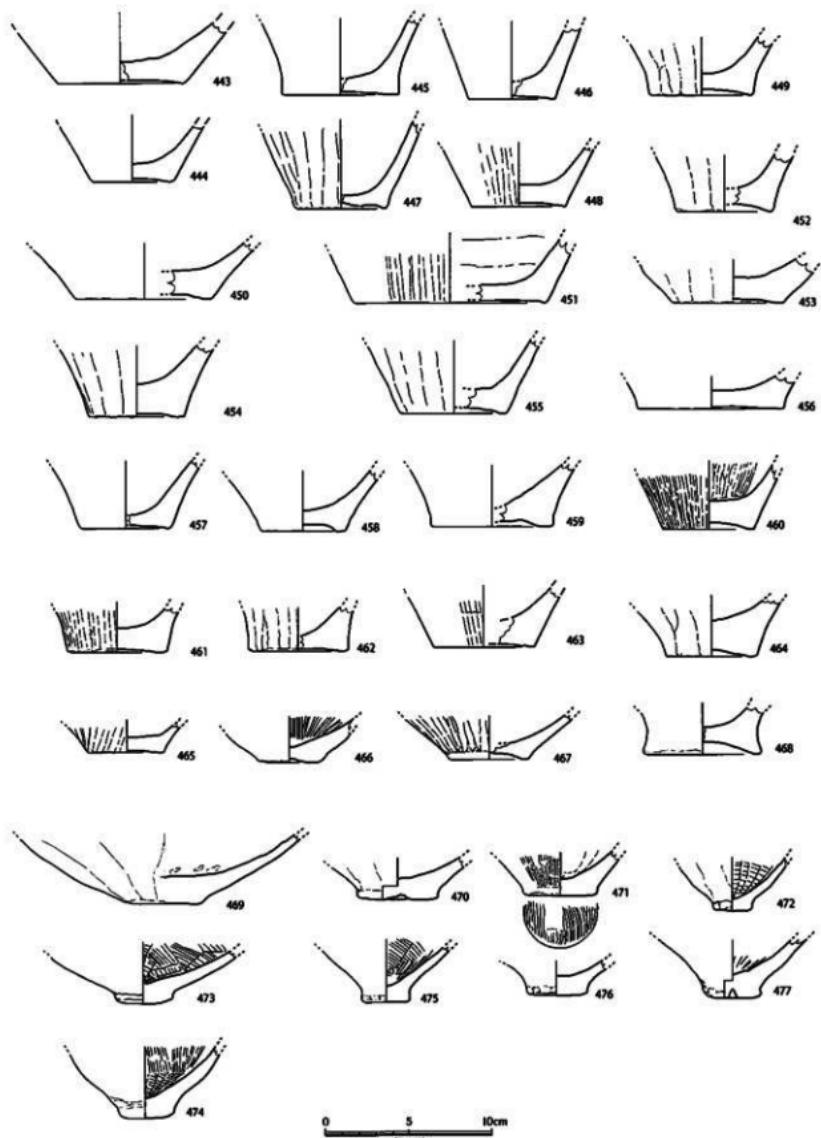
第24図 出土遺物実測図18 (1:3)



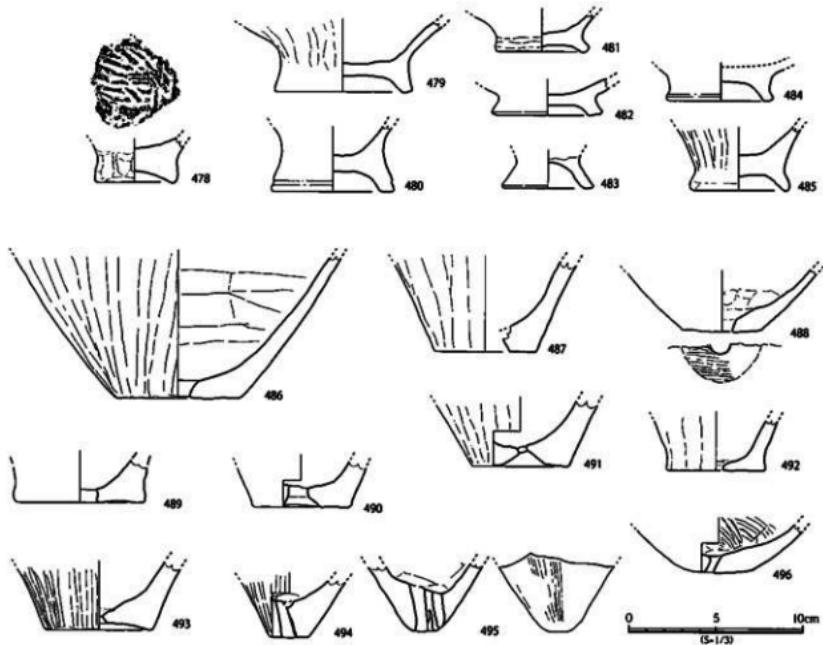
第25図 出土遺物実測図19 (1:3)



第26図 出土遺物実測図 20 (1:3)



第27図 出土遺物実測図21 (1:3)

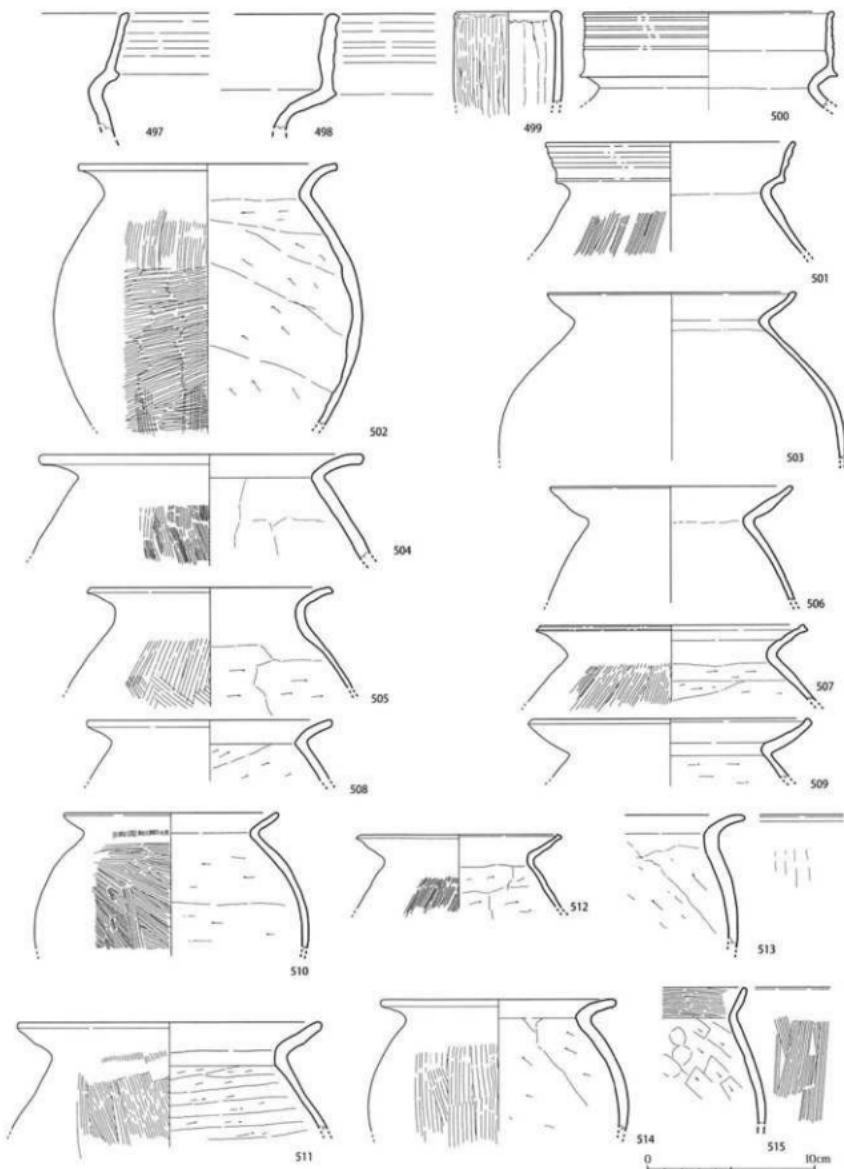


第28図 出土遺物実測図22 (1:3)

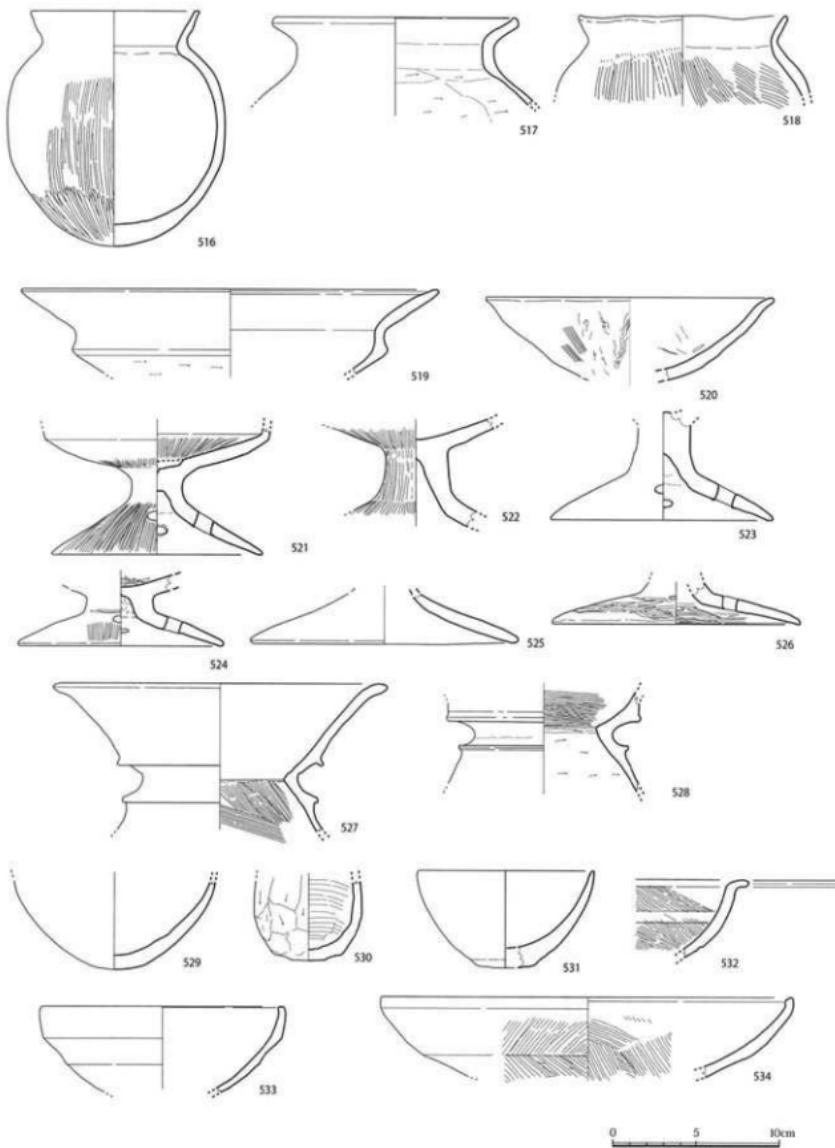
497～570は土師器である。497～501は壺形土器である。器形を窺えるものが少ない。量的には少ないものと思われる。口縁部に擬凹線が数条巡るもの（497・498、500・501）や長頸壺の口縁と思われるもの（499）がある。

502～518は甕型土器である。頸部からく字形に屈折して斜め上方に伸びる口縁部を持つもので、胴部は概ね倒卵形から球胴形と思われる。516・518のように屈曲気味に上方に伸びるものもある。

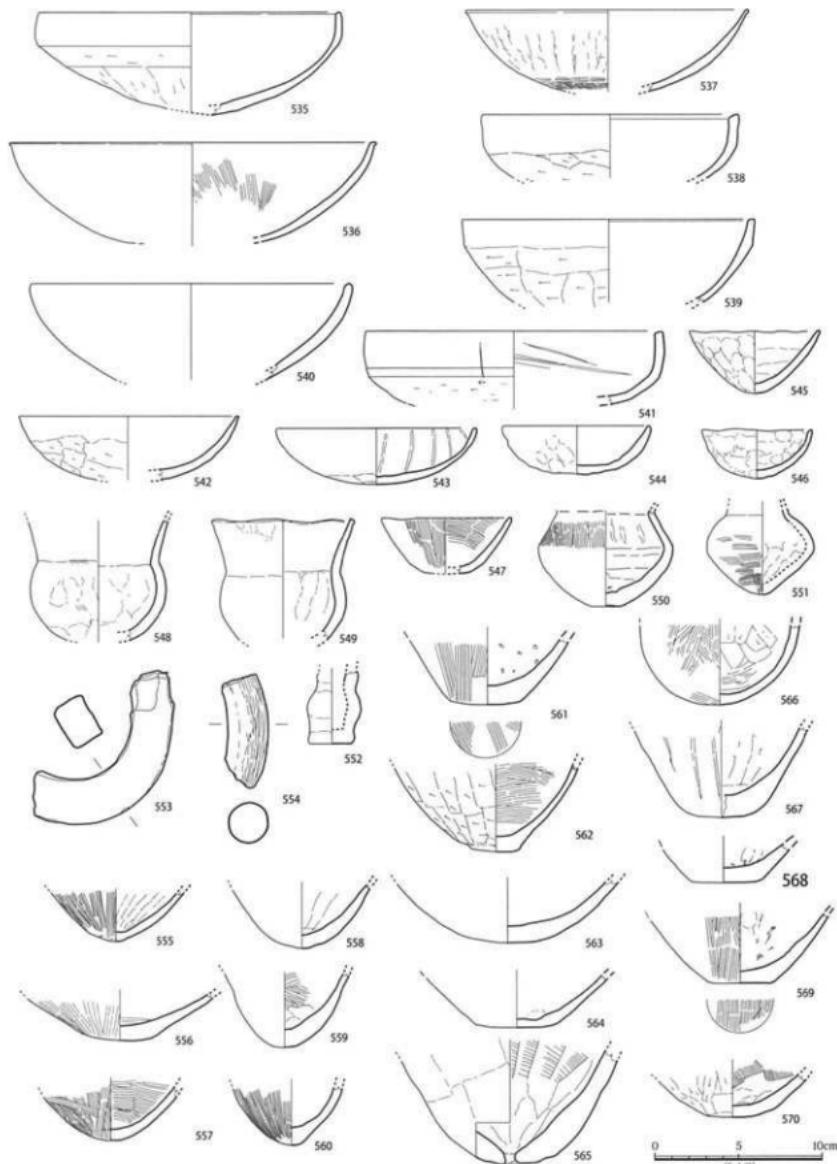
519～526は高杯である。杯部は519のように体部中位に屈折部を持ち外側斜め上方に伸びるものや緩く開き気味伸びるもの（520）がある。脚部は小さな円形の透かしを持ち、脚柱部から八字形に下方に開き、端部を尖り気味（521、523、526）もしくは若干角張気味に納めている（524、525）。



第29図 出土遺物実測図23 (1:3)



第30図 出土遺物実測図 24 (1 : 3)



第31図 出土遺物実測図 25 (1:3)

527～528は器台である。器台のくびれ部の上下で内面調整に変化が起きている。成型時に別々に作成したものと合体した可能性が高い。

537～546は椀である。器高の高いものから低いものまで様々である。外面はおむねヘラ削りもしくはナデが多いが、534のようにハケメ調整をしているものもある。

529・530は鉢である。体部が球胴形で口縁が頸部から少し屈折して垂直方向に伸びるものや、体部中央が屈曲気味になるものがある。530のようなミニチュアのものもある。

561～570は底部である。概ね底部が丸底ないしは丸底に近いものを土師器の底部とした。565は中央部に穿孔がある。

#### S X 1 出土土器（571～657、第32図～第36図、図版36～図版41）

弥生土器、土師器が出土している。量的にはSD1ほど多くはないが、SD1から出土した土器に比べると接合可能な資料がやや多く存在する。

571～620が弥生土器である。以下器種ごとに概観する。

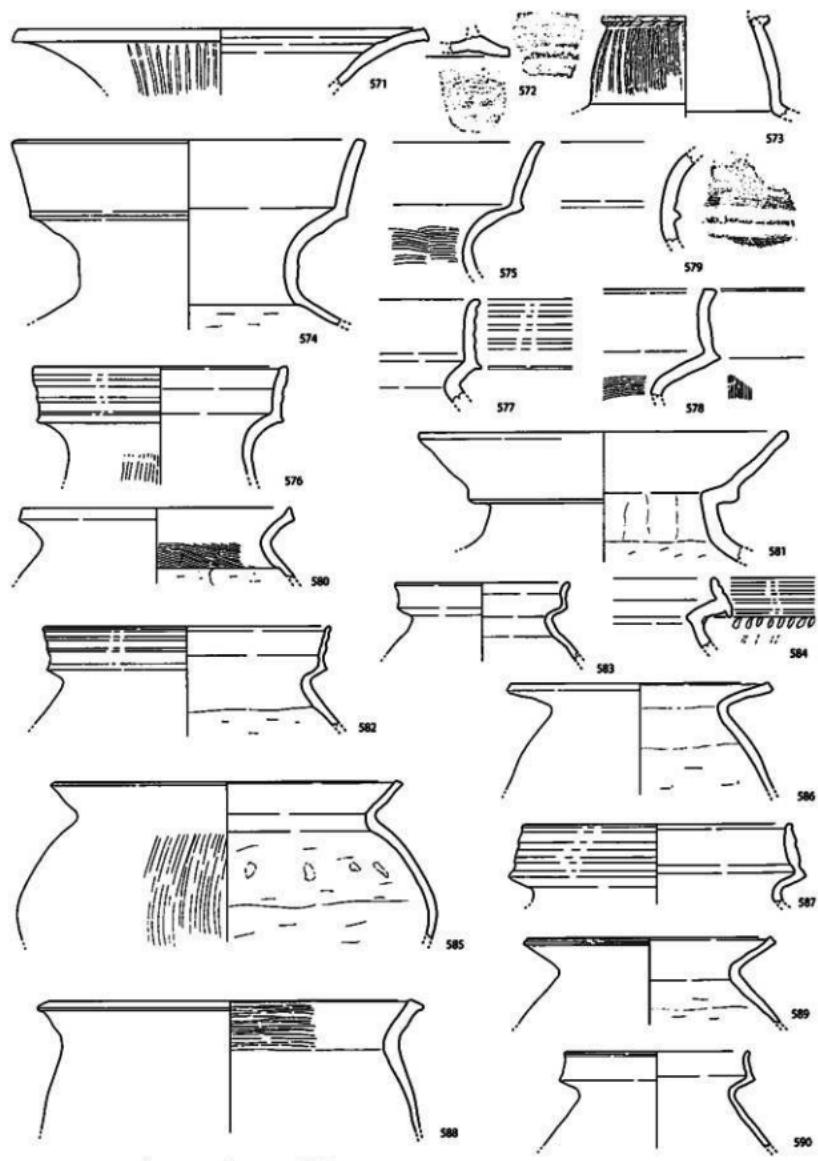
571～579・581は壺形土器である。外側に強く開くもの（571）や胴部上半から頸部で緩く弧を描きながら屈曲し、稜を形成しながら上方に伸びるものなどがある。

580、582～590は壺形土器である。く字形に外反するものや外面に凹線を巡らせるものなどがある。584は口縁端部を上方と下方に拡張して拡張部分に凹線を巡らせ、屈曲部に粘土を充填してその粘土帶に刻みを施すものである。

591～594は高杯である。口縁端部を拡張し拡張部に凹線を巡らせるもの（591）や坏底部との境に稜を持って外反気味外側に開きつつ伸びるもの（592、593）がある。594は脚端部の少し上に2条の凹線を巡らせ、凹線の間に円形の小孔を巡らせたものである。

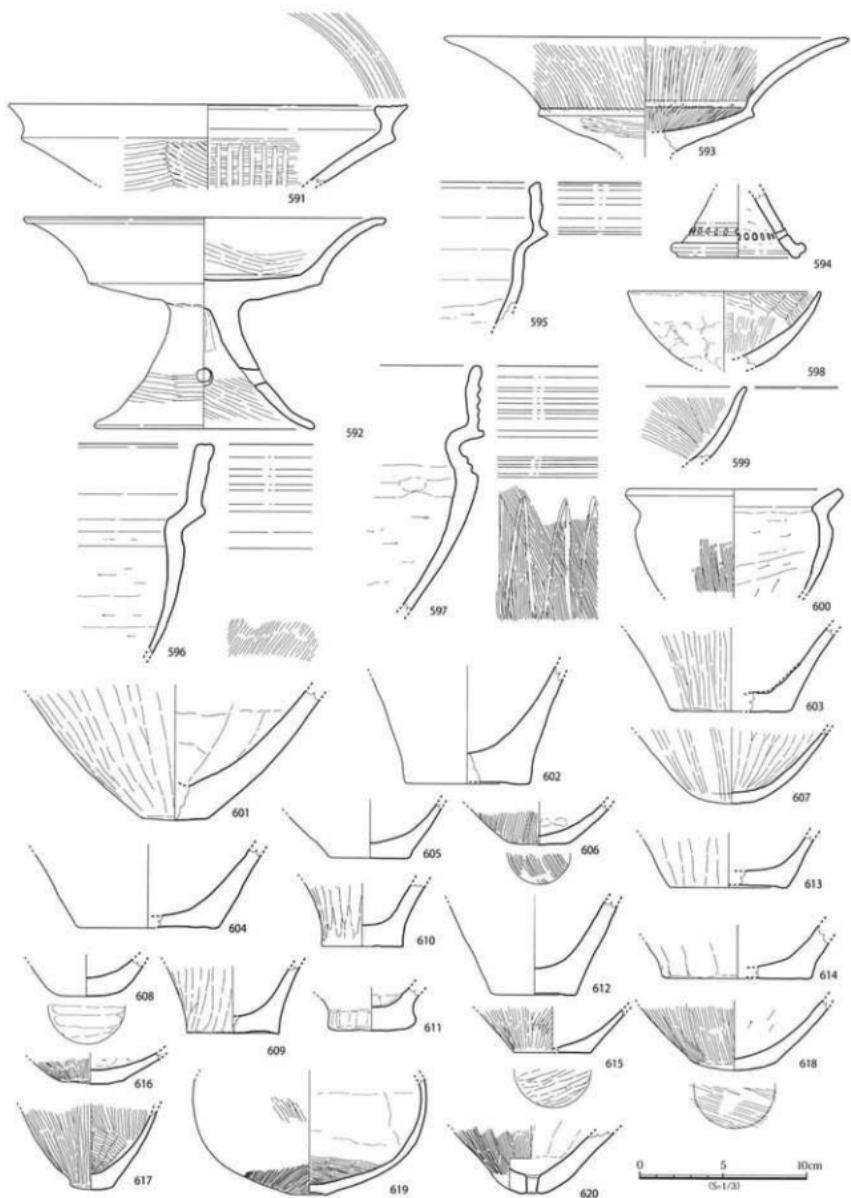
595～597、600は鉢である。頸部で屈曲し、段をなして上方に伸びるものや頸部でく字形に屈曲短く外側斜め上方に伸びるものがある。

601～620は底部である。平底が多い。なかには607や618のようにわずかに底部を残しているものもある。また619のように壺形土器の底部と思われるものもあり、底部中央がわずかに凹底となっている。620は尖底の中央部に穿孔のあるものである。

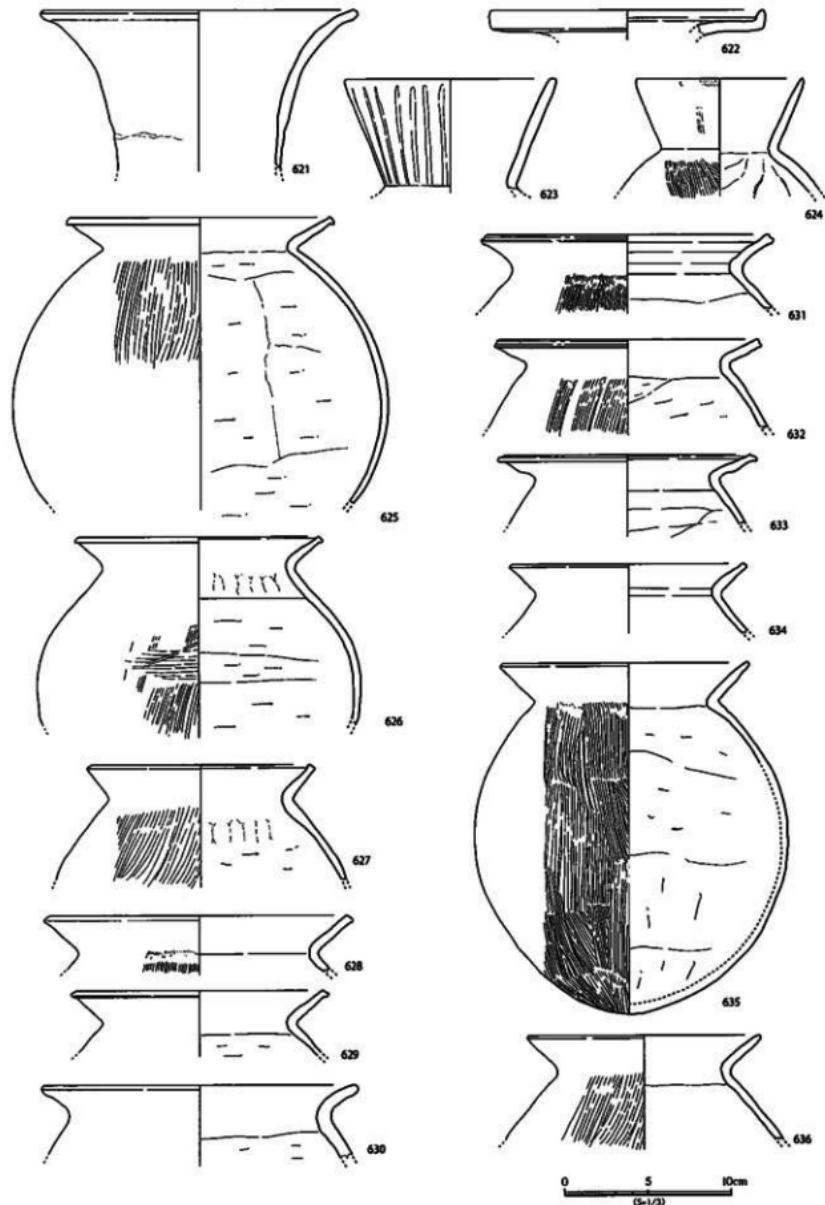


0 5 10cm  
G-1/20

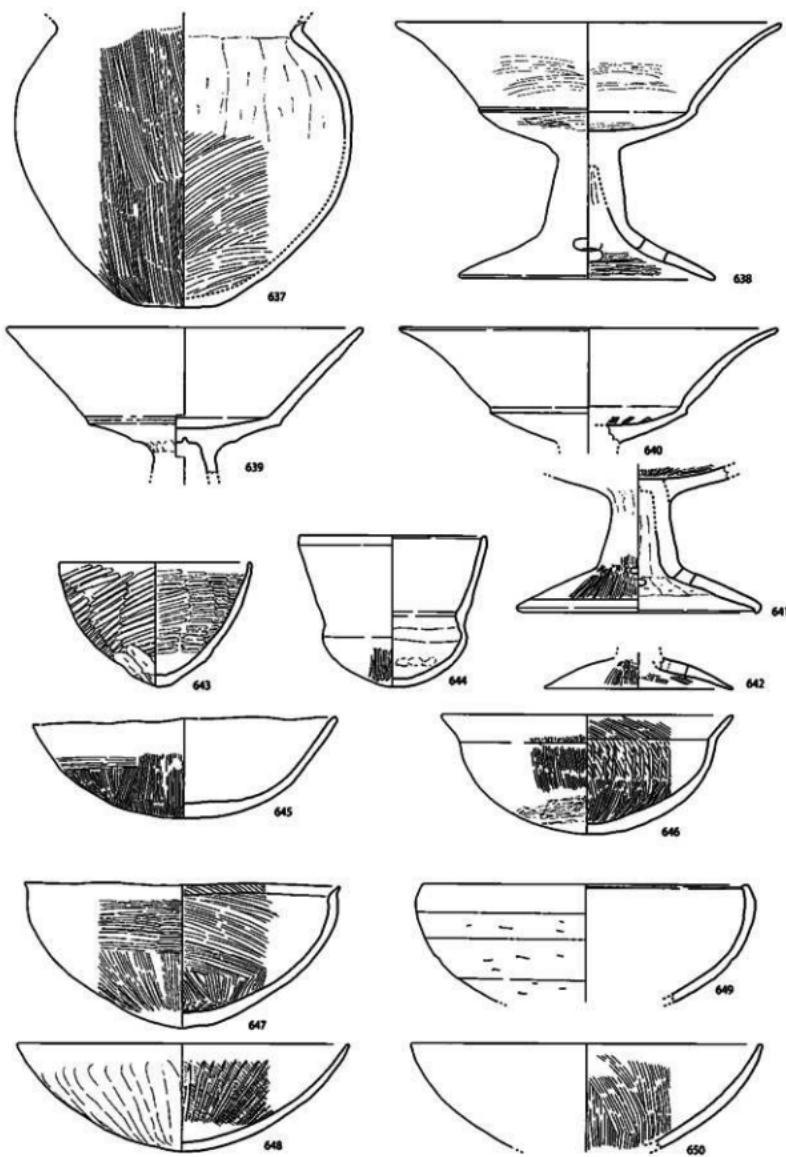
第32図 出土遺物実測図 26 (1:3)



第33図 出土遺物実測図 27 (1:3)



第34図 出土遺物実測図 28 (1 : 3)



第35図 出土遺物実測図 29 (1 : 3)

621～657が土師器である。以下、器種ごとに概観する。621～624は壺形土器である。外側に広がるもの(621, 622)やや直立気味に伸びるもの(623, 624)がある。622は水平方向に外側に強く広がり端部を上方に拡張して收めている。

625～637は壺形土器である。頸部でく字形に屈折もしくは屈曲して斜め上方にのびるもので、胴部は倒卵形から球胴形をなす。口縁端部は丸く收めるもの、角張気味のもの、わずかに上方につまみ上げるものがある。

638～642は高杯である。坏底部との境に稜を持つもので、ハ字形もしくはやや外湾気味に伸びて口縁端部に至るものである。

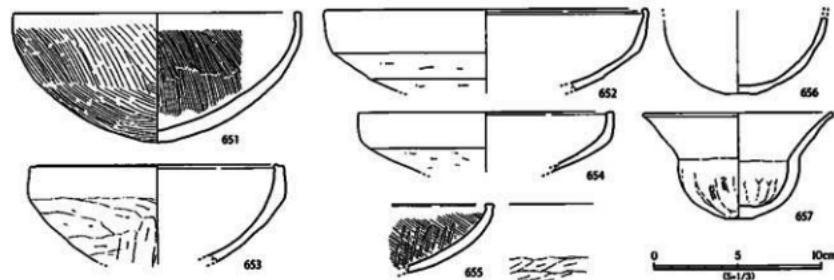
643・644は鉢である。644は尖底で内外面に平行敲きを残している。645は小型丸底鉢で器体中央から口縁が伸びている。

645～657は椀である。緩く弧を描きながら内湾気味に伸びて、口縁端部にいたるものである。外面はハケメ調整のものやヘラケズリのものなどがある。概してハケメ調整もののほうが丁寧な作りである。

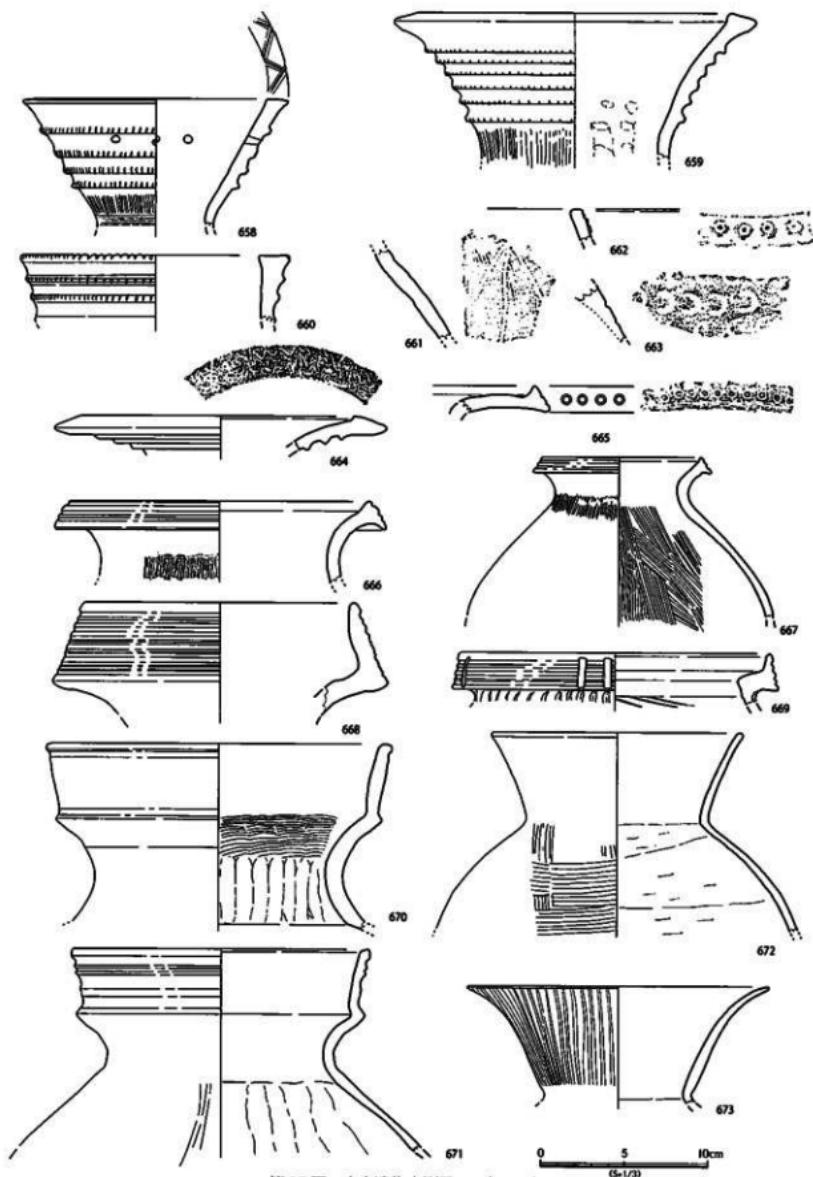
#### 調査区内出土遺物(658～738, 第37図～第40図, 図版41～図版47)

前述した遺構内以外に調査区内からも遺構と分離した状態で弥生土器、土師器、製塙土器が出土した。

658～713は弥生土器である。以下、器種ごとに概観する。658～675が壺形土器である。658～660は口縁部が斜め上方もしくは直立気味に伸びるもので外面に数条の刻目凸帯が巡る。658は口縁端部に平坦面を持ち鋸歯文を施し、口縁部直下の刻み目凸帯に接して2孔一組の小孔が巡る。662は円形浮文を巡らせる。664は外側に強く開き、凸帯が巡るものである。665は円



第36図 出土遺物実測図30(1:3)



第37図 出土遺物実測図 31 (1 : 3)

形のスタンプ文を巡らせるものである。666・667は凹線を巡らせるものである。668は口縁がやや内傾気味に立ち上がり、多条化し擬凹線を巡らしている。670・671は広口壺である。674は二重口縁壺で口縁外面上半に竹管を押した円形浮文が巡り、下半及び裏面には櫛描波状文が巡る。

677～692は甕型土器である。677～679はわずかに外側に伸びた口縁をやや角張り気味もしくは尖り気味に收める。680～683は断面三角形もしくは台形の粘土を口縁端部に貼り付けて肥厚させたものである。684～692は拡張した口縁部に凹線の巡るものや頸部がく字形になって外側斜め上方に伸びるものである。689は口縁部外面に板状工具の端面を押し付け、頸部には粘土を充填して、充填した粘土に刻みを施しおのの巡らせている。

693～697は高杯である。いずれも脚部である。693や694は脚端部に凹線が巡っている。693は脚の中位にハケメが巡り、脚端部との間に小孔が上下2対穿たれその間に縱方向の条線が3条施されている。694も縱方向に条線が施される。697は脚根部と脚柱部に屈曲があり、屈曲部の下に小孔が穿たれている。

698は器台の脚部である。脚体部は緩く傾斜して脚端部に至る。脚端部は程直角に垂下して角張り気味に收める。脚部には凹線が3条巡る。脚体部との境には板状工具の端部を押し付けた刺突文が巡る。透かしが存在するが全形を窺いえない。

699～713は底部である。平底のものが多い。708は中央部分が少しボタン状に突出する。また710は底面外面に5カ所穿った跡があるが、貫通したものは底部からやや体部寄りの一か所だけである。711～713は穿孔されたものである。

714～736は土師器である。以下、器種毎に概観する。

714～719は甕型土器である。頸部がく字形に外反するもので、端部をやや角張り気味に收めるものや尖り気味に收めるもの(718)がある。

720は高杯である。体部上半が接合部で欠失している。脚柱部には円形の小孔がある。脚部は強く外側に広がっており、端部を尖り気味に納めている。

722～724は器台で、筒部や脚台部が出土している。

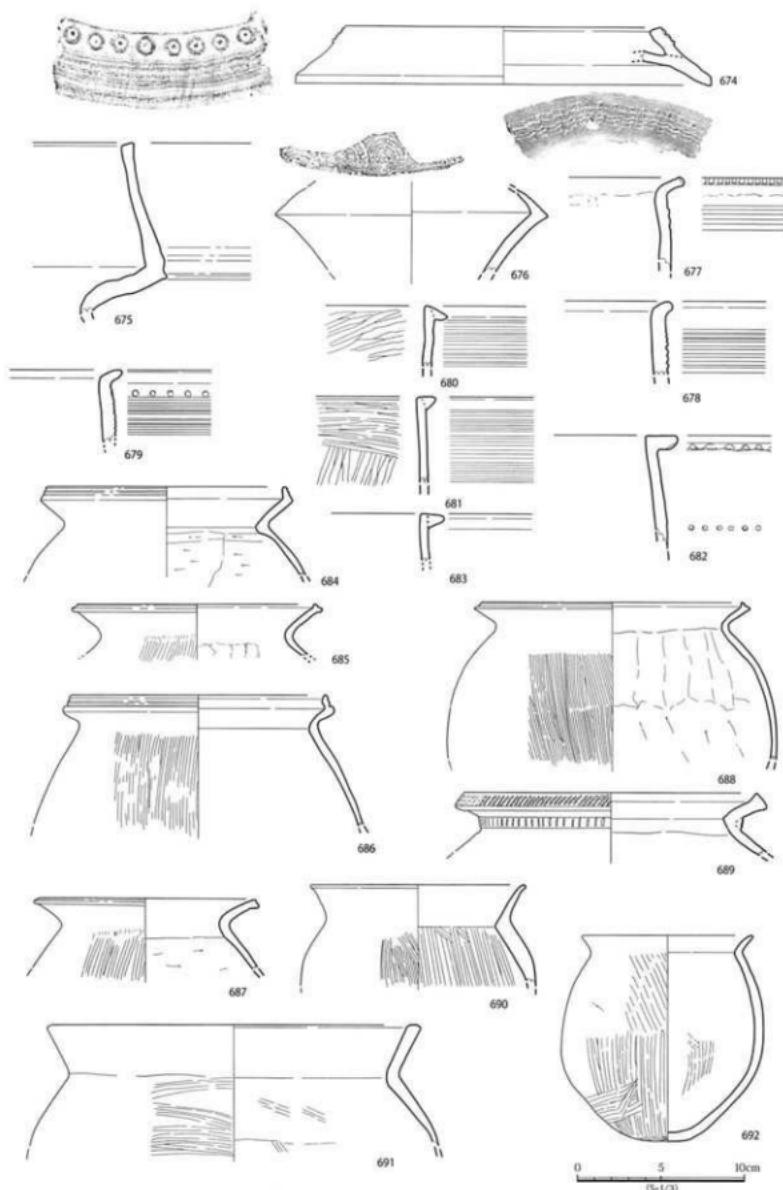
725は小型丸底壺である。中央部がやや膨らむ器高の低い体部をもち、口縁部が上方にやや外側に開きながら伸びており、端部を尖り気味に收めている。

726～728・733～734は手捏ね土器である。いずれも小型で、実用品とは言い難い。椀の様な器形や壺の様な器形などがある。

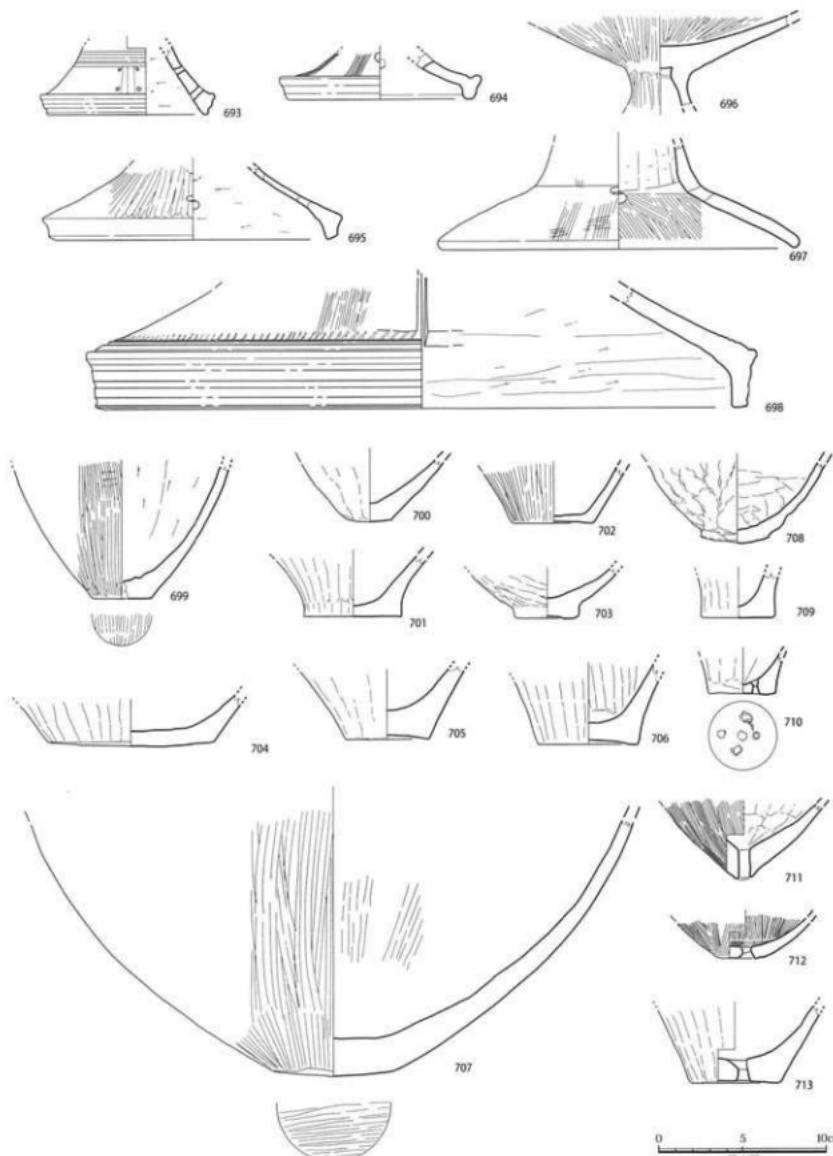
729～732は椀である。体部は外側斜め上方に比較的真っ直ぐのび、内湾気味に上方に伸びて口縁端部に至る。口縁端部はやや角張り気味に收める。外器面の中央部付近からヘラケズリが残っている。731のように器高が低い皿状のものもある。

735・736は鉢である。口縁部が端部付近でわずかに外側に開く。

737・738は製塙土器である。いずれも小片である。737は口縁部片で内外面ともに平行タタキが施されるが、内面と外面とでは方向が直行する。器壁は極めて薄い。738は胴部片で、外面に平行タタキが残っている。

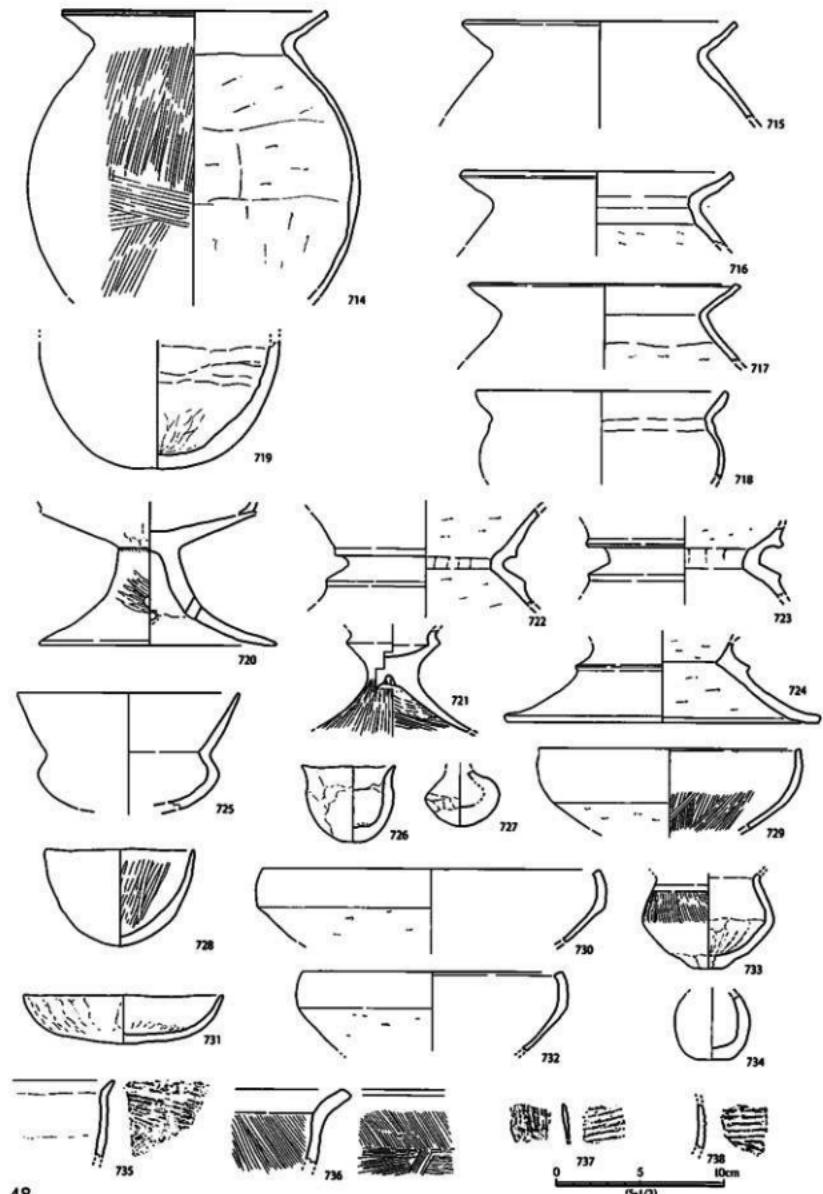


第38図 出土遺物実測図 32 (1:3)



第39図 出土遺物実測図 33 (1:3)

0 5 10cm  
(5-1/2)



第1表 出土土器観察表

遺物番号	種別	器種	法量(単位はm、カッコは復原値)			調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径						
1	縄文土器	深鉢・口縁部				外ヨコナデ?, 内ヨコナデ	砂粒を多く含む	普通	外 7.5YR5/2(灰褐色) 内 7.5YR4/2(灰褐色)		城陽区 SD1 西端検出面
2	縄文土器	深鉢・口縁部				外ヨコナデ, 内ヨコナデ	白色砂粒を多く含む	普通	外 10YR5/2(灰黄褐色) 内 10YR5/1(褐色)	刻み目凸帯	SD1 西側埋土
3	縄文土器	深鉢・口縁部				外ヨコナデ, 内ヨコナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 10YR8/1(灰白色) 内 10YR3/2(黒褐色)	貼り付け刻み目凸帯	SD1 東端7号
4	縄文土器	深鉢・口縁部				外ナデ, 内ナデ	(白色) 砂粒(石英・雲母)をわりと多く含む	普通	外 10YR8/3(浅黄褐色) 内 7.5YR8/4(浅黄褐色)	口縁端部刻み目, 貼付刻目凸帯	SD1 中央西側埋土
5	縄文土器	深鉢・口縁部				外ヨコナデ, 内ヨコナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	10YR8/4(浅黄褐色)	刻み目凸帯	SD1 C4区
6	縄文土器?	壺・胴部(頸部)				外ヨコナデ, 内ナデ?	砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外 7.5YR3/1(黒褐色) 内 7.5YR3/1(黒褐色)	刻み目凸帯2条	城陽区 SD1 中央部
7	弥生土器	壺・口縁部	(84)			外ヨコナデ, 内ヨコナデ	砂粒を含む	普通	外 5YR6/3(にふい相) 内 5YR6/6(相)	刻目凸帯三条(貼付による)	SD1 西端
8	弥生土器	壺・口縁部	(92)			外ヨコナデ・ハケメ, 内ヨコナデ・シボリ	砂粒(雲母・石英等)を含む	普通	外 7.5YR6/4(にふい相) 内 7.5YR6/4(にふい相)	刻み目口縁, 刻み目凸帯2条	SD1 西側埋土
9	弥生土器	壺・口縁部	(95)			外ナデ・ヨコナデ, 内ナデ	砂粒をわりと少なく含む	普通	外 10YR3/2(黒褐色) 内 10YR8/2(灰白色)	刻み目口縁, 凸帯2条	SD1 東側埋土
10	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ, 外ヨコナデ?	白色砂粒・雲母・輝石等をわりと多く含む	普通	外 2.5YR4/6(赤褐色) 内 7.5YR7/4(にふい相)	刻目凸帯5条	SD1 中央7号・北側下層
11	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ, 内ナデ	微砂粒を含む	普通	外 7.5YR7/4(にふい相) 内 7.5YR8/4(浅黄褐色)	刻み目口縁, 貼り付け凸帯2条	城陽区 SD1 西端トレハ
12	弥生土器	壺・口縁部	(92)			外ヨコナデ, 内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外 10YR8/1(灰白色) 内 10YR8/1(灰白色)	刻み目口縁, 凸帯2条	SD1 東側埋土
13	弥生土器	壺・口縁部	(180)			外ヨコナデ, 内ナデ	砂粒を含む	良好	外内 7.5YR6/4(にふい相)	口縁部格子目文, 口縁端部刻み目, 刻み目凸帯5条	SD1 中央
14	弥生土器	壺・口縁部	(147)			外ヨコナデ・ハケメ, 内ヨコナデ・ハケメ・ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 5YR6/4(にふい相) 内 7.5YR6/4(にふい相)	口縁端部刻み目, 貼り付け凸帯2条	SD1 東端部
15	弥生土器	壺・口縁部	(108)			外ヨコナデ, 内ヨコナデ・ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外 10YR8/2(灰白色) 内 10YR8/3(浅黄褐色)	貼付凸帯3条	SD1 東側埋土
16	弥生土器	壺・口縁部	(156)			外ヨコナデ, 内?・ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	外 10YR7/3(にふい黄褐色) 内 10YR7/2(にふい黄褐色)	口縁部格子目文, 口縁端部刻み目, 刻み目凸帯4条	城陽区 SD1 東側

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
17	弥生土器	壺・口縁部	(142)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外5YR5/6(明赤褐)内5YR6/6(橙)	貼付凸帯2条	SD1西端埋土
18	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/3(にふい相)内7.5YR8/4(浅黄相)	刻み口縁、刻み目凸帯2条	抜張区SD1中央部
19	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ・シボリ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にふい相)内5YR6/6(紅)	刻み口縁、刻み目凸帯	SD1東側埋土
20	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	粗砂粒を含む	普通	外5YR6/4(にふい相)内5YR7/4(にふい相)	口唇部格子目文、口縁端部刻目、刻目凸帯2条	SD1西埋土
21	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外5YR6/4(にふい相)内5YR6/6(相)	口唇部格子目文、刻み目凸帯4条	抜張区SD1東側
22	弥生土器	壺・口縁部	(130)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラミガキ	砂粒を比較的多く含む	普通	外5YR8/4(淡黄)内5YR8/1(灰白)	口唇部格子目文、刻み目凸帯4条、沈線、波状文	SD1トレンチ
23	弥生土器	壺・口縁部	(160)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	(白色)砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR8/2(灰白)内7.5YR8/2(灰白)	刻み目凸帯3条	SD1東側埋土
24	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	粗砂粒を含む	普通	7.5YR8/4(浅黄相)	口唇格子目文、刻目、刻目凸帯	SD1トレンチ
25	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR7/3(にふい相)内10YR7/2(にふい相)	刻み目凸帯2条	抜張区SD1中央部
26	弥生土器	壺・口縁部	(153)				外ヨコナデ・ナデ?、内ヨコナデ・ナデ?	粗砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/3(にふい相)内7.5YR8/1(灰白)	頭部に貼付け内帶	SD1西端埋土
27	弥生土器	壺・口縁部	(69)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外5YR6/6(相)内5YR6/4(にふい相)	刻み目凸帯	SD1東側7セ
28	弥生土器	壺・口縁部	(124)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラミガキ	砂粒をわりと多く含む	普通	外5YR7/3(にふい相)内5YR7/3(にふい相)	外面口縁部附近に炭化物付着	SD1西端埋土
29	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ・ナデ、内ヨコナデ	砂粒を含む	普通	外2.5YR5/6(明赤褐)内5YR6/6(相)	格子目文	SD1西端
30	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR4/2(浅黄)内7.5YR5/3(にふい相)	刻突文、格子目文	抜張区SD1西端部
31	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒をわりと含む	普通	外5YR6/6(相)内5YR6/6(相)	口唇部に格子目文、内面に連続刻突文	SD1中央東側埋土
32	弥生土器	壺・口縁部	(178)				外ナデ・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒(石英)を少し含む	やや甘い	外10YR8/3(浅黄相)内10YR8/1(灰白)	口縁端部格子目文	SD1中央西側埋土中
33	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	5YR6/4(にふい相)	円形浮文、同心半月文	SD1

遺物番号	種別	器種	法尺(単位はmm、カッコは復原値)			調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			上径	最大径	底径						
34	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒を多く含む	普通	口唇部縦曲面、内面から穿孔。幾何学文		SD1 C4区
35	弥生土器	壺・胴部片				外ナデ・ヘラケズリ、内ヘラケズリ	砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相)内5YR6/6(相)	植物の葉の圧痕	SD1 西埋土
36	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒(石英等)を含む	普通	外7.5YR6/3(にぶい相)内7.5YR7/4(にぶい相)	刻み目縦文、内面に刻み日凸帯3条	城陽区 SD1 東側
37	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ、内ナデ	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外5YR7/8(相)内5YR7/6(相)	口唇部格子目文、口縁部内面に重列点文	SD1 中央西付近
38	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(相)内7.5YR6/4(にぶい相)	波状文	城陽区 SD1 西端付近
39	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ、内ヨコナデ	白色砂粒をわりと多く含む	普通	外10YR8/3(浅黄相)内10YR8/3(浅黄相)	口唇部格子目文、無文凸帯5条、方形粘土帶2条1組單位で垂下	SD1 中央アビ
40	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ、内ヘラミガキ・ナデ	粗砂粒を含む	普通	外10YR8/3(浅黄相)内10YR8/3(浅黄相)	口唇部格子目文、縫部刻み目、貼り付け凸帯	城陽区 SD1 東端部
41	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ・ヘラミガキ、内ヨコナデ・ハケメ	粗砂粒を少し含む	やや付い	外2.5YR6/6(相)内2.5YR3/1(暗赤灰)	口縁部縦円形浮文、無刻痕	SD1 東端付近内
42	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ、内ヨコナデ	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外10YR7/3(にぶい黄相)内10YR5/3(にぶい黄相)	口唇部円形浮文、刻み目縦文、刻み目凸帯	SD1 東側埋土
43	弥生土器	壺・胴部上半				外ハケメ、内ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相)内2.5YR5/6(明赤相)	縫刻凹	SD1 東端埋土
44	弥生土器	壺・胴部片				外ヨコナデ、内ナデ	粗砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(相)内5YR6/6(相)	波状文並行条線の反復	SD1 西側 No.4 H付埋土中
45	弥生土器	壺・胴部		(60)		外ヨコナデ、内ヘラミガキ	白色砂粒をわりと多く含む	普通	外5YR7/1(明褐灰)内5YR7/4(にぶい相)	波状文並行条線の反復	SD1 西側 No.4 H付埋土中
46	弥生土器	壺・口縁部	(170)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ?	砂粒をわりと含む	普通	外5YR7/8(相)内5YR7/8(相)	口縁部縦部に壓縮文	SD1 中央薄埋土
47	弥生土器	壺・口縁部	(166)			外不明、内不明	砂粒を多く含む	普通	外2.5YR7/8(相)内2.5YR7/6(相)	壓縮文	SD1 C4区
48	弥生土器	壺・口縁部	(180)			外?、内ヨコナデ	砂粒(透明白)を多く含む	やや付い	外7.5YR7/6(相)内7.5YR3/1(黒褐)	壓縮文	SD1 西埋土
49	弥生土器	壺・口縁部				外ハケメ・ヨコナデ・ナデ、内ヨコナデ・ハケメ	砂粒を含む	普通	外5YR6/6(相)内5YR6/6(相)	壓縮文	城陽区 SD1 西端部
50	弥生土器	壺・口縁部	(195)			外ナデ、内ナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外5YR4/2(灰褐)内7.5YR8/4(没黄相)	端部四線、外側から内側に定間隔の小穿孔が巡る。	城陽区 SD1 西端部

遺物番号	種別	器種	法寸(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
51	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	微砂粒を比較的多く含む	普通	外10YR6/1(褐灰)内10YR8/2(灰白)	凹線3条、格子目文	SD1 C4区
52	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	微砂粒を含む	良好	外内10YR7/3(にぶい黄橙)	擬四線、連續刻突文	SD1 中央東埋土
53	弥生土器	壺・口縁部					外内?	粗砂粒を含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい橙)内7.5YR7/4(にぶい橙)	円形スタンプ文、網目文	拡張区 SD1 西端部
54	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内?	粗砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外7.5YR7/4(にぶい橙)内5YR7/6(橙)	網目文+円形スタンプ文	SD1 東側埋土
55	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒を含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい橙)内5YR7/6(橙)	円形スタンプ文、網目文	拡張区 SD1 西端部
56	弥生土器	壺・口縁部	(248)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR8/6(浅黄橙)内7.5YR8/6(浅黄橙)	連續刻突文	SD1 西埋土
57	弥生土器	壺・口縁部	(90)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ?	微砂粒を少し含む	普通	外10YR8/1(灰白)内10YR8/1(灰白)	凹線2条	SD1 東側埋土
58	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ・ナデ、内ヨコナデ	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外10R5/8(赤)内10R5/8(赤)	四線	SD1 西側埋土
59	弥生土器	壺・口縁部	(202)				外ヨコナデ?、内ヨコナデ?	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR8/6(浅黄橙)内7.5YR7/4(にぶい橙)	凹線4条	SD1 東端部
60	弥生土器	壺・口縁部	(203)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい橙)内7.5YR7/4(にぶい橙)	凹線3条	SD1 東側埋土
61	弥生土器	壺・口縁部	(164)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒を含む	普通	外5YR7/6(橙)内5YR7/6(橙)		拡張区 SD1 西端部レギ
62	弥生土器	壺・口縁部	(195)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒(雲母・石英等)をやや含む	普通	外10YR8/2(灰白)内10YR8/3(浅黄橙)		SD1 西側埋土
63	弥生土器	壺・口縁部	(169)				外ヨコナデ・ハケメ、内?・ハケメ+ナデ・ハケメ	砂粒を少し含む	普通	外2.5YR5/6(明赤褐)内2.5YR6/8(橙)	二重に続く縫の可能性も?	SD1 東側埋土
64	弥生土器	壺・口縁部	(156)				外ヨコナデ・ハケメ・ヨコナデ、内?	砂粒を少し含む	普通	外2.5YR5/6(明赤褐)内2.5YR6/6(橙)		拡張区 SD1 中央部
65	弥生土器	壺・口縁部	(107)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(橙)内5YR6/6(橙)		拡張区 SD1 中央部レギ
66	弥生土器	壺・口縁部	(140)				外?+ハケメ、内ヨコナデ・ナデ?	砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(橙)内5YR5/6(明赤褐)	凹線3条、頭部連續刻突文	拡張区 SD1 東端部
67	弥生土器	壺・口縁部	(103)				外ナデ・ハケメ、ヨコナデ?	微砂粒を少し含む	やや甘い	外10YR8/3(浅黄橙)内10YR8/3(浅黄橙)	口縁端部刻突文	拡張区 SD1 東端部
68	弥生土器	壺・口縁部	(226)				外ヨコナデ・ヘラミガキ、内ヨコナデ・ヘラミガキ	砂粒をわずかに含む	やや甘い	外5YR6/6(橙)内5YR6/6(橙)	円形浮文	拡張区 SD1 中央部

遺物 番号	種別	器種	法寸（単位はmm。カッコは復原値）				調整 様式等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	腹大径	底深	器高						
69	弥生 土器	壺・口 縁部					外ヨコナデ・ヘラ ミガキ・ハケメ -?・内ヘラミガ キ	砂粒を少 し含む	普通	外2.5YR6/6 (橙) 内2.5YR6/6 (橙)		SD1 東側 埋土
70	弥生 土器	壺・口 縁部	(130)				外ヨコナデ・指ナ デ・内ナデ・ヘラ ミガキ	砂粒を少 し含む	普通	外7.5YR4/1 (褐灰) 内7.5YR3/1 (黒褐)		城源区 SD1 東端
71	弥生 土器	壺・口 縁部	(192)				外ヨコナデ・内 ヨコナデ	砂粒を含 む	普通	外7.5YR7/4 (にぶ い橙) 内7.5YR7/4 (にぶい橙)	凹線多条	城源区 SD1 中央 部
72	弥生 土器	壺・口 縁部	(159)				外ヨコナデ・内? ・ヨコナデ	粗砂粒を 少し含む	やや甘 い	外5YR5/4 (に ぶい赤褐) 内 5YR6/6 (橙)	凹線4条	城源区 SD1 東山 手
73	弥生 土器	壺・頸 部					外ヨコナデ・ハケ メ・内ヨコナデ	白色砂粒・ 母貝等を 含む	普通	外7.5YR8/3 (浅 黄橙) 内7.5YR7/4 (にぶい橙)	頸部に貼付 凸槽3条	SD1 中央 部埋土
74	弥生 土器	壺・頸 部	(104)				外ハケメ+ヘラ ミガキ・ヨコナ デ・内ヨコナデ・ ヘラミガキ・ヨコ ナデ	微砂粒を 少し含む	普通	10YR7/4 (にぶい 黄橙)		SD1 C4 区
75	弥生 土器	壺・頸 部下半					外?・内?-ナデ	微砂粒を 含む	やや甘 い	外5YR5/4 (に ぶい赤褐) 内 10YR7/3 (にぶい 黄橙)	凸槽2条、 垂下粘土	SD1 西埋 土
76	弥生 土器	壺	(208)				外ヨコナデ・内 ヨコナデ	砂粒を比 較的多く 含む	やや甘 い	10YR8/2 (灰白)		SD1 北側 粘土坑
77	弥生 土器	壺・口 縁~頸 部		(52)			外ヨコナデ・ハケ メ・内ヨコナデ・ ナデ・ヘラケズリ	砂粒(白 色・石英 等)を少 し多く含 む	普通	外10YR7/4 (に ぶい黄橙) 内 10YR7/3 (にぶい 黄橙)		SD1 西端 部埋土中
78	弥生 土器	壺	(170)				外ヨコナデ・ハケ メ・内ヨコナデ	砂粒を含 む	普通	外10YR7/4 (に ぶい黄橙) 内 10YR7/4 (にぶい 黄橙)		SD1 西端 埋土
79	弥生 土器	壺・口 縁~胴 部上半	(146)				外ヨコナデ・ハケ メ・内ヨコナデ・ ナデ?-?	砂粒を含 む	普通	外5YR6/6 (橙) 内10YR8/3 (浅黄 橙)	断面サンドイチ 状、凹線4 条かすかに 残る	城源区 SD1 東端 部
80	弥生 土器	壺・口 縁~胴 部上半	(148)				外?・内?-ハケ メ?	砂粒を含 む	やや甘 い	外5YR6/6 (橙) 内5YR6/6 (橙)		SD1 東側 埋土
81	弥生 土器	壺?・ 口縁部	(170)				外ヨコナデ+ハ ケメ・内ヨコナ デ+ハケメ	微砂粒を 含む(母 貝多い)	普通	外7.5YR6/4 (にぶ い橙) 内7.5YR6/4 (にぶい橙)		城源区 SD1 中央 部
82	弥生 土器	壺・口 縁部	(170)				外ヨコナデ・内 ヨコナデ	砂粒を少 し含む	普通	5YR7/4 (にぶい 橙)	沈線3条、 頸部連續斜 突交	SD1 C4 区
83	弥生 土器	壺・口 縁部	(93)				外ヨコナデ・ハケ メ・内ヨコナデ・ ヘラケズリ	砂粒を少 し含む	普通	7.5YR8/4 (浅黄 橙)		SD1 東 端付近
84	弥生 土器	壺・頸 部		(118)			外ヨコナデ・内ヨ コナデ・ナデ?-?	微砂粒を 少し含む	普通	外10YR8/3 (浅黄 橙) 内10YR8/3 (浅 黄)		城源区 SD1 中央 部
85	弥生 土器	壺・口 縁部	(190)				外ヨコナデ・内 ヨコナデ	砂粒を少 し含む	普通	7.5YR8/2 (灰白)		SD1 中 央西側

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)			調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径						
86	弥生土器	壺・類部		(108)		外?・ハケメ+ナデ・ハケメ?+ヘラミガキ、内?-ハケメ	砂粒を少し含む	ややけい	外10YR8/3(浅黄)内2.5YR7/6(橙)		拡張区SDI中央部
87	弥生土器	壺・口縁部	(131)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	10YR8/2(灰白)		SDIトレンチ
88	弥生土器	壺・口縁部	(180)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ・ヨコナデ	砂粒を含む	良好	外5YR7/6(橙)内10YR7/4(にぶい黄橙)	型成形	SDI中央
89	弥生土器	壺・口縁部	(156)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ・ヘラケズリ+ナデ	砂粒を含む	良好	外内7.5YR7/6(橙)		SDI中央
90	弥生土器	壺・口縁部	(110)			外内?	砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR8/4(浅黄橙)内10YR8/2(灰白)	口縁部直下に穿孔	SDI中央西側埋土中
91	弥生土器	小型壺	(75)			外ナデ?、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	微砂粒を少し含む	普通	外5.5YR6/4(にぶい橙)内5YR8/1(灰白)		拡張区SDI西側
92	弥生土器	壺・類部				外内?	砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(橙)内5YR8/1(灰白)		SDI西側埋土
93	弥生土器	壺・類部				外ハケメ・ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を多く含む	ややけい	5YR6/4(にぶい橙)	連續刺突、劍目凸帯	SDI C4区
94	弥生土器	壺・口縁部	(112)			外ヨコナデ+ヘラミガキ・ナデ+ヘラミガキ、内ヨコナデ?	微砂粒を少し含む	普通	外10YR8/2(灰白)内7.5YR8/4(浅黄橙)		SDI東端部埋土
95	弥生土器	壺・口縁部	(122)			外ヘラミガキ、内ヨコナデ	砂粒を含む	普通	外5YR6/4(にぶい橙)内5YR6/4(にぶい橙)		SDI東端部
96	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ・ナデ、内ヨコナデ・ナデ	微砂粒をわずかに含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい橙)内7.5YR6/4(にぶい橙)		拡張区SDI西端部
97	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ・内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外5YR6/4(にぶい橙)内5YR5/4(にぶい赤橙)	刻み目口縁、ヘラ描き沈線、列点文	SDI西端
98	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ナデ?	砂粒を少し含む	ややけい	外7.5YR8/4(浅黄橙)内7.5YR8/2(灰白)	刻み目口縁、ヘラ描沈線	SDI東側埋土
99	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外10YR3/1(深赤)内10YR5/1(深赤)	ヘラ描沈線	SDI東端部
100	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外2.5YR6/8(橙)内2.5YR6/6(橙)	刻み目口縁、沈線4条	拡張区SDI西端レジ
101	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ?	砂粒をわりと多く含む	少しけい	外7.5YR4/2(灰橙)内7.5YR6/2(灰橙)	刻み目口縁	SDI東端埋土
102	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ、内ナデ	微砂粒を少し含む	ややけい	外7.5YR8/2(灰白)内10YR8/1(灰白)	刻み目口縁、ヘラ描沈線	SDI東端部
103	弥生土器	壺・口縁部				外ナデ・ハケメ+平行条線、内ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR6/4(橙)内7.5YR8/6(浅黄橙)	口縁肥厚部は折込みと思われる	SDI東端部埋土
105	弥生土器	壺・口縁部	(160)			外ヨコナデ・ハケメ、内ナデ	微砂粒を含む	良好	外内5YR5/3(にぶい赤橙)		SDI中央
106	弥生土器	壺・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR6/3(にぶい橙)内7.5YR7/3(にぶい橙)		SDI東側埋土

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)			調整文様等	胎上	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径						
107	弥生土器	甕・口縁部				外ヘラガキ・ナデ・ヘラガキ、内ヨコナデ・ヘラミガキ	砂粒を含む	普通	10YR8/2(灰白)		SD1 C4区
108	弥生土器	甕・口縁部	(173)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ	白色砂粒(石英、雲母等)を含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相)内7.5YR7/6(相)	L字状口縁	拡張区SD1西端埋土
109	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ、内ヨコナデ・?	粗砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外2.5YR6/6(相)内2.5YR6/4(にぶい相)	櫛描沈線	拡張区SD1中央部
110	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラミガキ	砂粒を含む(雲母・石英等)	普通	外7.5YR7/4(にぶい相)内7.5YR7/4(にぶい相)	L字状口縁	SD1西端部
111	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒を含む	普通	外5YR6/4(にぶい相)内5YR6/4(にぶい相)		SD1東側埋土
112	弥生土器	甕・口縁部				外ナデ・ハケメ、内ナデ	微砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR6/6(相)内5YR6/6(相)		拡張区SD1中央トレンチ
113	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ、内ヘラミガキ	砂粒をわりと多く含む	普通	外10YR7/4(にぶい黄相)内10YR6/2(灰黄相)		拡張区SD1西端トレンチ
114	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ、内ヘラミガキ	微砂粒を含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい相)内5YR6/6(相)		拡張区SD1東側
115	弥生土器	甕・口縁部				外ナデ・ハケメ、内ヘラミガキ	砂粒をわりと多く含む	普通	外2.5YR6/6(相)内2.5YR4/1(赤灰)	二次焼成を受けた(産業後)可能性あり	拡張区SD1中央部
116	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ、内ヘラミガキ	微砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR6/6(相)内7.5YR7/6(相)		SD1東端埋土
117	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ、内ヨコナデ	微砂粒を含む	普通	外2.5YR5/8(明赤相)内2.5YR6/8(相)	口縁端部削目	SD1西端埋土
118	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外5YR5/6(明赤相)内5YR5/6(明赤相)		拡張区SD1西端部
119	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ・ナデ・ハケメ、内不明内ヘラミガキ	砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外7.5YR5/1(陶灰)内7.5YR8/1(灰白)		拡張区SD1東側
120	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ、内ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/6(相)内7.5YR7/4(にぶい相)		拡張区SD1中央部
121	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ、内ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(相)内7.5YR8/4(淡黄相)		SD1東側埋土
122	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ、内ミガキ	砂粒を含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相)内7.5YR7/4(にぶい相)	凸帯	拡張区SD1東端部
123	弥生土器	甕・口縁部				外ヨコナデ、内ヘラミガキ	微砂粒を少し含む	普通	外10YR7/4(にぶい黄相)内10YR7/4(にぶい黄相)	刻み目口縁、刻み目凸帯1条	拡張区SD1西端トレンチ

遺物番号	種別	器種	法寸(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
124	弥生土器	甕・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外 10YR8/1(灰白) 内 10YR8/1(灰白)	刻目凸帯	SD1 西埋土
125	弥生土器	甕・口縁部					外ヨコナデ、内?	砂粒をわずかに含む	普通	外 7.5YR7/3(にぶい黄橙) 内 7.5YR3/1(黒褐)		SD1 東端埋土
126	弥生土器	甕・口縁部					外ナデ・ハケメ、内ナデ・ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	外 7.5YR6/2(灰褐) 内 7.5YR6/1(黒褐)		SD1 東端部埋土
127	弥生土器	甕・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 2.5YR6/8(橙) 内 2.5YR6/8(橙)	貼付凸帯	SD1 西埋土
128	弥生土器	甕・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	微砂粒・砂粒を多く含む	やや不良	外内 5YR7/6(橙)	貼付け凸帯	SD1 中央
129	弥生土器	甕・口縁部					外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒を含む	普通	外 5YR7/6(橙) 内 5YR5/4(にぶい赤褐)	凸帯2条	扯張区 SD1 東端部
130	弥生土器	甕・口縁部					外ヨコナデ・ヘラミガキ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラミガキ	砂粒を少し含む	良い	外 7.5YR3/2(混褐色) 内 7.5YR7/4(にぶい橙)		SD1 北東
131	弥生土器	甕・口縁部					外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・?ハケメ+ヘラミガキ等	砂粒(笠母・石英等)を含む	良い	外 7.5YR6/3(にぶい橙) 内 5YR6/4(にぶい橙)		SD1 東端埋土
132	弥生土器	甕・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 2.5YR3/2(暗赤褐) 内 2.5YR3/3(暗赤褐)	刻目凸帯	SD1 西埋土
133	弥生土器	甕・口縁部					外ナデ、内ヨコナデ・ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	外 5YR6/6(橙) 内 5YR3/6(暗赤褐)	口部部連続刺突文、頸部刻目凸帯	SD1 C4区
134	弥生土器	甕・胴部片					外ヨコナデ、内不明	砂粒を比較的多く含む	やや付い	外 5YR6/6(橙) 内 5YR3/6(暗赤褐)	凸帯3条	SD1 C4区
135	弥生土器	甕・口縁部	(169)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒(笠母・石英等)を含む	やや付い	外 5YR6/4(にぶい橙) 内 5YR7/3(にぶい橙)	凹線4条	SD1 中央西端埋土
136	弥生土器	甕・口縁部	(154)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	微砂粒を少し含む	やや付い	外 7.5YR8/4(浅黄橙) 内 7.5YR8/4(浅黄橙)		SD1 西埋土
137	弥生土器	甕・口縁部	(188)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラミガキ	砂粒を含む	普通	外 5YR7/6(橙) 内 5YR8/2(灰白)		SD1 東端埋土
138	弥生土器	甕・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外 7.5YR4/1(褐紅) 内 7.5YR7/3(にぶい橙)		SD1 東端埋土
139	弥生土器	甕・口縁部	(162)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 7.5YR6/4(にぶい橙) 内 5YR6/6(橙)	凹線4条	SD1 西端埋土
140	弥生土器	甕	(126)				外ヨコナデ・ハケメ+ヨコナデ、内ヨコナデ・ハケメ	微砂粒を比較的多く含む	普通	外 7.5YR7/6(橙) 内 5YR7/6(橙)	凹線3条	SD1 C4区

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)			調整 文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径						
141	弥生土器	甕・口縁部	(250)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ	砂粒を少しあむ	普通	外10YR8/2(灰白)内10YR6/2(灰黄褐色)	凹線4条、刻目	SD1 C4区
142	弥生土器	甕・口縁部	(106)			外ヨコナデ、内ヨコナデ・?ナデ・ヘラケズリ	砂粒を少しあむ	普通	外5YR6/4(にぶい橙)内7.5YR7/4(にぶい橙)		拡張区 SD1 西端部
143	弥生土器	甕・口縁部	(120)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒を比較的多く含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい橙)内10YR7/3(にぶい黄橙)	凹線3条	SD1 C4区
144	弥生土器	甕・口縁~胴部上半				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・?	砂粒を含む	やや甘い	外10YR7/3(にぶい黄橙)内10YR8/2(灰白)	脚部外面に黒斑	拡張区 SD1 東端部レジ
145	弥生土器	甕・口縁~胴部上半	(148)			外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	粗砂粒を含む	普通	外10YR7/3(にぶい黄橙)内10YR7/4(にぶい黄橙)		SD1 西端埋土
146	弥生土器	甕	(205)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ+ナデ	砂粒を少しあむ	普通	外5YR6/6(橙)内7.5YR7/4(にぶい橙)		SD1 西側埋土
147	弥生土器	甕・口縁~胴部	(132)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・?	微砂粒をわずかに含む	やや甘い	外5YR7/8(橙)内2.5YR7/8(橙)		拡張区 SD1 中央部
148	弥生土器	甕・口縁~胴部上半	(99)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	微砂粒を少し含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい橙)内7.5YR3/1(黒褐)	M500と同一個体か?△部7.5YR3/1(黒褐)	SD1 西端部レジ
149	弥生土器	甕	(138)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・?	微砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR7/4(にぶい橙)内5YR7/4(にぶい橙)		SD1 東端部レジ
150	弥生土器	甕	(153)			外?・ハケメ、内?	砂粒を少しあむ	普通	外2.5YR6/8(橙)内5YR7/6(橙)		SD1 中央西端 N中層
151	弥生土器	甕・口縁~胴部上半	(128)			外?、内ヨコナデ・ハケメ・ナデ・ハケメ	砂粒を少しあむ	やや甘い	外5YR6/6(橙)内2.5YR5/6(明赤褐色)		SD1 中央西側埋土
152	弥生土器	甕・口縁~胴部上半	(122)			外内?	砂粒を少しあむ	やや甘い	外2.5YR7/6(橙)内2.5YR6/8(橙)	かすかに凹線1条残る	拡張区 SD1 西端部レジ
153	弥生土器	甕・口縁~胴部	(164)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒を少しあむ	普通	外5YR5/6(明赤褐色)内5YR5/4(にぶい赤褐色)		SD1 中央部埋土
154	弥生土器	甕・口縁~胴部上半	(141)			外ヨコナデ・ハケメ、内?・ヘラケズリ	砂粒を少しあむ	やや甘い	外5YR5/6(明赤褐色)内7.5YR7/3(にぶい橙)	凹線1条	SD1 東側埋土
155	弥生土器	甕・口縁~胴部上半	(160)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒を少しあむ	普通	外7.5YR7/4(にぶい橙)内7.5YR7/4(にぶい橙)	凹線1条	拡張区 SD1 西端部レジ
156	弥生土器	甕・口縁~胴部上半	(145)			外ヨコナデ・?、内ヨコナデ・?・ヘラケズリ	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR7/6(橙)内7.5YR6/6(橙)	凹線1条	SD1 中央西側埋土

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
157	弥生土器	壺・口縁～胴部上半	(123)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外10YR8/1(灰白)内10YR8/1(灰白)		城張区SD1中央部
158	弥生土器	壺・口縁～胴部上半	(160)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR6/6(橙)内10YR8/3(浅黄橙)	四線1条	城張区SD1西端トレス
159	弥生土器	壺・口縁部	(153)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい橙)内10YR7/3(にぶい黄橙)	四線1条、外面スス付着	SD1 C4区
160	弥生土器	壺・口縁～胴部上半	(166)				外ヨコナデ・ハケメ、内?・ヨコナデ?	粗砂粒をわずかに含む	やや甘い	外7.5YR6/4(にぶい橙)内7.5YR6/4(にぶい橙)		城張区SD1東側
161	弥生土器	壺・口縁	(128)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し多く含む	普通	外2.5YR5/8(明赤褐)内2.5YR5/8(明赤褐)	四線3条	SD1西端部
162	弥生土器	壺・口縁	(150)				外ヨコナデ?、内ヨコナデ?	砂粒を少し含む	普通	外2.5YR7/6(橙)内2.5YR6/8(橙)	四線3条	SD1中央南側埋土
163	弥生土器	壺・口縁～胴部上半	(119)				外ヨコナデ・ヘラミガキ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	微砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい橙)内5YR7/6(橙)		SD1東端部
164	弥生土器	壺・口縁～胴部上半	(156)				外ヨコナデ?、内ヨコナデ?	砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR7/6(橙)内2.5YR7/6(橙)		SD1中央部埋土
165	弥生土器	壺・口縁～胴部上半	(144)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ?	白色砂粒・粗砂粒・微砂粒を少し含む	普通	外2.5YR6/8(橙)内2.5YR6/8(橙)		SD1西端埋土
166	弥生土器	壺・口縁～胴部上半			(125)		外?・ハケメ・ヘラミガキ・ナデ、内?	微砂粒を少し含む	甘い	外7.5YR7/3(にぶい橙)内5YR6/6(橙)	四線2条かすかに残る	城張区SD1中央7セ
167	弥生土器	壺・口縁～胴部上半	(126)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ?	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/3(にぶい橙)内7.5YR7/6(橙)	四線風	SD1中央西側埋土
168	弥生土器	壺・口縁～胴部上半	(128)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・指ナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外2.5YR6/6(橙)内2.5YR5/6(明赤褐)		城張区SD1中央部
169	弥生土器	壺・口縁～胴部上半	(128)				外ヨコナデ・ヨコナデ+ヘラミガキ、内ヨコナデ?	砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR7/6(橙)内5YR7/6(橙)	四線2条	SD1中央部西側埋土中
170	弥生土器	壺・口縁～胴部上半	(111)				外?・内ヨコナデ?	微砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR7/6(橙)内5YR7/6(橙)	四線3条	城張区SD1東側
171	弥生土器	壺・口縁～胴部上半	(113)				外ヨコナデ・ハケメ?、内ヨコナデ?	微砂粒を含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい橙)内7.5YR8/6(浅黄橙)	四線5条	SD1中央7セ上層
172	弥生土器	壺・口縁部	(146)				外ヨコナデ、内ヨコナデ?	粗砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外5YR6/6(橙)内7.5YR7/4(にぶい橙)	四線4条	SD1中央部西側埋土中
173	弥生土器	壺・口縁部	(150)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	微砂粒をわずかに含む	普通	外10YR8/2(灰白)内10YR8/1(灰白)		SD1西埋土

遺物番号	種別	器種	法寸(単位はmm、カッコは厘米値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
174	弥生土器	甕・口縁部	(110)				外内?	砂粒を少し含む	ややはじい	外2.5YR6/6(桔)内2.5YR6/8(桔)	四線3条	城陽区SD1東端部
175	弥生土器	甕・口縁部	(146)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい桔)内7.5YR7/4(にぶい桔)	四線3条	城陽区SD1中央部
176	弥生土器	甕・口縁部	(110)				外ヨコナデ・ハケメ+ナデ、内?	砂粒を少し含む	ややはじい	外5YR7/6(桔)内5YR6/6(桔)		城陽区SD1東端部
177	弥生土器	甕・口縁部	(115)				外ヨコナデ、内ヨコナデ-?	砂粒をや多く含む	ややはじい	外10YR8/4(浅黄桔)内10YR8/3(浅黄桔)	お四線4条	SD1西埋土
178	弥生土器	甕・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	微砂粒を含む	良好	外10YR4/1(褐灰)内10YR7/3(にぶい黄桔)		SD1中央東理土
179	弥生土器	甕・口縁部				(120)	外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい桔)内7.5YR7/4(にぶい桔)	四線2条	城陽区SD1中央部
180	弥生土器	甕・口縁部	(140)				外?、内ヨコナデ-?	微砂粒を少し含む	ややはじい	外2.5YR6/6(桔)内5YR7/8(桔)		SD1東側埋土
181	弥生土器	甕・口縁部	(136)				外?・ハケメ?、内?・ナデ-?	砂粒を含む	普通	外5YR5/6(明赤桔)内5YR4/6(赤桔)		城陽区SD1東側
182	弥生土器	甕・口縁部	(162)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	微砂粒を少し含む	ややはじい	外2.5YR8/1(灰白)内2.5YR8/1(灰白)		SD1中央
183	弥生土器	甕・口縁部	(153)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR8/3(浅黄桔)7.5YR5/1(褐灰)		SD1トレンチ
184	弥生土器	甕・口縁部	(110)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR6/6(桔)内7.5YR6/4(にぶい桔)		SD1東側埋土
185	弥生土器	甕・口縁部	(143)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ	粗砂粒をわりと多く含む	ややはじい	外7.5YR7/4(にぶい桔)内7.5YR6/4(にぶい桔)		SD1中央埋土
186	弥生土器	甕・口縁部	(126)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	微砂粒を含む	普通	外5YR7/4(にぶい桔)内5YR7/4(にぶい桔)		SD1東端部
187	弥生土器	甕・口縁部	(142)				外ナデ・ハケメ、内ナデ・ヘラケズリ	微砂粒を少し含む	普通	外5YR6/4(にぶい桔)内5YR6/4(にぶい桔)		SD1東端部
188	弥生土器	甕・口縁部	(153)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を含む	良好(内部黒褐)	外内7.5YR6/4(にぶい桔)	頸部内面に2枚目による刺突有り	SD1中央埋土
189	弥生土器	甕・口縁部	(130)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ・ハナデ	砂粒を含む	良好	外内10YR6/4(にぶい黄桔)		SD1中央埋土
190	弥生土器	甕・口縁部	(256)				外ヨコナデ・ハケメ・ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい桔)内10YR7/4(にぶい黄桔)		SD1南粘土坑
191	弥生土器	甕・口縁部	(160)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ+ナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい桔)内5YR7/5(桔)	四線1条	城陽区SD1西端部

遺物番号	種別	器種	法寸（単位はmm、カッコは復原値）				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土土地点
			口径	最大径	底径	器高						
192	弥生土器	壺・口縁部	(143)				外ヨコナデ・内？-ナデ-？	砂粒を少し含む	やや甘い	外7.5YR7/4 (にぶい相) 内7.5YR8/4 (浅黄相)	凹線1条	城郭区 SD1 西端部
193	弥生土器	壺・口縁部	(153)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ-？	微砂粒を少し含む	普通	外10YR8/2 (灰白) 内10YR8/2 (灰白)	凹線1条	城郭区 SD1 西端部
194	弥生土器	壺・口縁部	(219)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ-？	微砂粒を少し含む	やや甘い	外10YR8/4 (浅黄相) 内10YR8/4 (浅黄相)		城郭区 SD1 中央部
195	弥生土器	高杯・口縁部	(168)				外ヨコナデ・ヘラミガキ、内？	微砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6 (相) 内5YR7/8 (相)	口唇部凹線	SD1 中央アベ
196	弥生土器	高杯・口縁部					外？、内ヨコナデ・ヘラミガキ	砂粒をわずかに含む	普通	外7.5YR7/6 (相) 内10YR7/4 (にぶい黄相)		SD1 中央アベ S中附
197	弥生土器	高杯・口縁部	(224)				外ヨコナデ・ヘラミガキ、内？-ヘラミガキ	砂粒をわずかに含む	やや甘い	外5YR7/6 (相) 内5YR7/6 (相)		SD1 西埋土
198	弥生土器	高杯・坏部	(180)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ・ヘラミガキ	微砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6 (相) 内2.5YR5/6 (明赤相)		SD1 東側埋土
199	弥生土器	高杯・坏部	(186)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	外2.5YR6/4 (にぶい相) 内10YR8/4 (浅黄相)	凹線3条	SD1 C4区
200	弥生土器	高杯・口縁部	(197)				外内？	砂粒を含む	やや甘い	外2.5YR7/8 (相) 内2.5YR7/8 (相)		SD1 西端埋土
201	弥生土器	高杯・口縁部	(208)				外？、内ヨコナデ	砂粒をやや多く含む	普通	外10YR7/3 (にぶい黄相) 内7.5YR7/6 (相)		SD1 東側埋土
202	弥生土器	高杯・坏 (口縁部)	(230)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4 (にぶい相) 内2.5YR6/6 (相)		SD1 中央部埋土
203	弥生土器	高杯・坏部	(222)				外ヨコナデ-？、内ヨコナデ-ヘラミガキ	砂粒を少し含む	良い～普通	外2.5YR7/6 (相) 内7.5YR7/4 (にぶい相)		SD1 西埋土
204	弥生土器	高杯・坏	(227)				外ヨコナデ-ヘラミガキ+ナデ、内ヨコナデ-ヘラミガキ	砂粒をわずかに含む	普通	外5YR5/4 (にぶい赤相) 内2.5YR6/6 (相)		城郭区 SD1 中央アベ
205	弥生土器	高杯 or 器台・口縁部	(206)				外ヨコナデ-？、内ヨコナデ-？	微砂粒・粗砂粒を含む	普通	外5YR7/6 (相) 内5YR6/6 (相)	凹線4条	SD1 中央東埋土中
206	弥生土器	高杯・坏部 (口縁～体部)	(202)				外ヨコナデ・ヘラミガキ、内ヨコナデ・ヘラミガキ・ヨコナデ・ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	外2.5YR6/6 (相) 内2.5YR6/6 (相)		SD1 中央部埋土
207	弥生土器	高杯・口縁部	(162)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヘラミガキ+ヨコナデ	微砂粒を少し含む	普通	外10R5/6 (赤) 内10R5/6 (赤)		SD1
208	弥生土器	高杯・坏部	(165)				外ヨコナデ・ハケメ、内？-ハケメ-？	微砂粒を少し含む	普通	外2.5YR5/8 (明赤相) 内2.5YR5/8 (明赤相)		城郭区 SD1 西端部
209	弥生土器	高杯・口縁部～体部	(222)				外？、内ヨコナデ-？	微砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4 (にぶい相) 内7.5YR7/4 (にぶい相)		SD1 西端埋土

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
210	弥生土器	高杯 or 环・LI脚部					外ヨコナデ・ヘラミガキ、内ヨコナデ・ハケメ・ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 10YR8/2(灰白) 内 10YR5/1(褐灰)		SD1 東側埋土
211	弥生土器	高杯・脚部	(136)				外ヨコナデ、内ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外 7.5YR7/4(にぶい相) 内 7.5YR6/6(相)		SD1 中央西7ピース
212	弥生土器	高杯・脚柱部		133			外内?	砂粒を少し含む	やや甘い	外 7.5YR7/6(相) 内 2.5YR6/8(相)		SD1 東端7ピース
213	弥生土器	高杯・脚部					外ヨコナデ、内ヘラケズリ・ヨコナデヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外 7.5YR7/2(明 闇灰) 内 7.5YR6/3(にぶい相)	円形の穿孔、四線4条、線刻有	SD1 東端埋土
214	弥生土器	高杯・脚部			(92)		外ナデ、内ヘラケズリ	砂粒を含む	やや不良	外内 10YR6/2(灰 黄相)	小孔2列	SD1 東埋土
215	弥生土器	高杯・脚部			(158)		外ヨコナデ、内ヘラケズリ・ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外 10R5/8(赤) 塗彩内 10YR7/4(にぶい黄相)	小さな円形透かし上、下、横凹線	拡張区 SD1 東端部
216	弥生土器	高杯・环部の充填粘土					外?、内ナデ	粗砂粒・砂粒を含む	やや甘い	外 5YR7/4(にぶい相) 内 5YR6/4(にぶい相)		拡張区 SD1 中央部
217	弥生土器	高杯・环底部					外内?	砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外 内 5YR6/6(相)		SD1 西側 No.2 ハッチ
218	弥生土器	高杯・脚柱部		42			外?、内?-ナデ・シボリ?-	砂粒を少し含む	やや甘い	外 7.5YR7/4(にぶい相) 内 5YR7/4(にぶい相)		SD1 西埋土
219	弥生土器	高杯・脚柱部		(66)			外ヘラミガキ・ヨコナデ、内ナデ	(白色) 砂粒をわりと多く含む	普通	外 5YR5/3(にぶい赤相) 内 5YR6/2(灰相)	柱部外面ヘラ描き比線	SD1 東端部
220	弥生土器	高杯・脚柱部		30			外ヘラミガキ?-、内ヘラミガキ・シボリ?-	砂粒を少し含む	やや甘い	外 7.5YR8/4(浅 黄相) 内 7.5YR8/4(浅黄相)		SD1 中央部西側
221	弥生土器	高杯?・脚部			(53)		外ヨコナデ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	外 10YR8/1(灰白) 内 10YR2/1(黒)	透かし、高台	拡張区 SD1 東端部
222	弥生土器	高杯・脚柱部					外ナデ、内ナデ・シボリ	砂粒をやや多く含む	やや甘い	外 10YR8/3(浅黄 相) 内 7.5YR7/6(相)		拡張区 SD1 東H2チ
223	弥生土器	高杯・脚部			(154)		外ヨコナデ+ヘラミガキ、内ナデ・ヘラケズリ・ナデ	砂粒を含む	普通	外 7.5YR7/4(にぶい相) 内 7.5YR8/6(浅黄相)		SD1 西端7ピース
224	弥生土器	高杯・脚柱部		42	(137)		外ヘラミガキ・ヨコナデ、内ナデ・ヨコナデ	砂粒を含む	普通	外 10YR8/3(浅黄 相) 内 7.5YR7/4(にぶい相)		SD1 中央西側埋土
225	弥生土器	高杯・脚柱部		34			外ナデ、内板ナデ・ナデ	粗砂粒・砂粒を含む	普通	外 10YR8/3(浅黄 相) 内 10YR8/3(浅黄相)		SD1 中央西埋土
226	弥生土器	高杯・脚柱部		(35)			外ナデ、内シボリ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	外 2.5YR5/6(明 赤相) 内 2.5YR5/8(明赤相)	円形の穿孔、2孔1組で上下に。	拡張区 SD1 東側

遺物番号	種別	器種	法計(単位はmm。カッコは復原値)			調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径						
227	弥生土器	高杯・脚部			(178)	外ハケメ・ヨコナデ、内ハケメ・ヨコナデ	粗砂粒・砂粒を含む	やや甘い	外5YR6/6(橙)内5YR6/6(橙)	壺に縁の可能性も有り	SD1中央西埋土
228	弥生土器	高杯・脚部			(118)	外?、内ヨコナデ	微砂粒を含む	普通	外10YR8/2(灰白)内10YR8/3(浅黄色)	凹線、透かし	拡張区SD1東端部
229	弥生土器	高杯・脚部			76	外ナデ、内ナデ・ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外10YR8/1(灰白)内10YR8/3(浅黄色)		SD1東端部
230	弥生土器	高杯・脚部	(151)		(106)	外ヨコナデ、内ヘラケズリ・ヨコナデ	微砂粒を少し含む	普通	外7.5YR8/1(灰白)内7.5YR7/4(にぶい橙)		SD1東端埋土
231	弥生土器	高杯・脚部				外ヨコナデ、内?	砂粒やや多い	普通	外2.5YR6/8(橙)内2.5YR6/8(橙)	凸帯4条、穿孔	SD1西埋土
232	弥生土器	器台			(159)	外ハケメ・ヨコナデ、内ハケメ+ナデ・ハケメ+ヘラミガキ・ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外5YR5/4(にぶい赤褐色)内5YR5/5(にぶい赤褐色)	凹線3条、穿孔	拡張区SD1東側
233	弥生土器	器台・脚端部				外?、内ハケメ・ヨコナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外10YR7/3(にぶい黄褐色)内7.5YR7/4(にぶい橙)	円形?小孔、斷面文上下	拡張区SD1西端
234	弥生土器	鉢・口縁部				外ヨコナデ、内ナデ・ヘラケズリ	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR3/1(黒褐色)内7.5YR8/6(浅黄色)		拡張区SD1西側
235	弥生土器	鉢・口縁部	(182)			外ヨコナデ、内ヨコナデ・ハケメ・ナデ	微砂粒をわずかに含む	普通	外10YR7/2(にぶい黄褐色)内10YR6/1(褐灰)		SD1中央埋土
236	弥生土器	鉢・口縁部	(218)			外ヨコナデ・ヘラナデ、内ヨコナデ・ハケメ	微砂粒を含む	良好	外内5YR5/4(にぶい赤褐色)		SD1中央部
237	弥生土器	鉢・口縁~胴部	(182)			外ヨコナデ・?、内ヨコナデ・ヘラケズリ・ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR6/4(にぶい橙)内5YR6/6(橙)		SD1西端埋土
238	弥生土器	鉢・口縁~胴部	(170)			外ヨコナデ・?、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外5YR7/8(橙)内5YR7/8(橙)	中央部が瘤む	SD1東端部
239	弥生土器	鉢	(170)		73	外ナデ、内ナデ	砂粒を含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい橙)内7.5YR7/3(にぶい橙)		SD1中央埋土
240	弥生土器	鉢・口縁部				外ヨコナデ・?、内ヨコナデ・ヘラケズリ・?	粗砂粒を多く含む	普通	外5YR7/6(橙)内5YR6/6(橙)		拡張区SD1東側
241	弥生土器	鉢・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケズリ+ヘラミガキ	砂粒をわりと多く含む	普通	外5YR7/4(にぶい赤褐色)内2.5YR6/6(橙)	口唇部凹線3条	拡張区SD1中央部
242	弥生土器	鉢・口縁部				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケズリ+ヘラケズリ	砂粒をわりと多く含む	良い	外5YR4/3(にぶい赤褐色)内5YR5/6(明赤褐色)		拡張区SD1西端部
243	弥生土器	器・LI縁部				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ	砂粒を含む	普通	外内5YR7/6(橙)		SD1中央東埋土

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
244	弥生土器	椀 or 盆・口縁部	(224)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	微砂粒を少し含む	普通	外 5YR7/6 (橙) 内 5YR6/6 (橙)		SD1 中央 西埋土
245	弥生土器	椀・口縁部					外ヨコナデ・?、内ナデ・ハケメ	微砂粒を少し含む	普通	外 10YR2/1 (褐) 内 10YR7/4 (にぶい黄橙)		抜掘区 SD1 西端レシ
246	弥生土器	椀・口縁部					外ナデ、内ナデ・ヘラケズリ	砂粒を含む	普通	7.5YR7/4 (にぶい橙)		抜掘区 SD1 西端部
247	弥生土器	椀 (or 鉢)・底部		(80)			外ハケメ・ナデ、外ハケメ・?	砂粒を少し含む	普通	外 5YR6/6 (橙) 内 7.5YR8/3 (浅黄橙)	中央部に斑み	抜掘区 SD1 西端
248	弥生土器	杯 or 鉢	(148)				外ヨコナデ・ハケメ、内ハケメ	粗砂粒等を若干含む	普通	外 5YR6/4 (にぶい橙) 内 5YR6/6 (橙)		SD1 西埋土
249	弥生土器?	椀 or 高杯・口縁部	(228)				外ヨコナデ・ハケメ、内ハケメ+ヘラミガキ	粗砂粒・砂粒を含む	普通	外 5YR6/6 (橙) 内 5YR6/6 (橙)		SD1 中央 西側
250	弥生土器	杯 or 盆・口縁部	(228)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外 7.5YR6/4 (にぶい橙) 内 7.5YR6/4 (にぶい橙)		SD1 西端埋土
251	弥生土器?	椀	93			42	外ナデ、内ナデ	砂粒を含む	普通	外 7.5YR6/4 (にぶい橙) 内 7.5YR6/4 (にぶい橙)		SD1 中央
252	弥生土器	手捏ね					外ナデ、内ヨコナデ	白色砂粒(母母等)を少し含む	やや甘い	外 7.5YR7/3 (にぶい橙) 内 7.5YR7/4 (にぶい橙)		SD1 東端 西埋土
253	弥生土器	底部		(120)			外?・指ナデ、内指ナデ	砂粒を含む、少し多めか?	普通	外 5YR6/6 (橙) 内 5YR6/6 (橙)		SD1 中央 西埋土
254	弥生土器	底部		(88)			外ヘラミガキ・ナデ・ナデ?、内ヘラケズリ?・ナデ	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外 5YR5/4 (にぶい赤褐) 内 7.5YR8/3 (浅黄橙)		抜掘区 SD1 東端レシ
255	弥生土器	底部		(95)			外ヘラミガキ・ヨコナデ・ナデ、内ヘラミガキ・ナデ	粗砂粒・砂粒をわりと多く含む	良い	外 2.5YR6/4 (にぶい橙) 内 2.5YR5/6 (明赤褐)		抜掘区 SD1 西端レシ
256	弥生土器	底部		(56)			外板ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外 5YR7/3 (にぶい橙) 内 5YR8/2 (灰白)		SD1 西端 レシ埋土中
257	弥生土器	底部		(78)			外ヘラミガキ・ヨコナデ・ナデ、内ハケメ・ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 7.5YR6/4 (にぶい橙) 内 7.5YR5/2 (灰周)		抜掘区 SD1 西端レシ
258	弥生土器	底部		(82)			外ナデ?、内?	砂粒を含む	やや甘い	外 7.5YR6/4 (にぶい橙) 内 7.5YR7/4 (にぶい橙)		抜掘区 SD1 西端レシ
259	弥生土器	底部		(92)			外板ナデ、内ヘラミガキ	砂粒を含む	普通	外 7.5YR6/4 (にぶい橙) 内 7.5YR8/2 (灰白)		SD1 東側埋土
260	弥生土器	底部		(76)			外ナデ、内ナデ	微砂粒をわずかに含む	普通	外 10YR8/2 (灰白) 内 10YR8/2 (灰白)		抜掘区 SD1 西側
261	弥生土器	底部		(61)			外?、内?・ナデ	砂粒を多く含む	普通	外 2.5YR4/6 (赤褐) 内 2.5YR4/4 (にぶい赤褐)		SD1 中央 西側埋土中

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
262	弥生土器	底部			(52)		外ナデ?、内ナデ?	砂粒を多く含む	やや甘い	外2.5YR5/6(明赤褐色)内10YR7/3(にぶい黄褐色)		SD1西端部埋土
263	弥生土器?	底部			(82)		外内?	砂粒を多く含む	やや甘い	外10YR5/8(赤)内7.5YR7/1(明褐灰)		SD1西理土
264	弥生土器	底部			50		外ヘラミガキ+ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を含む	良好	外内5YR6/6(相)		SD1中央東理土
265	弥生土器	底部			(85)		外ナデ・ナデ?、内?	砂粒を含む	普通	外5YR6/6(相)内10YR8/2(灰白)		城強区SD1中央部
266	弥生土器	底部			(96)		外ナデ、内ナデ	砂粒を含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい黄褐色)内10YR8/4(浅黄褐色)		SD1中央
267	弥生土器	底部			(88)		外ヘラミガキ?・ナデ?、内板ナデ?+ナデ?	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR8/4(浅黄褐色)内7.5YR4/1(褐灰)		SD1東端部埋土
268	弥生土器	底部			(58)		外ヘラミガキ・ナデ、内指ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外5YR6/6(相)内5YR4/1(褐灰)		城強区SD1中央部
269	弥生土器	底部			(60)		外ヘラミガキ・ナデ、内板ナデ・ナデ	砂粒・微砂粒を含む	普通	外5YR6/4(にぶい相)内7.5YR7/1(明褐灰)		SD1東端部埋土
270	弥生土器	底部			(86)		外板ナデ・ヨコナデ、内ナデ	砂粒を含む	普通	外10YR8/3(浅黄褐色)内7.5YR5/4(にぶい相)		城強区SD1中央部
271	弥生土器	底部			(62)		外ヘラミガキ・ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外5YR3/1(黒褐)内5YR4/2(相灰)		SD1東端部
272	弥生土器	底部			(56)		外ヘラミガキ?、内?	砂粒(白色)をわりと多く含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相)内7.5YR2/1(黒)		SD1東端部
273	弥生土器	底部			(50)		外ハケメ・ナデ、内ヘラケズリ・ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外5YR6/6(相)内7.5YR8/3(浅黄褐色)		SD1中央西理土
274	弥生土器	底部			(54)		外板ナデ・ヘラミガキ+ナデ、内ナデ	砂粒を多く含む	普通	外5YR6/4(にぶい相)内5YR4/1(褐灰)		城強区SD1西端部
275	弥生土器	底部			(98)		外ヘラミガキ・ナデ、内ヘラミガキ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(相)内5YR6/6(相)		SD1中央西理土
276	弥生土器	底部			(79)		外ナデ?、内ナデ?	粗砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外5YR7/6(相)内5YR6/1(褐灰)		城強区SD1中央部
277	弥生土器	底部			(57)		外ヘラミガキ・ナデ、内ナデ	(白色)砂粒を含む(石英?)	普通	外5YR6/4(にぶい相)内5YR6/6(相)		城強区SD1東側
278	弥生土器	底部			(101)		外?、内ナデ	粗砂粒・砂粒を多く含む	普通	外2.5YR7/6(相)内5YR6/6(相)		城強区SD1中央部
279	弥生土器	底部			(78)		外ナデ、内ナデ	粗砂粒を含む	普通	外10YR8/3(浅黄褐色)内10YR8/3(浅黄褐色)		SD1西端部埋土

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)			調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径						
280	弥生土器	底部			(43)	外?、内ナデ?	砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい橙) 内7.5YR7/2(明褐色)		SD1 西埋土
281	弥生土器	底部			(43)	外ヘラミガキ・ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR7/4(にぶい橙) 内7.5YR8/2(灰白)		SD1 東端埋土
282	弥生土器	底部			(42)	外ヘラミガキ - ?、内?	微砂粒を少し含む	普通	外5YR6/4(にぶい橙) 内7.5YR7/4(にぶい橙)		SD1 西端埋土
283	弥生土器	底部			51	外ヘラミガキ・ナデ、内ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外5YR6/4(にぶい橙) 内7.5YR5/3(にぶい橙)		SD1 西埋土
284	弥生土器	底部			(82)	外ヘラミガキ・ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外10YR7/1(灰白) 内10YR8/2(灰白)		SD1 西埋土
285	弥生土器	底部			(35)	外ハケメ - ?, 内?	砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい橙) 内2.5YR6/8(橙)		SD1 西端部
286	弥生土器	底部			38	外ハケメ、内ヘラミガキ	砂粒を含む	普通	外5YR7/4(にぶい橙) 内10YR8/2(灰白)		板張区 SD1 中央部
287	弥生土器	底部				外不明、内ハケメ	砂粒を少し含む	やや甘い	5YR7/6(橙)		SD1 C4区
288	弥生土器	底部			30	外ハケメ・ナデ、内ヘラケゼリ・ナデ	粗砂粒を含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい橙) 内7.5YR2/1(灰)		板張区 SD1 中央部
289	弥生土器	底部			(36)	外ヘラミガキ・ナデ、内ナデ	微砂粒をわずかに含む	普通	外10YR6/8(赤橙) 内10YR7/3(にぶい黄橙)		SD1 西端埋土
290	弥生土器	底部			73	外?、内ナデ	砂粒を多く含む	やや甘い	外5YR6/4(にぶい橙) 内5YR3/1(黒褐)		SD1 東端埋土
291	弥生土器	底部			(66)	外内?	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外2.5YR5/6(明赤褐) 内7.5YR7/3(にぶい橙)		板張区 SD1 西端部
292	弥生土器	底部			(49)	外ハケメ、内?	微砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR3/1(黒褐) 内5YR6/4(にぶい橙)		SD1 西埋土
293	弥生土器	底部			46	外ヘラミガキ、内?	砂粒を少し含む	普通	外10YR8/2(灰白) 内7.5YR7/3(にぶい橙)		SD1 東端埋土
294	弥生土器	底部			85	外指ナデ? - ナデ?、内ナデ?	粗砂粒・砂粒を含む	普通	外5YR7/3(にぶい橙) 内10YR8/2(灰白)		SD1 西埋土
295	弥生土器	底部			(88)	外板ナデ - ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(橙) 内5YR2/1(黒褐)		SD1 西埋土
296	弥生土器	底部			(48)	外指ナデ - ナデ、内ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい橙) 内7.5YR4/1(褐灰)		板張区 SD1 西端部
297	弥生土器	底部			98	外ヨコナデ? - ナデ?、内?	粗砂粒を少し含む	普通	外7.5YR8/6(浅黄) 内7.5YR8/1(灰白)		板張区 SD1 東Hゾーン
298	弥生土器	底部				外板ナデ - ナデ、内ナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	外5YR6/6(橙) 内5YR2/1(黒褐)		SD1 C4区

遺物番号	種別	器種	法尺(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
299	弥生土器	底部			50		外ナデ、内?	砂粒をわりと含む	普通	外 10YR8/3 (浅黄褐色) 内 5YR6/4 (にぶい緑)		SD1 西埋土
300	弥生土器	底部			(41)		外ハケメ、内?	微砂粒を少し含む	普通	外 2.5YR5/6 (明赤褐色) 内 10YR7/2 (にぶい黄褐色)		城強区 SD1 中央部
301	弥生土器	底部			(79)		外内?	砂粒を多く含む	普通	外 5YR7/3 (にぶい緑) 内 10YR8/3 (浅黄褐色)		城強区 SD1 中央部
302	弥生土器	底部			38		外板ナデ・ナデ?、内?	砂粒を含む	普通	外 10YR8/2 (灰白) 内 10YR8/3 (浅黄褐色)		城強区 SD1 西端土レジ
303	弥生土器	底部			(78)		外内?	砂粒を多く含む	普通	外 2.5YR5/6 (明赤褐色) 内 2.5YR5/6 (明赤褐色)		城強区 SD1 西端部
304	弥生土器	底部			(64)		外ヘラミガキ、内ヘラケズリ・ナデ?	砂粒・微砂粒を含む	普通	外 7.5YR8/3 (浅黄褐色) 内 10YR8/2 (灰白)	外底面黒斑	SD1 東端部埋土
305	弥生土器	底部			(54)		外? -ナデ?、内?	砂粒をわりと多く含む	普通	外 2.5YR5/6 (明赤褐色) 内 7.5YR8/4 (浅黄褐色)		SD1 西端
306	弥生土器	底部			(65)		外板ナデ? -ナデ、内ナデ	砂粒を含む	普通	外 10YR8/3 (浅黄褐色) 内 10YR8/1 (灰白)		SD1 東端部
307	弥生土器	底部			(50)		外ヘラミガキ? -?, 内ハケメ	粗砂粒を多く含む	普通	外 2.5YR6/6 (粒) 内 10YR7/2 (にぶい黄褐色)		城強区 SD1 中央部
308	弥生土器	底部			57		外ヘラミガキ+ナデ、内ヨコナデ+ナデ、内指ナデ	砂粒を含む (粗砂粒混ざる)	普通	外 10YR7/4 (にぶい黄褐色) 内 7.5YR6/6 (浅黄褐色)		城強区 SD1 東端
309	弥生土器	底部			41		外ヘラミガキ、内? -ナデ	砂粒 (雲母等) を含む	普通	外 5YR6/4 (にぶい緑) 内 7.5YR7/4 (にぶい緑)		SD1 東側埋土
310	弥生土器	底部			33		外ヘラミガキ・ヘラミガキ+ナデ、内?	砂粒を少し含む	普通	外 5YR6/6 (粒) 内 5YR4/1 (褐灰)		城強区 SD1 西端部
311	弥生土器	底部			(102)		外内?	砂粒をわりと多く含む	普通	外 5YR6/6 (粒) 内 5YR4/1 (褐灰)		SD1 西端
312	弥生土器	底部			(93)		外ヘラミガキ・ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外 5YR6/4 (にぶい緑) 内 5YR7/4 (にぶい緑)	外面黒斑?	SD1 東端部埋土
313	弥生土器	底部			40		外ハケメ、内ヘラケズリ	砂粒を含む	良好	外 2.5Y3/1 (黒) 内 5YR5/4 (にぶい赤褐色)		SD1 中央
314	弥生土器	底部			(72)		外ハケメ?、内ケズリ	砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外 10R5/6 (赤) 内 10R2/1 (赤黒)		SD1 東端
315	弥生土器	底部			70		外板ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を多く含む	普通	外 7.5YR3/1 (黒褐色) 内 7.5YR2/1 (黒)		城強区 SD1 東端
316	弥生土器	底部			(74)		外ヘラミガキ・ナデ、内ナデ	砂粒をやや多く含む	普通	外 7.5YR8/4 (浅黄褐色) 内 7.5YR8/4 (浅黄褐色)		SD1 東端部

遺物番号	種別	器種	法量(単位はcm。カッコは測原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
317	弥生土器	底部			(54)		外? - ナデ?, 内?	砂粒をや り多く含む	普通	外 2.5YR5/4 (に ぶい赤褐色) 内 2.5YR2/1 (赤褐色)		SD1 東端部
318	弥生土器	底部			(55)		外板ナデ? ?, 内 ナデ	砂粒をわ り多く含む	やや甘 い	外 10YR8/2 (灰白) 内 10YR8/1 (灰白)		SD1 東端部
319	弥生土器	底部			17		外ハケメ・ナデ, 内ハケメ・指ナデ	砂粒を少 し含む	普通	外 2.5YR6/6 (橙) 内 5YR6/6 (橙)		拡張区 SD1 中央部
320	弥生土器	底部			32		外ハケメ・ナデ, 内?	砂粒を含 む	やや甘 い	外 10R5/6 (赤) 内 10YR8/2 (灰白)		SD1 西端埋土
321	弥生土器	底部			36		外ハケメ・ヘラ ミガキ・ハケメ・ ナデ, 内ナデ	微砂粒を 少し含む	良い	外 5YR6/6 (橙) 内 7.5YR7/4 (に ぶい橙)		SD1 東端部埋土
322	弥生土器	底部			(56)		外ハケメ・ナデ, 内ナデ	微砂粒を 含む	普通	外 5YR6/4 (に ぶい橙) 内 5YR4/1 (褐灰)		SD1 東端
323	弥生土器	底部			(42)		外ヨコナデ, 内 ヨコナデ?	砂粒を含 む	普通	外 10YR7/2 (に ぶい黄橙) 内 10YR3/1 (黒褐色)	刺突文	SD1 東端部
324	弥生土器	底部?					外ハケメ, 内ヨ コナデ	砂粒を少 し含む	普通	外 10YR8/3 (浅黄 橙) 内 10YR4/1 (褐 灰)		SD1 中央 西アマ (北 側) 中層
325	弥生土器	底部			33		外ハケメ?, 内 ハケメ・ナデ	砂粒を少 し含む	やや甘 い	外 5YR6/6 (橙) 内 10YR8/3 (浅黄 橙)		SD1 西側埋土
326	弥生土器	底部			(68)		外ナデ? - ナデ, 内ナデ?	砂粒を含 む	普通	外 2.5YR6/6 (橙) 内 2.5YR7/1 (明 赤灰)		SD1 中央 西側埋土
327	弥生土器	腹・底 部			52		外ナデ、内ナデ	微砂粒を 少し含む	普通	外 10R8/2 (灰白) 内 10YR8/1 (灰白)		SD1 南粘 土坑
328	弥生土器	底部			20		外ハケメ・ナデ, 内ヘラケズリ + ナデ	粗砂粒を 含む	良好	外 5YR5/6 (明赤 褐色) 内 10YR6/4 (に ぶい黄橙)		SD1 中央 東埋土中
329	弥生土器	底部			(87)		外ナデ? ?, 内ナ デ	砂粒を多 く含む	普通	外 2.5YR8/2 (灰白) 内 10YR8/2 (灰白)		SD1 東端部
330	弥生土器	底部			32		外ナデ、内ナデ	砂粒を含 む	良好	外 10YR6/6 (橙)		SD1 中央 西埋土
331	弥生土器	底部			52		外? 内ナデ	粗砂粒・ 砂粒を含 む	普通	外 7.5YR8/2 (灰白) 内 7.5YR8/6 (浅 黄橙)		SD1 中央 西埋土
332	弥生土器	底部			(34)		外ハケメ、内ナ デ	粗砂粒・ 砂粒を少 し含む	普通	外 10R6/6 (赤橙) 内 7.5YR7/3 (に ぶい橙)		SD1 中央 部埋土
333	弥生土器	底部			(92)		外?, 内ヘラミ ガキ・ナデ	砂粒を多 く含む	普通	外 10YR8/1 (灰白) 内 10YR8/2 (灰白)		拡張区 SD1 東端部
334	弥生土器	底部			(120)		外板ナデ? ?, 内?	砂粒をわ り多く含む	普通	外 2.5YR6/6 (橙) 内 10YR7/4 (に ぶい黄橙)		拡張区 SD1 東端部
335	弥生土器	底部			(80)		外ナデ? - ナデ, 内ヨコナデ・ナデ	微砂粒を 少し含む	普通	外 7.5YR7/2 (明 褐色) 内 7.5YR5/2 (灰褐色)		拡張区 SD1 西側

遺物番号	種別	器種	法尺(単位はmm、カッコは復原値)				調整文様等	胎上	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
336	弥生土器	底部			(99)		外板ナデ?・ナデ、内ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 2.5YR6/6 (褐) 内 2.5YR5/1 (赤褐)		城製区 SD1 西端トレンチ
337	弥生土器	底部			99		外ナデ?内?	白色砂粒・骨粉等を含む	やや甘い	外 10R6/8 (赤褐) 内 10R5/8 (赤)		SD1 西端トレンチ埋土
338	弥生土器	底部			(86)		外指ナデ・ナデ?・内?	砂粒をわりと多く含む	普通	外 2.5YR5/6 (赤褐) 内 2.5YR6/6 (褐)		SD1 西端部
339	弥生土器	底部			(104)		外板ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒をわりと多く含む (虫食・石英含む)	普通	外 10YR7/2 (にぶい黄褐) 内 10YR8/3 (浅黄褐)		城製区 SD1 西端部
340	弥生土器	底部			(76)		外ヘラミガキ・ナデ、内ヘラミガキ・ナデ	砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外 5YR7/4 (にぶい紅) 内 5YR4/1 (褐灰)		SD1 西端
341	弥生土器	底部			(96)		外ヘラミガキ・ナデ?・内?	砂粒を含む	普通	外 7.5YR6/4 (にぶい紅) 内 7.5YR8/7 (灰白)		SD1 東側埋土
342	弥生土器	底部			(51)		外板ナデ?・?, 内ナデ?	(白色) 砂粒を含む	普通	外 7.5YR6/3 (にぶい紅) 内 7.5YR5/3 (にぶい褐)		SD1 東側埋土
343	弥生土器	底部			(138)		外内?	砂粒を多く含む	普通	外 7.5YR7/4 (にぶい紅) 内 10YR8/2 (灰白)		SD1 東端部埋土
344	弥生土器	底部			(92)		外ナデ?・?, 内ヘラミガキ・ナデ	粗砂粒・砂粒を多く含む	普通	外 5YR5/1 (褐灰) 内 5YR6/4 (にぶい紅)		城製区 SD1 西端トレ
345	弥生土器	底部			(52)		外ナデ?・?, 内ナデ	白色砂粒をわりと多く含む	普通	外 5YR6/4 (にぶい紅) 内 5YR6/1 (褐灰)		SD1 東側埋土
346	弥生土器	底部			(125)		外?・ナデ?・内ナデ、内ナデ?	砂粒(粗砂粒含む)を多く含む	普通	外 5YR5/4 (にぶい赤褐) 内 7.5YR7/4 (にぶい紅)		SD1 西端部
347	弥生土器	底部			(88)		外板ナデ・ナデ、内ナデ・ヘラミガキ・ナデ	砂粒をやや多く含む	普通	外 5YR7/6 (褐) 内 2.5YR5/6 (明赤褐)		城製区 SD1 東側
348	弥生土器	底部			(65)		外ヘラミガキ・ヨコナデ?・?, 内ヘラミガキ・ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 7.5YR6/4 (にぶい紅) 内 5YR6/3 (にぶい褐)		城製区 SD1 東端部
349	弥生土器	底部			78		外ヘラミガキ・ナデ、内ナデ	白色砂粒をわりと多く含む	普通	外 7.5YR8/6 (浅黄褐) 内 10YR8/2 (灰白)		SD1 西埋土
350	弥生土器	底部			(108)		外ヨコナデ・ナデ、内ヘラミガキ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 10YR7/3 (にぶい黄褐) 内 10YR2/1 (黒)	外広面と全体の一部に	SD1 西埋土
351	弥生土器	底部			(99)		外板ナデ・ナデ、内?	砂粒をわりと多く含む	普通	外 5YR6/4 (にぶい紅) 内 5YR5/6 (明赤褐)	内面上半は SYR3/1 (黒)	城製区 SD1 東端トレンチ
352	弥生土器	腹・底部			(66)		外ナデ、内ナデ?	砂粒をわりと多く含む	普通	外 7.5YR7/6 (褐) 内 7.5YR6/2 (灰褐)		SD1 中央南側

遺物番号	種別	器種	法寸(単位はmm、カッコは復原値)			調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			上径	最大径	底径						
353	弥生土器	底部			(103)	外内?	砂粒をわりと多く含む	普通	外 7.5YR8/3 (浅黄) 内 7.5YR8/2 (灰白)		拡張区 SD1 西端部
354	弥生土器	底部			(83)	外板ナデ - ?, 内?	砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外 7.5YR8/4 (浅黄) 内 7.5YR8/1 (灰白)		SD1 西側埋土
355	弥生土器	底部			(76)	外ナデ、内板ナデ	砂粒 (虫食・脚石) を少し含む	普通	外 5YR7/6 (紅) 内 7.5YR3/1 (灰褐色)		SD1 東端部埋土
356	弥生土器	底部			(83)	外?、内ナデ?	砂粒をやや多く含む	普通	外 2.5YR6/6 (紅) 内 2.5YR5/6 (明赤紅)		拡張区 SD1 中央部
357	弥生土器	底部			(100)	外ナデ、ナデ、内ヨコナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 2.5YR6/8 (紅) 内 2.5YR5/2 (灰赤)		SD1 西埋土
358	弥生土器	底部			(60)	外ヘラミガキ - ?, 内?	砂粒を少し含む	普通	外 10YR8/2 (灰白) 内 10YR7/1 (灰白)		拡張区 SD1 東側
359	弥生土器	底部			28	外? - ナデ? - ?, 内?	砂粒を少し含む	やや甘い	外 10YR8/4 (浅黄) 内 5YR6/6 (紅) 半分は黒褐色 (5YR2/1)		拡張区 SD1 東端
360	弥生土器	底部			(83)	外内?	砂粒をやや多く含む	普通	外 5YR7/6 (紅) 内 2.5YR6/6 (紅)		拡張区 SD1 東側
361	弥生土器	底部			(85)	外ナデ、内ナデ	白色砂粒・粗砂粒を含む	普通	外 7.5YR7/3 (にふい粒) 内 7.5YR7/3 (にふい粒)		SD1 東端部埋土
362	弥生土器	底部			(48)	外板ナデ - ナデ、内ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 7.5YR6/4 (にふい粒) 内 7.5YR3/1 (黒褐色)		SD1 東端
363	弥生土器	底部			(58)	外指ナデ - ナデ、内指ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 7.5YR7/1 (明褐色) 内 7.5YR7/6 (紅)		拡張区 SD1 東端部
364	弥生土器	底部			26	外ヘラミガキ + ナデ - ナデ、内ヘラケズリ + ナデ - ナデ	微細砂粒を含む	普通	外 7.5YR7/4 (にふい粒) 内 7.5YR7/4 (にふい粒)		拡張区 SD1 東側
365	弥生土器	底部			(45)	外板ナデ - ナデ、内ハケメ - ナデ	砂粒を少し含む	普通	外 10YR7/1 (灰白) 内 10YR8/3 (浅黄)		SD1 西端
366	弥生土器	底部			61	外ナデ?、内ナデ	砂粒を割りと多く含む	普通	外 2.5YR6/6 (紅) 内 7.5YR8/4 (浅黄)		SD1 東端部埋土
367	弥生土器	底部			(62)	外板ナデ - ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外 2.5YR6/6 (紅) 内 7.5YR7/3 (にふい粒)		拡張区 SD1 東側
368	弥生土器	底部			(66)	外ナデ - ?, 内?	砂粒 (虫食・石英等) を含む	普通	外 5YR7/4 (にふい粒) 内 10YR8/3 (浅黄)		SD1 西端
369	弥生土器	底部			(52)	外ヘラミガキ - ナデ、内ナデ	砂粒をわりと多く含む (虫食・石英含む)	普通	外 5YR7/6 (紅) 内 5YR2/1 (黒褐色)		拡張区 SD1 西端部

遺物番号	相別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
370	弥生土器	底部			50		外板ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒をやや多く含む	普通	外2.5YR5/6(明赤褐)内2.5YR3/1(暗赤)		扯剥区 SD1 東側
371	弥生土器	底部		(102)			外ナデ、内?	砂粒を含む	普通	外内5YR7/8(橙)		SD1 中央東理土
372	弥生土器	底部			(80)		外ナデ・?、内ナデ	砂粒を多く含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい)内7.5YR3/1(黒褐)		扯剥区 SD1 西端部
373	弥生土器	底部			(67)		外板ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を多く含む	普通	外5YR5/4(にぶい赤褐)内5YR2/3(深暗赤褐)		扯剥区 SD1 西端トレチ
374	弥生土器	底部			(67)		外板ナデ・ナデ、内ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外10YR8/2(灰白)内10YR8/2(灰白)		SD1 東側理土
375	弥生土器	底部			39		外?、内板ナデ	微砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR6/8(橙)内5YR6/8(橙)		扯剥区 SD1 中央部
376	弥生土器	底部			(58)		外指ナデ+ヨコナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外2.5YR5/6(明赤褐)内5YR8/4(淡橙)		SD1 西理上
377	弥生土器	底部			(58)		外板ナデ・ナデ、内ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外10YR8/3(浅黄褐)内10YR2/1(黒)		扯剥区 SD1 中央部
378	弥生土器	底部			(78)		外?、内ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR8/4(浅黄褐)内7.5YR7/6(橙)		扯剥区 SD1 東側
379	弥生土器	底部			(74)		外内?	砂粒を少し含む	普通	外10YR8/3(浅黄褐)内10YR8/2(灰白)		扯剥区 SD1 東側
380	弥生土器	底部			(70)		外板ナデ・ナデ、内?	砂粒を少し含む	やや甘い	外7.5YR6/3(にぶい)内7.5YR7/3(にぶい橙)		扯剥区 SD1 東端
381	弥生土器	底部			47		外ナデ?-?、内ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR6/6(橙)内2.5YR5/6(明赤褐)		扯剥区 SD1 東端トレチ
382	弥生土器	底部			(54)		外指ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を含む	普通	外5YR7/4(にぶい)内2.5YR6/6(橙)		扯剥区 SD1 東端トレチ
383	弥生土器	底部			(92)		外ナデ、内ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(橙)内10YR5/2(灰黄褐)		扯剥区 SD1 東端部
384	弥生土器	底部			(88)		外?、内ナデ?	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外2.5YR5/6(明赤褐)内10YR7/3(にぶい黄褐)		SD1 西端部
385	弥生土器	底部			(41)		外?、内ナデ	砂粒(白色・石英etc)を含む	普通	外7.5YR8/4(浅黄褐)内7.5YR8/4(浅黄褐)		SD1 西端埋上
386	弥生土器	底部			(60)		外指ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR8/2(灰白)内7.5YR2/1(黒)		SD1 東端セ
387	弥生土器	底部			(84)		外内?	砂粒を多く含む	普通	外2.5YR5/6(明赤褐)内7.5YR8/3(浅黄褐)		SD1 中央西理土

番号	種別	器種	法量(単位はm、カッコは削断値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
388	弥生土器	底部			58		外?、内ナデ	砂粒を含む	良好	外2.5YR6/8(相)		SD1中央埋土
389	弥生土器	底部			(77)		外ナデ、内ヨコナデ・ナデ	白色砂粒を少し含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい相)内7.5YR4/2(灰相)		SD1中央西埋土
390	弥生土器	底部			(68)		外板ナデ・ナデ、内ナデ	白色砂粒・石英等をわりと多く含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい相)内7.5YR8/2(灰相)		SD1中央埋土
391	弥生土器	底部			80		外ナデ、内ナデ	微砂粒・砂粒を多く含む	やや不良	外内10YR4/1(褐灰)		SD1中央埋土
392	弥生土器	底部			46		外ナデ、内ナデ	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR6/3(にぶい相)内7.5YR4/3(相)		SD1中央部埋土
393	弥生土器?	腰・底部～胴部下半			40		外ハケメ・ナデ、内ハケメ・ナデ	砂粒を含む	やや甘い	外5YR6/8(相)内7.5YR6/4(にぶい相)		SD1東端埋土
394	弥生土器	底部			(42)		外内?	砂粒をわりと多く含む	普通	外2.5YR6/6(相)内2.5YR4/1(赤灰)		扯强区 SD1中央部
395	弥生土器	底部			(56)		外ハケメ・ヨコナデ・ナデ、内ヘラケズリ・ナデ・ナデ	粗砂粒を少し含む	やや甘い	外2.5YR2/1(赤相)内2.5YR5/6(明赤相)		扯强区 SD1東端部
396	弥生土器	腰・底部			40		外ハケメ、内?	砂粒を少し含む	やや甘い	外2.5YR5/6(明赤相)内2.5YR4/6(赤相)		SD1中央西側埋土中
397	弥生土器?	底部			(32)		外内?	粗砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外5YR6/6(相)内5YR4/1(相)		SD1中央西側埋土中
398	弥生土器	底部			(66)		外板ナデ・ナデ、ヘラミガキ・ナデ	(白色)砂粒をわりと多く含む	普通	外10YR7/2(にぶい黄相)内7.5YR7/3(にぶい相)		扯强区 SD1東端チ
399	弥生土器	腰・底部			24		外ナデ?・ナデ、内ナデ?	砂粒を少し含む	普通	外2.5YR5/6(明赤相)内2.5YR5/6(明赤相)		SD1西端部
400	弥生土器	底部			(28)		外ナデ、内ヘラケズリ・ナデ・ナデ	粗砂粒を含む	やや甘い	外10YR7/4(にぶい黄相)内7.5YR7/4(にぶい相)	僅かに丸い	SD1西側埋土
401	弥生土器	底部					外タタキ・ナデ、内板ナデ	微砂粒を含む	やや甘い	外5YR5/6(明赤相)内10YR7/4(にぶい黄相)		SD1 C4区
402	弥生土器	底部			50		外ハケメ、内?・ナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相)内7.5YR4/1(褐灰)		扯强区 SD1西端部
403	弥生土器	底部			71		外ナデ?・?、内ヘラケズリ?	砂粒を少し含む	やや甘い	外10YR7/3(にぶい黄相)内10YR3/1(黒相)		扯强区 SD1西端部
404	弥生土器	底部			42		外ハケメ・ナデ、内ヘラケズリ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	外5YR6/4(にぶい相)内2.5YR5/6(明赤相)		SD1西端部

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは測原値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
405	弥生土器	底部			20		外ナデ、内ハケメ	砂粒を少し含む	普通	外10YR8/3(浅黄相)内10YR7/3(にぶい黄相)		拡張区 SD1 西端部
406	弥生土器	底部			70		外ハケメ、内ハケメ+ヘラミガキ	砂粒を少し含む	やや甘い	外7.5YR7/4(にぶい相)内7.5YR7/6(相)		SD1 東側埋土
407	弥生土器	底部			27		外内?	砂粒を少し含む	普通	外2.5YR6/8(相)内2.5YR3/1(暗黒灰)		SD1 西端部
408	弥生土器	底部			25		外内?	砂粒・粗砂粒を含む	やや甘い	外5YR5/6(明赤相)内5YR5/6(明赤相)		SD1 西端部
409	弥生土器	裏・底		(54)			外ハケメ+ナデ、内ヘラケズリ・ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外5YR6/4(にぶい相)内5YR5/4(にぶい赤相)		SD1 東端埋土
410	弥生土器	底部					外不明、内ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外2.5YR6/4(にぶい相)内2.5YR4/1(赤相)	楕円形	SD1 トレンチ
411	弥生土器	裏・底			28		外?-ナデ、内?	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相)内5YR7/4(にぶい相)		SD1 中央アピ
412	弥生土器	底部			25		外?-ナデ、内?	砂粒を少し含む	甘い	外5YR7/6(相)内7.5YR8/4(浅黄相)		拡張区 SD1 東Hコ
413	弥生土器	底部			28		外内?	粗砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(相)内5YR7/6(相)		SD1 西側埋土
414	弥生土器	底部			44		外ヘラミガキ、内ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外5YR8/3(浅相)内7.5YR7/6(相)		SD1 C4 区
415	弥生土器	底部			18		外ハケメ・ナデ、内ハケメ	砂粒を含む	普通	外10YR7/3(にぶい黄相)内10YR4/1(黒灰)		SD1 東端
416	弥生土器	底部			40		外ハケメ・ナデ、内ハケメ+ナデ	砂粒を含む	やや不良	外10YR7/2(にぶい黄相)内10YR3/1(黒相)		SD1 中央埋土
417	弥生土器	底部					外ヘラミガキ、内ヘラケズリ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR2/1(黒)内7.5YR7/6(相)		SD1 北東
418	弥生土器	底部			30		外?, 内ナデ?	砂粒をわりと多く含む	普通	外10YR7/3(にぶい黄相)内7.5YR6/4(にぶい相)		SD1 西端部
419	弥生土器	底部			27		外?, 内ハケメ	砂粒を含む	やや甘い	外7.5YR7/4(にぶい相)内5YR6/6(相)		SD1 東端埋土
420	弥生土器	底部			32		外?, 内ハケメ・ナデ	石英・萤母・微砂粒を含む	普通	外10YR7/3(にぶい黄相)内7.5YR7/6(相)		SD1 東側埋土
421	弥生土器	底部			32		外ハケメ・ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外10YR7/2(にぶい黄相)内10YR6/1(黒灰)		拡張区 SD1 西Hコ
422	弥生土器	底部		(43)			外ヘラミガキ・ナデ、内?	砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR3/1(黒相)内7.5YR3/1(黒相)		拡張区 SD1 東端トレンチ
423	弥生土器	底部			28		外内?	砂粒をわずかに含む	普通	外10YR8/4(浅黄相)内10YR8/4(浅黄相)		拡張区 SD1 中央部

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm。カッコは復原値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			L.I.径	最大径	底径	器高						
424	弥生土器	底部			28		外ナデ、内ハケメ	微砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(橙) 内2.5YR6/6(橙)		拡張区 SD1 西端部
425	弥生土器	底部			38		外ハケメ・ナデ、内ナデ	微砂粒を含む	普通	外10YR6/4(にぶい黄橙)内7.5YR6/4(にぶい橙)		拡張区 SD1 西端部
426	弥生土器	底部			18		外ハケメ、内ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外2.5YR5/6(明赤褐)内2.5YR5/6(明赤褐)		SD1 西端部
427	弥生土器	底部			20		外ハケメ・?、内ナデ?	微砂粒を少し含む	普通	外5YR7/4(にぶい橙)内5YR6/6(橙)		拡張区 SD1 中央部
428	弥生土器	底部			(55)		外ヘラケズリーナデ、内ヘラミガキ	砂粒を含む	普通	外2.5YR3/1(暗赤褐)内10YR7/3(にぶい黄橙)		SD1 西端部
429	弥生土器	底部			28		外板ナデ・ナデ、内ヘラケズリーナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR6/3(にぶい褐)内7.5YR6/1(黒褐)よつて變か?	半分は 7.5YR3/1(黒褐)	拡張区 SD1 西端部
430	弥生土器	底部			20		外?・ナデ、内?-ナデ	粗砂粒を含む	やや甘い	外5YR6/6(橙) 内5YR6/6(橙)		拡張区 SD1 中央部
431	弥生土器	底部			35		外ハケメ、内ハケメ	砂粒を少し含む	普通	外10YR7/2(にぶい黄橙)内10YR8/4(黄橙)		拡張区 SD1 西端部
432	弥生土器	底部			28		外ハケメ・?、内ハケメ	微砂粒を少し含む	やや甘い	外2.5YR6/6(橙)内2.5YR6/6(橙)		拡張区 SD1 東端部
433	弥生土器	底部			25		外ヘラミガキ・ナデ、内ナデ	砂粒を含む	普通	外10YR3/1(黒褐)内10YR8/2(灰白)		SD1 東端部
434	弥生土器	底部			66		外ヘラミガキ・ナデ・ヘラミガキ、内ヘラミガキ	砂粒をわりと多く含む	やや良い	外5YR6/6(橙) 内2.5YR6/8(橙)		拡張区 SD1 西端部
435	弥生土器	底部			(92)		外?・ヘラミガキ・ナデ?、内ヘラミガキ・?	砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外7.5YR7/4(にぶい橙)内7.5YR7/4(にぶい橙)		拡張区 SD1 中央部
436	弥生土器	底部			86		外ナデ?・ナデ、内ナデ	砂粒を含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい橙)内7.5YR8/2(灰白)	中央部がわずかに瘤む	SD1 西埋土
437	弥生土器	底部			(50)		外?・ナデ?、内ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外7.5YR7/3(にぶい橙)内7.5YR5/2(灰褐)		SD1 中央西埋土
438	弥生土器	底部			(66)		外ヘラミガキ?・ナデ?、内ナデ	石英・白色砂粒を含む	普通	外10YR8/2(灰白)内10YR3/1(黒褐)		SD1 東端部埋土
439	弥生土器	底部			(55)		外?・ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい橙)内10YR8/2(灰白)		SD1 東端埋土
440	弥生土器	底部			43		外ヘラミガキ・ナデ、内ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(橙) 内5YR5/6(明赤褐)		SD1 東側埋土
441	弥生土器	底部			(48)		外ヘラナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を含む	普通	外7.5YR6/6(橙) 内5YR6/8(橙)		SD1 中央東埋土

遺物番号	種別	器種	法量(単位はcm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
442	弥生土器	底部			76		外ナデ、内ナデ?	粗砂粒を わりと多 く含む	普通	外7.5YR7/6(相) 内7.5YR7/6(相)	中央部が少 し窪む	SD1中央 西側埋土中
443	弥生土器	底部			(76)		外?、内ナデ	砂粒を多 く含む	普通	外2.5YR6/8(相) 内10YR8/4(復原 相)		SD1中央
444	弥生土器	底部			46		外内?	微砂粒・ 砂粒を多 く含む	良好	外内2.5YR6/6(相)		SD1中央 西側N 中下層
445	弥生土器	底部			(70)		外? -ナデ?, 内 ナデ	砂粒・粗 砂粒をわ りと多く 含む	普通	外10YR4/1(復原 相) 内10YR8/3(復原 相)		SD1東側 埋土
446	弥生土器	底部			(52)		外不明、内ナデ	砂粒を多 く含む	普通	外2.5YR5/6(明 赤褐) 内10YR8/2 (灰白)		SD1 C4 区
447	弥生土器	底部			(53)		外板ナデ -ナデ、 内ナデ	砂粒を少 し含む(長 石・雲母 etc)	普通	外5YR6/6(相) 内5YR4/1(復原 相)		SD1東側 埋土
448	弥生土器	底部			(56)		外ヘラミガキ -ナ デ、内ナデ -ヘラ ミガキ	砂粒を含 む	普通	外10YR8/2(灰白) 内5YR6/6(相)		SD1東端 部
449	弥生土器	表・底 部			(60)		外ナデ、内?	砂粒を多 く含む	やや甘 い	外2.5YR8/2(灰白) 内2.5YR8/2(灰白)		SD1中央? セ下層
450	弥生土器	底部			(78)		外?、内ナデ	粗砂粒等 を多く含 む	普通	外2.5YR5/6(明 赤褐) 内7.5YR6/4 (にぶい相)		SD1西側 No.2 H2
451	弥生土器	底部			114		外ヘラミガキ -ナ デ、内?	粗砂粒等 を多く含 む	普通	外5YR6/6(相) 内7.5YR7/4(に ぶい相)		SD1西側 埋土
452	弥生土器	底部			(60)		外板ナデ -ナデ、 内?	砂粒をわ りと多く 含む	普通	外10YR8/3(復原 相) 内10YR3/2(川 泥相)	少し窪む	SD1中央 西側埋土中
453	弥生土器	底部			65		外? -ナデ?, 内?	粗砂粒を わりと多 く含む	普通	外7.5YR7/3(にぶ い相) 内5YR7/4 (にぶい相)		披瀬区 SD1東端 部
454	弥生土器	底部			(58)		外板ナデ -ナデ、 内ナデ	砂粒を含 む	普通	外2.5YR6/8(相) 内2.5YR6/8(相)		SD1西端 埋土
455	弥生土器	底部			(63)		外指ナデ -ナデ、 内ナデ	粗砂粒を わりと多 く含む	普通	外5YR6/4(にぶ い相) 内2.5YR5/6 (明赤褐)		SD1西側 埋土
456	弥生土器	底部			(87)		外ナデ -ナデ?, 内?	砂粒(石 英等)を 含む	普通	外7.5YR8/2(灰白) 内5YR8/2(灰白)		SD1東端 埋土
457	弥生土器	底部			(53)		外? -ナデ、内ナ デ?	砂粒を含 む	普通	外5YR7/4(にぶ い相) 内5YR3/1 (黒褐)		SD1西埋 土
458	弥生土器	底部			(50)		外ナデ -ヨコナデ -ナデ、内ナデ	白色砂粒 を含む	普通	外10YR6/3(に ぶい黄相) 内 10YR4/1(復原 相)		SD1東側 埋土
459	弥生土器	底部			(74)		外ナデ、内?	砂粒を多 く含む	普通	外10YR8/3(復原 相) 内5YR5/4(に ぶい赤褐)		SD1西側 埋土

遺物番号	種別	器種	法寸(単位はmm。カッコは測定値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
460	弥生土器	底部			54		外ヘラミガキ・ナデ、内ヘラミガキ	砂粒を多く含む	普通	外 5YR6/6(橙) 内 2.5YR5/4(にぶい赤褐色)		SD1 東側埋土
461	弥生土器	底部			(60)		外ヘラミガキ・?、内?	砂粒をわりと多く含む	普通	外 10YR8/3(浅黄褐色) 内 10YR8/2(灰白色)		拡張区 SD1 東側
462	弥生土器	底部			(60)		外板ナデ・ナデ、内?	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外 2.5YR8/6(橙) 内 10YR8/1(灰白色)		SD1 中央西側埋土中
463	弥生土器	底部			(60)		外ヘラナデ・ナデ、内ナデ	微砂粒を含む	良好	外内 5YR5/6(明赤褐色)		SD1 中央東側埋土
464	弥生土器	底部			54		外指ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を多く含む	普通	外 7.5YR6/4(にぶい橙) 内 5YR7/3(にぶい紅)	中央が僅む	拡張区 SD1 中央部
465	弥生土器	底部			44		外ヘラミガキ・ナデ、内?	白色砂粒をわりと多く含む	普通	外 2.5YR6/4(にぶい橙) 内 7.5YR7/4(にぶい橙)		SD1 西側埋土
466	弥生土器	底部			40		外?・ナデ、内ハケメ・ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外 10YR7/3(にぶい黄褐色) 内 10YR4/2(灰黃褐色)		拡張区 SD1 中央部
467	弥生土器	底部			(40)		外板ナデ・ナデ、内ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外 7.5YR7/4(にぶい橙) 内 7.5YR7/4(にぶい紅)	中央が少し窪む	SD1 西側埋土
468	弥生土器	底部			(66)		外内?	砂粒を多く含む	普通	外 10YR6/4(にぶい黄褐色) 内 10YR8/3(浅黄褐色)	中央部が僅む	拡張区 SD1 東端部
469	弥生土器	底部			45		外内?	砂粒を少し含む	やや甘い	外 2.5YR7/6(橙) 内 2.5YR7/8(橙)		SD1 東側埋土底面付近
470	弥生土器	底部			48		外ナデ、内ナデ	粗砂粒を含む	普通	外 2.5YR6/6(橙) 内 7.5YR7/4(にぶい橙)	中央部に浅い孔	拡張区 SD1 中央部
471	弥生土器	底部			44		外ハケメ・ヨコナデ・ハケメ、内ナデ?	砂粒を少し含む	普通	外 5YR7/1(暗褐色) 内 5YR3/1(黒褐色)		拡張区 SD1 東側
472	弥生土器?	腹・底部			22		外ナデ、内ナデ・ハケメ	砂粒を少し含む	普通	外 7.5YR8/4(浅黄褐色) 内 7.5YR7/6(橙)		SD1 東側埋土
473	弥生土器	底部			35		外ナデ?、内ハケメ	砂粒を少し含む	普通	外 5YR6/6(橙) 内 5YR6/4(にぶい橙)	ボタン状	拡張区 SD1 東側
474	弥生土器	底部			32		外?、内ハケメ	微砂粒を少し含む	普通	外 5YR6/6(橙) 内 7.5YR6/4(にぶい橙)		SD1 西端埋土
475	弥生土器	底部			29		外ナデ、内ハケメ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 5YR6/4(にぶい橙) 内 5YR6/6(橙)		拡張区 SD1 中央部
476	弥生土器	底部			35		外ナデ、内?	微砂粒を少し含む	普通	外 10YR2/1(黒) 内 10YR8/3(浅黄褐色)		SD1 西端埋土
477	弥生土器	腹・底部			34		外ナデ、内ハケメ・ナデ	砂粒・微砂粒を含む	普通	外 10YR8/3(浅黄褐色) 内 10YR6/2(灰黃褐色)	中央部に穿孔(外側から未貫通)	SD1 西端埋土

遺物番号	種別	器種	法尺(単位はmm、カッコは復原値)			調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	底径	高さ						
478	弥生土器	底部			45	外ナデ、内タタキ	砂粒をわりと多く含む	普通	外 5YR5/4 (赤褐色) 内 10YR7/2 (にぶい黄褐色)	中央部窪む	坂道区 SD1 東側
479	弥生土器	底部				外板ナデ・ヨコナデ・ナデ・ヨコナデ・内ナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	外 5YR7/4 (にぶい紅) 内 5YR6/6 (棕)	高台付	SD1 C4 区
480	弥生土器	底部			(69)	外ヨコナデ、内ナデ	微細砂を少し含む	普通	外 7.5YR8/3 (浅黄褐色) 内 7.5YR3/1 (黒褐色)	高台状	SD1 東側埋土
481	弥生土器	底部			50	外?・ナデ、内?	砂粒を含む	やや甘い	外 7.5YR8/4 (浅黄褐色) 内 7.5YR8/6 (浅黄褐色)	高台風	SD1 西側埋土
482	弥生土器	底部			63	外ヨコナデ、内ナデ	砂粒(石英等)を含む	普通	外 10YR8/3 (浅黄褐色) 内 10YR8/3 (浅黄褐色)	高台風。高台内黒褐色	SD1 西埋土
483	弥生土器	底部			48	外ヨコナデ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外 5YR7/3 (にぶい紅) 内 5YR7/3 (にぶい棕)	高台風。高台の中は 5YR2/1 (黒)	坂道区 SD1 東側
484	弥生土器	底部			61	外ハケメ・ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒をや多く含む	普通	外 5YR8/4 (淡紅) 内 5YR8/2 (灰白)	高台	坂道区 SD1 中央部
485	弥生土器	底部			53	外板ナデ・ナデ・ヨコナデ・内ヨコナデ・ナデ	(白色) 砂粒を含む	普通	外 2.5YR5/6 (明赤褐色) 内 2.5YR2/1 (赤黒)	高台風	坂道区 SD1 東側
486	弥生土器	底部			(74)	外板ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を含む	普通	外 5YR6/3 (にぶい紅) 内 5YR5/4 (にぶい赤褐色)		SD1 西側埋土
487	弥生土器	底部			(58)	外板ナデ・ナデ?、内?	白色砂粒がやや多い	普通	外 7.5YR7/4 (にぶい紅) 内 7.5YR2/1 (灰)	穿孔	SD1 西埋土
488	弥生土器	底部			(44)	外ハケメ? - ハケメ、内ナデ	微細砂を含む	普通	外 7.5YR7/4 (にぶい紅) 内 10YR7/3 (にぶい浅黃)	中央部に穿孔	SD1 西端
489	弥生土器	底部			(70)	外ナデ、内ナデ	砂粒を含む	良好	外内 5YR6/4 (にぶい紅)	中央部に穿孔	SD1 中央東埋土
490	弥生土器	底部			(56)	外板ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を多く含む	普通	外 5YR7/2 (明褐色) 内 5YR5/2 (灰褐色)	中央部に穿孔	坂道区 SD1 東側
491	弥生土器	底部			55	外板ナデ、内ナデ?	砂粒をわりと多く含む	普通	外 2.5YR6/8 (棕) 内 2.5YR5/8 (明赤褐色)	中央部付近に穿孔	SD1 西端部
492	弥生土器	底部			(57)	外?、内ナデ	ヌケ	普通(やや腐減気味)	外 7.5YR8/3 (浅黄褐色) 内 7.5YR8/3 (浅黄褐色)	中央部に穿孔(外側から)	SD1 東側埋土
493	弥生土器	底部			(62)	外ヘラミガキ・ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外 2.5YR6/6 (棕) 内 2.5YR5/6 (明赤褐色)	中央が窪む	SD1 東側埋土
494	弥生土器	底部			22	外ハケメ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外 7.5YR6/4 (にぶい紅) 内 7.5YR3/1 (黒褐色)	尖底、中央部に穿孔	坂道区 SD1 西側

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
495	弥生土器?	底部					外ハケメ、内ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外 5YR6/6 (橙) 内 5YR5/6 (明赤)	尖底。中央部に穿孔2箇所	SD1 中央西側埋土中
496	弥生上器	底部			38		外ナデ、内ハケメ	砂粒を少し含む	やや甘い	外 7.5YR7/4 (にぶい橙) 内 7.5YR7/3 (にぶい橙)	中央部付近に穿孔	SD1 東端埋土
497	土師器	縁・口縁部					外? - ヨコナデ、内?	砂粒を含む	普通	外内 5YR6/6 (RD)	腹凹線	SD1 中央埋土
498	土師器	縁・口縁部					外ヨコナデ、ヨコナデ	砂粒を含む	普通	外 5Y7/8 (橙) 内 5YR7/2 (明褐灰)	腹凹線	SD1 中央7セグメント中層
499	土師器	縁(長頸部)・口縁部	(52)				外ヘラミガキ+ナデ、内ヨコナデ+ナデ	微砂粒を含む	普通	外 10YR8/2 (灰白) 内 7.5YR7/4 (にぶい橙)	模様は 10R5/6	SD1 西側埋土
500	土師器	縁・口縁部	(146)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外 5YR7/6 (橙) 内 5YR6/6 (橙)	凹線 4 条	SD1 東側埋土
501	土師器	縁・口縁部	(148)				外ヨコナデ・ハケメ、内?	砂粒を少し含む	普通	外 5YR7/6 (橙) 内 2.5YR6/6 (橙)	凹線 3 条	SD1 中央部埋土
502	土師器	縁	(152)	(184)			外ヨコナデ・ハケメ・タキ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を比較的多く含む	普通	7.5YR6/4 (浅黄橙)	外観面にスス付着	SD1 C4 区
503	土師器	縁	(142)				外ヨコナデ?、内ヨコナデ?	粗砂粒をわりと多く含む	普通	外 7.5YR8/4 (浅黄橙) 内 7.5YR7/4 (にぶい橙)		SD1 西端部
504	土師器?	縁・口縁部	(183)				外ヨコナデ・ハケメ、内?	砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外 7.5YR7/4 (にぶい橙) 内 10YR7/3 (にぶい黄橙)		SD1 中央西側埋土
505	土師器	縁・口縁~胴部	(141)				外ヨコナデ・ハケメ+ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を含む	普通	外 7.5YR7/4 (にぶい橙) 内 5YR6/6 (橙)		SD1 東端部
506	土師器	縁・口縁~胴部上半	(145)				外ヨコナデ?、内?	砂粒をわりと多く含む	やや甘い	外 10YR7/3 (にぶい黄橙) 内 10YR7/3 (にぶい黄橙)		SD1 西埋土
507	土師器	縁・口縁部	(156)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	(白色) 砂粒を少し含む	普通	外 7.5YR6/4 (にぶい橙) 内 10YR8/3 (浅黄橙)	凹線 1 条	SD1 中央部埋土
508	土師器	縁・口縁部	(146)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外 7.5YR7/3 (にぶい橙) 内 7.5YR7/4 (にぶい橙)		SD1 中央西埋土
509	土師器	縁・口縁部	(163)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	やや甘い	外 10YR8/3 (浅黄橙) 内 10YR8/2 (灰白)		SD1 周辺東北側落込み埋土
510	土師器	縁・口縁~胴部	(126)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ、ヘラケズリ	微砂粒を含む	やや良い	外 7.5YR6/4 (にぶい橙) 内 7.5YR6/4 (にぶい橙)	非在地系の土器か?	拡張区 SD1 西端部
511	土師器	縁・口縁~胴部上半	(176)			(156)	外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外 2.5YR6/8 (橙) 内 2.5YR6/6 (橙)		SD1 東側埋土
512	土師器	縁					外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	外 2.5Y8/1 (灰白) 内 2.5Y8/1 (灰白)		SD1 東端部

遺物番号	種別	器種	法片(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土土地点
			口径	最大径	底径	器高						
513	土師器	壺・口縁～胴部上半					外ヨコナデ・ハケメ・ナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を含む	普通	外 2.5YR6/6 (橙) 内 2.5YR6/6 (橙)	脚部外面に炭化物付着	城郭区 SD1 中央部
514	土師器	壺・口縁～胴部上半	(140)				外ヨコナデ・ハケメ、ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を含む	普通	外 7.5YR7/4 (にぶい橙) 内 5YR6/6 (橙)		SD1 中央部埋土
515	土師器	壺・口縁～胴部					外ナデ・ハケメ、内ハケメ・ヘラケズリ	微砂粒を含む	良好	外内 7.5YR7/6 (橙)		SD1 中央
516	土師器	壺	(100)	(130)		140	外?・ハケメ・ヘラミガキ・ナデ、内?	微砂粒を少し含む	やや甘い	外 10YR8/3 (浅黄 橙) 内 5YR7/6 (橙)		SD1 北西側粘土坑
517	土師器	壺・口縁～胴部上半	(142)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	微砂粒 (雲母・石英等) を少し含む	普通	外 5YR6/6 (橙) 内 5YR6/6 (橙)		SD1 東端埋土
518	土師器	壺・口縁部	(123)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ	微砂粒を含む	普通	外 7.5YR6/4 (にぶい橙) 内 7.5YR6/3 (にぶい橙)		SD1 東側埋土
519	土師器	高杯・口縁部	(174)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ	微砂粒を少し含む	やや甘い	外 2.5YR5/6 (明 赤橙) 内 5YR8/4 (淡橙)		SD1 東側埋土
520	土師器	高杯	(170)				外ハケメ、内ナデ	砂粒 (小石若干) を含む	良好	外内 7.5YR6/6 (橙)		SD1 中央東側埋土
521	土師器	高杯・脚注部		31	(126)		外ヨコナデ・ハケメ・ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ・ナデ・ヨコナデ?	微砂粒をわずかに含む	普通	外 10YR8/3 (浅黄 橙) 内 10YR8/3 (浅 黄橙) 塗彩は 10R4/6 (赤)、脚部に円形の小透かし		城郭区 SD1 東側
522	土師器	高杯・脚柱部		39			外ハケメ、内不明	砂粒を少し含む	やや甘い	2.5YR6/8 (橙)		SD1 C4 区
523	土師器	高杯・脚部		31	129		外ヨコナデ、内シボリ+ナデ?	砂粒を少し含む	普通	外 10YR7/3 (に ぶい黄橙) 内 10YR7/2 (灰白)	円形の小さな透かし	SD1 中央 西Hづ
524	土師器	高杯・环底部～脚部		39	(120)		外ヨコナデ・ハケメ・ヨコナデ、内シボリ? - ヨコナデ	微砂粒を含む	やや不良	外内 5YR8/3 (淡 橙)	脚部円形の穿孔。塗彩	SD1 中央
525	土師器	高杯・脚部		(156)			外内?	砂粒を含む	良好	外 5YR7/6 (橙) 内 2.5YR6/8 (橙)		SD1 中央
526	土師器	高杯・脚部			(148)		外ナデ・ヘラミガキ・ヨコナデ、内ナデ・ハケメ	微砂粒を少し含む	普通	外 7.5YR7/6 (橙) 内 7.5YR7/6 (橙)	円形の小さな透かし	SD1 西端部
527	土師器?	器台	(191)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	粗砂粒を少し含む	やや甘い	外 10YR8/3 (浅黄 橙) 内 10YR8/3 (浅 黄橙) 塗彩部分 2.5YR6/6 (橙)	SD1 中央 西側埋土中	
528	土師器	器台					外ヨコナデ、内ハケメ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	外 10YR8/3 (浅黄 橙) 内 10YR7/3 (に ぶい黄橙)	2.5YR4/8 (赤橙) が外 面及び下半部に塗彩	SD1 中央 西側埋土
529	土師器?	鉢					外内?	砂粒を少し含む	やや甘い	外 2.5YR6/8 (橙) 内 2.5YR2/1 (赤橙)		SD1 西端部

遺物番号	種別	器種	法寸(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎上	焼成	色調	備考	出土地点
			LH径	最大径	底径	器高						
530	土師器	鉢					外ヘラケズリ+ナデ、内ハケメ	粗砂粒を若干含む	普通	外5YR7/4(にぶい相)内7.5YR7/4(にぶい相)	外広面に黒度	SD1 東側埋土
531	土師器	椀	(104)			58	外?、内ナデ	砂粒を含む	良好	外内5YR6/8(相)		SD1 中央7セス上層
532	土師器	椀・口縁部					外不明、内ヨコナデ・ハケメ	砂粒を比較的多く含む	普通	外10YR7/3(にぶい黄相)内5YR7/6(相)		SD1 C4区
533	土師器	椀	(140)				外ヘラケズリか、内ヨコナデ	微砂粒を少し含む	普通	外10YR8/3(浅黄相)7.5YR8/4(浅黄相)		SD1 C4区
534	土師器	椀	(244)				外ヨコナデ・ヘラケズリ+ハケメ、内ハケメ	砂粒を少し含む	普通	2.5YR5/6(明赤相)		SD1 C4区
535	土師器	椀		176	61		外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ	微砂粒を少し含む	やや甘い	外7.5YR8/4(浅黄相)内7.5YR8/4(浅黄相)		SD1 西側埋土
536	土師器	椀	(216)			60	外?、内ヨコナデ・ハケメ・ナデ	微砂粒・砂粒を多く含む	良好	外5YR6/4(にぶい相)内5YR6/6(相)		SD1 中央7セス上層
537	土師器	椀	(166)				外ヨコナデ・ナデ・ハケメ、内不明	粗砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR5/6(明赤相)内5YR6/4(にぶい相)		SD1 C4区
538	土師器	椀	(153)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外5YR7/6(相)内7.5YR7/4(にぶい相)		SD1 中央部埋土
539	土師器?	椀・口縁部	(174)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外2.5YR6/6(相)内5YR6/6(相)		SD1 中央7セス上層
540	土師器	椀			(188)		外内?	微砂粒をわずかに含む	普通	外10R5/8(赤)内10R5/8(赤)		SD1 西端埋土
541	土師器	椀	(174)				外ヨコナデ・ヘラギリ、内ヨコナデ	砂粒を含む	やや不良	外内10YR8/2(灰白)		SD1 中央埋土
542	土師器	椀	(130)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ内ヨコナデ	微砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相)内7.5YR7/3(にぶい相)		SD1 中央西セス北寄り下層
543	土師器	椀	(118)				外ヨコナデ・ナデ・ヘラ切り、内ヨコナデ+ヘラミガキ	微砂粒をわずかに含む	やや甘い	外10R5/6(赤)内7.5YR7/4		SD1 C4区
544	土師器	椀	86			29	外内?	砂粒を含む	良好	外内5YR6/8(相)		SD1 中央西端上中
545	土師器	椀	(77)				外ナデ、内ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外5YR6/4(にぶい相)内5YR6/4(にぶい相)		城跡区 SD1 西端下中
546	土師器	椀	65			29	外ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR8/3(浅黄相)10YR8/1(灰白)	手捏ね土器	SD1 C4区
547	土師器	杯	(74)			33	外ハケメ・?、内ハケメ・ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外5YR6/6(相)内5YR7/2(明褐灰)		SD1 東側埋土

遺物番号	種別	器種	法寸（単位はmm。カッコは復原値）				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
548	土師器	小型壺		(82)			外ヨコナデ・ハケメ+ナデ、内?・ナデ	砂粒を含む	やや甘い	外7.5YR8/6(浅黄緑) 内7.5YR5/1(褐灰)		SD1周辺 東北側埋土
549	土師器	小形壺	(80)				外ヨコナデ・ナデ、内ヨコナデ・ナデ	(白色) 砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/6(緑) 内10YR7/3(にぶい黄緑)		SD1中央部埋土
550	土師器	小型壺			(20)		外ナデ・ハケメ+ヨコナデ、内ヨコナデ	微砂粒(茎母等)を少し含む	良い	外2.5YR5/6(明赤緑) 内2.5YR5/6(明赤緑)		SD1東端部埋土
551	土師器	手握ね土器 or ミニチュア土器		64		52+a	外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR8/4(浅黄緑) 内7.5YR3/1(黒褐)		城強区 SD1東端部
552	土師器	手握ね土器			25		外内?	微砂粒を少し含む	やや甘い	外7.5YR8/6(浅黄緑) 内7.5YR7/6(緑)		城強区 SD1中央部
553	土師器	把手					ナデ	砂粒を少し含む	普通	7.5YR8/4(浅黄緑)	U字形、断面長方形	SD1
554	土師器	把手					ミガキ	砂粒を比較的多く含む	やや良い	5YR5/6(明赤緑)	断面円形	SD1西端埋土
555	土師器	底部					外ハケメ・ナデ、内板ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外10YR7/3(にぶい黄緑)、内7.5YR7/4(にぶい緑)	尖底気味	SD1 C4区
556	土師器	底部					外ハケメ、内ナデ・ヘラミガキ	砂粒を含む	普通	外5YR6/6(緑) 内2.5YR6/6(緑)		城強区 SD1西端部
557	土師器	底部					外ハケメ、内ハケメ・ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR4/2(灰黒) 内5YR6/4(にぶい緑)		城強区 SD1西端部
558	土師器	底部					外内?	砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR6/6(緑) 内5YR6/6(緑)		SD1西端トレンチ埋土中
559	土師器	底部					外ナデ、内ハケメ・ナデ	微砂粒をわずかに含む	やや甘い	外7.5YR8/3(浅黄緑) 内7.5YR8/3(浅黄緑)	僅かに丸い	SD1西端埋土内
560	土師器	底部					外ハケメ、内ナデ?	砂粒をや多く含む	やや甘い	外7.5YR5/4(にぶい緑) 内7.5YR6/4(にぶい緑)		城強区 SD1西端部
561	土師器	底部			42		外ハケメ、内ナデ	砂粒を多く含む	普通	外10YR4/1(褐灰) 内10YR7/4(にぶい黄緑)		SD1中央埋土
562	土師器?	底部			30		外ヘラケズリ・ナデ、内ハケメ・ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外5YR6/4(にぶい緑) 内5YR5/6(明赤緑)		SD1中央西端埋土中
563	土師器	壺・底部					外ナデ?、内?	砂粒をわりと多く含む(微粗混入)	やや甘い	外7.5YR4/1(褐灰) 内7.5YR6/6(緑)		SD1東側埋土
564	土師器	底部			48		外ナデ、内ナデ	砂粒を含む	普通	外10YR3/1(黒褐) 内5YR6/8(緑)		SD1中央西端埋土
565	土師器	底部					外ナデ?・ナデ、内ハケメ・ナデ	砂粒をや多く含む	普通	外7.5YR8/4(浅黄緑) 内2.5YR5/8(明赤緑)	中央部付近に穿孔	城強区 SD1西端トレンチ

遺物番号	種別	器種	法寸(単位はmm、カッコは概算値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
566	土師器	底部					外ハケメ、内ヘラケズリ	微砂粒・砂粒を含む	普通	外2.5Y6/3(にぶい黄) 内10YR6/4(にぶい黄相)		SD1中央埋土
567	土師器	裏・底部					外ナデ、内ヘラケズリ+ナデ・ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外2.5YR6/6(相) 内5YR7/6(相)		拡張区SD1東端部
568	土師器	底部		40			外ナデ、内ナデ	砂粒を若干含む	良好	外2.5YR3/1(黒褐) 内5YR6/8(相)		SD1中央埋土
569	土師器	底部		38			外ハケメ、内ナデ	砂粒を含む	やや不良	外7.5YR3/1(黒褐) 内5YR6/6(相)		SD1中央埋土
570	土師器	底部					外ヘラケズリ+ナデ、内ハケメ・ナデ	砂粒を含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相) 内10YR7/2(にぶい黄相)		拡張区SD1中央トレンチ
571	弥生土器	齒・口縁部	(241)				外ヨコナデ+ヘラミガキ、内ヨコナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	外5YR6/4(にぶい相)、内7.5YR7/4(にぶい相)		SX1中央
572	弥生土器	齒・口縁部					外ヨコナデ、内ハケメ	砂粒を少し含む	普通	10YR7/3(にぶい黄相)	端部に並行条線	SX1東S
573	弥生土器	齒、頸部					外ハケメ・ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外10YR8/2(灰白)、内2.5YR8/4(淡黄)	斜め凸帯	SX1中央
574	弥生土器	齒	(202)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/3(にぶい相) 内7.5YR7/4(にぶい相)		SX1中央
575	弥生土器	齒・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ・ハケメ+ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	7.5YR8/4(淡黄相)		SX1東N
576	弥生土器	齒、口縁部	(109)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	5YR7/6(相)	凹線4条	SX1中央
577	弥生土器	齒、口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を含む	やや甘い	10YR8/3(淡黄相)	凹線4条	SX1東
578	弥生土器	齒・口縁部					外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ	微砂粒を少し含む	普通	7.5YR8/4(淡黄相)		SX1中央
579	弥生土器	齒・頸部					外ハケメ、内ナデ	粗砂粒を比較的多く含む	普通	外2.5YR6/4(にぶい相) 内10YR7/4(にぶい黄相)		SX1中央
580	弥生土器	齒、口縁部	(157)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ハケメ・ヘラケズリ	砂粒を比較的多く含む	普通	7.5YR6/4(にぶい相)		SX1東
581	弥生土器	齒、口縁部	(213)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	7.5YR7/4(にぶい相)		SX1東
582	弥生土器	齒、口縁部	(169)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	やや甘い	7.5YR7/4(にぶい相)		SX1西
583	弥生土器	裏、口縁部	(101)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒をわずかに含む	普通	7.5YR8/3(淡黄相)		SX1東
584	弥生土器	腹・口縁部					外ヨコナデ・刺突文・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	7.5YR8/4(淡黄相)	凹線4条、連續刺突文	SX1東端

遺物番号	種別	器種	法寸(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
585	弥生土器	甕	(200)	(240)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	やや甘い	7.5YR6/4(にぶい 橙)		SX1 中央
586	弥生土器	甕	(150)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒を含む	普通	10YR7/3(にぶい 黄橙)		SX1 中央
587	弥生土器	甕・口縁部	(156)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を比較的多く含む	やや甘い	5YR6/6(紅)	四線3条	SX1 中央
588	弥生土器	甕・口縁部		(213)			外ヨコナデ、内ヘラミガキ	微砂粒を含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい 橙)内5YR5/6(明赤紅)		SX1 東N
589	弥生土器	甕	(143)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ヘラケズリ+ナデ	微砂粒をわずかに含む	普通	10YR8/2(灰白)	口縁端部に沈線	SX1 中央
590	弥生土器	甕・口縁部	(108)				外不明、内ヨコナデ	砂粒を比較的多く含む	やや甘い	5YR7/8(紅)		SX1 東端
591	弥生土器	高坏・环部	(200)				外ヨコナデ・ヘラミガキ、内ヨコナデ・ハケメ+ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	2.5YR6/6(橙)	口縁部に円線3条	SX1 中央
592	弥生土器	高坏	(203)		128	126	外不明、内ヨコナデ・ハケメ	砂粒を比較的多く含む	普通	外7.5YR8/4(浅 黄橙)内7.5YR7/4(に ぶい橙)	脚柱部に円形の穿孔	SX1 中央
593	弥生土器	高坏	(238)				外ヨコナデ・ヘラミガキ・ナデ・ヘラミガキ、内ヨコナデ・ヘラミガキ・ナデ・ヘラミガキ		普通	外5YR6/4(にぶい 橙)内7.5YR6/4(にぶい 橙)		SX1 西
594	弥生土器	高坏・脚部			(72)		外ヨコナデ・ヘラケズリ・ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外7.5YR8/2(灰白) 内7.5YR8/3(浅 黄橙)	穿孔遡る	SX1 東端
595	弥生土器	脚・口縁部					外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を比較的多く含む	普通	外5YR7/4(にぶい 橙)内5YR6/6(橙)	四線3条	SX1 中央
596	弥生土器	鉢					外不明・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を比較的多く含む	甘い	外2.5YR6/6(紅) 内5YR6/6(橙)		SX1 東
597	弥生土器	鉢・口縁部					外ヨコナデ・ハケメ+ヘラミガキ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒を含む	普通	10YR7/3(にぶい 黄橙)	四線3条	SX1 西
598	弥生土器	椀	(113)				外ナデ、内ハケメ	微砂粒をわずかに含む	普通	10YR8/4(浅黄橙)		SX1 中央
599	弥生土器	椀・口縁部					外ヨコナデ・ナデ、内ヨコナデ・ハケメ	砂粒を少し含む	普通	外10YR7/3(にぶい 黄橙)内10YR7/4(にぶい 黄橙)		SX1 東N
600	弥生土器	椀・口縁部	(126)				外ヨコナデ・ナデ・ハケメ+ナデ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	粗砂粒を含む	普通	外5YR6/6(橙) 内2.5YR5/6(明赤紅)		SX1 東

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
601	弥生土器	底部			(40)		外板ナデ・ナデ、内ヘラケズリ	微砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相) 内7.5YR4/1(相灰)		SX1 中央
602	弥生土器	底部			(76)		外不明、内不明	砂粒を少し含む	やや甘い	外7.5YR7/4(にぶい相) 内7.5YR4/1(相灰)		SX1 中央
603	弥生土器	底部			(72)		外ヘラミガキ、内不明	砂粒を少し含む	普通	外10YR7/3(にぶい黄相) 内10YR7/1(灰白)		SX1 中央
604	弥生土器	底部			(86)		不明	砂粒を多く含む	やや甘い	外2.5YR5/6(明赤相) 内5YR8/1(灰白)	内部炭化物付着	SX1 東
605	弥生土器	底部			49		外ナデ、内不明	粗砂粒を比較的多く含む	やや甘い	外10YR8/2(灰白) 内10YR8/3(浅黄相)		SX1 東
606	弥生土器	底部			(36)		外ハケメ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相) 内7.5YR6/4(にぶい相)		SX1 東
607	弥生土器	底部					外ハケメ+ナデ	微砂粒を多く含む	普通	外10YR2/1(黑) 内10YR6/2(灰黄相)		SX1 中央
608	弥生土器	底部					外ナデ? -板ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	7.5YR7/3(にぶい相)		SX1 中央
609	弥生土器	底部			(56)		外板ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外2.5YR7/8(相) 内5YR8/1(灰白)		SX1 中央
610	弥生土器	底部			49		外板ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい相) 内10YR8/1(灰白)		SX1 東
611	弥生土器	底部			(52)		外ヨコナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を多く含む	普通	2.5YR6/6(相)		SX1 中央
612	弥生土器	底部			51		外ナデ、内ナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相) 内2.5YR7/1(灰白)		SX1 東
613	弥生土器	底部			(70)		外板ナデ、内ナデ?	砂粒を比較的多く含む	普通	外2.5YR5/6(明赤相) 内10YR7/4(にぶい黄相)		SX1 東トレ
614	弥生土器	底部			(89)		不明	砂粒を比較的多く含む	普通	7.5YR7/4(にぶい相)		SX1 西
615	弥生土器	底部			(41)		外ヘラミガキ、内不明	粗砂粒を含む	普通	10YR7/4(にぶい黄相)	外底面に黒斑有	SX1 中央
616	弥生土器	底部			(37)		外ハケメ、内ヘラケズリ	砂粒を比較的多く含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相) 内7.5YR6/1(相灰)		SX1 東端
617	弥生土器	底部			(25)		外ハケメ・ナデ、内ハケメ	微砂粒を少し含む	やや甘い	5YR5/6(明赤相)	外面上に黒斑有	SX1 東端
618	弥生土器	底部			(49)		外ハケメ、内不明	砂粒を少し含む	普通	外2.5YR8/3(淡黄) 内10YR2/1(黑)		SX1 中央
619	弥生土器	底		(139)	(21)		外ヘラミガキ-不明-ヘラミガキ、内ナデ・ハケメ	微砂粒を少し含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい相) 内7.5YR3/1(相灰)		SX1 東
620	弥生土器	底部					外ハケメ・ナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	外2.5YR6/6(相) 内2.5YR5/6(明赤相)	尖底、中央部に直径8mmの穿孔	SX1 東

遺物番号	種別	器種	法寸(単位はmm。カッコは復原値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			L1径	最大径	底径	器高						
621	土師器	壺・口緑部	(184)				外不明、内不明	砂粒を含む	やや甘い	外5YR7/7(にぶい緑) 内5YR8/3(にぶい緑)		SX1 中央
622	土師器	壺・口緑部	(162)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外7.5YR8/3(浅黄緑) 内7.5YR7/4(にぶい緑)		SX1 中央
623	土師器	壺	(122)				外ヘラミガキ、内ヨコナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	7.5YR8/4(浅黄緑)	暗文風	SX1 中央
624	土師器	壺、口緑部	(98)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ	粗砂粒をわずかに含む	やや甘い	外5YR7/3(にぶい緑) 内5YR7/4(にぶい緑)		SX1 東
625	土師器	壺	(154)	(225)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を比較的多く含む	普通	10YR8/1(灰白)	外器面にスス付着	SX1 東
626	土師器	壺、口緑部	(144)	(194)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	やや甘い	外7.5YR8/4(浅黄緑) 内7.5YR7/2(にぶい緑)	腹部外面にスス付着	SX1 東N
627	土師器	壺、口緑部	(111)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	10YR7/3(にぶい黄緑)		SX1 中央
628	土師器	壺	(176)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい緑) 内7.5YR8/4(浅黄緑)		SX1 中央
629	土師器	壺、口緑部	(147)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR8/3(浅黄緑) 内10YR7/1(灰白)		SX1 西
630	土師器	壺、口緑部	(238)				外不明、内ヨコナデ?・ヘラケズリ?	砂粒を比較的多く含む	やや甘い	7.5YR8/6(浅黄緑)		SX1 東
631	土師器	壺	(168)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	粗砂粒を少し含む	やや甘い	10YR7/4(にぶい黄緑)	凹線	SX1 中央
632	土師器	壺・口緑部	(153)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を含む	普通	外5YR8/4(淡緑) 内7.5YR8/6(浅黄緑)		SX1 東N
633	土師器	壺・口緑部	(146)				外ヨコナデ・内ヨコナデ・ナデ	粗砂粒を少し含む	普通	外10YR8/2(灰白)、内10YR8/3(浅黄緑)		SX1 東N
634	土師器	壺・口緑部	(13)				外ヨコナデ・内ヨコナデ・ヘラケズリ・ナデ	砂粒比較的小ない	普通	10YR8/3(浅黄緑)		SX1 東端
635	土師器	壺	(144)	(187)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ・ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR7/4(にぶい緑) 内10YR6/2(灰黄緑)	外器面に黒斑有	SX1 東
636	土師器	壺	(138)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	甘い	外7.5YR8/4(浅黄緑)		SX1 中央
637	土師器	壺		200			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ・ハケメ	粗砂粒を含む	普通	5YR7/3(にぶい緑)	外器面に黒斑有	SX1 東
638	土師器	高环	(228)		(148)	152	外ハケメ・不明、内ハケメ・ナデ・ハケメ	微砂粒を少し含む	普通	5YR8/2(灰白)	円形透かし	SX1 東N

遺物番号	種別	器種	法寸(単位はmm、カッコは復原値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	高さ						
639	土師器	高環・脚部	(208)				不明	砂粒を少し含む	やや甘い	2.5YR6/8(相)		SX1 東
640	土師器	高環	(222)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	微砂粒を少し含む	普通	10YR8/2(灰白)		SX1
641	土師器	高環・脚部			139		外ヨコナデ・ナデ・ヨコナデ、内ハケメ・ナデ・ヨコナデ	微砂粒を少し含む	普通	7.5YR8/4(浅黄相)	穿孔3か所	SX1 中央
642	土師器	高環・脚部			(112)		外ハケメ、内不明	微砂粒をわずかに含む	不良	5YR7/6(相)	円形透かし	SX1 東N
643	土師器	椀	110			74	外ヨコナデ・タタキ・ヘラケズリ、内ヨコナデ・タタキ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	外 10YR8/4(浅黄相) 内 7.5YR7/4(にぶい相)	尖底、腹塗土器?	SX1 中央
644	土師器	椀	(110)	(88)		90	外ヨコナデ・ハケメ・ナデ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒を含む	普通	外 7.5YR7/4(にぶい相)	小型丸底椀	SX1 東
645	土師器	椀	180			60	外ハケメ、内ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外 7.5YR8/6(浅黄相) 内 5YR8/4(浅黄相)		SX1 中央
646	土師器	椀	(172)			71	外ヨコナデ・ハケメ・ヘラケズリ+ヘラミガキ、内ヨコナデ・ハケメ	微砂粒を少し含む	普通	外 10YR7/4(にぶい黄相) 内 10YR8/4(浅黄相)		SX1 西
647	土師器	椀	186			86	外ハケメ・ナデ、内ハケメ	微砂粒を少し含む	普通	外 10YR7/4(にぶい黄相) 内 5YR5/2(灰青)	外器面に黒斑	SX1 中央
648	土師器	椀	196			65	外ヨコナデ・板ナデ、内ヨコナデ・ハケメ+ヘラミガキ・ナデ	微砂粒をわずかに含む	普通	外 7.5YR7/4(にぶい相) 内 10YR6/4(にぶい黄相)		SX1 中央
649	土師器	椀	(188)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ	微砂粒を少し含む	普通	5YR8/3(淡相)		SX1 中央
650	土師器	椀	(206)				外不明、内ハケメ	砂粒を比較的多く含む	普通	外 10YR7/4(にぶい黄相) 内 7.5YR7/4(にぶい相)		SX1 中央
651	土師器	椀	(164)			77	外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ	微砂粒を少し含む	甘い	外 5YR6/6(相) 内 5YR5/6(明赤相)		SX1 中央
652	土師器	碗・口縁部	(190)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	10yR7/3(にぶい黄相)	塗彩あり	SX1 中央
653	土師器	椀・口縁部	(140)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	7.5YR7/6(相)		SX1 中央
654	土師器	椀	(149)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外 10YR8/3(浅黄相) 10YR8/2(灰白)		SX1 東
655	土師器	椀・口縁部					外ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ・ハケメ+ヘラミガキ	微砂粒を少し含む	普通	外 7.5YR2/1(黒) 内 7.5YR6/4(にぶい相)		SX1 中央

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	高さ						
656	土師器	底部			19		外ヨコナデ?、内ナデ?	砂粒を多く含む	やや甘い	10YR8/3(浅黄橙)	側面に平坦部がある	SX1 東
657	土師器	縁	(110)	(72)		69	外ヨコナデ・ハケメ+ナデ、内不明	砂粒を含む	やや甘い	外7.5YR8/4(浅黄橙) 内7.5YR6/1(褐灰)	中央にわずかに平坦部在り	SX1
658	弥生土器	縁・口縁部	(133)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	5YR3/1(黒褐)	口縁部削痕文、側面凸帯4条、小孔(2孔1組)	C4区トレンチ
659	弥生土器	縁・口縁部	(186)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ	砂粒を少し含む	普通	2.5YR5/6(明赤褐)	側面に凸帯6条	C5区 追構面
660	弥生土器	縁・口縁部	(124)				内外?	砂粒を比較的多く含む	普通	10YR8/3(浅黄橙)	口縁部に刻目、側面凸帯3条、無文凸帯1条	調査区北西
661	弥生土器	縁・胴部					外ナデ・ハケメ、内ナデ	砂粒を比較的多く含む	良い	外5YR6/6(相) 内5YR5/3(にぶい赤褐)		調査区東側
662	弥生土器	縁・口縁部					外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	10YR8/3(浅黄橙)		B3区トレンチ
663	弥生土器	縁・胴部					外ヨコナデ、内?	砂粒を含む	やや甘い	7.5YR8/4(浅黄橙)	C字状連續スタンプ文	B4区トレンチ
664	弥生土器	縁・口縁部	(158)				外ヨコナデ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外10YR8/4(浅黄橙) 内10YR8/2(灰白)	口縁部削痕文、凸帯3条	C4区トレンチ
665	弥生土器	縁・口縁部					外ヨコナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR8/3(淡橙) 内5YR7/6(相)	口縁部円形スタンプ文	B4区トレンチ
666	弥生土器	縁・口縁部	(176)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ	砂粒を含む	普通	外10YR7/1(灰白) 内10YR7/2(にぶい黄橙)	凹線3条	埴張区SD1検出面
667	弥生土器	縁	(94)				外ヨコナデ・ハケメ?内?・ハケメ	砂粒を比較的多く含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい相) 内10YR6/2(灰黄褐)	凹線2条	D5区トレンチ
668	弥生土器	縁	(159)				外ヨコナデ、内?	砂粒を比較的多く含む	やや甘い	10YR8/2(灰白)	凹線10条	埴張区西側検出面
669	弥生土器	縁・口縁部	(205)				外ヨコナデ、内ヨコナデ・ハケメ	砂粒を比較的多く含む	普通	7.5YR8/4(浅黄橙)	凹線4条+垂下粘土、頸部に連續刻文突	C4区トレンチ
670	弥生土器	縁・口縁部	(194)				外ヨコナデ?、内ヨコナデ・ハケメ・シリ・?	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/3(にぶい相) 内7.5YR7/6(相)		埴張区SD1検出面
671	弥生土器	縁	(178)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・シリ+ナデ	砂粒を少し含む	普通	7.5YR7/4(にぶい相)	凹線3条	B3区トレンチ
672	弥生土器	縁	(144)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外10YR7/4(にぶい黄橙) 内7.5YR7/4(にぶい相)		調査区南東
673	弥生土器	縁・口縁部	(180)				外ヨコナデ+ヘラギキ、内ヨコナデ	砂粒を比較的多く含む	良い	5YR6/4(にぶい相)		南東上層

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは復原値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
674	弥生土器	壺・口縁部	(188)				外ヨコナデ、内ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	10YR8/3(浅黄緑)	円形浮文、波状文	C4区トレンチ
675	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ?、内ヨコナデ?	砂粒を比較的多く含む	普通	外 5YR6/4(にぶい緑) 内 5YR3/2(暗赤緑)		B3区トレンチ
676	弥生土器	壺・胴部		(162)			外内?	砂粒を少し含む	普通	7.5YR8/3(浅黄緑)	波状文	C4区
677	弥生土器	壺・口縁部					外?、内ナデ	砂粒をわずかに含む	やや甘い	外 10YR8/1(灰白) 10YR8/2(灰白)	口輪部刻印、沈線、頸部にスス付着	C4区トレンチ
678	弥生土器	壺・口縁部					外内?	砂粒を比較的多く含む	やや甘い	10YR7/4(にぶい黄緑)	櫛描沈線	C5区粘土坑
679	弥生土器	壺・口縁部					外ヨコナデ、内不明	砂粒を比較的多く含む	普通	外 7.5YR6/2(灰緑) 内 7.5YR8/4(浅黄緑)		調査区西側
680	弥生土器	壺・口縁部					外ナデ・櫛描沈線、内ナデ+ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	7.5YR6/1(褐色)		C4区トレンチ
681	弥生土器	壺・口縁部					外ナデ・櫛描沈線、内ナデ・ヘラミガキ	砂粒を少し含む	普通	外 7.5YR6/1(褐色) 内 7.5YR8/4(浅黄緑)	L字状口縁	C4区トレンチ
682	弥生土器	壺・口縁部					外ナデ?-ハケメ?、内ナデ?	砂粒を少し含む	やや甘い	外 10YR8/3(淡黄緑) 内 10YR8/2(灰白)		B3区トレンチ
683	弥生土器	壺・口縁部					外内?	砂粒を含む	やや甘い	外 7.5YR7/6(橙) 内 5YR7/6(橙)		拡張区SD1周辺西側落込み
684	弥生土器	壺・口縁部	(140)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ・ヘラミガキ	砂粒を少し含む	良い	外 2.5YR6/4(にぶい緑) 2.5YR6/8(緑)	凹線2条	C4区トレンチ
685	弥生土器	壺・口縁部	(140)				外ヨコナデ・ハケメ+ヨコナデ、内ヨコナデ、ナデ?	砂粒を少し含む	やや甘い	外 7.5YR7/4(にぶい緑) 内 5YR8/6(緑)	凹線1条	拡張区SD1検出面
686	弥生土器	壺	(152)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ?	砂粒を比較的多く含む	やや甘い	7.5YR7/4(にぶい緑)	凹線2条	D5区粘土坑
687	弥生土器	壺・口縁部	(128)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	10YR7/3(にぶい黄緑)	凹線1条	C4区
688	弥生土器	壺	(154)	(186)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ナデ+ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を含む	良い	外 7.5YR6/4(にぶい黄緑) 内 2.5YR5/4(にぶい赤緑)	凹線1条	C4区
689	弥生土器	壺・口縁部	(174)				外?、内ヨコナデ?	砂粒を比較的多く含む	普通	外 7.5YR6/4(にぶい緑) 内 5YR7/4(にぶい緑)	口輪部連續刻突文、頸部刻印内凹	C4区SD1確認トレンチ
690	弥生土器	壺	(125)	(140)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ	微砂粒を少し含む	普通	外 10YR8/2(灰白) 10YR7/3(にぶい黄緑)		調査区南東上崩
691	弥生土器	壺	(209)				外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ	砂粒を比較的多く含む	普通	外 2.5Y6/3(にぶい黄) 内 10YR7/4(にぶい黄緑)		D5区トレンチ

遺物番号	種別	器種	法寸(単位はmm、カッコは復原値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			口径	最大径	底径	器高						
692	弥生土器	甕	(100)	(115)			外?-ハケメ、内?-ハケメ・?	砂粒を比較的多く含む	普通	外SYR7/4(にぶい赤) 内SYR7/3(にぶい赤)		C3区トレンチ内
693	弥生土器	高环・脚部			(93)		外?、内ヘラケズリ	粗砂粒を含む	普通	SYR6/6(赤)	並行条線・縱位条線、小孔	調査区際
694	弥生土器	高环・脚部			(104)		外ヨコナデ?、内ヨコナデ?	砂粒を比較的多く含む	普通	外7.5YR6/4(にぶい赤) 内7.5YR7/4(にぶい赤)	縱位条線、円形穿孔	調査区際
695	弥生土器	高杯・脚柱部			(160)		外ヘラミガキ・ヨコナデ、内ヘラミガキ	粗砂粒を含む	普通	外7.5YR7/4(にぶい赤) 7.5YR6/3(にぶい赤)	外面塗彩、小孔あり	B4区トレンチ
696	弥生土器	高杯・脚柱部					外ハケメ・ヘラミガキ、内ヘラミガキ・ナデ?	砂粒を少し含む	普通	外5YR6/4(にぶい赤) 10YR5/6(赤)		C4区トレンチ
697	弥生土器	高杯・脚柱部			(210)		外ナデ・ハケメ、内ヘラケズリ・ナデ・ハケメ・ヨコナデ	砂粒を少し含む	普通	外SYR6/4(にぶい赤) 内7.5YR6/4(にぶい赤)	柱部と脚部の焼に円形の小孔	B4区トレンチ
698	弥生土器	器台			(352)		外ハケメ・ヨコナデ、内ヘラケズリ	粗砂粒を含む	普通	7.5YR7/4(にぶい赤)	凹線、刺突文	B4区トレンチ
699	弥生土器	底部			(36)		外ハケメ、内ヘラケズリ?	粗砂粒を少し含む	普通	外2.5YR6/6(赤) 内10YR7/1(灰白)		調査区南東
700	弥生土器	底部			26		外ナデ?、内ナデ?	砂粒を少し含む	やや甘い	外5YR7/6(赤) 内7.5YR8/3(浅黄赤)		南東トレーニチ
701	弥生土器	底部			108		外板ナデ・ナデ、内ナデ?	砂粒を少し含む	普通	外7.5YR7/2(明黄赤) 内7.5YR4/1(褐灰)		B4区トレンチ
702	弥生土器	底部			47		外ヘラミガキ・ナデ、内ナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	外2.5YR4/1(赤灰) 2.5YR3/1(暗赤灰)	スス付着	B4区トレンチ
703	弥生土器	底部			(38)		外タタキ?・ナデ、内不明	砂粒を少し含む	やや甘い	7.5YR8/3(浅黄赤)	高台状中央部やや窪む	調査区北西
704	弥生土器	底部			59		外板ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒をわりと多く含む	普通	外10YR7/4(にぶい黄赤) 内10YR7/2(にぶい黄赤)		城塁区SD1検出面
705	弥生土器	底部			48		外板ナデ・ナデ、内ナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	外7.5YR8/4(浅黄赤) 内7.5YR8/2(灰白)		調査区北西
706	弥生土器	底部			58		外板ナデ・ナデ、内板ナデ・ナデ	砂粒を含む(粗砂粒もあり)	普通	外2.5YR5/6(明赤褐) 内2.5YR4/1(赤灰)		城塁区SD1検出面
707	弥生土器	底部			(68)		外ハケメ、内ナデ・ハケメ・ナデ	砂粒を比較的多く含む	普通	外2.5YR6/4(にぶい黄赤) 5YR3/1(黒褐)		C3区粘土坑
708	弥生土器	底部			41		外ナデ?・ナデ、内板ナデ	砂粒を少し含む	普通	外10YR7/2(にぶい黄赤) 内10YR3/1(黒褐)	ボタン状	B3区トレンチ
709	弥生土器	底部			(43)		外板ナデ・ナデ、内?	砂粒を含む	普通	外2.5YR6/6(赤) 内5YR7/6(赤)		城塁区SD1検出面

遺物番号	種別	器種	法寸(単位はmm、カッコは復原値)				調整文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			L1径	最大径	底径	器高						
710	弥生土器	底部			40		外板ナデ・ナデ、内ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外10YR8/3(浅黄橙)内10YR8/4(浅黄橙)	外側に5ヵ所、内側に一ヵ所未貫通の小孔	B3区トレンチ
711	弥生土器	底部					外ハケメ、内ナデ	砂粒を少し含む	普通	7.5YR7/4(にぶい橙)	尖底、中央部に穿孔	B3区トレンチ
712	弥生土器	底部			26		外ハケメ、内ハケメ	砂粒を少し含む	普通	外2.5YR5/6(明赤灰)内5YR6/4(にぶい橙)	中央部に穿孔(両側から)	B4区トレンチ
713	弥生土器	底部			(53)		外板ナデ?・ナデ、内ナデ?	砂粒を比較的多く含む	普通	外7.5YR8/3(浅黄橙)内7.5YR8/1(灰白)	中央部に穿孔(両側から)	調査区西半
714	土師器	甕	(156)	(197)			外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	外2.5YB/3(淡黄)内2.5YR8/1(灰白)	凹線1条	C4区トレンチ
715	土師器	甕・口縁部	(159)				外ヨコナデ?・内ヨコナデ?	砂粒を比較的多く含む	やや甘い	10Yr7/3(にぶい黄橙)		調査区南東上層
716	土師器	甕・口縁部	(160)				外ヨコナデ?・内ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒を少し含む	普通	10YR8/2(灰白)		C4区トレンチ
717	土師器	甕・口縁部	(154)				外ヨコナデ・ナデ?・内ヨコナデ・ヘラケズリ+ナデ	砂粒を含む	普通	外10YR8/2(灰白)内10YR8/1(灰白)		C4区トレンチ
718	土師器	甕・口縁部	(147)				外ヨコナデ、内?	砂粒を少し含む	甘い	10YR8/2(灰白)		C4区トレンチ
719	土師器	甕・底					外?、内ナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	5YR6/6(相)	外面にスス付着	C3区トレンチ内
720	土師器	高杯・脚柱部			(151)		外?-ナデ・ヘラミガキ?-内?-ナデ?	砂粒を少し含む	普通	7.5YR7/4(にぶい相)	円形小孔(3か所)	C4区トレンチ
721	土師器	高杯					外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ	砂粒を含む	やや甘い	5YR7/6(相)		C4区
722	土師器	器台					外ヨコナデ、内ヘラケズリ+ヨコナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒をわずかに含む	普通	10YR8/2(灰白)		B3区トレンチ
723	土師器	器台					外ヨコナデ、内ヘラケズリ+ナデ・ナデ・ヘラケズリ	砂粒を比較的多く含む	普通	10YR8/4(浅黄橙) 復元部径89mm		B4区トレンチ
724	土師器	器台			(174)		外ヨコナデ、内ヘラケズリ・ヨコナデ	砂粒をわずかに含む	普通	外7.5YR8/4(浅黄橙)内7.5YR8/6(浅黄橙)		B3区トレンチ
725	土師器	碗	(131)	(108)			外ヨコナデ?・内ヨコナデ?	砂粒を多く含む	甘い	7.5YR8/4(浅黄橙)	小型丸底碗	拡張区SD1北側粘土坑
726	土師器	鉢	(55)			45	外ナデ、内ナデ	微砂粒をわずかに含む	普通	外5YR7/4(にぶい相)内5YR6/4(にぶい相)	手捏ね土器	C4区トレンチ
727	土師器	鉢		44			外ナデ、内ナデ	微砂粒をわずかに含む	普通	10Yr7/3(にぶい黄橙)	手捏ね土器	C4区トレンチ
728	土師器	碗	(88)			57	外?、内ヘラミガキ・ナデ	砂粒を含む	甘い	外5YR7/4(にぶい相)内10YR7/1(灰白)		B4区遺構面

遺物番号	種別	器種	法量(単位はmm、カッコは推算値)				調査文様等	胎土	焼成	色調	備考	出土地点
			L径	最大径	底径	器高						
729	土師器	椀	(152)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ・ハケメ	砂粒を比較的多く含む	甘い	外 10YR7/4 (にぶい黄柾) 内 10YR7/3 (にぶい黄柾)		C5区 トレンチ
730	土師器	椀	(200)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	10YR8/3 (浅黄柾)		B4区 遷柵面
731	土師器	椀	118			29	外内不明	砂粒を少し含む	甘い	2.5YR6/8 (柾)		D4区 トレンチ
732	土師器	碗・口縁部	(154)				外ヨコナデ・ヘラケズリ、内ヨコナデ	砂粒を少し含む	やや甘い	10YR8/3 (浅黄柾)		B3区 トレンチ
733	土師器	椀		(77)	(18)		外ヨコナデ・ハケメ・ナデ、内ヨコナデ・ナデ	微砂粒を含む	良い	5YR6/4 (にぶい柾)		調査区 南東トレンチ
734	土師器	椀			20		外?・ナデ、内ナデ	微砂粒を少し含む	やや甘い	2.5YR7/2 (灰黄)	手捏ね土器	B4区 遷柵面
735	製塙土器?	甕・口縁部					外ナデ・タタキ、内ナデ	微砂粒を少し含む	普通	外 5YR4/1 (褐灰) 内 7.5YR6/4 (にぶい柾)		城柵区 SD1 西端部付近
736	土師質土器	土鍋・口縁部片					外ヨコナデ・ハケメ、内ヨコナデ・ハケメ	砂粒を多く含む	普通	外 10YR2/1 (黒) 内 10YR8/3 (浅黄柾)		城柵区 SD1 中央部付近
737	土師器	椀・口縁部					外タタキ、内ナデ・タタキ	微砂粒をわずかに含む	普通	2.5Y8/1 (灰白)		C4区 トレンチ
738	製塙土器	胴部片					外タタキ、内ナデ	微砂粒をわずかに含む	普通	外 7.5YR8/4 (浅黄柾) 内 7.5YR8/4 (浅黄柾)		城柵区 SD1 中央部付近

### (3) 土製品・石製品・石器 (739～928, 第41図～第61図, 図版48～図版62)

土製品・玉類・石器についてはまとめて報告する。

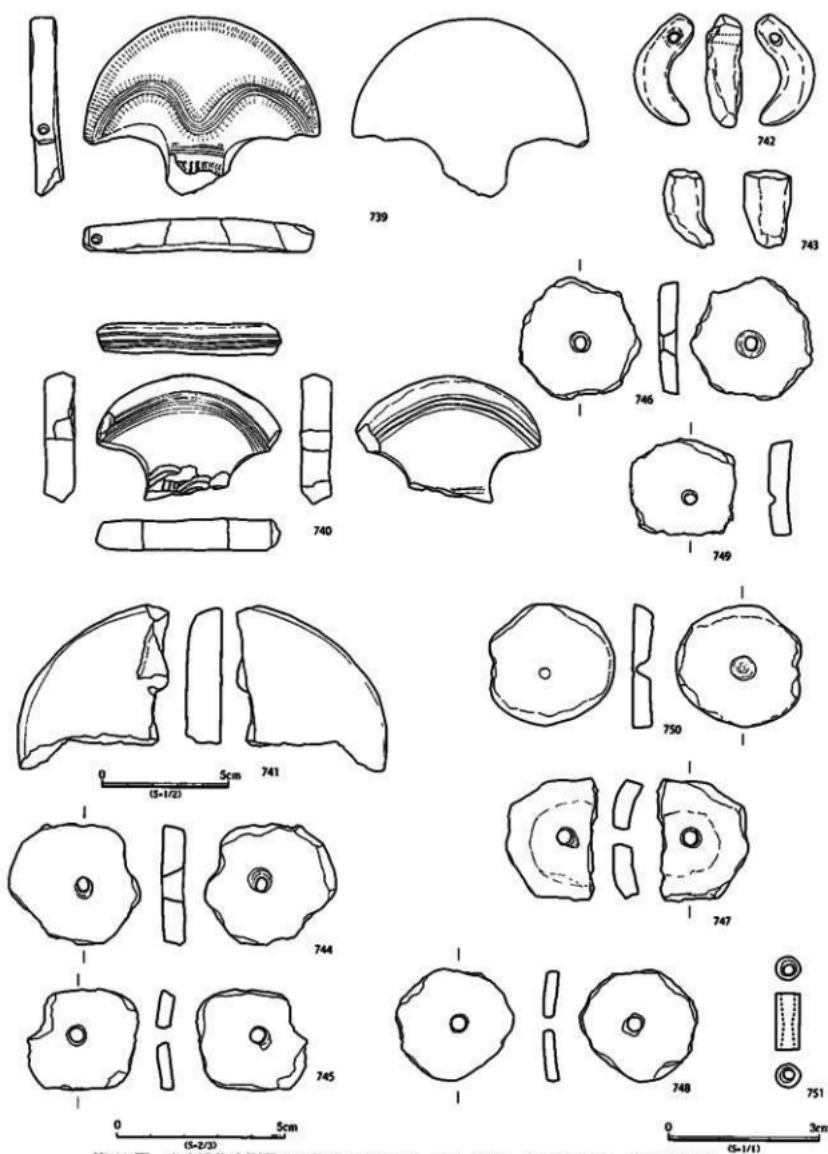
土製品では分銅型土製品(739～741), 有孔円盤(744～750), 勾玉(742, 743)が出土した。分銅型土製品はいずれも一部が欠失しており, 全形を窺いえない。739のように波状の沈線で眉もしくは目の表現を施したものがある。外縁部及び波状曲線のまわりには板状工具の端部による2条単位の連続刺突文が巡る。また中央部には沈線が横位に施されており, 片側側面には通し用の小孔が穿たれている。740は外縁部に並行する数条単位の沈線が巡っている。有孔円盤では未貫通のもの(749, 750)があり, これらは未製品と思われる。勾玉の743は頭部が欠落している。

玉類には管玉(751)がある。両側から穿孔されている。

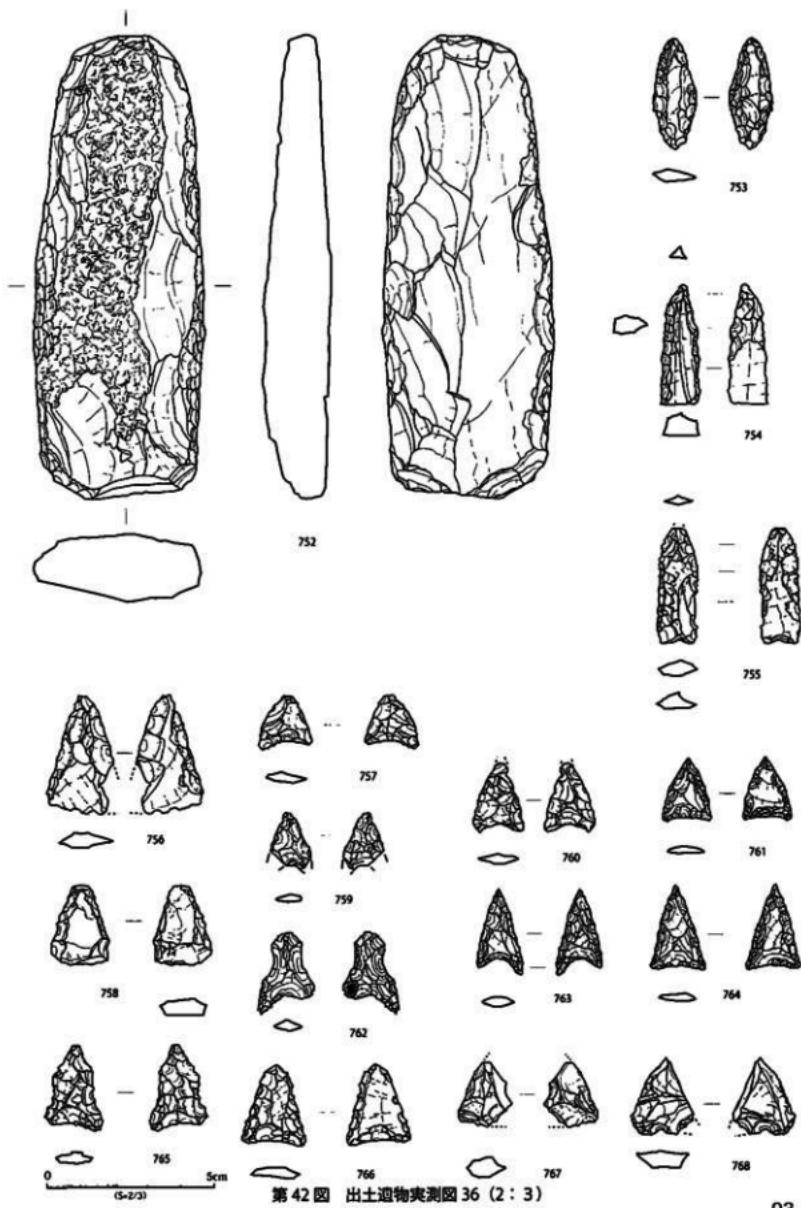
石器(752～928)は便宜的に打製石器と磨製石器に大別した。打製石器(752～852)には石斧(752), 石鎌(753～803), 石槍(804), 石匙(805), スクレイパー(806～825), 石錐(826～834), 使用痕のある剝片(835～837)加工痕のある剝片(838～840), 楔形石器(841～852)がある。

752は片面に自然面を残す。側縁部には使用のためかかなりの摩耗が見受けられる。石鎌は形状から柳葉形(753), 槍先形(754・755), 三角形(756～803)に分けられる。三角形の中には側縁部が抉れて多角形をなすもの(762, 765, 770, 774, 775)や片脚気味のもの(763)もある。未製品と思われるものもある。805は石匙としたが, 遠端部が欠失しており, 背面側に未加工部分があることから製作途上で放棄された可能性もある。スクレイパーは多くが両側からのリタッチで刃部を作出している。816や817のように片側のみのものもある。石錐には比較的小さなもの(832・833)もある。楔形石器は両端部に細かな剥離痕が認められる。側縁部は欠失しているものがほとんどである。

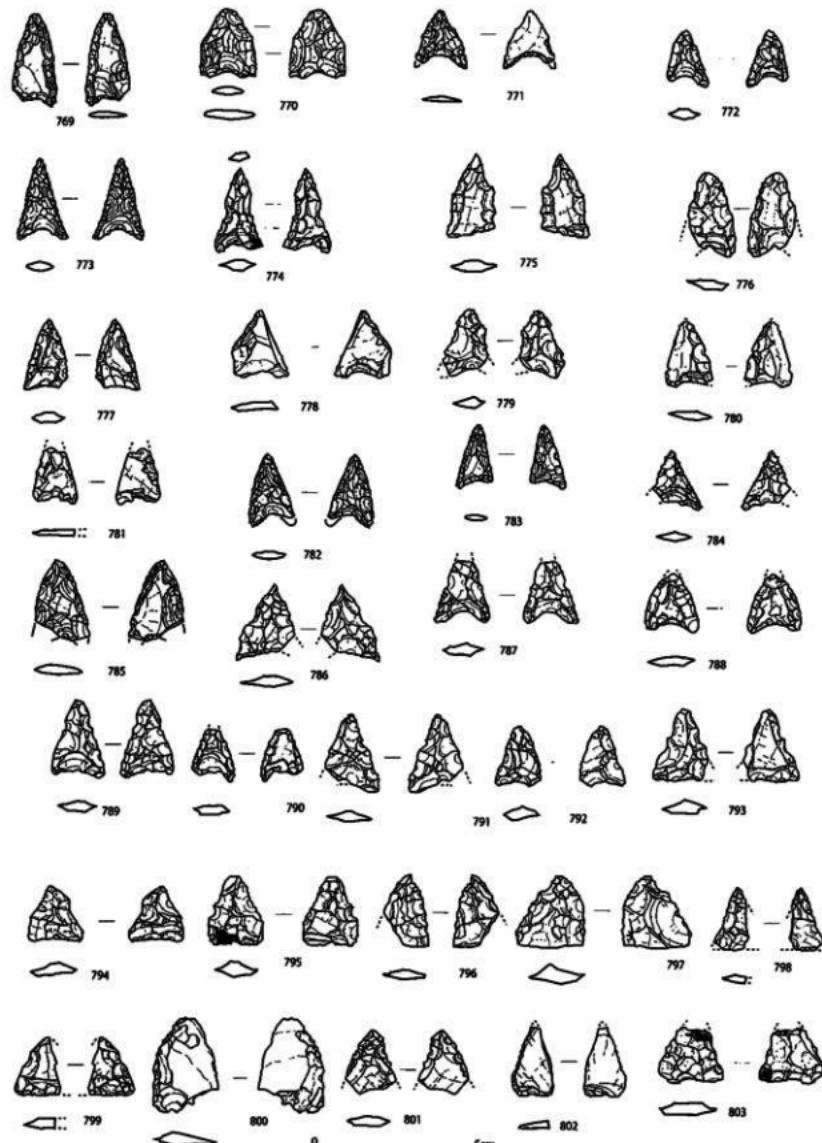
磨製石器(853～928)には石斧(853～858)ノミ状石器(859～861), 石包丁(862～877), 叩石(878～903), 磨石(904～908), 凹碟(909～920), 石皿(921)砥石(922), 石錐(923～928)がある。石斧は両刃で, 853には刃部及び欠失した基部側端面, および側縁部に敲打痕が確認できる。使用後に敲き石として転用したものであろう。短冊状で片刃のものをノミ状石器とした。石包丁には一孔のものと二孔のものがある。863は両側縁に抉りがある。867や870は未製品と思われる。叩石は棒状もしくは楕円状の平たい石材の両端部に敲打痕を持つものが多い。878・889・892・894・896・898は片側のみ, 880は側縁部にもあり, 883は抉りがある。891は端部ではなく側縁部にある。磨石は概ね拳大ぐらいの大きさで, 手のひらに収まるものが多い。窟みのある碟は909や910のように石包丁の未製品の可能性もあるが, 概ね円碟や角碟の中央に窟みがあり, これらの窟みは両側(912・914～919)と片側のもの(911・913)がある。石錐は平らな円碟の対向する両側に抉り状の加工をしたものである。



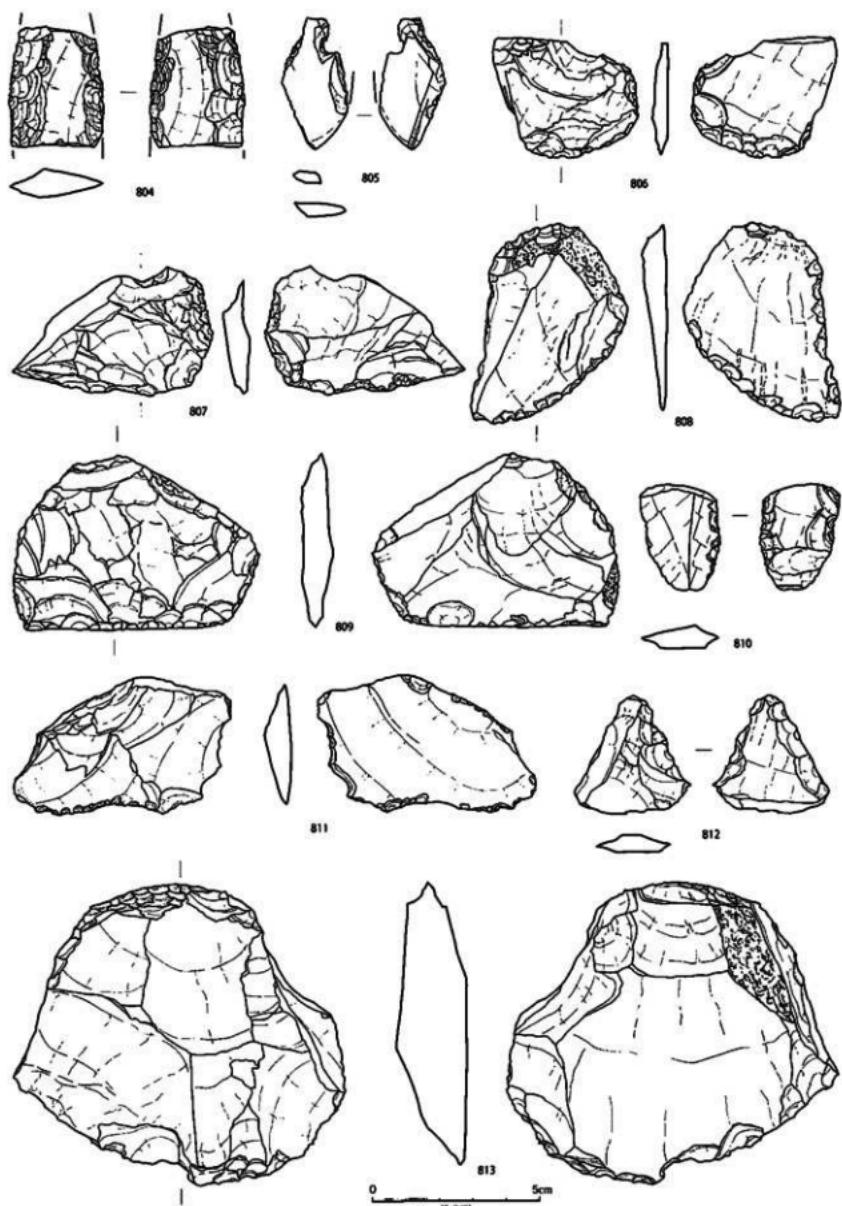
第41図 出土遺物実測図35 (739~741; 1; 2, 742~750; 2; 3, 751; 対大)



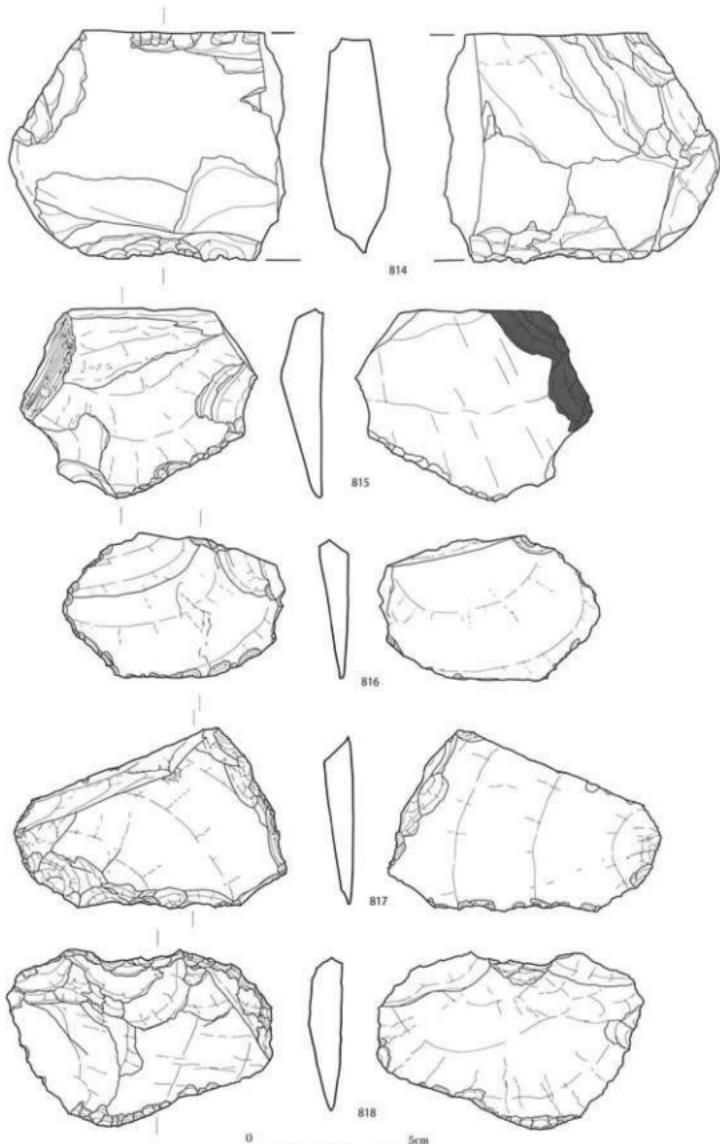
第42圖 出土遺物實測圖 36 (2 : 3)



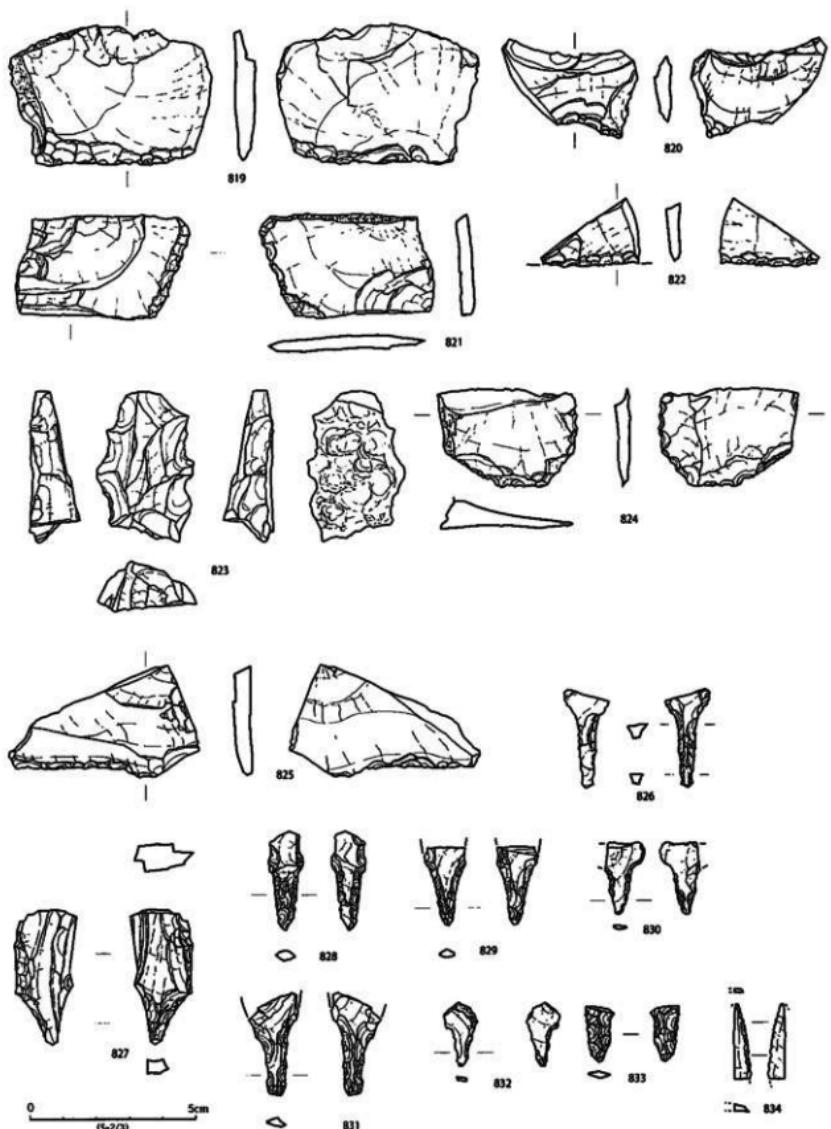
第43図 出土遺物実測図 37 (2:3)



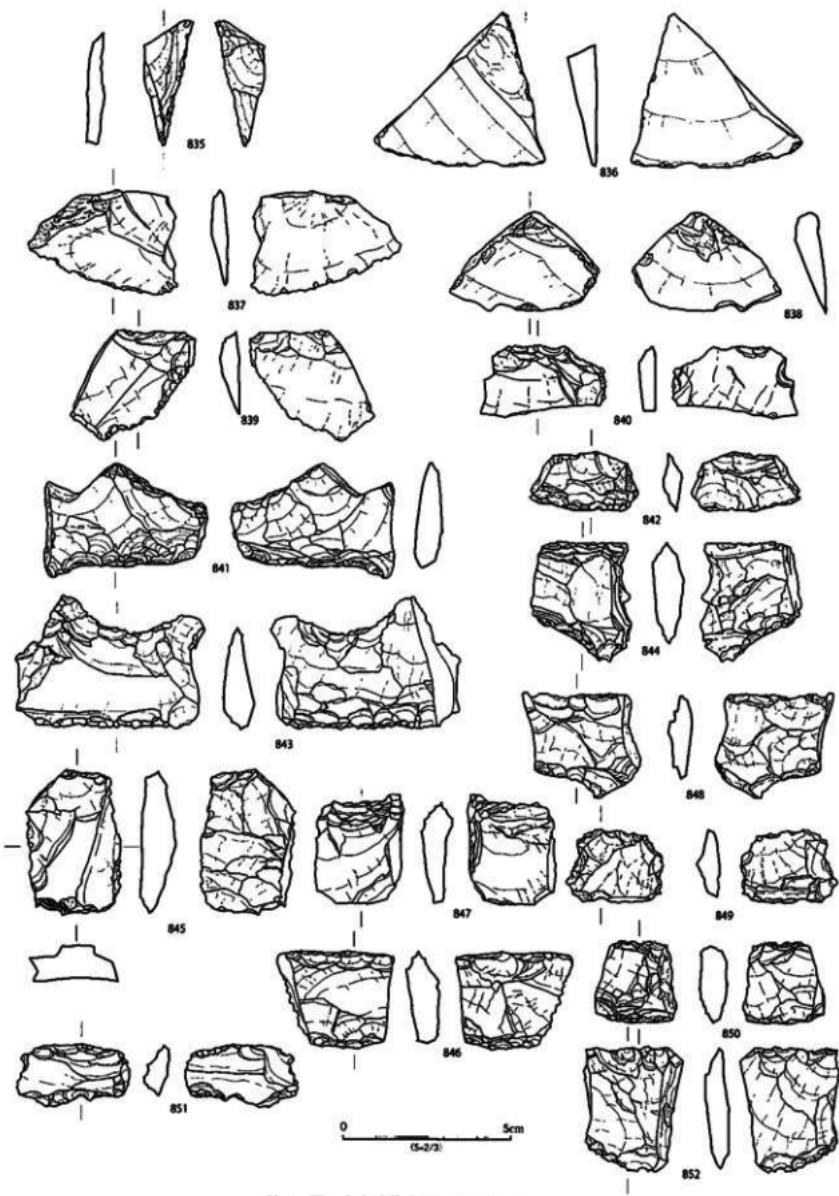
第44図 出土遺物実測図 38 (2:3)



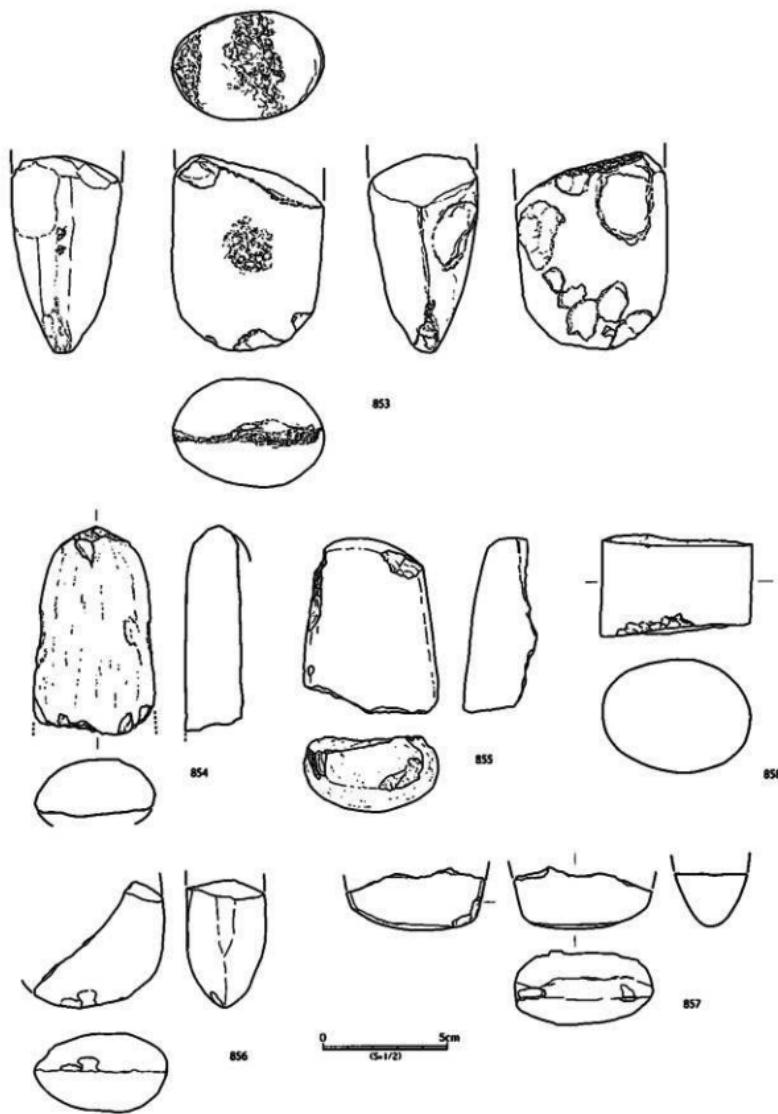
第45図 出土遺物実測図 39 (2 : 3)



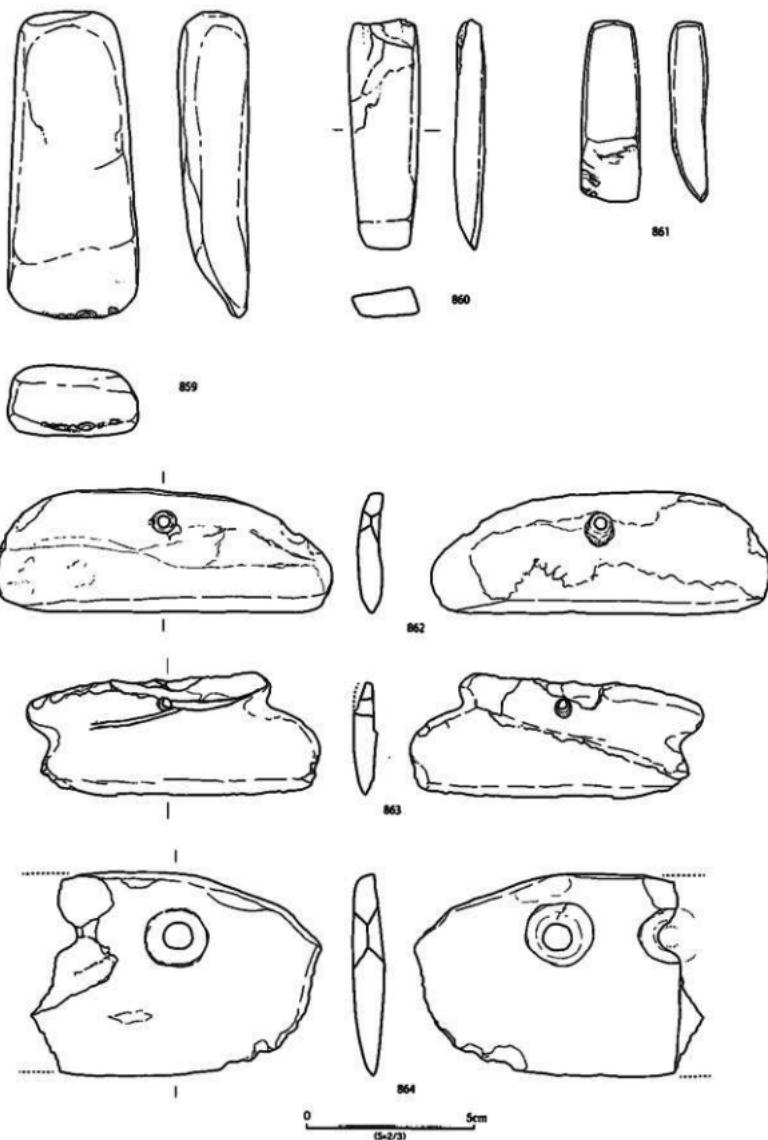
第46図 出土遺物実測図 40 (2 : 3)



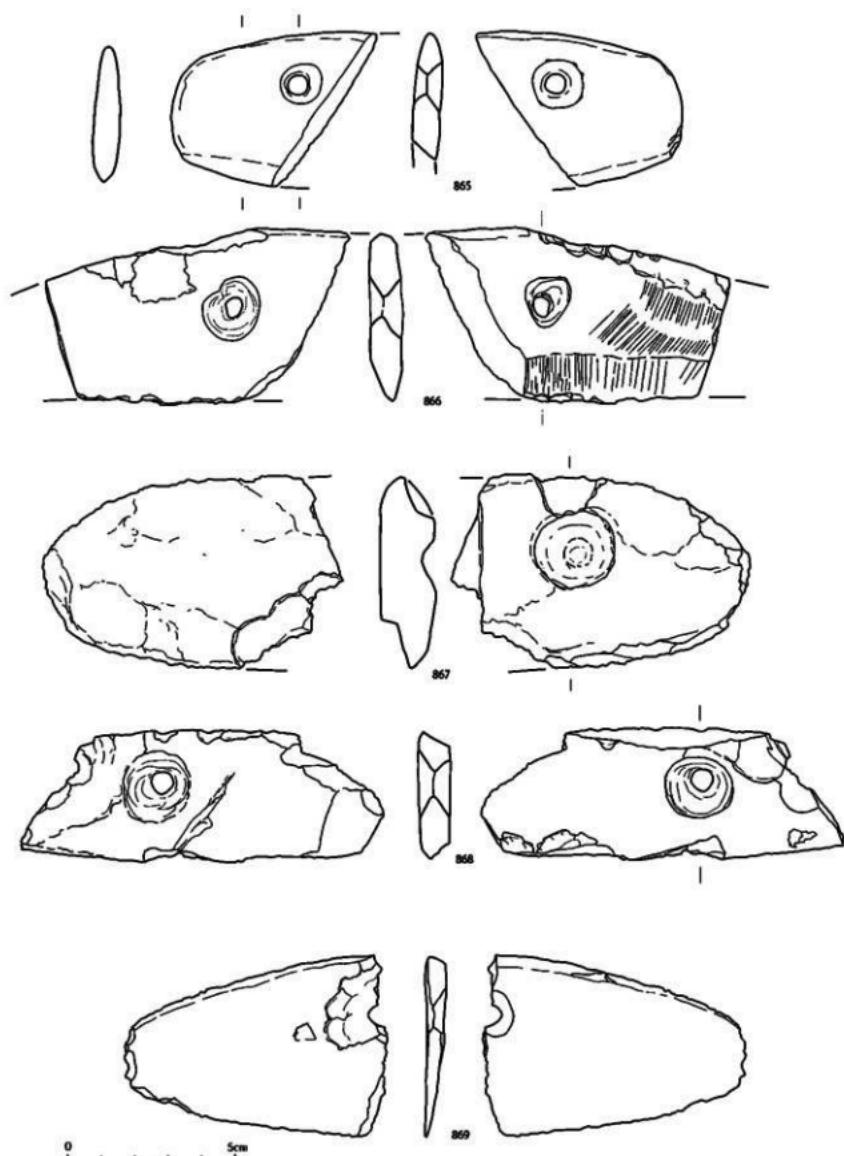
第47図 出土遺物実測図41(2:3)



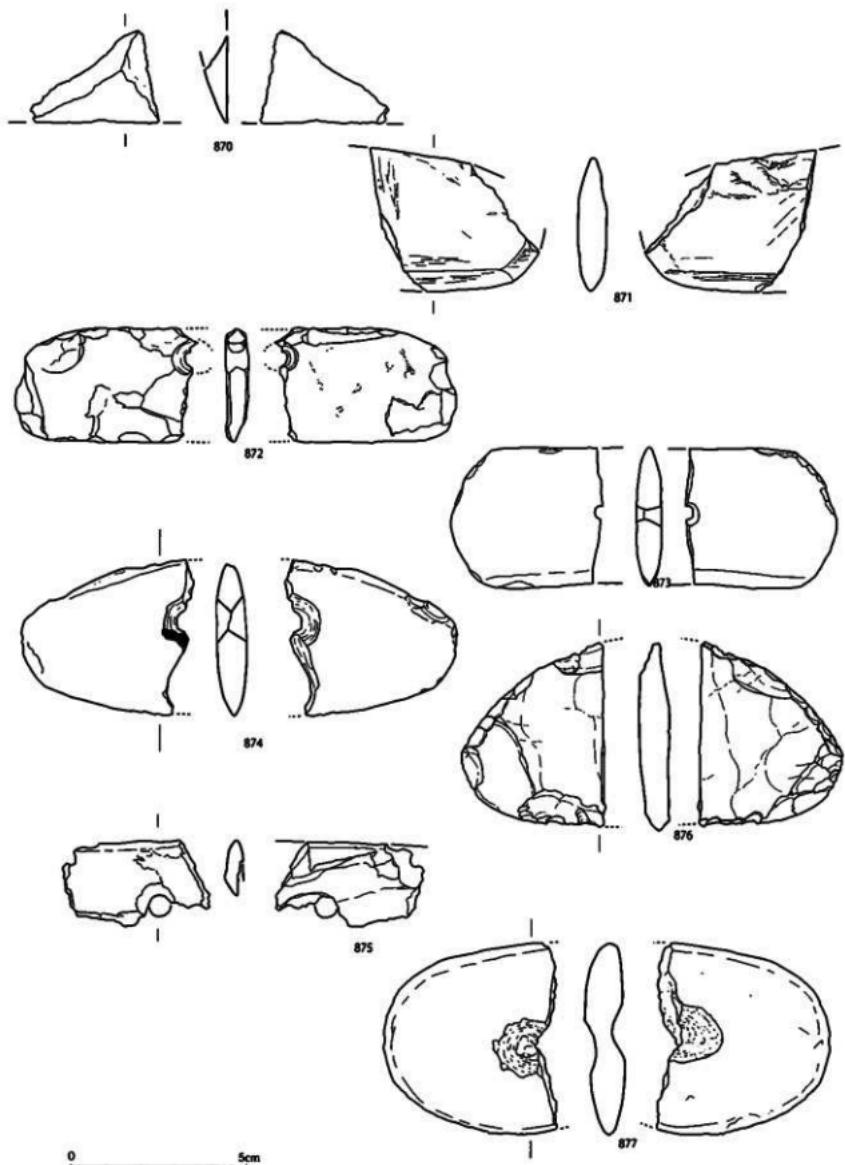
第48図 出土遺物実測図42 (1:2)



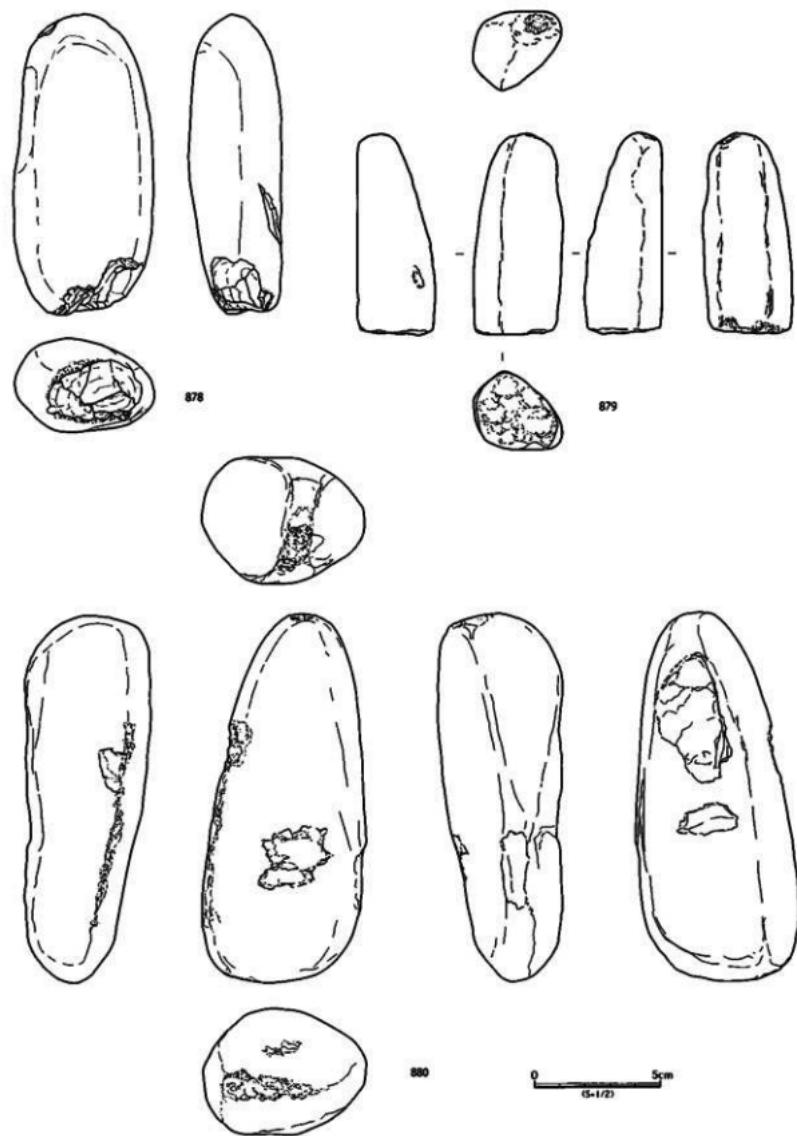
第49図 出土遺物実測図43 (2:3)



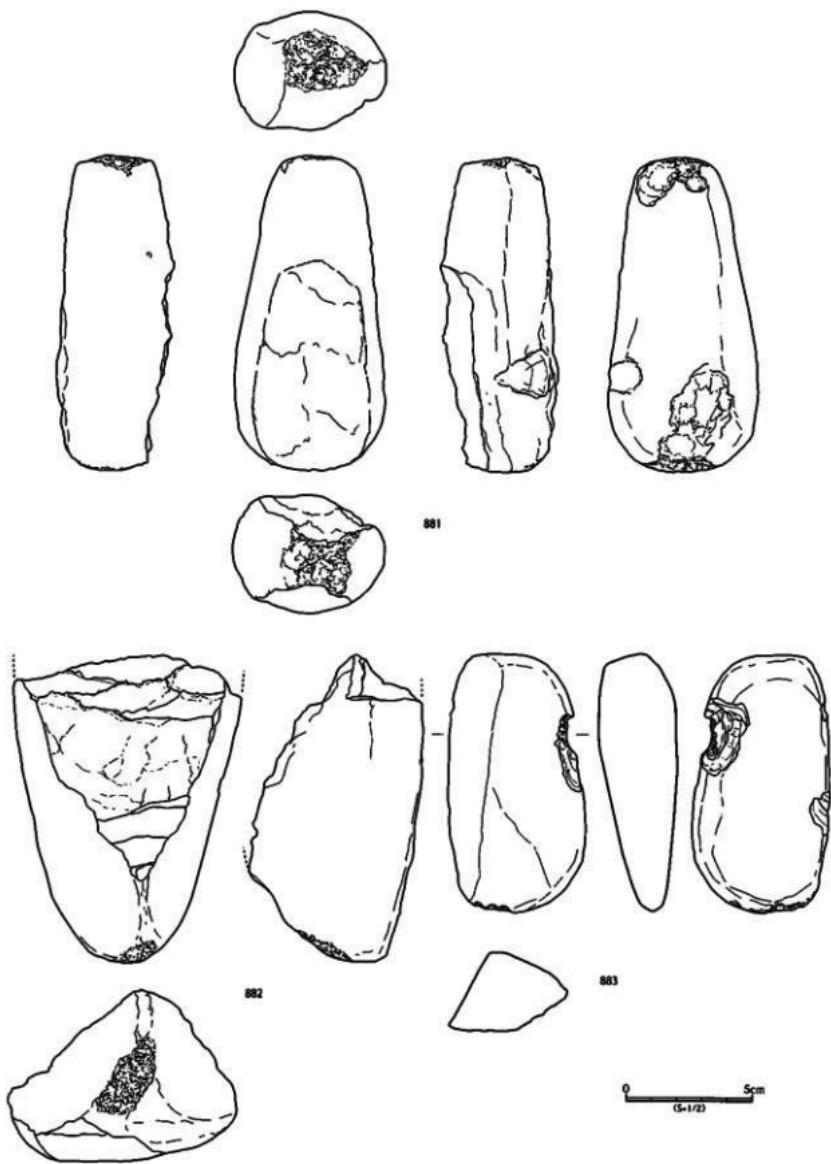
第50圖 出土遺物測量圖 44 (2:3)



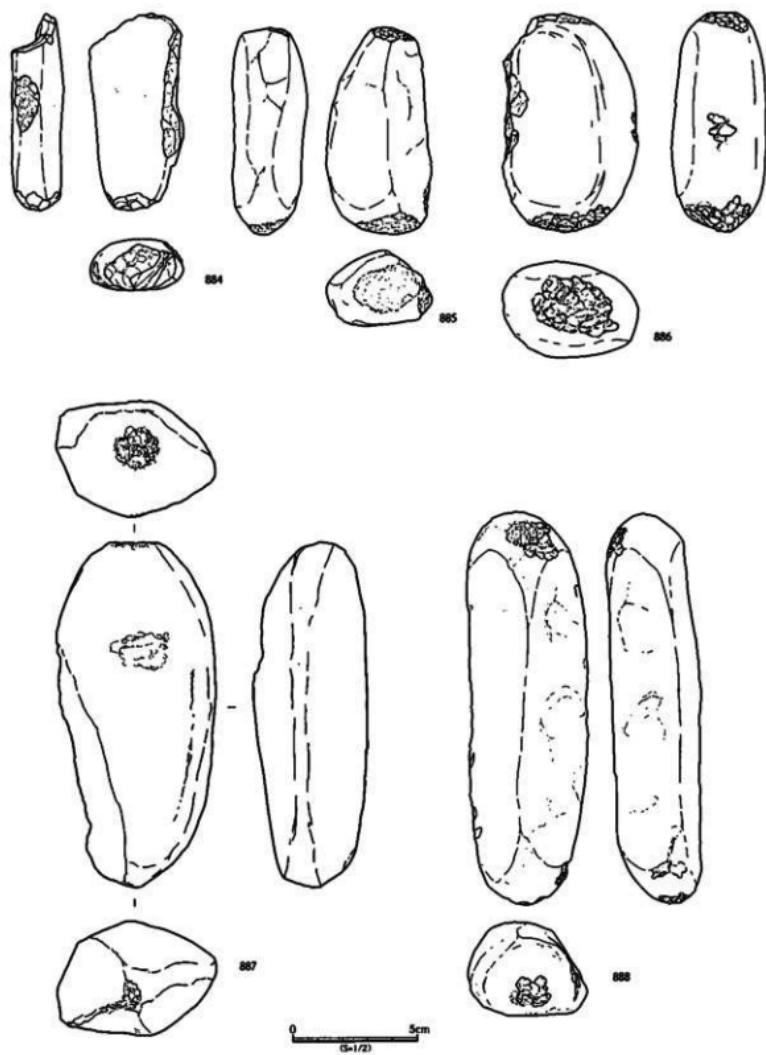
第51图 出土遗物实测图45 (2:3)



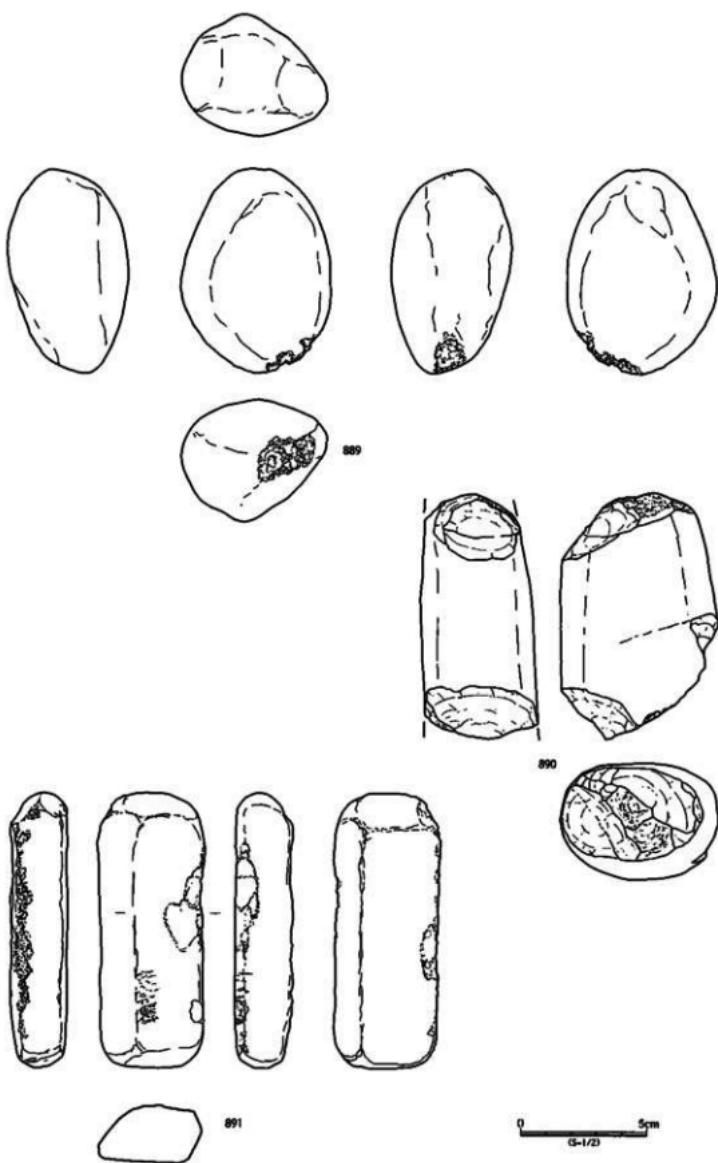
第52図 出土遺物実測図 46 (1:2)



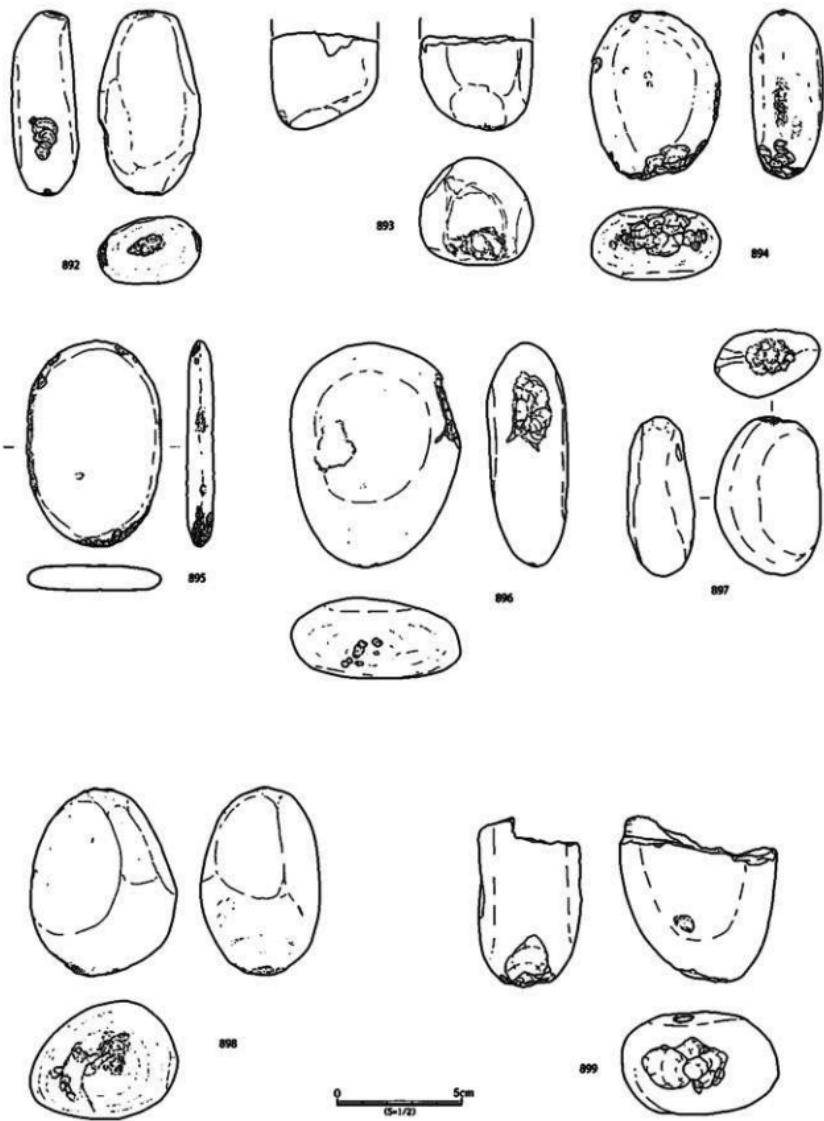
第53圖 出土遺物實測圖 47 (1:2)



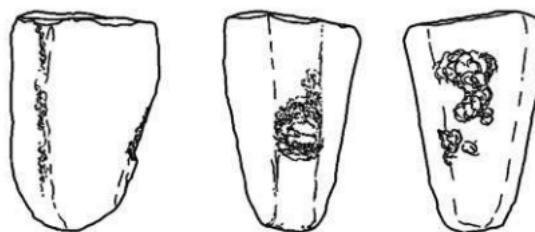
第54図 出土遺物実測図 48 (1 : 2)



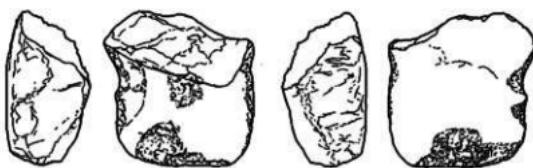
第55図 出土遺物実測図 49 (1:2)



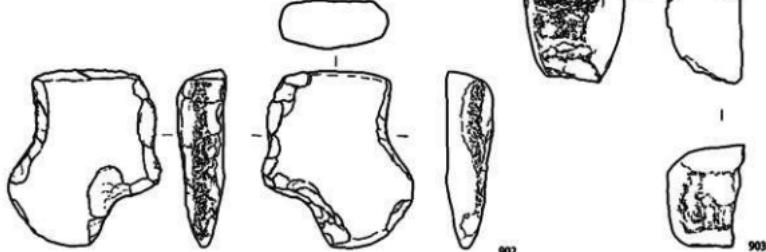
第56図 出土遺物実測図 50 (1:2)



900



901



902

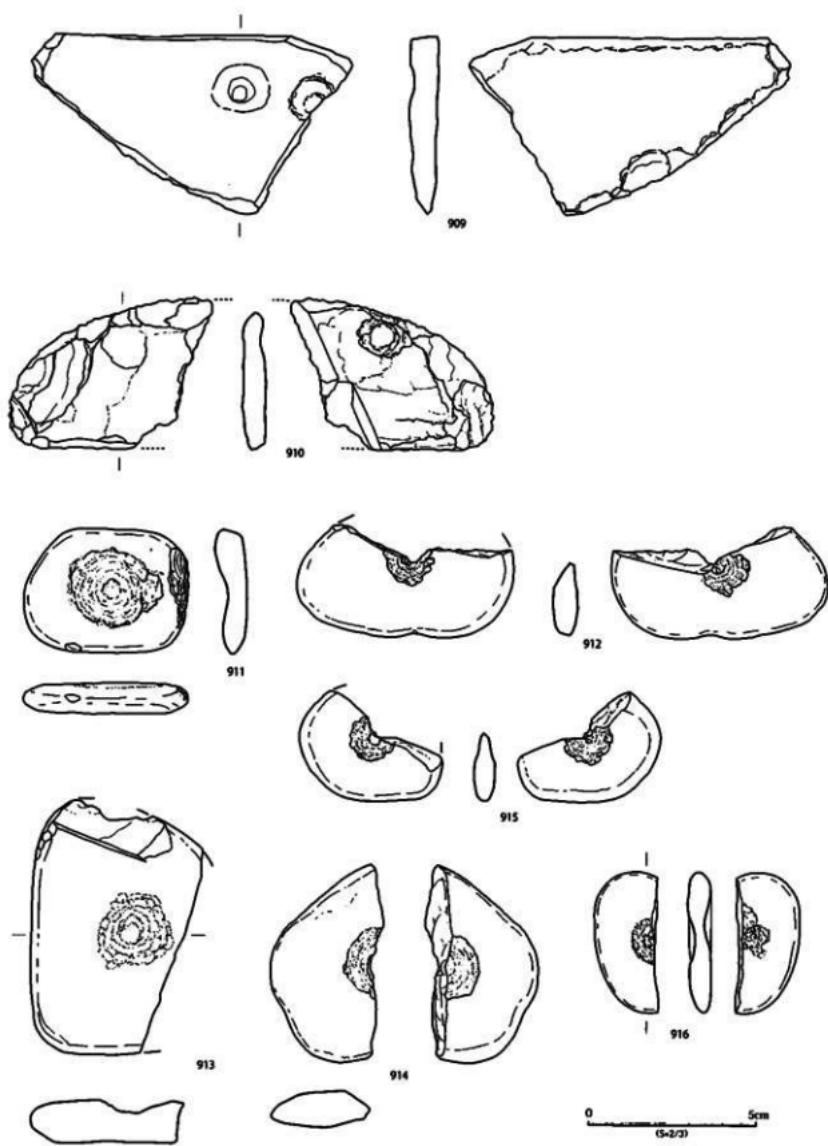
903

0  
(3-1/2)  
5cm

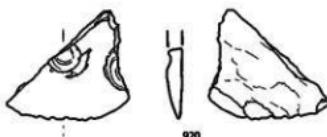
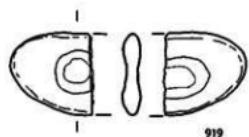
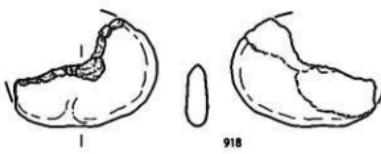
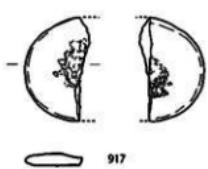
第57図 出土遺物実測図51 (1:2)



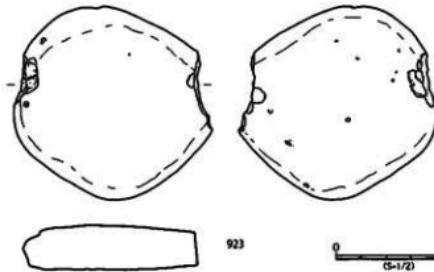
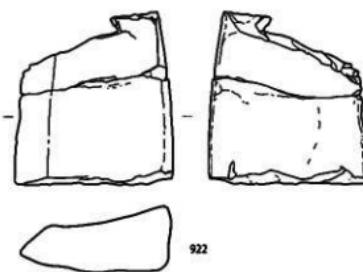
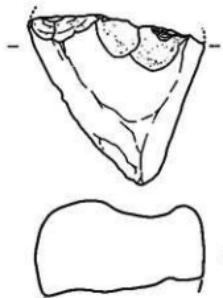
第58図 出土遺物実測図 52 (1:2)



第59図 出土遺物実測図 53 (1:2)

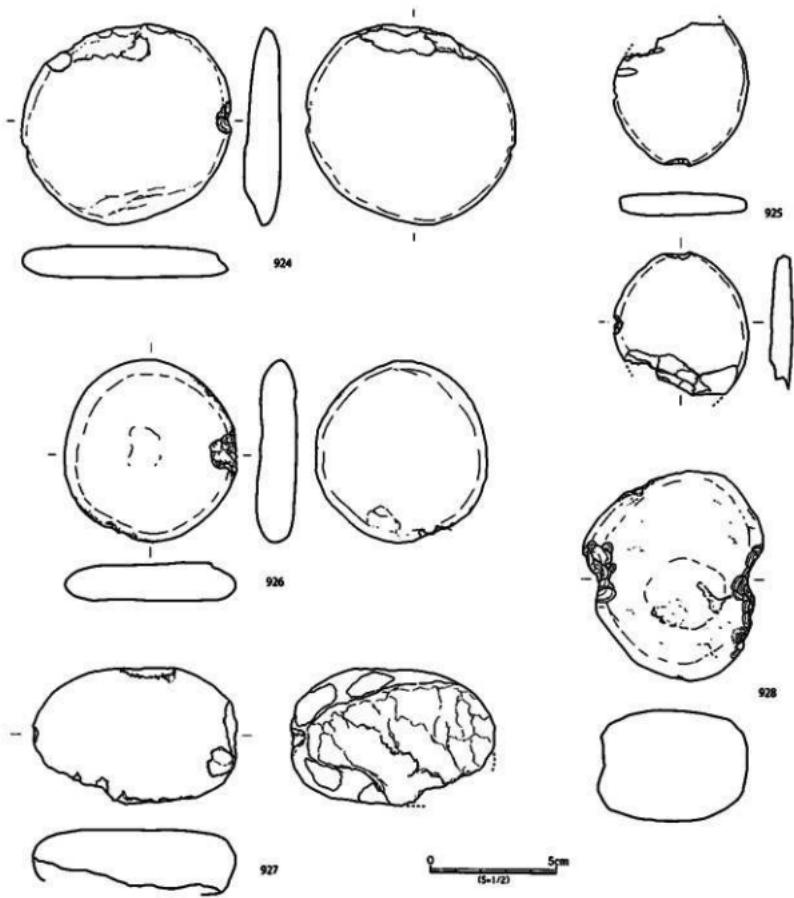


0 5cm  
(5-2/3)



0 5cm  
(5-1/2)

第60図 出土遺物実測図 54 (917~920 : 2 : 3, 921~923 : 1 : 3)



第61圖 出土遺物素測圖 55 (1:3)

第2表 出土遺物計測表

遺物番号	器種	法量(単位はmm, g)				石材	出土地	備考
		長さ	幅	厚み	重さ			
739	分鋼型土製品	70	94	11	80.06		SD1	
740	分鋼型土製品	50	32	12	47.82		SD1	
741	分鋼型土製品	55	54	13	48.46		C4区 トレンチ	
742	勾玉	32	9	10	4.27		SD1	
743	勾玉	23	12	13	3.39		SX1 西	頂部欠損
744	有孔円盤	52	47	9	25.8		SD1 東端部 埋土	穿孔径 14~8mm, 土器転用
745	有孔円盤	42	40	5.5	11.89		調査区北西	穿孔径 9~6mm, 土器転用
746	有孔円盤	47	45	7	21.24		SD1 西	穿孔径 10~5mm, 土器転用
747	有孔円盤	46	35	7.5	16.1		拡張区 SD1 中央部	穿孔径 8~6mm, 土器転用
748	有孔円盤	46	44	4	12.19		SD1 西端 埋土	穿孔径 8~5mm, 土器転用
749	有孔円盤	41	36	8	16.34		拡張区 SD1 トレンチ	穿孔径 6mm, 未貫通, 土器転用
750	有孔円盤	47	46	7	22.39		SD1 西埋土	穿孔径 9mm と 4mm の 2 孔あり, 未貫通, 土器転用
751	管玉	11	3.5	3.5	0.37	碧玉	SD1 東端 基底	穿孔 2.5mm
752	打製石斧	137	50	20	201.81	珪質凝灰岩	C4区 トレンチ内	
753	石鎌	33	13	4.2	1.66	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 中央部	凸基式
754	石鎌	36	12	6.5	3.49	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 東端部	石錐の可能性も
755	石鎌	34	11	4.5	2.06	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 東トレンチ	
756	石鎌	35	19	4.5	2.4	珪質凝灰岩	南東(中央~南部) 逆構面 上層	未製品
757	石鎌	16	17	2.5	0.53	珪質凝灰岩	北東 逆構面	
758	石鎌	23	17	5	2.5	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 東端部	未製品
759	石鎌	16.5	11.5	3	0.41	珪質凝灰岩	SD1 中央群 S 中層	
760	石鎌	20	15	3	0.67	珪質凝灰岩	C5区 粘土坑	
761	石鎌	18.5	18.5	2.5	0.67	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 西端トレンチ	
762	石鎌	24.5	16.5	4	0.87	珪質凝灰岩	SD1 西側 埋土	
763	石鎌	25	18.5	3.5	0.87	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 西端トレンチ	
764	石鎌	25	16	3.5	1.02	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 西端トレンチ	
765	石鎌	26	17	3.5	1.07	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 東端部	未製品
766	石鎌	24	19	3	1.34	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 西端	
767	石鎌	20	16	6	1.44	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 西端部	未製品

遺物番号	器種	法量(単位は mm, g)				石材	出土地	備考
		長さ	幅	厚み	重さ			
768	石巒	23	19	5	1.96	珪質凝灰岩	SD1 西端 埋土	未製品
769	石巒	27.5	13	2.5	1.03	珪質凝灰岩	SX1 西	
770	石巒	20	16.5	3	0.95	珪質凝灰岩	SD1 東端部	
771	石巒	17	15	2.25	0.4	珪質凝灰岩	SD1 中央部	
772	石巒	16	13	3	0.47	珪質凝灰岩	D5 区 粘土坑	
773	石巒	18.5	11.5	2	0.3	珪質凝灰岩	SD1 西端部	
774	石巒	25	14	3	0.65	珪質凝灰岩	北東側 検出面	
775	石巒	24	15	3	0.95	珪質凝灰岩	3-3? 区 トレンチ	未製品
776	石巒	24	14	3	0.95	珪質凝灰岩	C5 区 遷構面	
777	石巒	25	13	3	0.73	珪質凝灰岩	北西~北中央(北部) 遷構面	
778	石巒	19	17	2.5	0.83	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 東端部	
779	石巒	20	14	3.5	0.72	珪質凝灰岩	中央~東(中央) 遷構面直上	
780	石巒	19	14	2.5	0.56	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 東トレンチ	未製品
781	石巒	16	14	2	0.5	珪質凝灰岩	北東(北部) 遷構面	未製品
782	石巒	21.5	13.5	3	0.56	珪質凝灰岩	SD1 中央畔 S 上層	
783	石巒	24	15	4	0.71	珪質凝灰岩	SD1 東側埋土	
784	石巒	17	14	3	0.67	珪質凝灰岩	SD1 中央北側 粘土坑	
785	石巒	24	16	3.5	0.97	珪質凝灰岩	SD1 中央西側 埋土	
786	石巒	22	17	3.5	0.8	珪質凝灰岩	北東(中央部) 遷構面	
787	石巒	18	16	3.5	0.58	珪質凝灰岩	南部 遷構面直上	
788	石巒	17	16	2.5	0.6	珪質凝灰岩	SD1 粘土坑 埋土	
789	石巒	23	16	3	0.84	珪質凝灰岩	北中央~北東(中央) 遷構面	
790	石巒	15	13	2.5	0.37	珪質凝灰岩	2C 区 東(中央部) 遷構面	
791	石巒	23	17	3	0.86	珪質凝灰岩	北東(中央~南部)	
792	石巒	18	13.5	4	0.7	珪質凝灰岩	検査区北東 遷構面	
793	石巒	21	16	4	1.15	珪質凝灰岩	D4 区 粘土坑	
794	石巒	16	17	3.5	0.6	珪質凝灰岩	C4 区 トレンチ内	
795	石巒	20	16	4.5	1.38	珪質凝灰岩	北中央(中央) 未製品	
796	石巒	21	13	3	0.73	珪質凝灰岩	C4 区 トレンチ内	
797	石巒	21	21	5.5	2.35	珪質凝灰岩	C4 区 トレンチ内	未製品
798	石巒	19	10	2.5	0.35	珪質凝灰岩	南部 遷構面直上	
799	石巒	27	14	3	0.73	珪質凝灰岩	南東(南部) 遷構面	
800	石巒	28	19	4	1.77	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 西端	未製品

遺物 番号	器種	法量(単位はmm, g)				石材	出土地	備考
		長さ	幅	厚み	重さ			
801	石鎚	19	15	3	0.67	珪質凝灰岩	C4区 トレンチ内	未製品
802	石鎚	20	13	2.5	0.69	珪質凝灰岩	南東(中央～南部) 道端面上層	未製品
803	石鎚	16	19	3	1.24	珪質凝灰岩	西～中央(中央部) 道端面	未製品
804	石鎚	35	28	10	11.78	珪質凝灰岩	SD1 東側埋土	両端部折損
805	石匙	39	20	4	3.3	熱変質泥質岩	SD1 西端部	
806	スクレイパー	35	44	5	9.35	珪質凝灰岩	C5区 トレンチ内	
807	スクレイパー	38	60	7	19.27	珪質凝灰岩	調査区際排水溝内	
808	スクレイパー	55	43	7.5	21.09	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 西端部	
809	スクレイパー	51	63	9	53.13	珪質凝灰岩	北中央～北東(中央部)	
810	スクレイパー	31	23	6.5	4.82	珪質凝灰岩	SD1 トレンチ埋土	
811	スクレイパー	40.5	64.5	8	19.21	珪質凝灰岩	SD1 中央部	
812	スクレイパー	35	34	5	6.07	珪質凝灰岩	表探	
813	スクレイパー	90	99	21	210.54	珪質凝灰岩	SD1 西側埋土	
814	スクレイパー	45	56	9	48.7	熱変質泥質岩	西～中央(中央部)	石包丁未製品?
815	スクレイパー	56	70	12.5	51.63	珪質凝灰岩	表探	
816	スクレイパー	43	66	8.5	20.81	珪質凝灰岩	SD1 東端部	
817	スクレイパー	53.5	81.5	11.5	43.7	珪質凝灰岩	SD1 西側埋土	
818	スクレイパー	53	79	10	39.77	珪質凝灰岩	C4区 SD1	
819	スクレイパー	42	51	6	20.55	珪質凝灰岩	南東(中央～南部) 道端面上層	
820	スクレイパー	29	41	7	6.71	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 東端部	
821	スクレイパー	31	52	4.5	9.81	珪質凝灰岩	SD1 西端部	
822	スクレイパー	20	30	4	2.7	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 西端部	
823	スクレイパー	45	30	15	16.27	珪質凝灰岩	SD1 北西側粘土坑埋土	鋸歯線
824	スクレイパー	29	42	8.5	8.8	珪質凝灰岩	南東(中央～南部) トレンチ埋土	
825	スクレイパー	35	57	4.5	11.84	熱変質泥質岩	拡張区 SD1 西端部	
826	石鎚	29	13	4	1.09	珪質凝灰岩	C4区 SD1	
827	石鎚	41	19	8	6.22	珪質凝灰岩	D4区 粘土坑	UFの可能性も
828	石鎚	29.5	10	4	1.07	珪質凝灰岩	SD1 東端埋土	
829	石鎚	23.5	12	4	1.09	珪質凝灰岩	SD1 中央畔S中層	
830	石鎚	21.5	12	3.5	0.66	珪質凝灰岩	SD1 中央部	
831	石鎚	31	15	4.5	1.63	珪質凝灰岩	SD1 中央西畔S中下層	
832	石鎚	19	10	3	0.43	珪質凝灰岩	SD1 中央部	先端部折損
833	石鎚	16.5	8.5	3	0.35	珪質凝灰岩	SD1 東側埋土	

遺物番号	器種	法量(単位は mm. g)				石材	出土地	備考
		長さ	幅	厚み	重さ			
834	石鎚	22	5	2	0.23	珪質凝灰岩	表採	
835	使用痕のある剣片	37	13.5	6	2.14	珪質凝灰岩	SX1 東端壁際	
836	使用痕のある剣片	45	50.5	8.5	10.68	珪質凝灰岩	SD1 西端埋土	
837	使用痕のある剣片	30	43	7	7.33	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 西端部	
838	加工痕のある剣片	29	44	10.5	8.85	珪質凝灰岩	SD1 中央部	
839	加工痕のある剣片	32	37	6	6.28	珪質凝灰岩	3-3 区トレンチ	
840	加工痕のある剣片	21	36	5	3.92	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 東端部	
841	楔形石器	33	48	9	14.35	珪質凝灰岩	SD1 東側埋土	
842	楔形石器	17	33	6	3.19	珪質凝灰岩	SD1 西端埋土	
843	楔形石器	39	56	12	27.89	珪質凝灰岩	調査区際排水溝内	
844	楔形石器	35	30	9	11.05	珪質凝灰岩	SD1 東端部	
845	楔形石器	43	38	10	16.35	珪質凝灰岩	C4 区 SD1 確認トレンチ	
846	楔形石器	29	35	9	12.31	珪質凝灰岩	南東(中央~南部)造構面 上層	
847	楔形石器	33	26	9	10.21	珪質凝灰岩	C4 区 SD1	
848	楔形石器	31	35	6.5	9.72	珪質凝灰岩	SD1 西 埋土	
849	楔形石器	21	18	6.5	4.47	珪質凝灰岩	中央造構面	
850	楔形石器	24	25	8	6.25	珪質凝灰岩	B3 区 トレンチ	
851	楔形石器	18	33	6	4.91	珪質凝灰岩	SD1 西端部	UF の可能性も
852	楔形石器	37	30	7	9.55	珪質凝灰岩	C4 区 造面	
853	磨製石斧	84	65	46	356.5	細粒閃綠岩	拡張区 SD1 東側	刃部、敲き石として転用?
854	磨製石斧	89	51.5	24.5	170.08	石墨片岩	SD1 西側埋土	柄部に敲打による滑れ痕有
855	磨製石斧	75	58	32	189.35	閃岩	SD1 西側埋土	刃部欠損
856	磨製石斧	56	58	35	97.39	細粒閃綠岩	拡張区 SD1 東側トレンチ	刃部
857	磨製石斧	25	56	30	49.49	細粒閃綠岩	拡張区 SD1 東端部	柄部
858	磨製石斧	46	69	53	292.36	閃綠岩	SD1 西側埋土	柄部・刃部欠損
859	ノミ状石器	98	38	21	121.27	細粒砂岩	SD1 西側埋土	片刃
860	ノミ状石器	78	21	9	21.49	細粒砂岩	SD1 東端	
861	ノミ状石器	53.5	17.5	11.5	20.95	細粒砂岩	SD1 中央東側埋土	片刃
862	石包丁	101	36	6	36.78	熱変質泥質岩	拡張区 SD1 西端トレンチ	
863	石包丁	37	87	7	30.04	細粒砂岩	C4 区 SD1	
864	石包丁	86	60	9	62.63	細粒砂岩	拡張区 SD1 中央部	
865	石包丁	61	46	8	28.08	細粒砂岩	拡張区 SD1 中央部	
866	石包丁	52	91	9	35.86	細粒砂岩	B4 区 トレンチ	
867	石包丁	89	57	17	70.88	砂岩	拡張区 SD1 東端部	未製品
868	石包丁	40	108	9	65.92	細粒砂岩	SD1 南側粘土坑	

遺物番号	器種	法尺(単位は mm, g)				石材	出土地	備考
		長さ	幅	厚み	重さ			
869	石包丁	77	55	5	35.8	細粒砂岩	SD1 北東側落 ち込み埋土	
870	石包丁	37	26	65	3.83	砂岩	拡張区 SD1 中央部	
871	石包丁	48	41	8	19.62	熱変質泥質岩	拡張区 SD1 中央部	
872	石包丁	33	51	7	18.4	熱変質泥質岩	拡張区 SD1 西端	
873	石包丁	43	39	7	19.43	熱変質泥質岩	拡張区 SD1 中央部	
874	石包丁	44	49	9	24.13	細粒砂岩	SD1 中央部	
875	石包丁	43	24	4.5	5.99	細粒砂岩	拡張区 SD1 東端部	
876	石包丁	52	41	9	24.97	珪質凝灰岩	拡張区 SD1 東端部	打製
877	石包丁	54	49	11.5	39.46	細粒砂岩	SD1 西端部	未製品?
878	叩石	132.5	60	40	416.2	石英	SD1 東側 埋 土	
879	叩石	87	39	34	155.99	砂岩	拡張区 SD1 西端部	
880	叩石	135	64	50	622.21	半花崗岩	南東(中央～ 南部) 遮蔽面 上層	
881	叩石	114	49	46	421.78	溶結結晶凝灰岩	C4 区トレント	
882	叩石	121	90	68	730.61	珪長岩	拡張区 SD1 中央部	
883	叩石	101	56	31	216.46	砂岩	C4 区 SD1	抉り入り
884	叩石	86	41	22.5	106.98	砂岩	SD1 中央西 埋土	
885	叩石	90	46	33	177.82	半花崗岩	SD1 中央部	
886	叩石	94	59	41.5	321.14	半花崗岩	SD1 中央西 埋土	
887	叩石	146	68	49	625.11	半花崗岩	拡張区 SD1 西端トレント	
888	叩石	172.5	54	42	537.76	花崗斑岩	SD1 中央西 埋土	
889	叩石	81	59	48	281.98	半花崗岩	C4 区トレント	
890	叩石	103	46.5	49	497.7	閃綠岩	SD1 中央東側 埋土	
891	叩石	115	43	24	192.1	半花崗岩	拡張区 SD1 東端部	
892	叩石	83	46	30	157.27	半花崗岩	SD1 東側	
893	叩石	32	51	48	143.48	溶結結晶凝灰岩	C4 区トレント	
894	叩石	75.5	58.5	52.5	199.4	半花崗岩	SD1 西側 埋 土	
895	叩石	102.5	60.5	12	106.54	砂岩	SD1 中央西畔 S 中下層	
896	叩石	101	76.5	36.5	395.81	石英	SD1 中央畔 S 中層	
897	叩石	72	48	30	138.48	結晶凝灰岩	拡張区 SD1 東端部	
898	叩石	85	66	54	371.25	半花崗岩	SX1 中央部	
899	叩石	75	70.5	46.5	299.63	凝花崗岩	SD1 東側 埋 土	
900	叩石	97	61	76	489.03	溶結結晶凝灰岩	拡張区 SD1 中央部	
901	叩石	68	65	37	240.58	凝灰岩	調査区際排水 溝内	石斧軸用品?

遺物番号	器種	法寸(単位はmm, g)				石材	出土地	備考
		長さ	幅	厚み	重さ			
902	叩石	78	67	21	133.38	細粒砂岩	拡張区 SD1 東側	不定形
903	叩石	78	35	45	174.12	粉岩	B4 区トレンチ	
904	磨石	114	55	27	225.28	細粒砂岩	南西(中央~南部) 追構面 上層	
905	磨石	82	68	47	384.25	珪質凝灰岩	SD1 東端部	叩石と併用か
906	磨石	81	76	39	396.43	細粒砂岩	SD1 西側 埋土	
907	磨石	72	29	27	87.17	閃綠岩	拡張区 SD1 中央部	
908	磨石	68	63	61	403.41	結晶凝灰岩	SD1 西側 埋土	側面に溝
909	凹のある疊	61	109	9	83.6	砂岩	拡張区 SD1 東側	
910	凹のある疊	75	51	8	54.92	砂岩	拡張区 SD1 東側トレンチ	石包丁未製品?
911	凹のある疊	41	55	10.5	34.93	砂岩	SD1 東側 埋土	片側に敲打痕有
912	凹のある疊	35	68.5	9	28.65	細粒砂岩	SD1 西端 埋土	両側に窪み
913	凹のある疊	85	57.5	16.5	113.64	細粒砂岩	SD1 東側 埋土	
914	凹のある疊	75	43	15	59.17	細粒砂岩	SD1 西端 埋土	両側に窪み
915	凹のある疊	36	47.5	8.5	15.19	泥岩	SD1 東端部	両側に窪み
916	凹のある疊	50	23	8	12.94	細粒砂岩	B3 区 トレンチ内	
917	凹のある疊	28	45	5	10.31	細粒砂岩	SD1 粘土坑 埋土	
918	凹のある疊	54	41	8	20.19	砂岩	拡張区 SD1 中央部	
919	凹のある疊	35	35	8	13.43	細粒砂岩	拡張区 SD1 東端部	
920	凹のある疊	40	45	5.5	11.11	細粒砂岩	北東(中央~南部) 追構面 上層	
921	石皿	76.5	79	43	278.56	半花崗岩	SD1 西端部	
922	砥石	77.5	71.5	30	218.97	熱変質流紋岩	SX1 中央	
923	石錐	90	88	20	241.73	細粒砂岩	拡張区 SD1 中央部	
924	石錐	95	86	16	178.92	細粒砂岩	拡張区 SD1 東端部	
925	石錐	60	63	10	51.84	砂岩	表探	
926	石錐	81	76	17	162.82	石英斑岩	拡張区 SD1 東端部	
927	石錐	59	91	28	196.64	結晶凝灰岩	C4 区トレンチ	
928	石錐	92	81	59	428.61	半花崗岩	SD1 東側 埋土	

## 5 まとめ

御領遺跡は県内でも有数の規模を持つ遺跡として知られており、本事業に関しても6次に渡る調査を実施しており、その成果については随時報告されている。また、本事業以外にも半世紀に遡る調査の歴史を持っている。遺跡の性格上、調査の多くは虫食い状態に様々な場所で実施されており、なかなか実態がつかめないのも事実である。ここでは、第6次調査で確認した溝状遺構および出土遺物について若干の検討を行いまとめとする。

### (1) 溝状遺構について

溝状遺構は長さ35m、幅1.8~2.2mで、深さは概ね0.3mである。西側で緩く南側に屈曲している。調査区を挟んで東西両側に延びるのは確実である。全形については不明である。途中で切れる可能性もあり、全周するかどうかも不明である。

さて、御領遺跡では過去の調査でも溝状遺構が検出されている。溝状遺構の規模や溝内の土砂の堆積状況、遺物の出土の様子、ほかの遺構との関係などから遺構の機能や性格が推測されてきた。溝状遺構の機能としては、大きくは区画、取排水、河川の名残などが指摘されており、それらは個別の遺構毎に検討してきた。

本調査地点から西へ500m程の所にある御野農協支所建設に伴う発掘調査では<sup>(1)</sup>8条の溝状遺構を検出しており、その内河川ないしは自然流路と考えられるSD3以外はほらかの人為的な遺構と考えられている。特に2段掘りのように溝底面にさらに一段深くコ字形に近く幅0.5mの溝があるSD1や相当量の土師器類(高杯・手づくね土器)が出土して祭的な性格をうかがわせるSD4、取排水機能が推測されるSD7・SD8が特徴的である。

また、本調査地点から西へ900mほど、前述した御野農協支所調査地点から南西に400mほどに位置する上手橋町地点の発掘調査では<sup>(2)</sup>調査区の東西を走る長さ47m、幅3.5~5.1m、深さ0.6~1.35mの溝状遺構(SD9611)が検出されている。土層観察の結果、この溝は4時期ほどの改修を受けた形跡が確認でき、この溝状遺構に並行する幅0.6~0.7m、深さ0.2~0.4mの溝状遺構(SD9612)には溝内から柱穴と思われるピットが一定の間隔で検出されている。このようなことからSD9612は柵列と推定されている。よって本溝は集落の境界を区画する溝の可能性が高いであろう。

さらに本事業に係って調査をした第2次調査と第3次調査地点では両地点を通る溝状遺構を検出している。長さ23m、幅4.5~7.1m、深さ0.7~0.9mで北東から南西にかけて伸びているようである。規模や出土遺物等から弥生時代中期~古墳時代前葉にかけて埋没と掘削を繰り返して使用された溝と推測されている。本溝も集落を区画する溝と推定されている。

これらの溝状遺構と比べると本調査で検出した溝状遺構は深さが浅く、しかも浅いにもかかわらず大量の遺物が出土するという特色を持つ。検出面からすでに多量の遺物が存在していたことなどを考えると、上面が削平されている可能性はかなり高い。溝底面からの立ち上がりを推定し

た場合、幅は 2.5 m 程度にはおさまると考えられる。

時期については出土遺物から弥生時代中期から古墳時代初頭頃までかなりの期間埋没と改修を繰り返しながら使われていたと思われる。また、性格については近くに集落跡を思わせる同時期の竪穴住居跡などが存在しないが、上面の掘削等により検出できなかったとの仮定も可能なので、溝状遺構の南側に存在が想定される集落を区画する溝であったと思われる。

## （2）出土遺物

土器を主体として、土製品・玉類・石器が出土した。

### A 土器

SD1 から縄文土器がわずかに出土したほかは、弥生土器が大半を占め、土師器が一定量存在する。

縄文土器は SD1 から若干量出土している。流れ込みの遺物と考えられる。1 のような後期前半の土器は沿岸部で貝塚が形成される時期と並行している。また、晩期の後半の刻み目凸帯をもつものは既往の調査でも量的には多くはないが出土しており、御領遺跡の周辺でこの時期の生活が確認できる。

弥生土器は最も多く、その主体を占めるのは中期後半から後期にかけてである。前期の土器も彫形土器がほとんどであるが、一定量出土している。口縁部に如意形の名残をしつつ、口縁部下半に櫛描き沈線が巡るものや口縁端部が外側にわずかに屈曲するものなどがあり、前期の後半（1-3 ~ 2）に該当する。

中期の土器は壺では細頸で球胴形のものが多くなる。細頸壺では幾重にも貼り付け凸帯をめぐらせ、口縁端部に拡張した平坦部を持ちそこに格子目模様を 2 から 3 条一組でめぐらせるもの、壺ではく字形に外反する口縁部を持つものになり、この外反した口縁端部に模様をもつものが散見できる。これらの特徴は中期の前半（第Ⅲ-1 様式）に該当する。また彫形土器口縁部への凹線文の導入はそれほど顕著ではない。この種の土器は SD1 から多く出土している。

中期後半の土器では、く字形に外反した口縁部を上下に拡張してその拡張部に凹線をめぐらせるものが多くなる。また、屈曲した頸部に粘土紐を充填して充填粘土に刻み目をめぐらせたものも目に付く。これらの特徴は中期後半（第Ⅳ 様式）の土器の特徴で、SD1 からも多く出土しており、SX1 からも少なからず出土している。

後期の土器（第Ⅴ 様式）ではいわゆる神谷川式が盛行する時期にあたり、とくに鉢では頸部が緩やかに屈曲しつつ外反し、上方へ一気に伸びる口縁部にやや間延びした凹線をめぐらせるものが特徴的である。この時期の土器は SD1 でも多く出土している。SX1 も同様である。

弥生時代終末期～古墳時代初頭の時期は庄内から布留式併行期の土器に該当する。壺では凹線もしくは擬凹線が消失し、く字形に外反する口縁部となる。また、底部は平底から丸底へと大きく変化する。胴部は倒卵形となる。SD1 では一定量出土するが、後期の土器に比べると数量は少なくなる。SX1 ではこの傾向はあまり見当たらない。

## B 石器

石器は打製磨製とともに比較的多く出土している。図示した以外にもフレークやチップが存在する。まとまって出土する状態ではなく、遺構及び調査区内から散在的に出土した。石礫やスクレイバーといった狩猟に直接結びつくものもあれば、叩石や石皿、磨石など農耕に結びつく石器類も出土している。

この他に、ほぼ中央に比較的小さな凹みがある平らな礫が出土している。礫は最も凹む付近から半分～1/4程度が破碎しているものが多い（10固体中9個体で破損、911のみ破損部なし）。このことはこの凹みに鉛直方向の力が加わっていたことを示している。すなわち、このくぼみを利用して何らかの作業をしていたことを窺わせる。ただし、顕著な擦痕は見当たらなかったので、比較的柔らかな素材であったことを示している。全てが同じような作業に使われたのかどうか疑わしいが、今のところは状況等から棒状工具の支えのような役割を担っていたと想定したい。

## 註

- (1) 広島県教育委員会 (財)広島県埋蔵文化財調査センター『神辺御領遺跡－神辺農業共同組合御野支所建設にかかる－』1980年
- (2) 神辺町教育委員会『神辺町埋蔵文化財調査報告XVII－御領遺跡上手町地点発掘調査報告－』1998年
- (3) 財團法人広島県教育事業団『国道313号道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告(2)御領遺跡(第2次調査2009)御領遺跡(第3次調査2010)』2013年

a 空中写真（西から）



b 空中写真（東から）



c 空中写真（上空から）

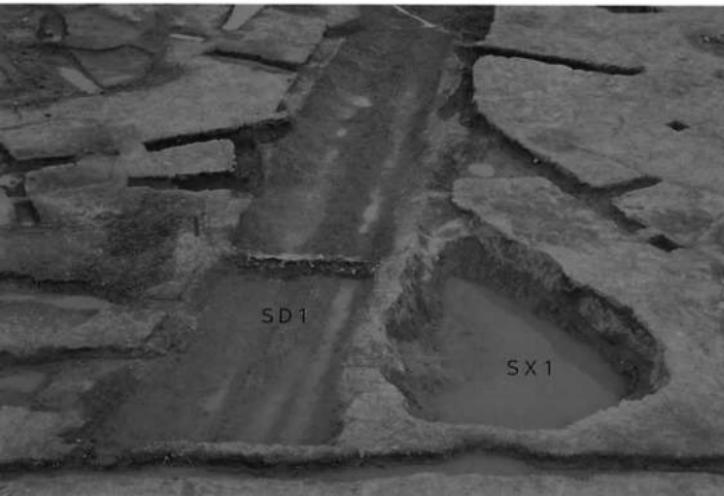




a 空中写真（北東から）



b SD1（東から）



c SD1・SX1（東から）

a SD 1 中央部（東から）



b SD 1 隅部（東から）



c SD 1 西側（東から）



図版4



a SDI 断面 A-A' (東から)



b SDI 断面 C-C' (東から)



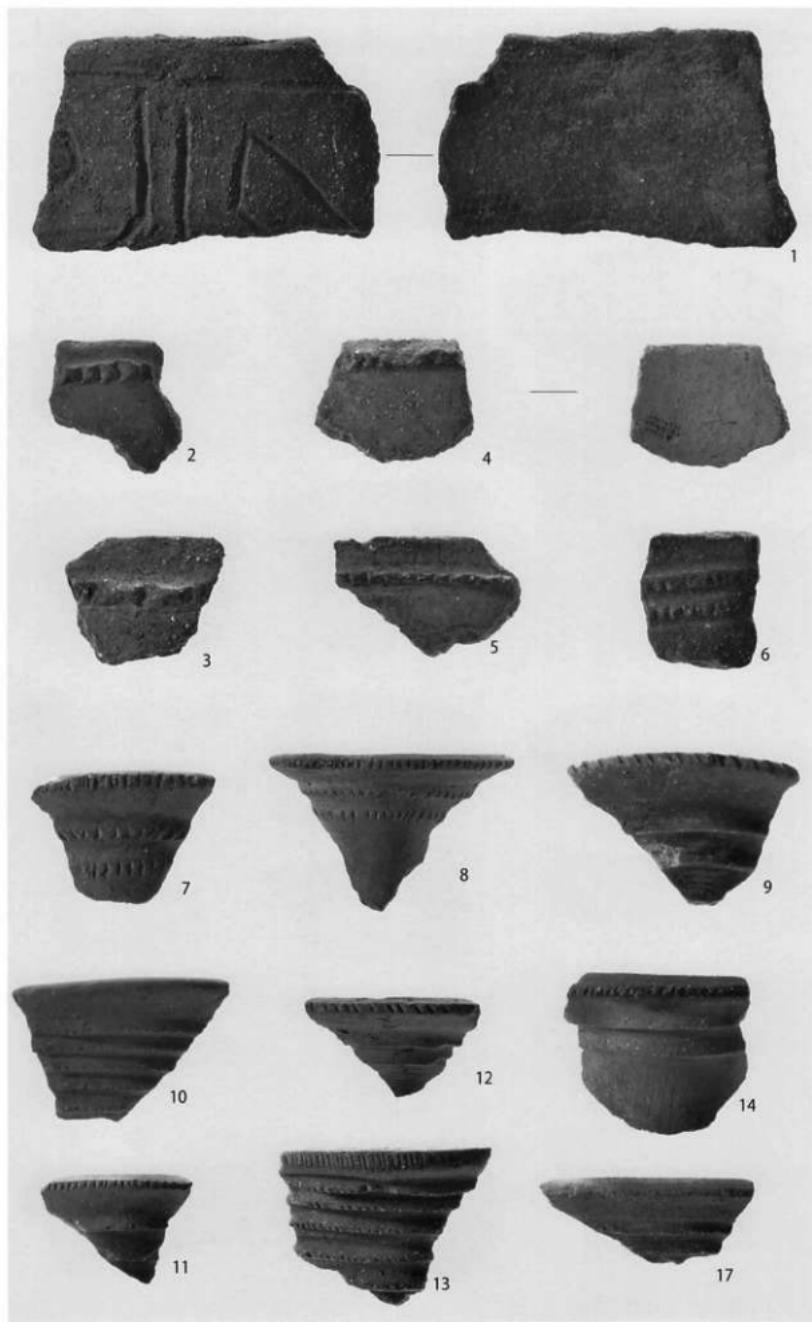
c SDI 断面 D-D' (東から)



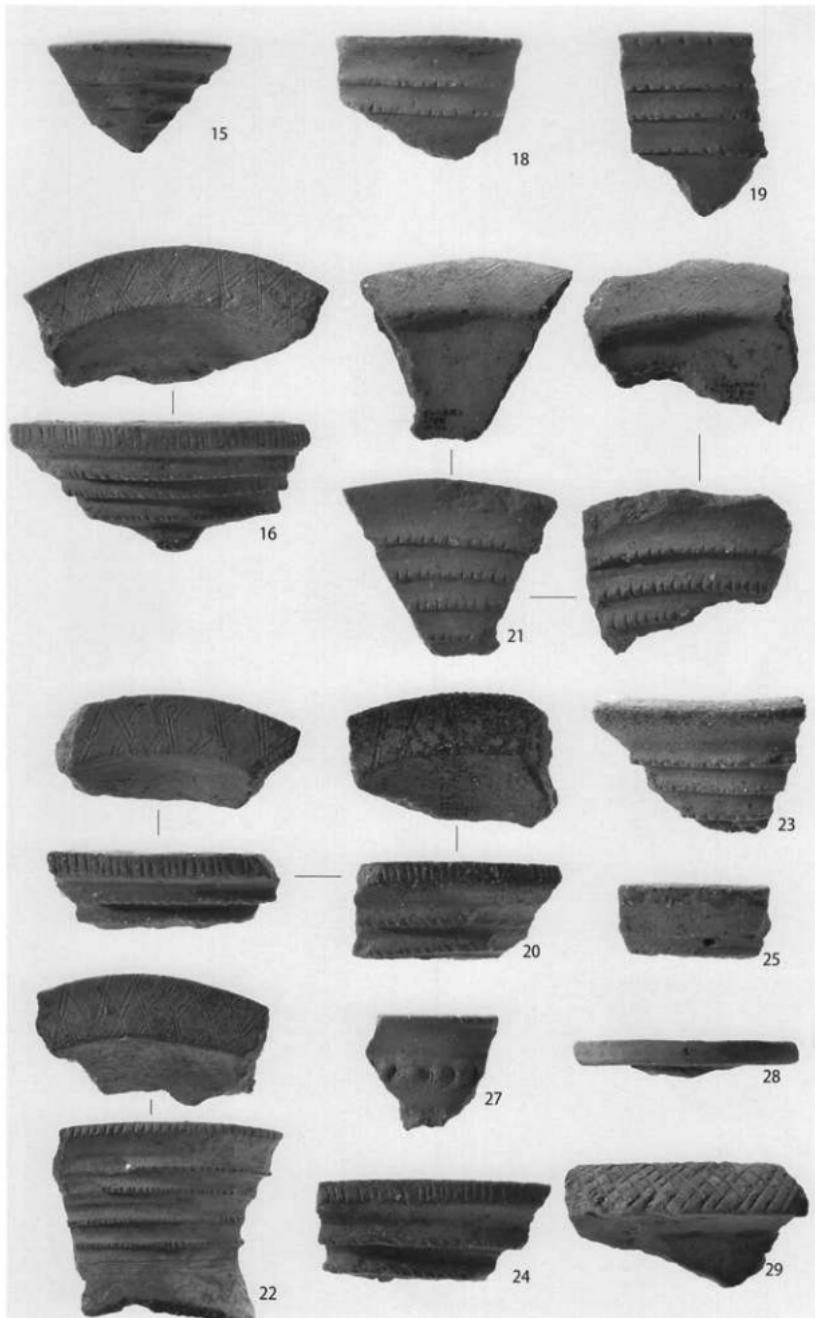
d SDI 断面 E-E' (東から)



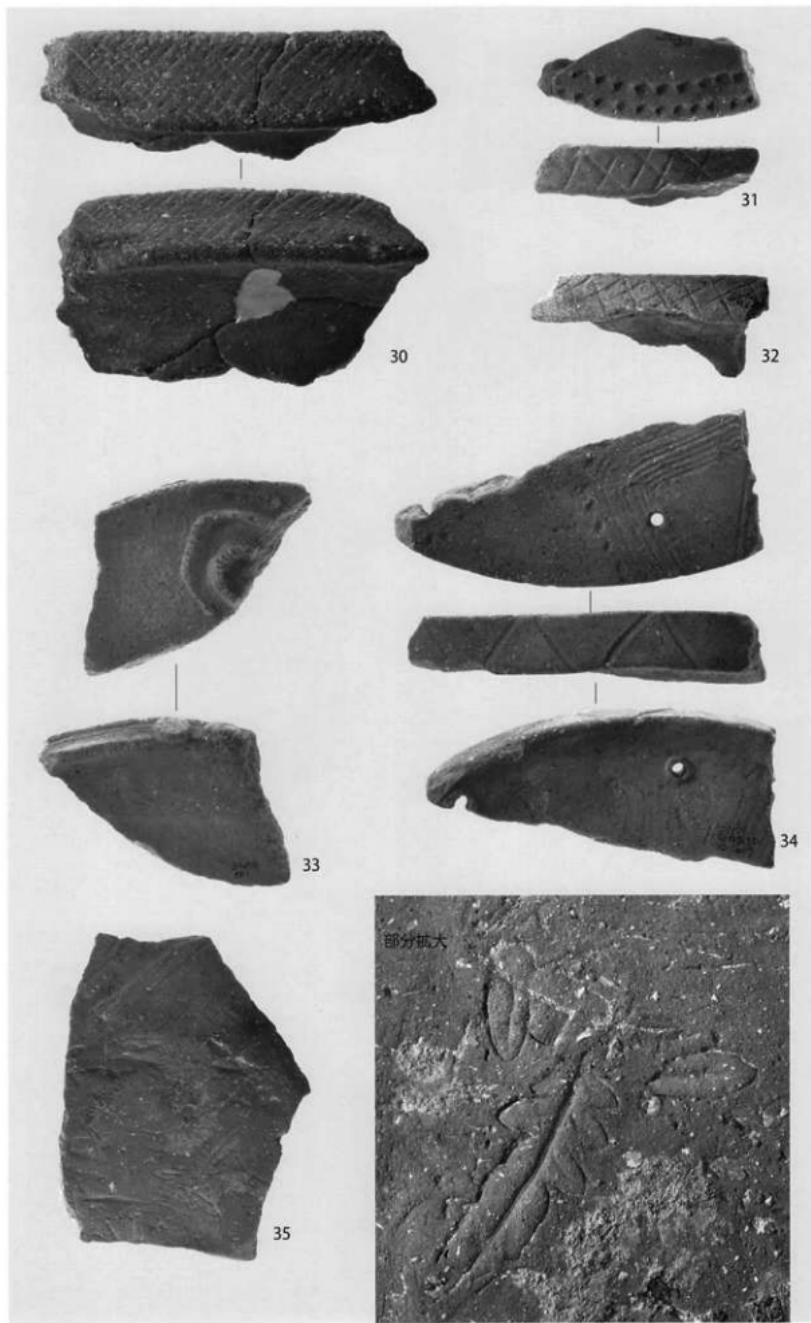
e 調査風景



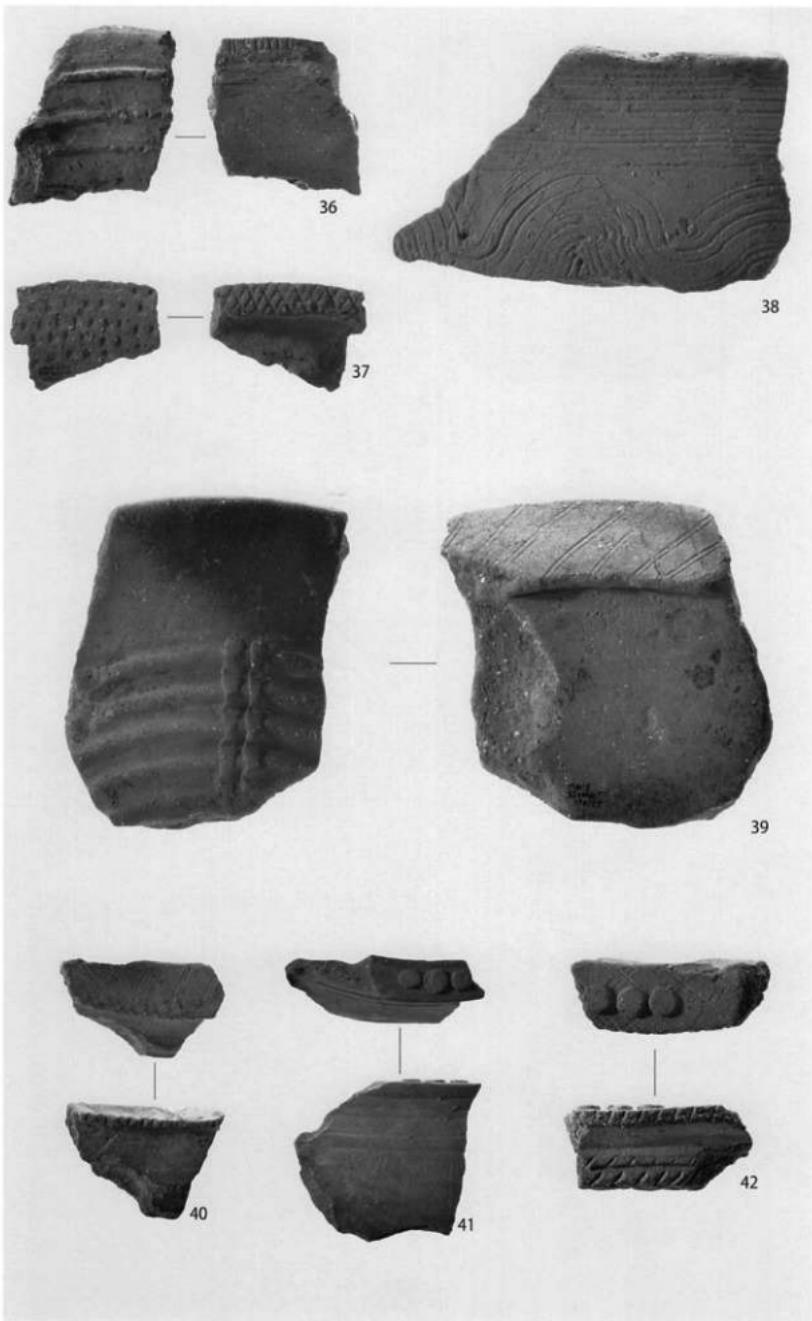
出土遺物 1



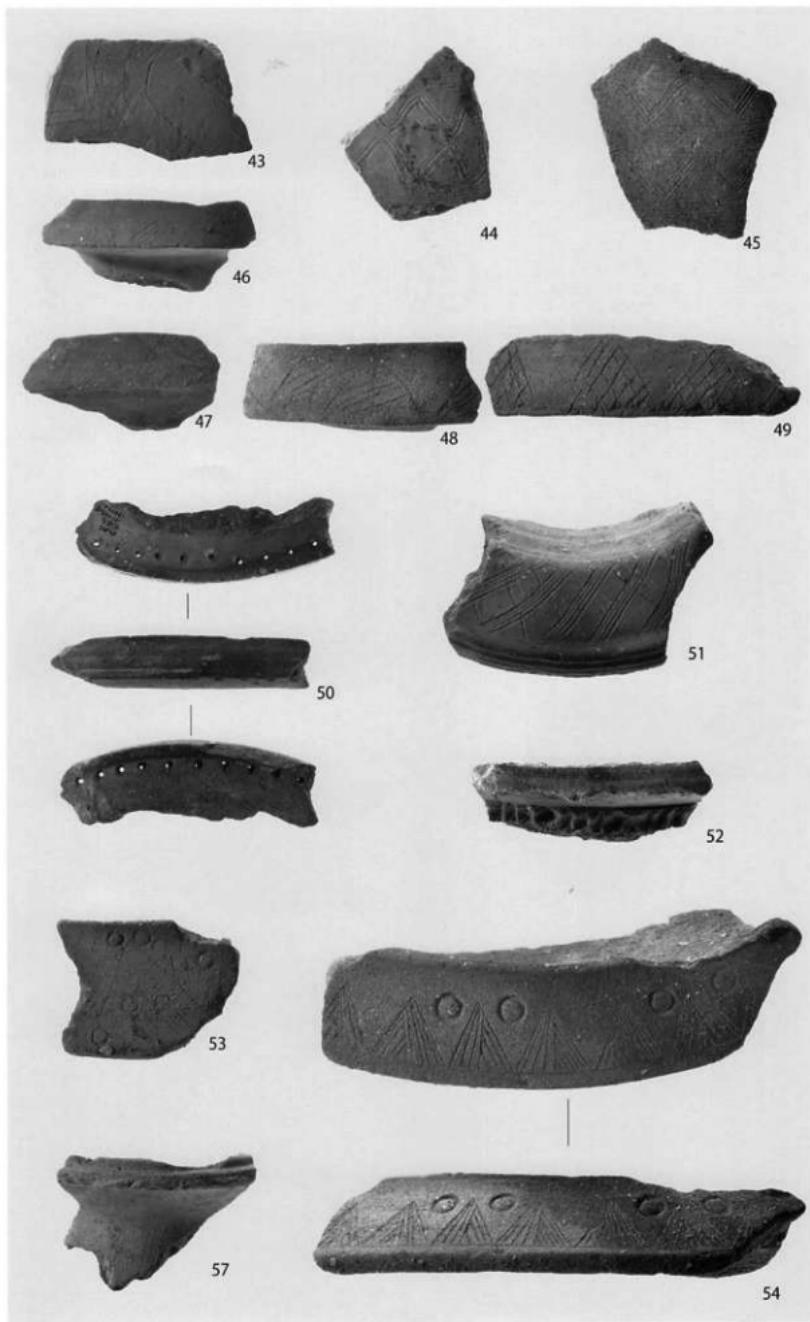
出土遺物 2



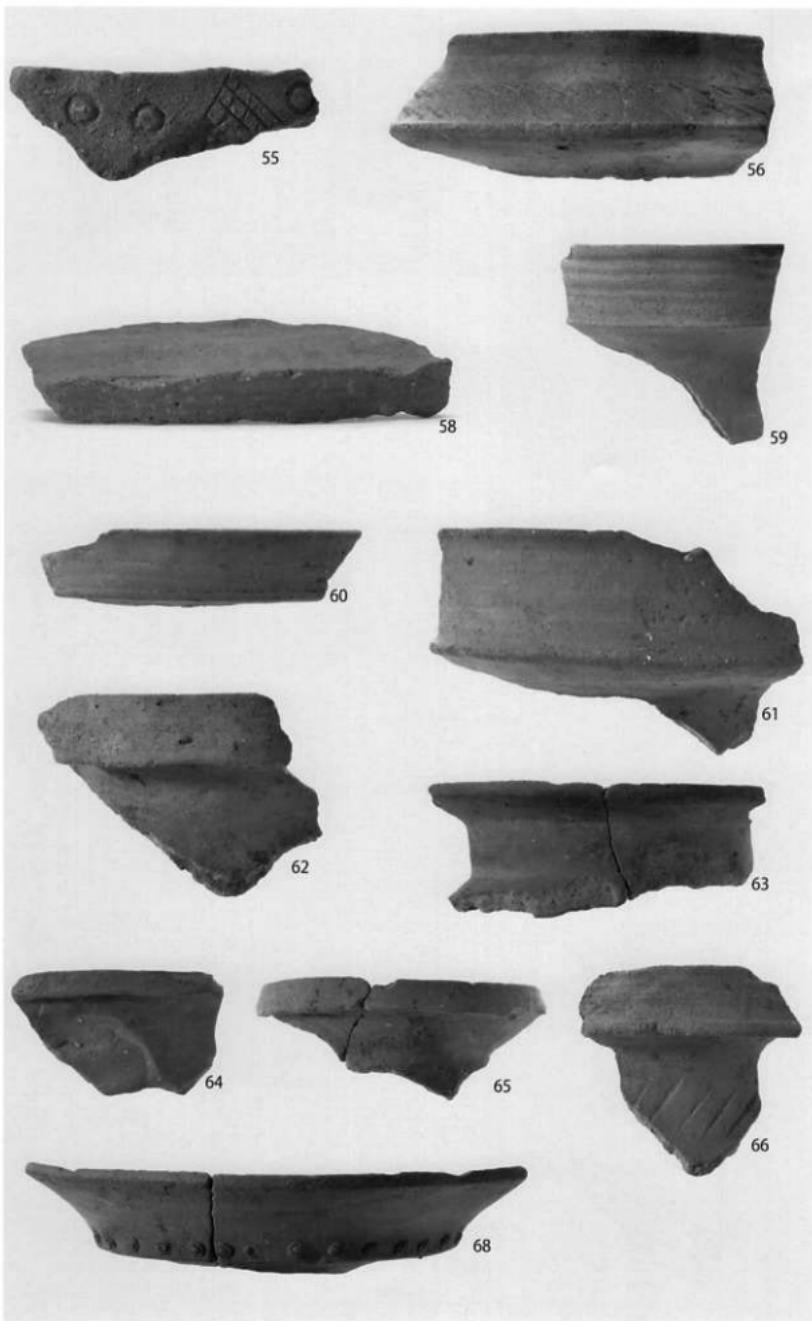
出土遺物 3



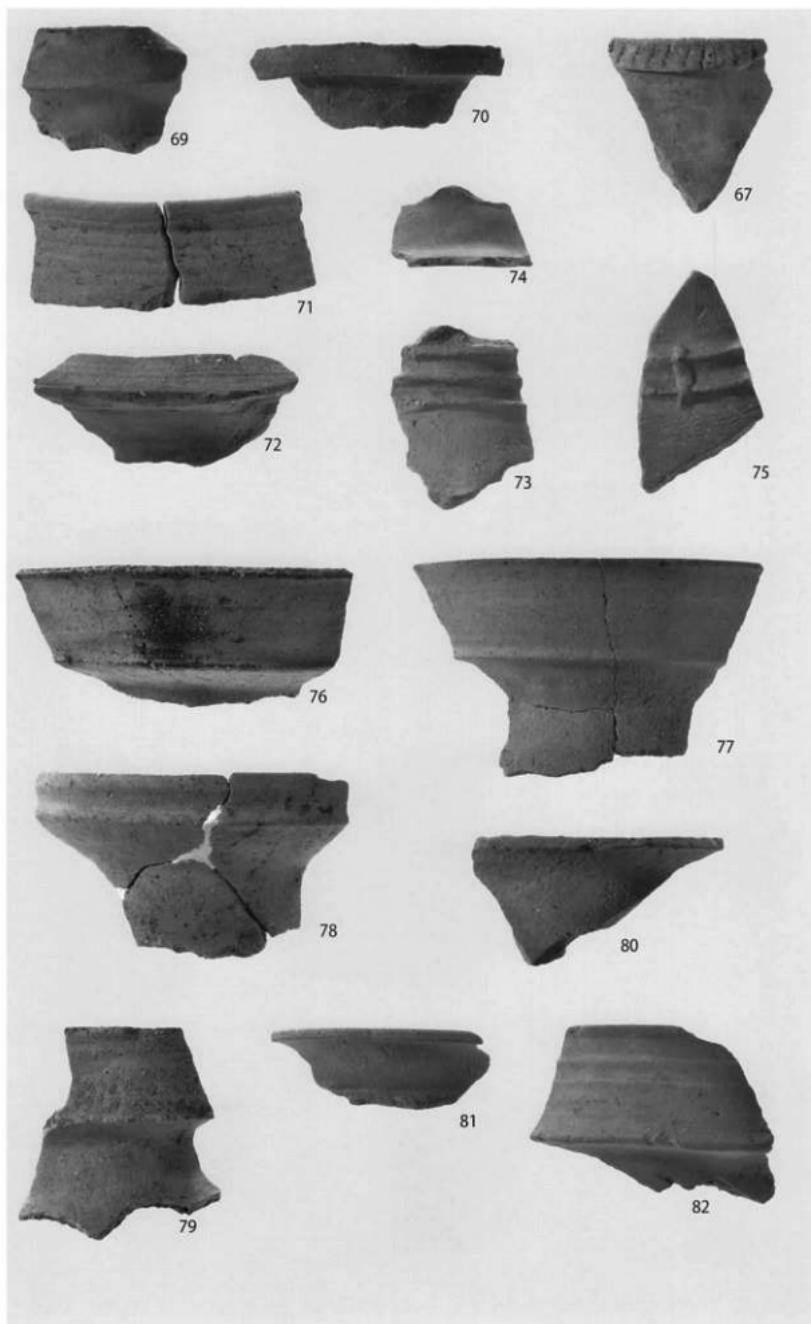
出土遗物 4



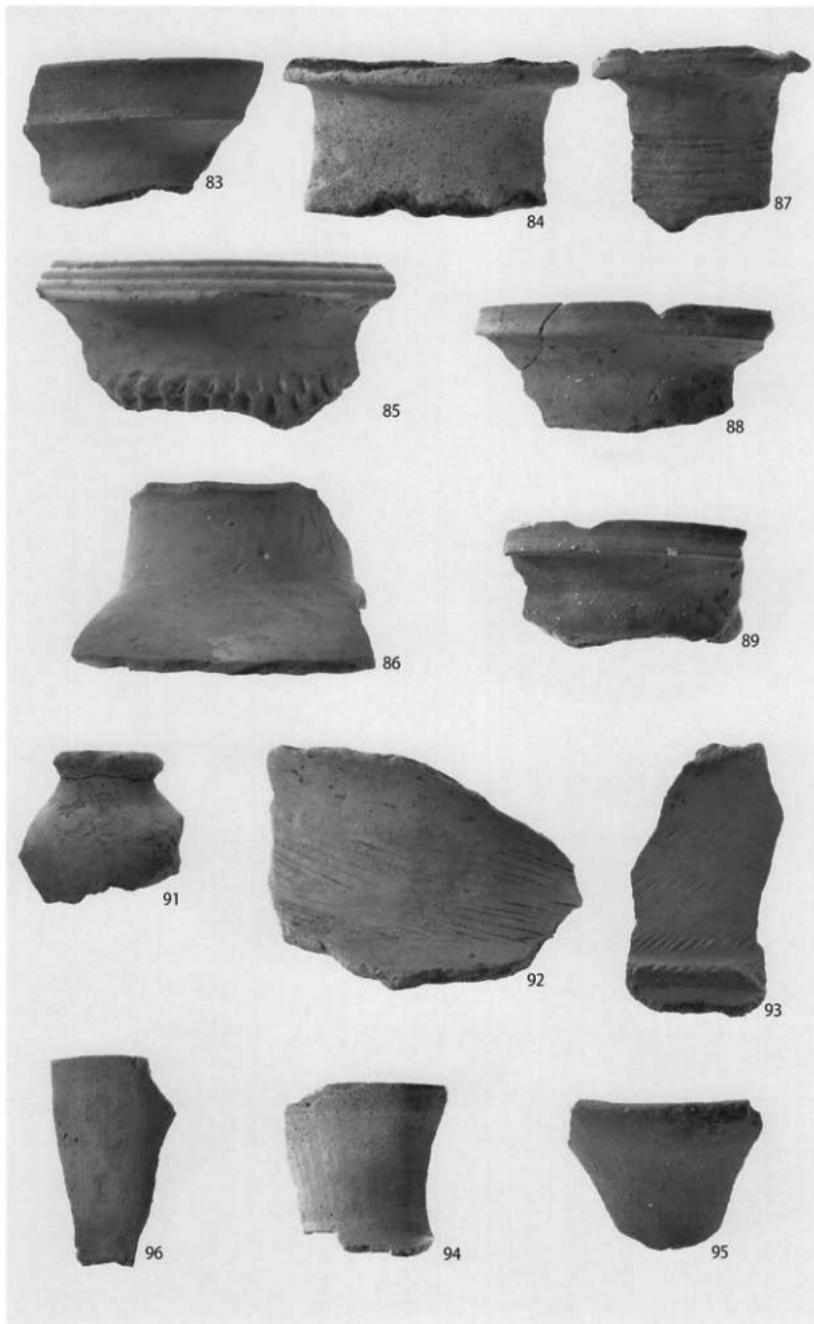
出土遺物 5



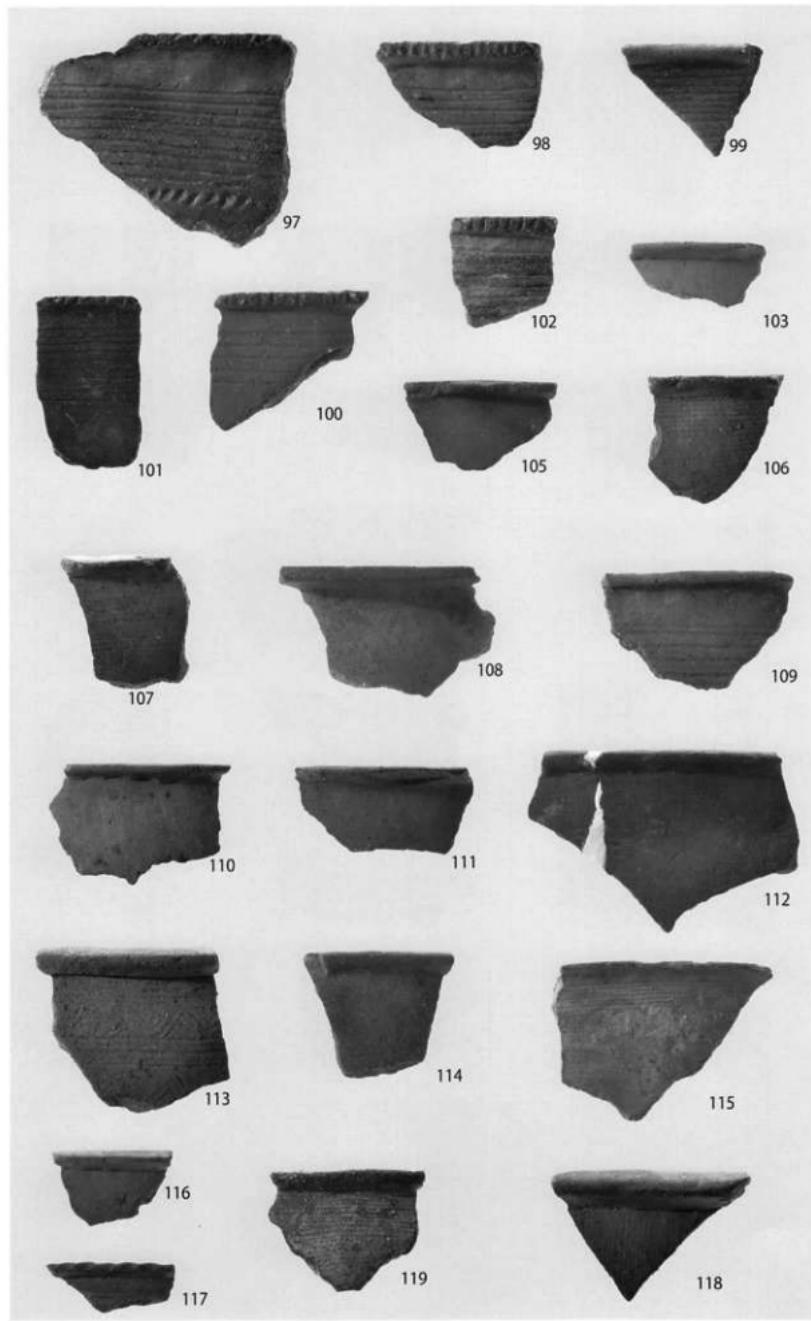
出土遺物 6



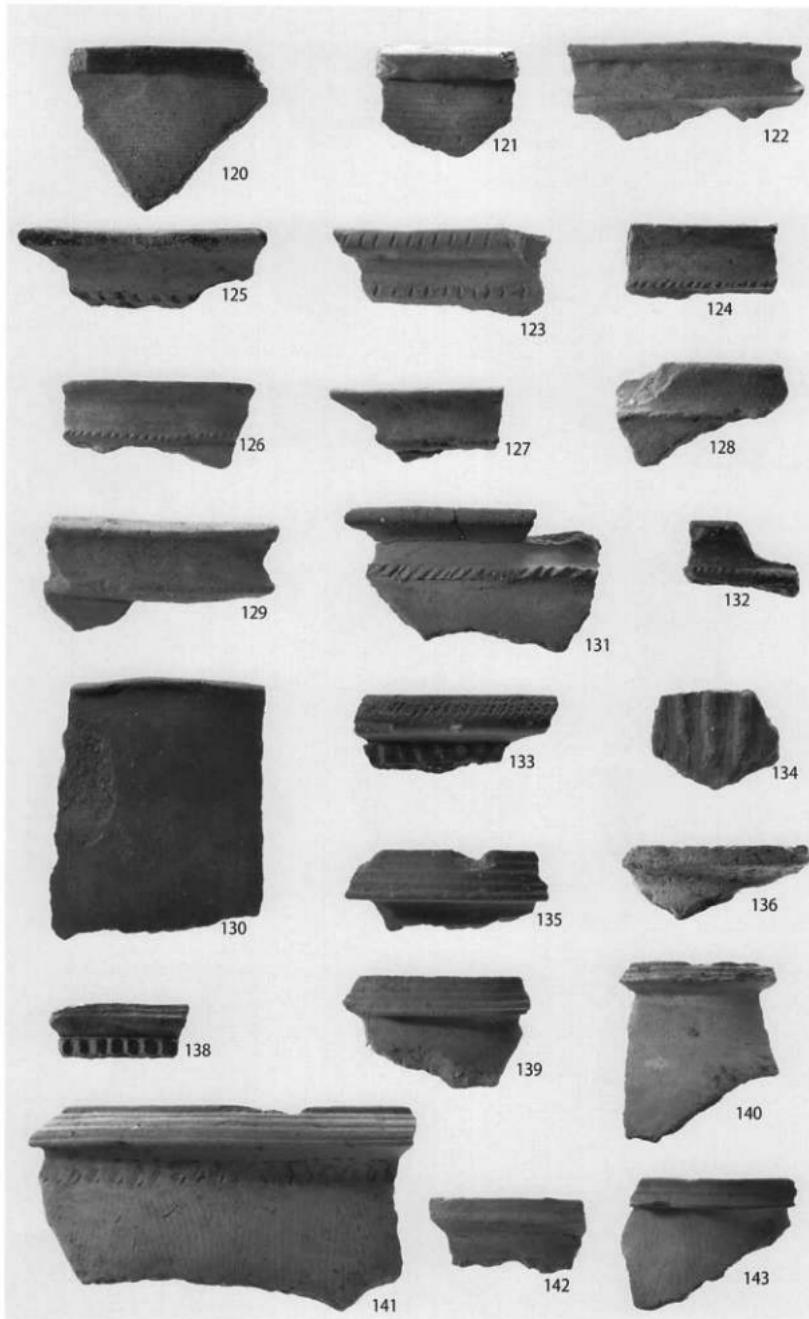
出土遺物 7



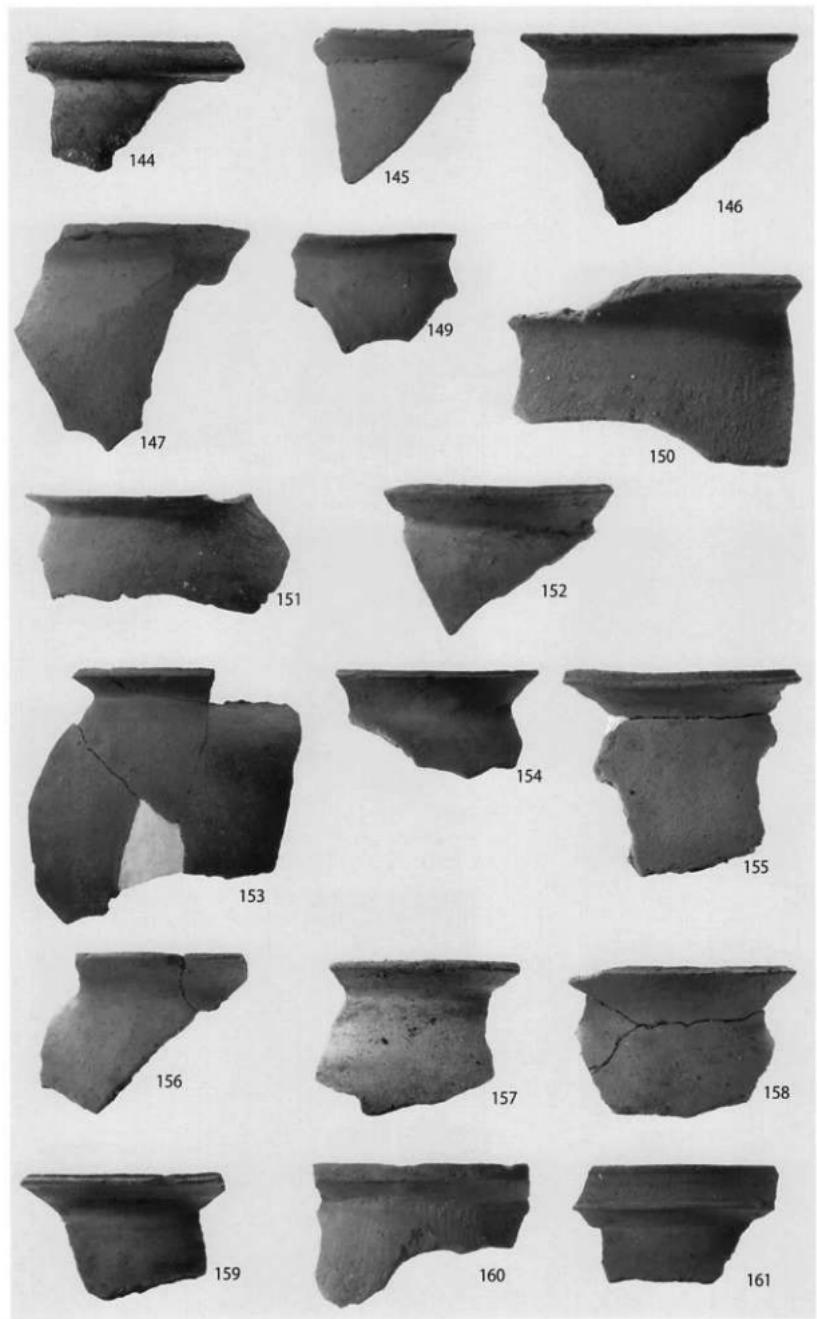
出土遺物 8



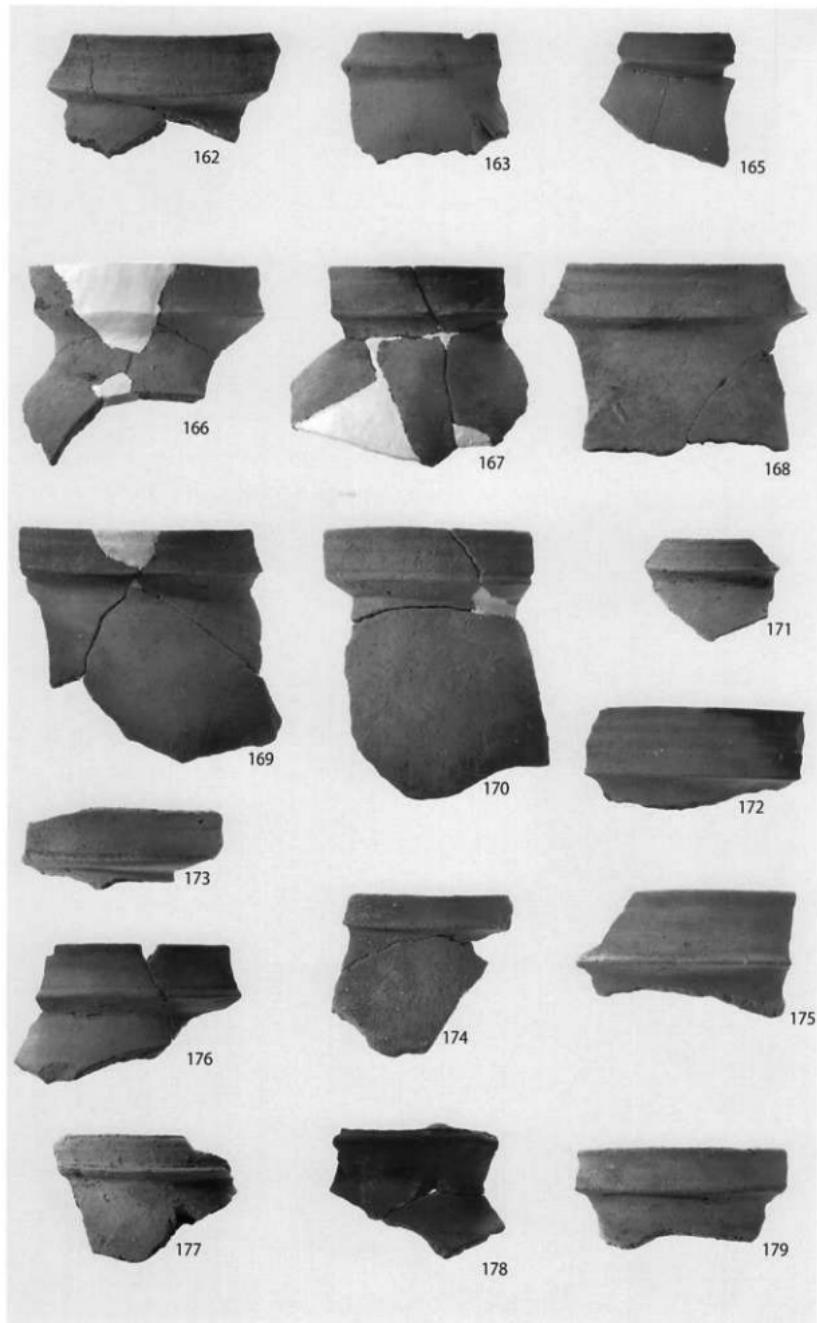
出土遺物 9

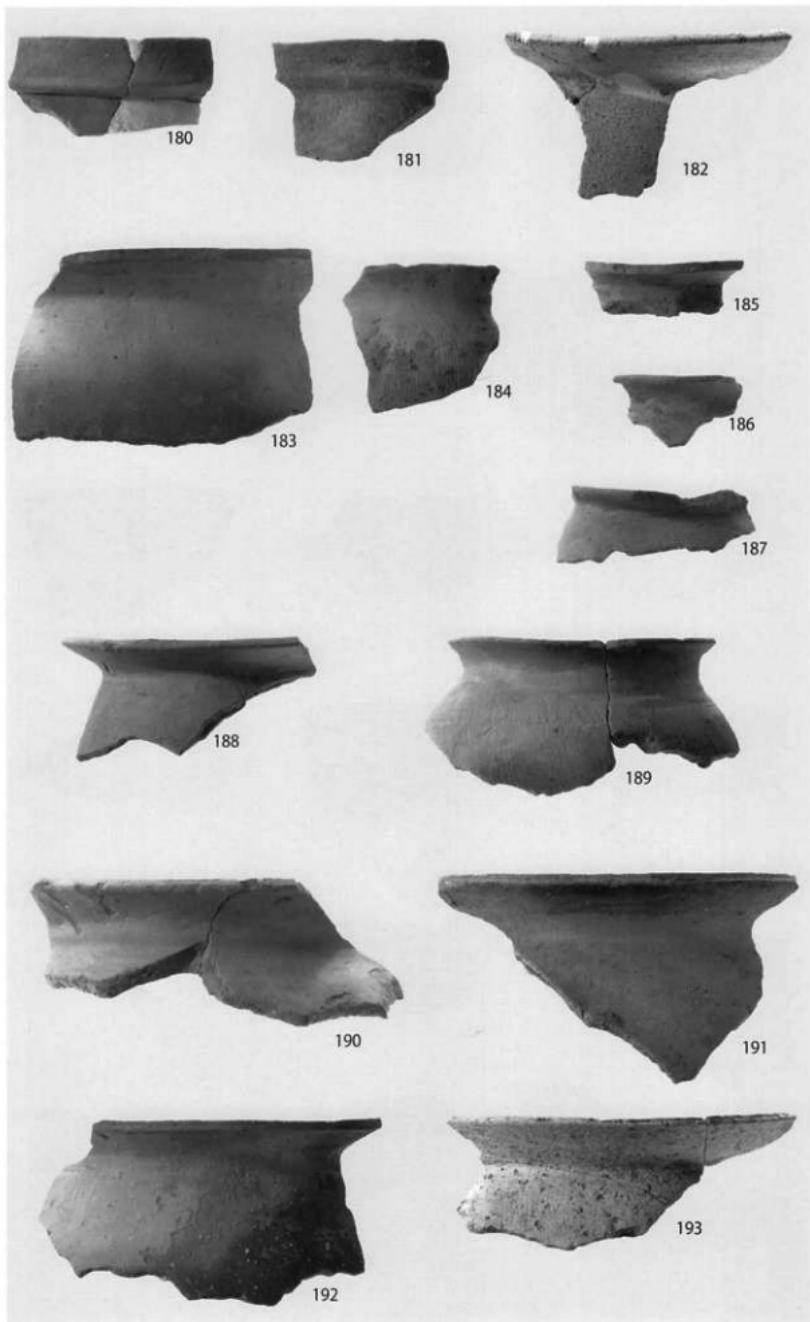


出土遺物 10

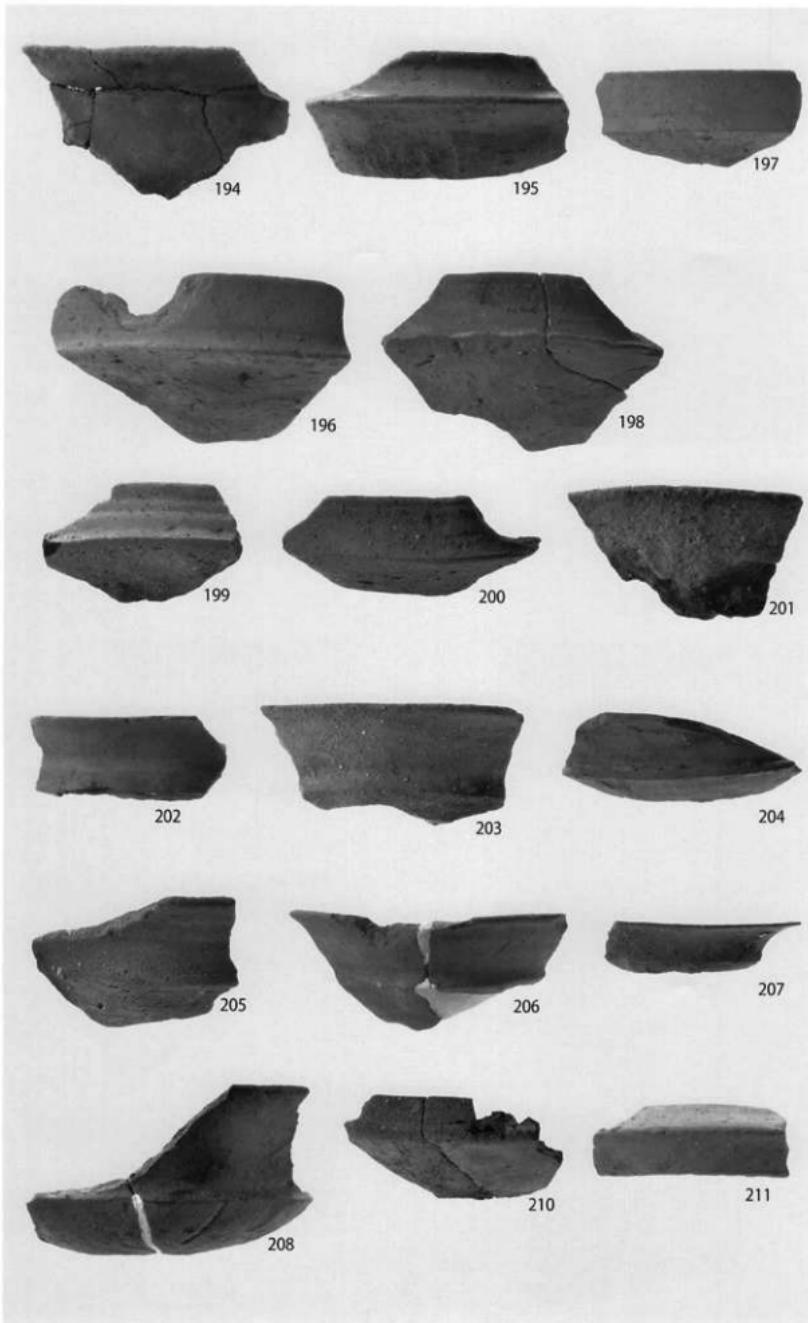


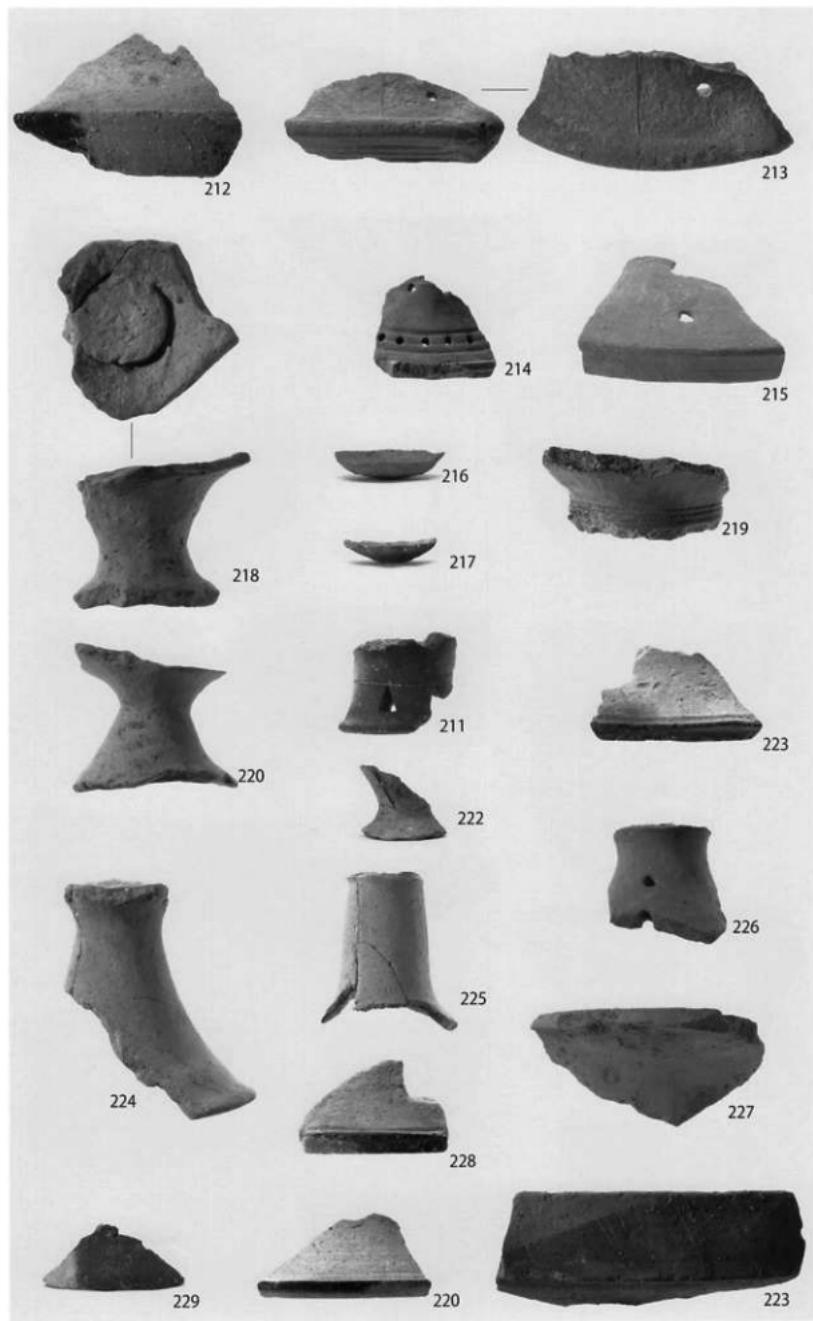
出土遺物 11



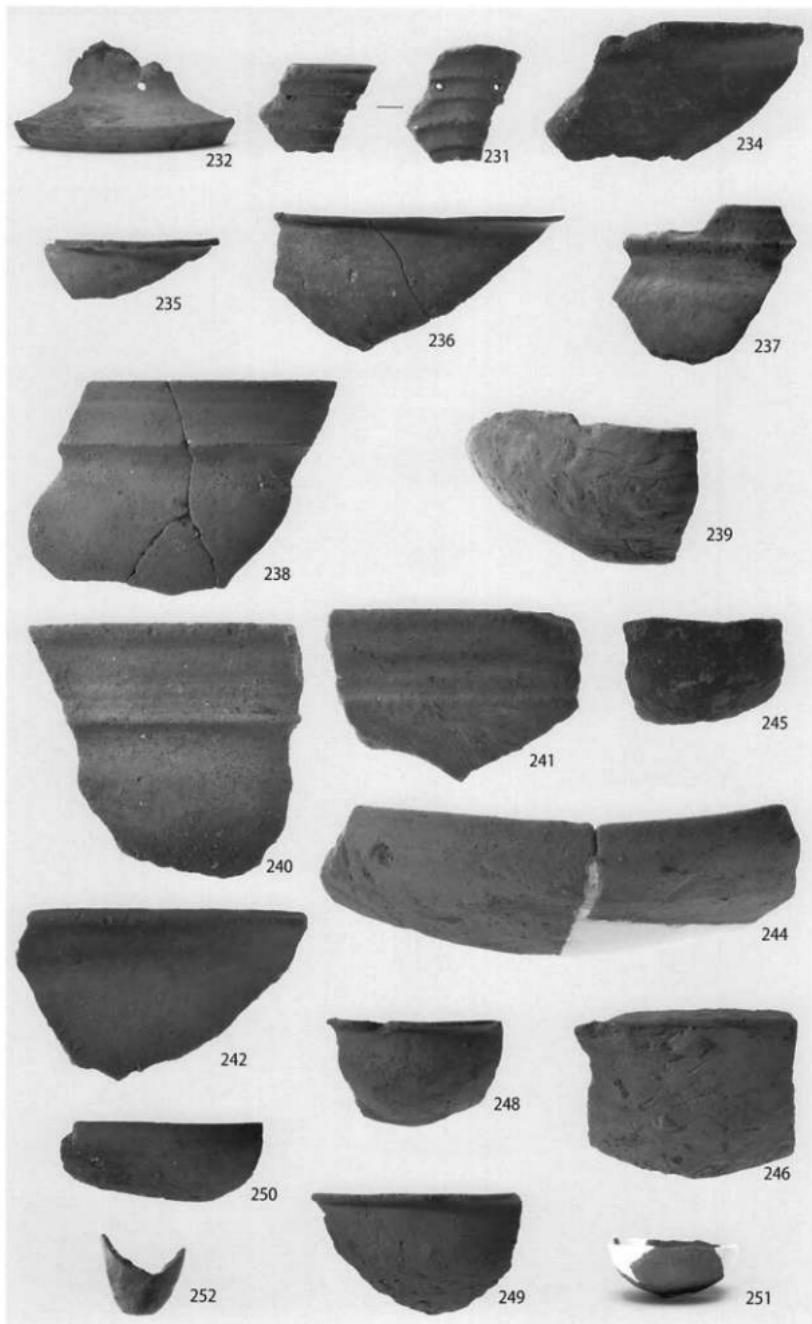


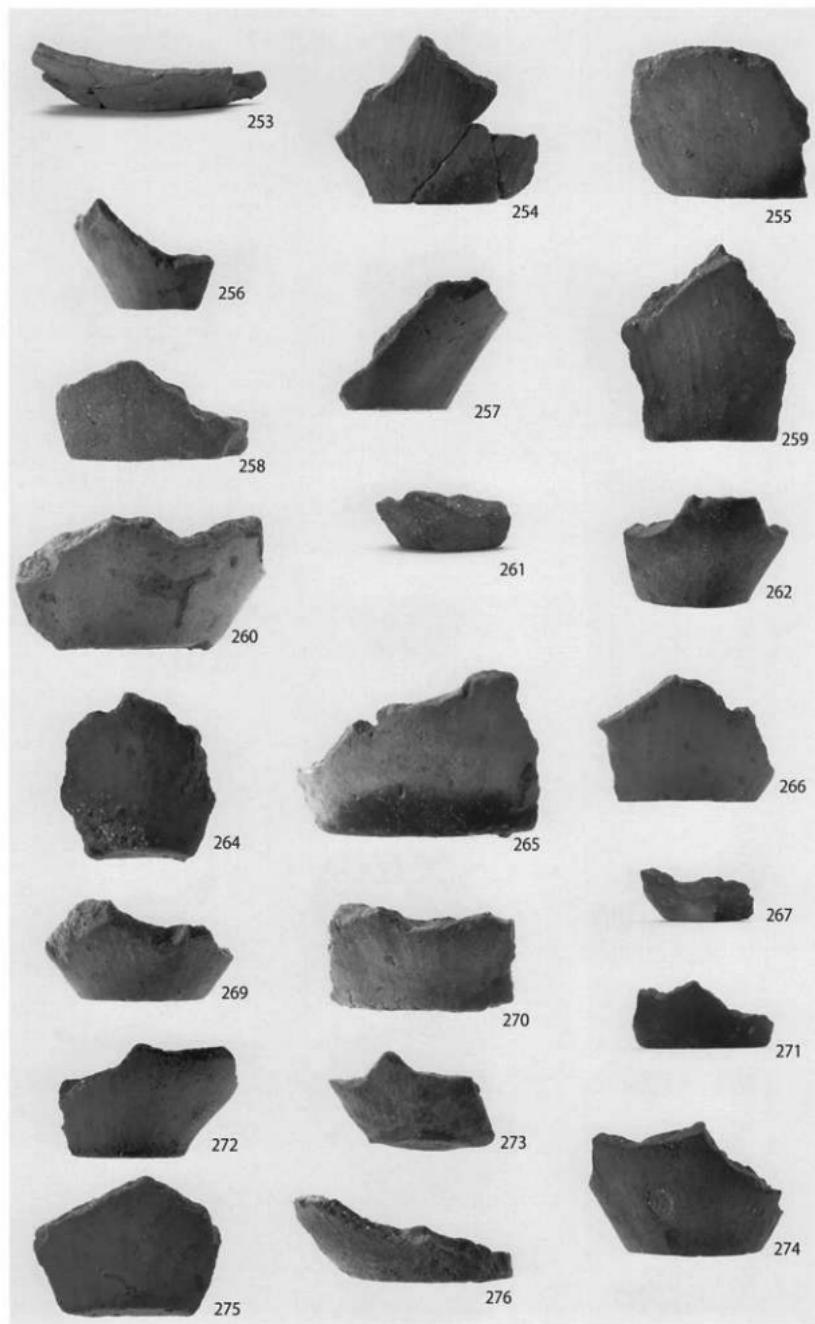
出土遺物 13



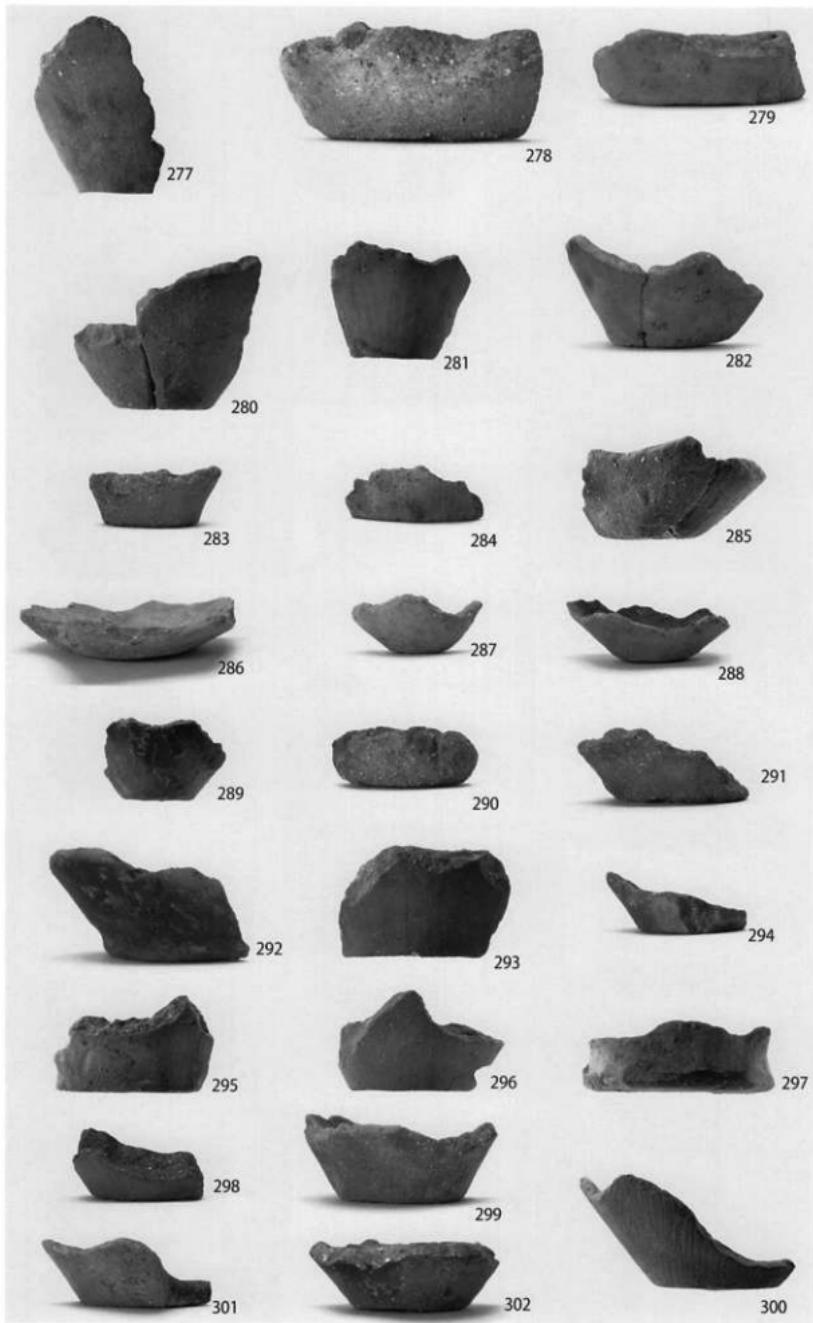


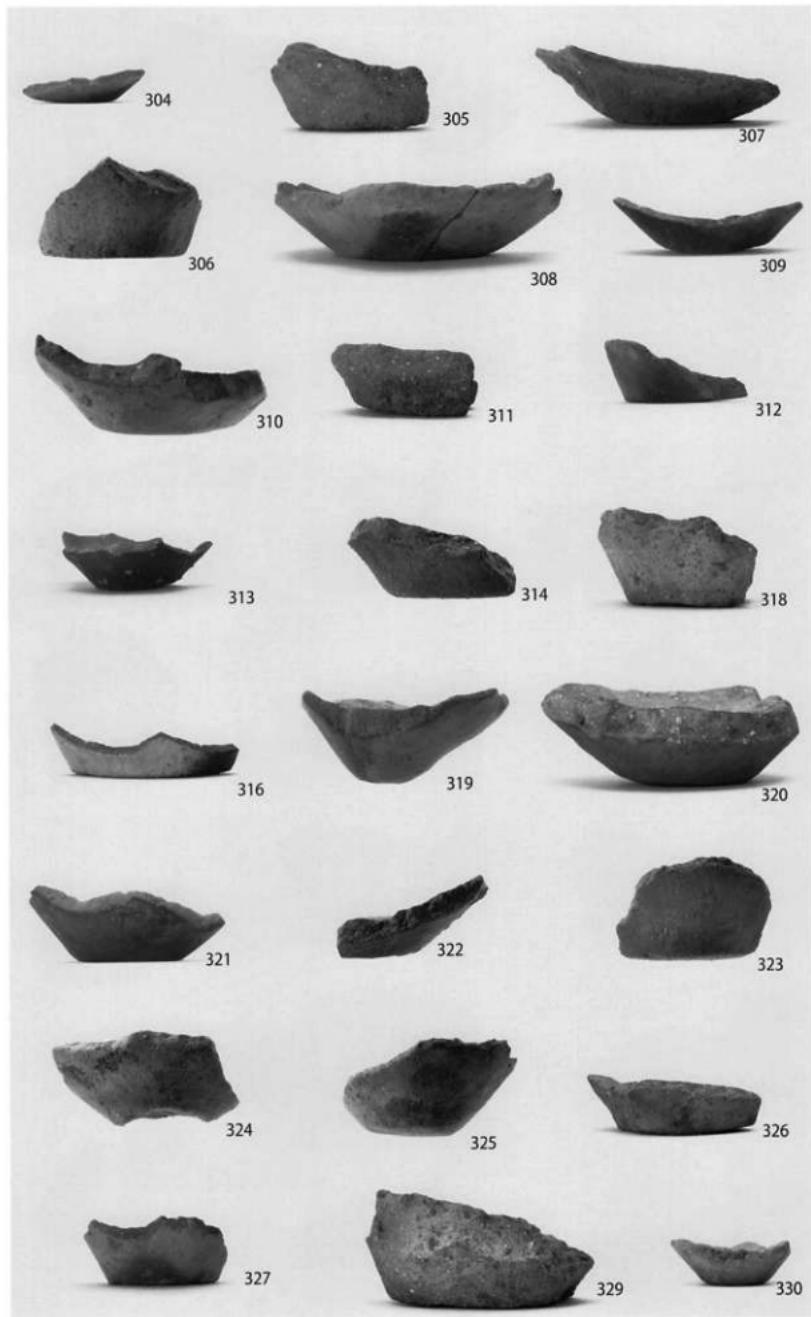
出土遺物 15



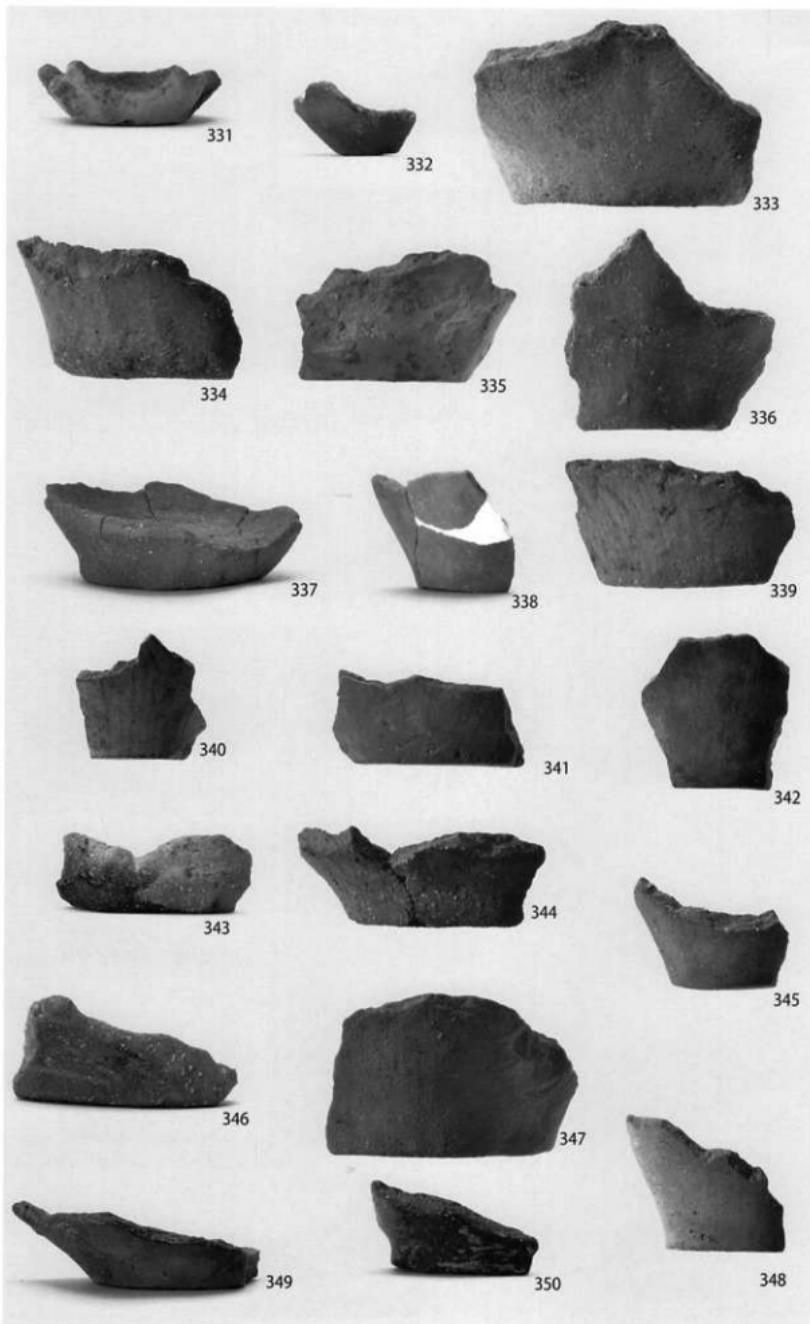


出土遺物 17

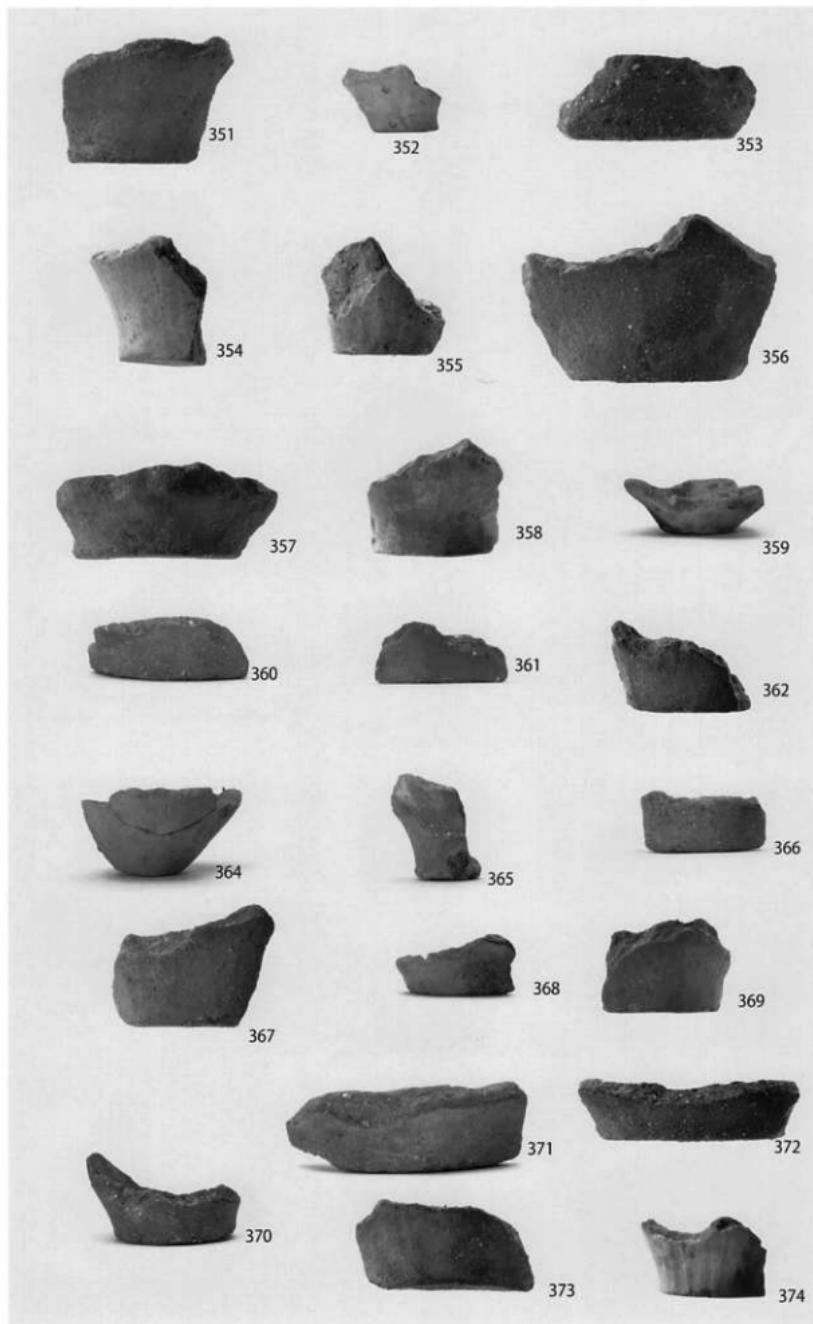




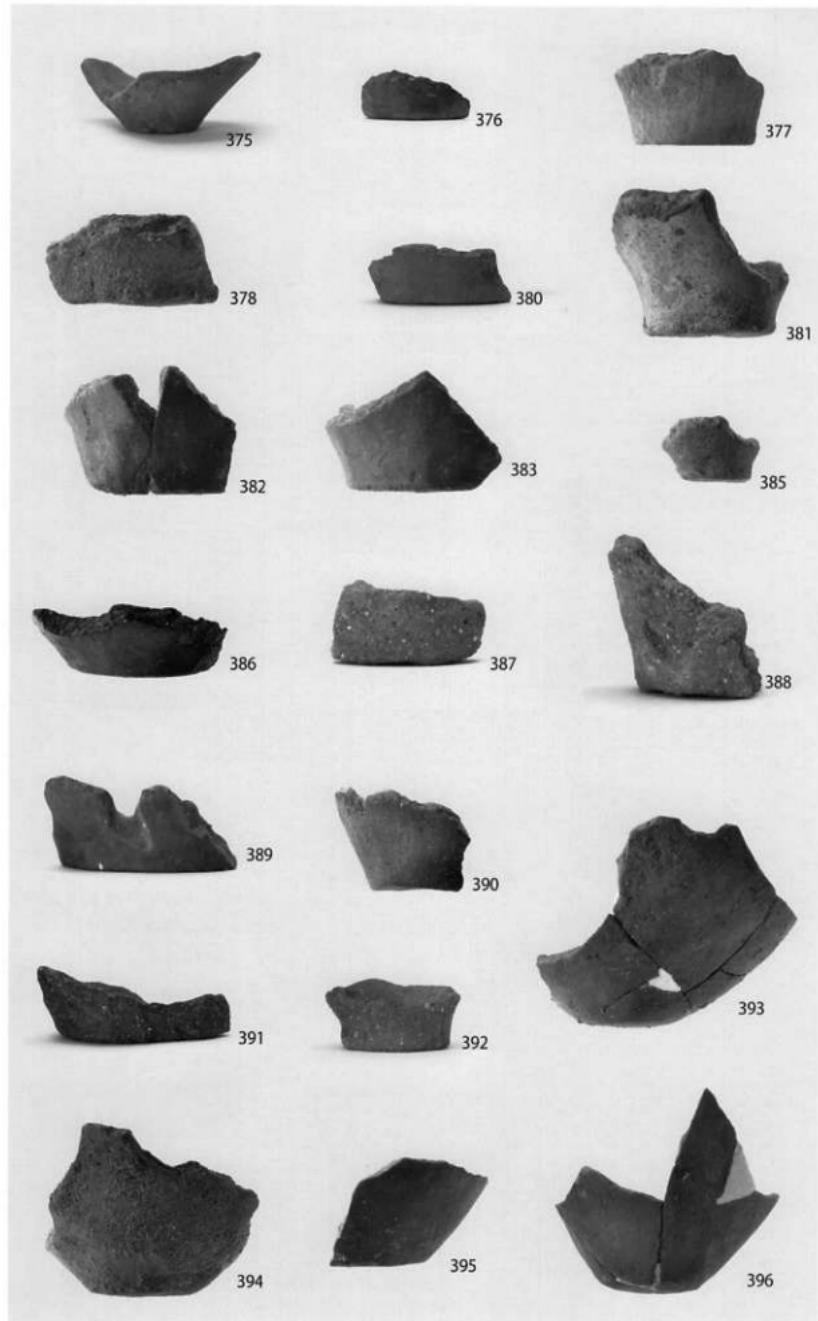
出土遺物 19

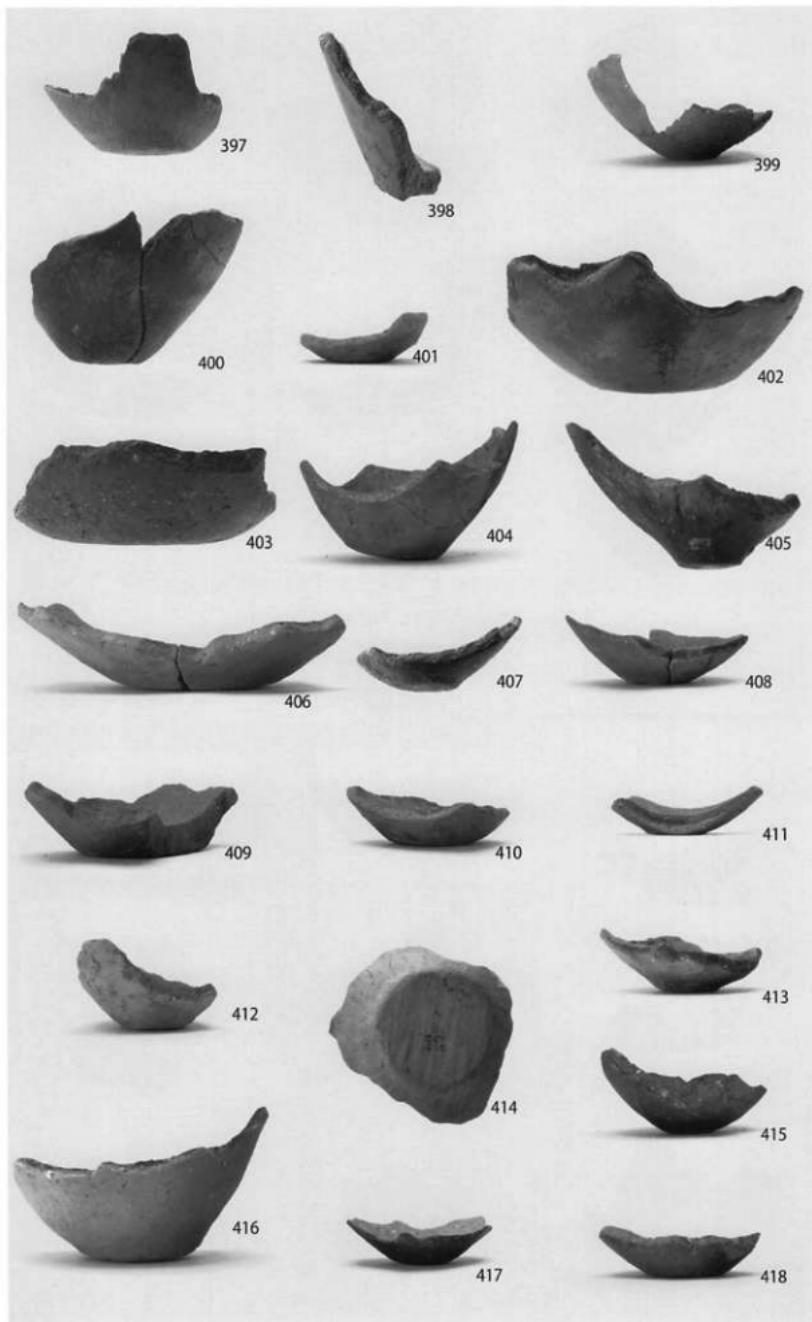


出土遺物 20

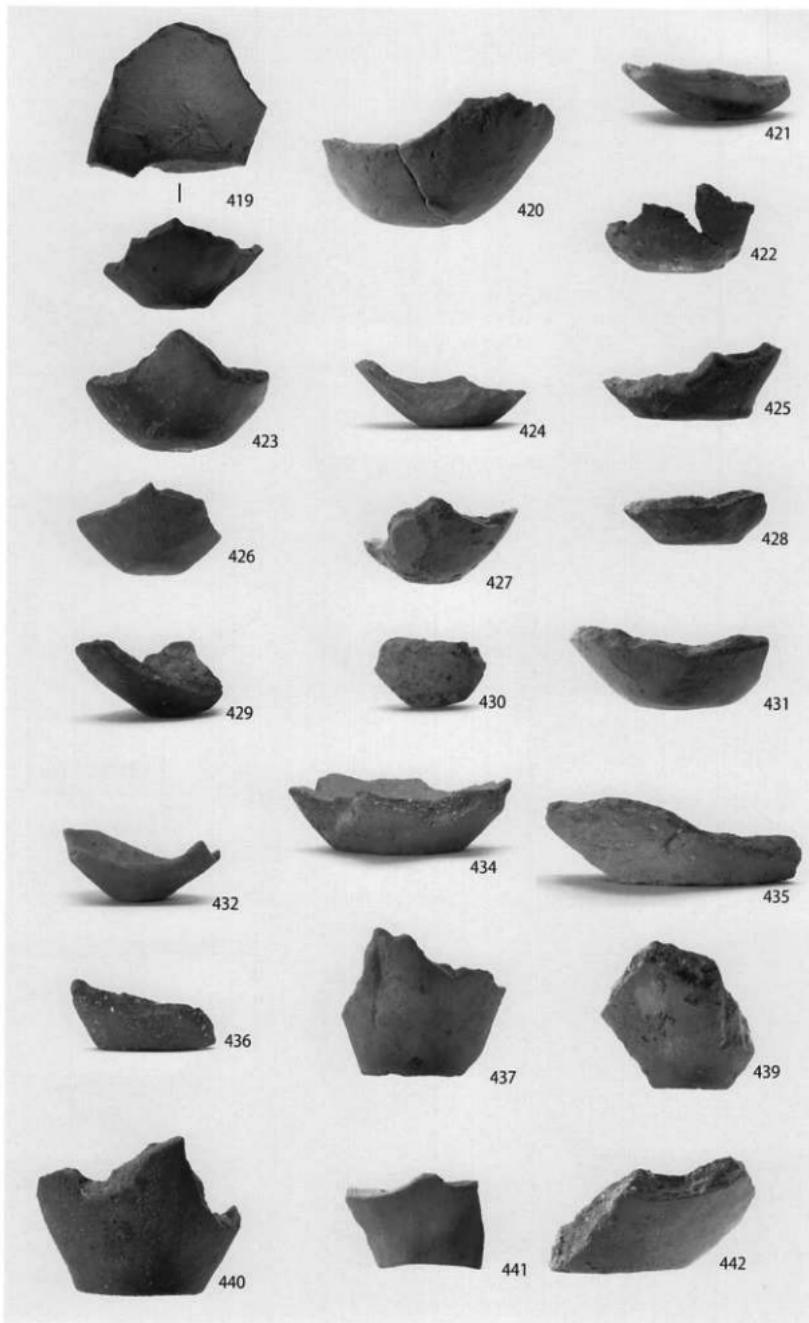


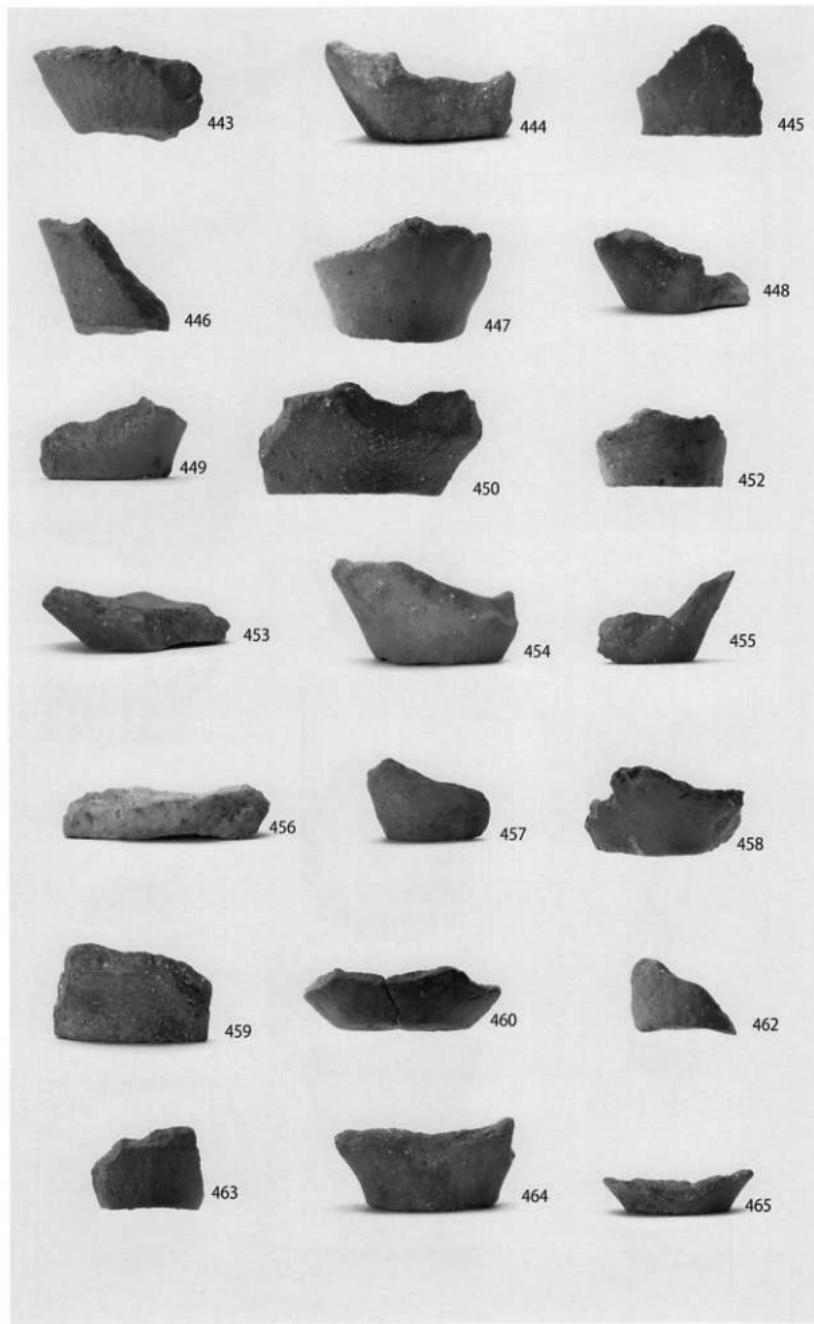
出土遺物 21



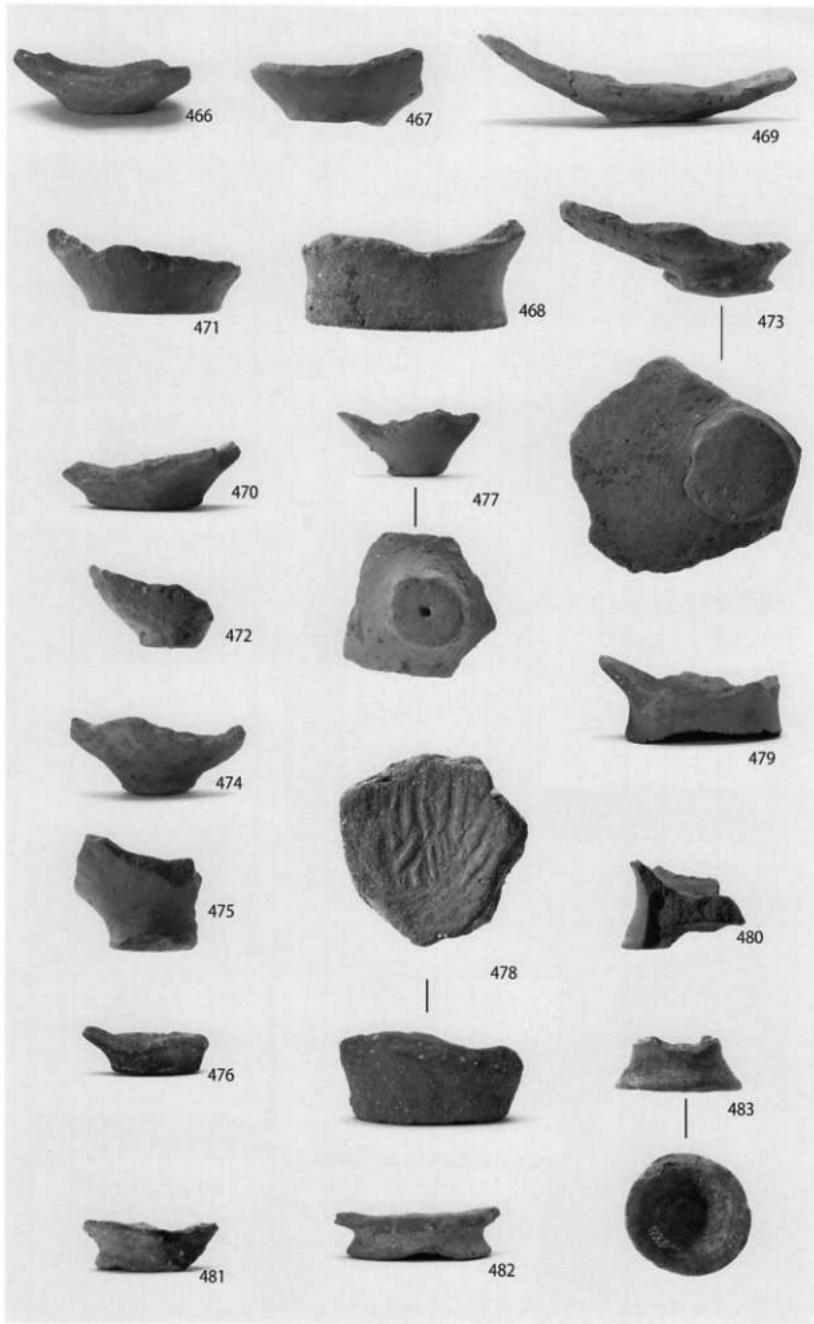


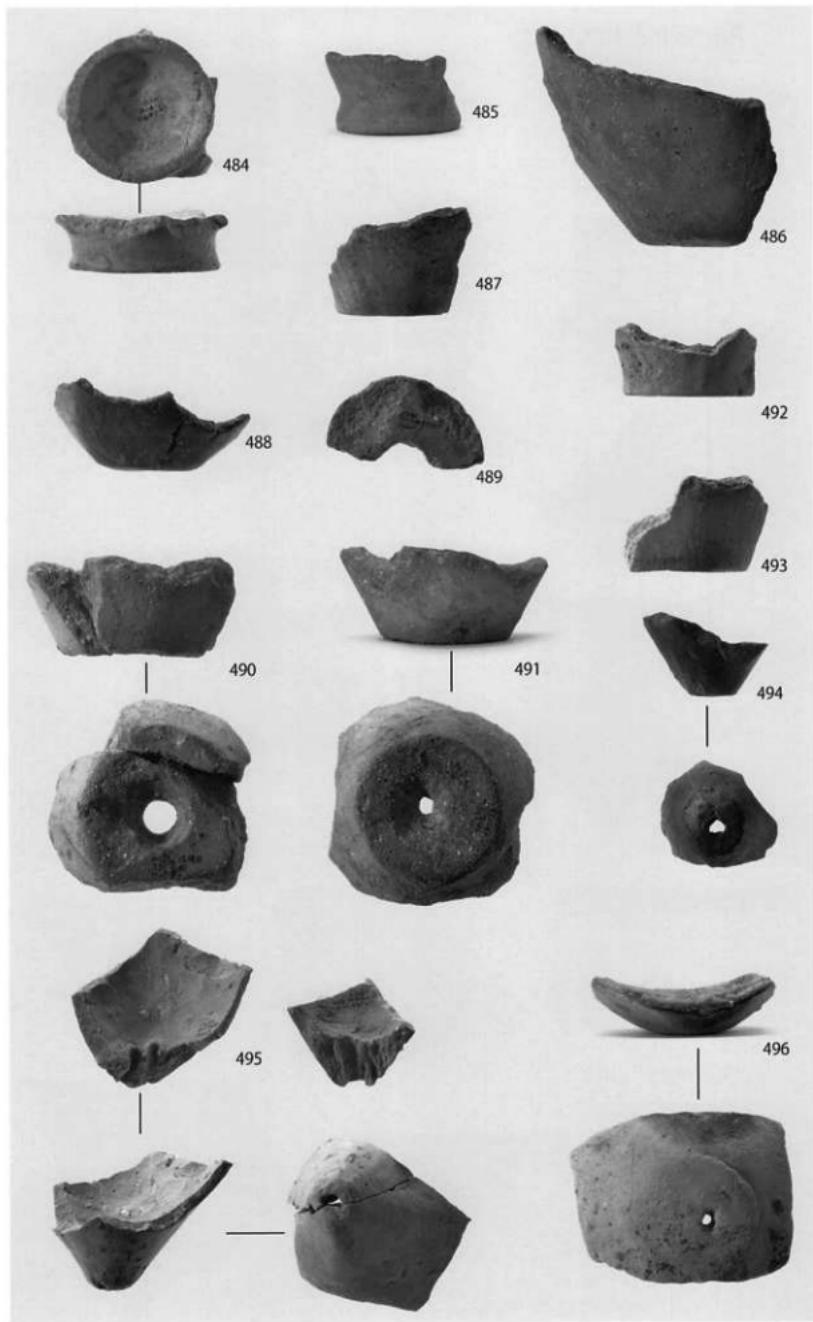
出土遺物 23



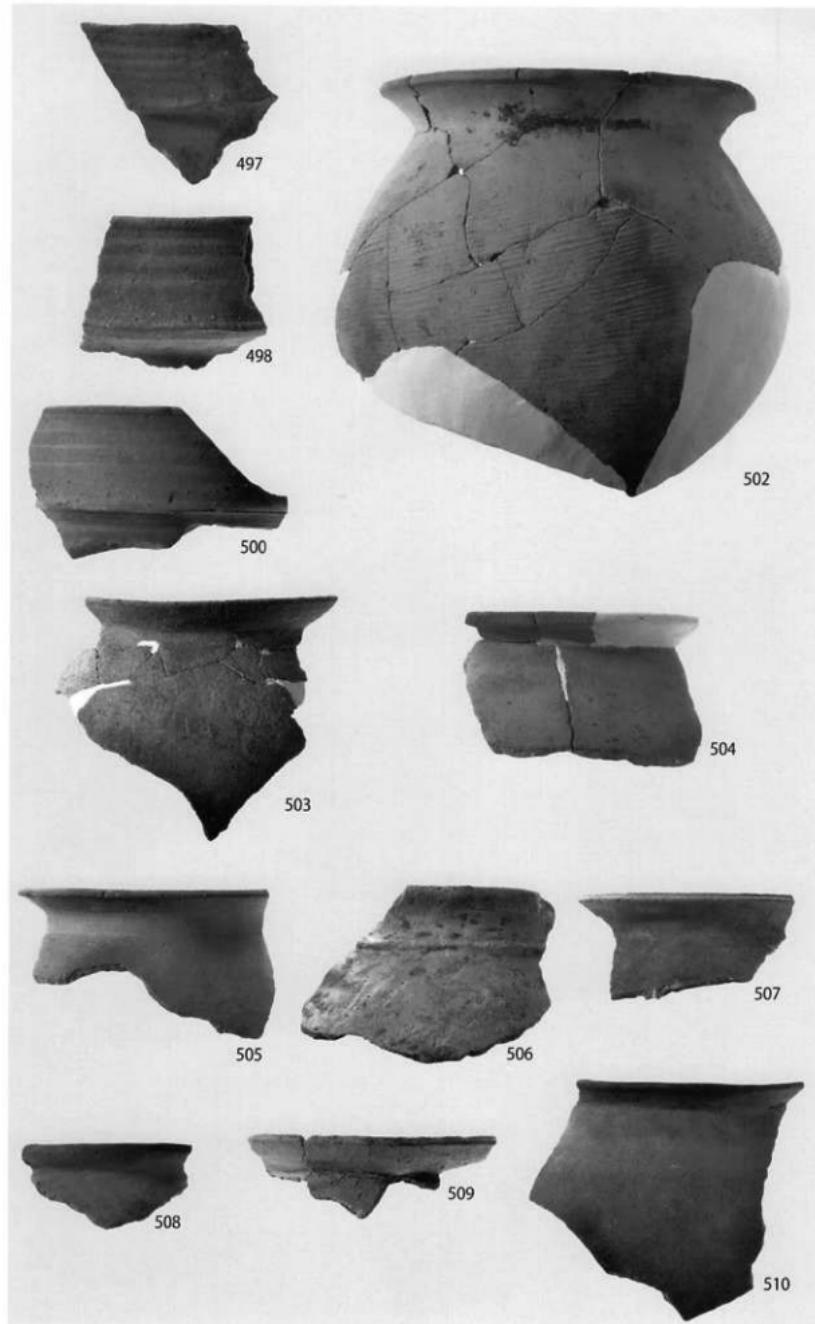


出土遺物 25

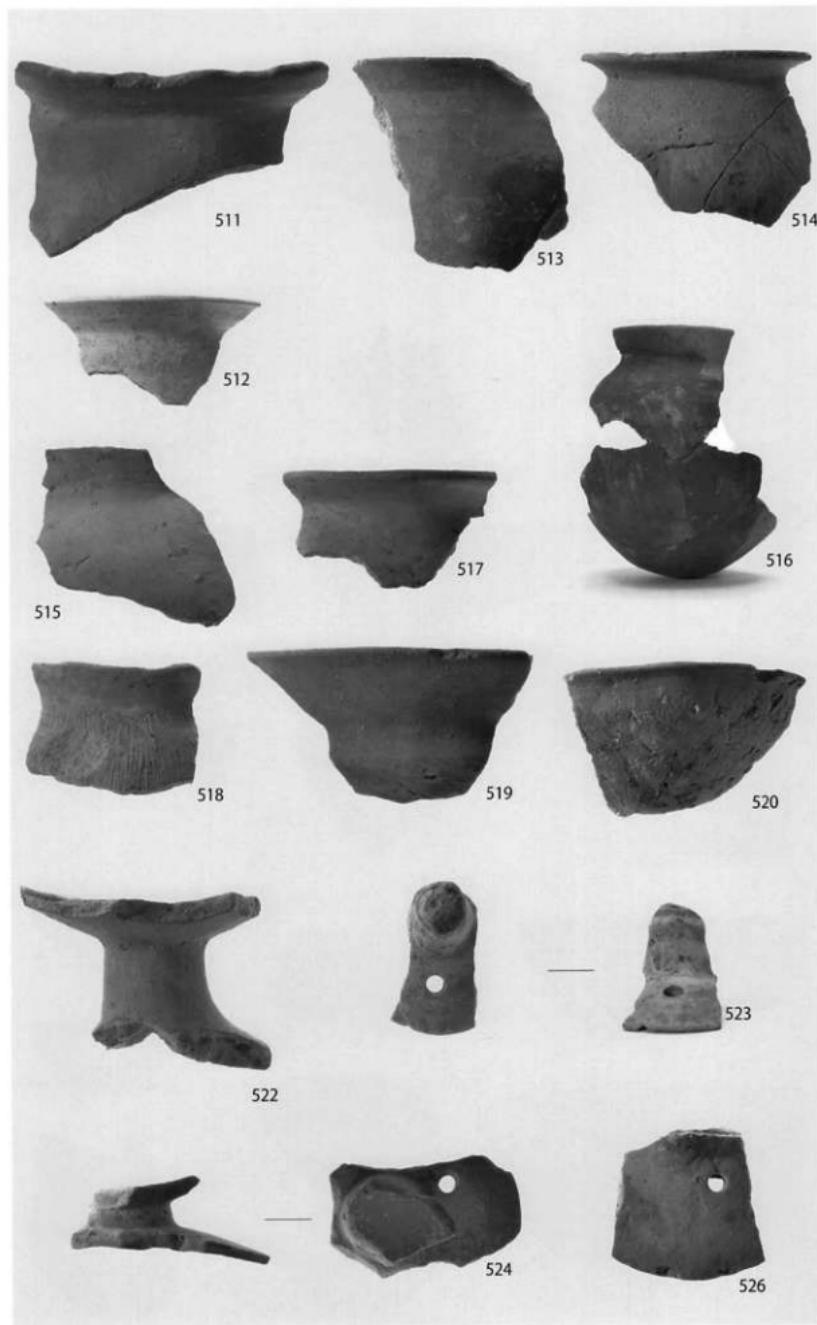


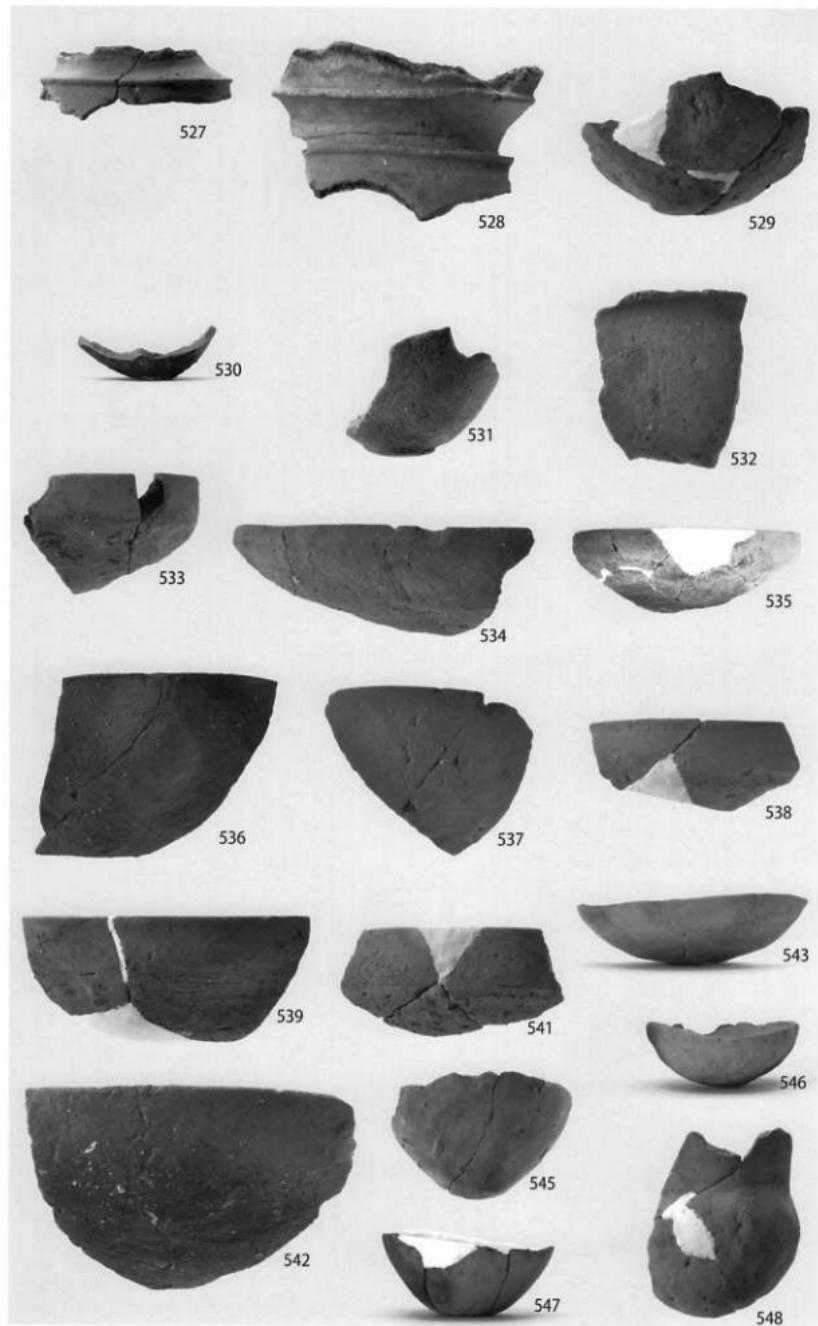


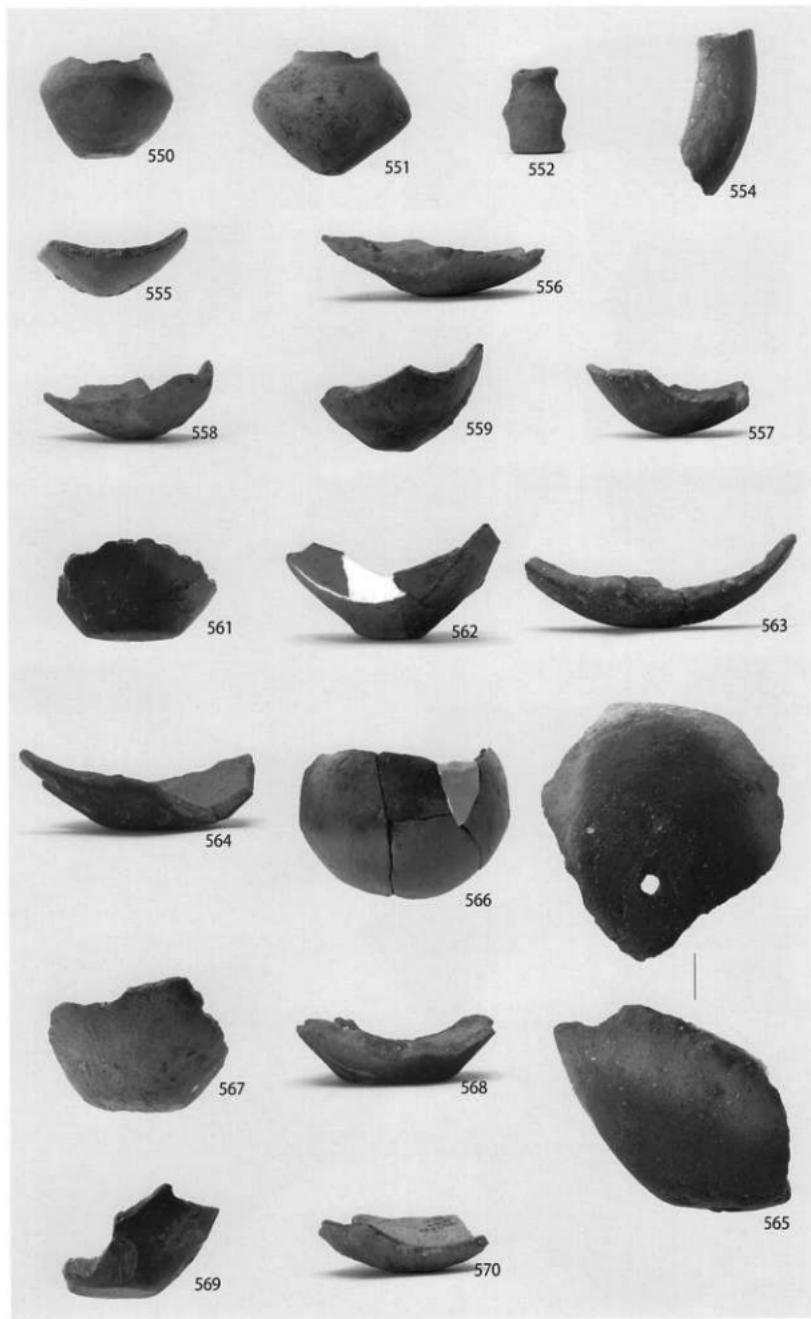
出土遺物 27



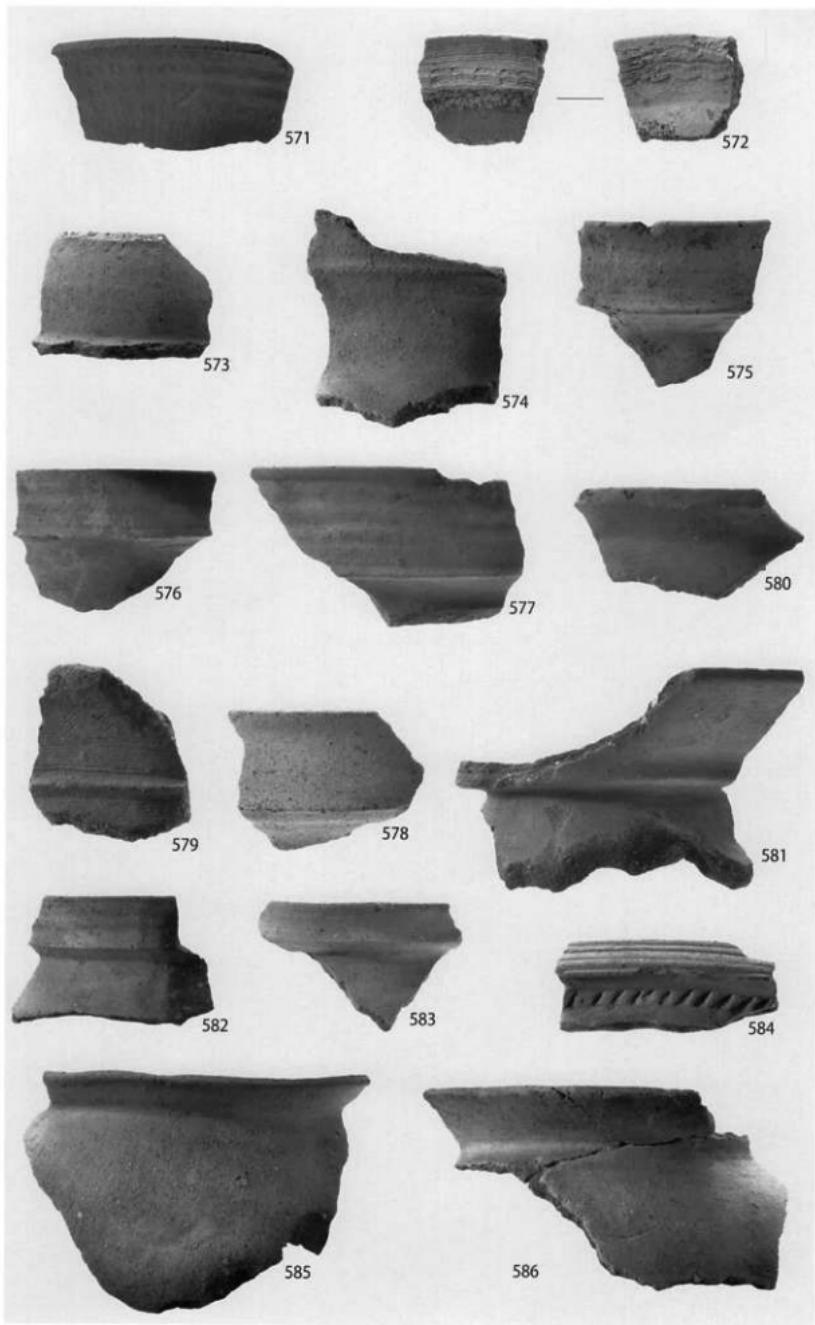
出土遺物 28



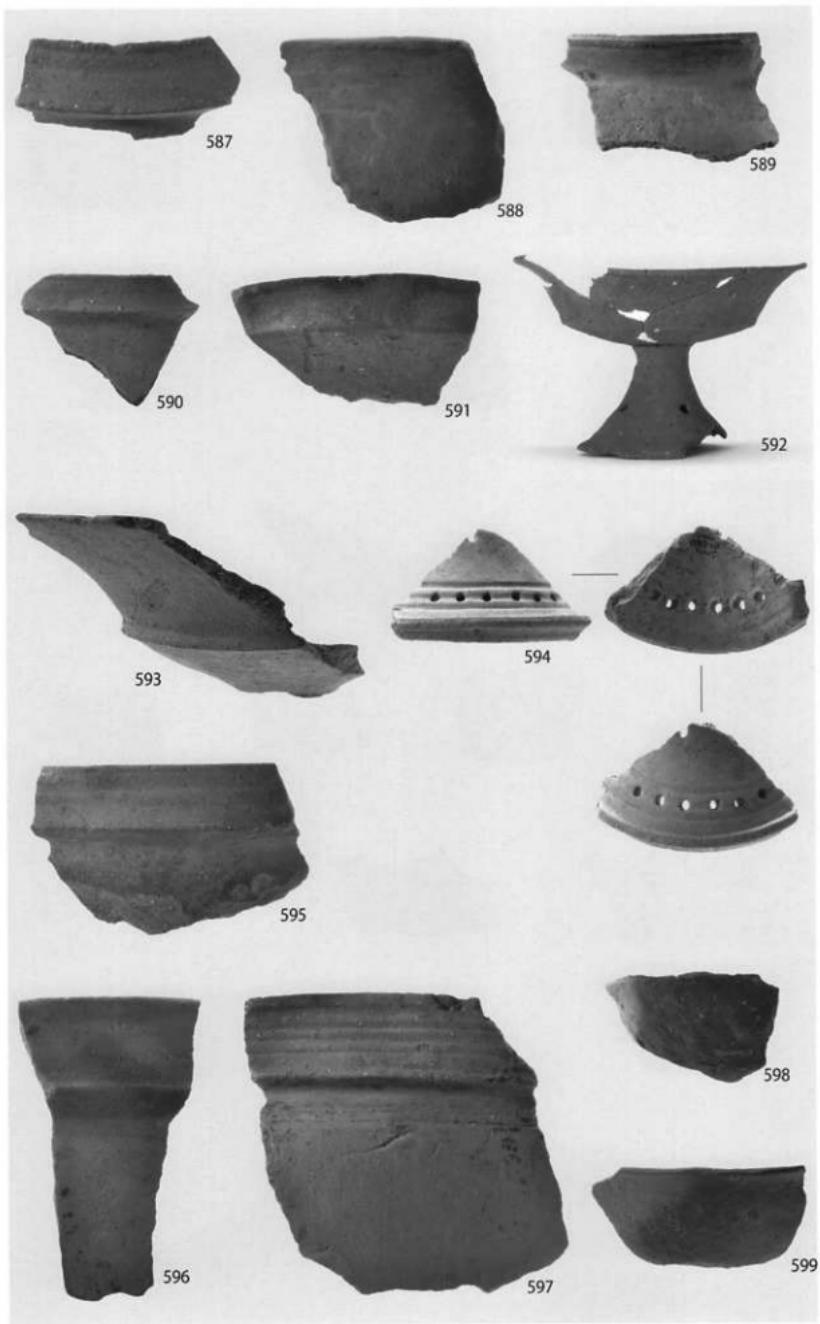




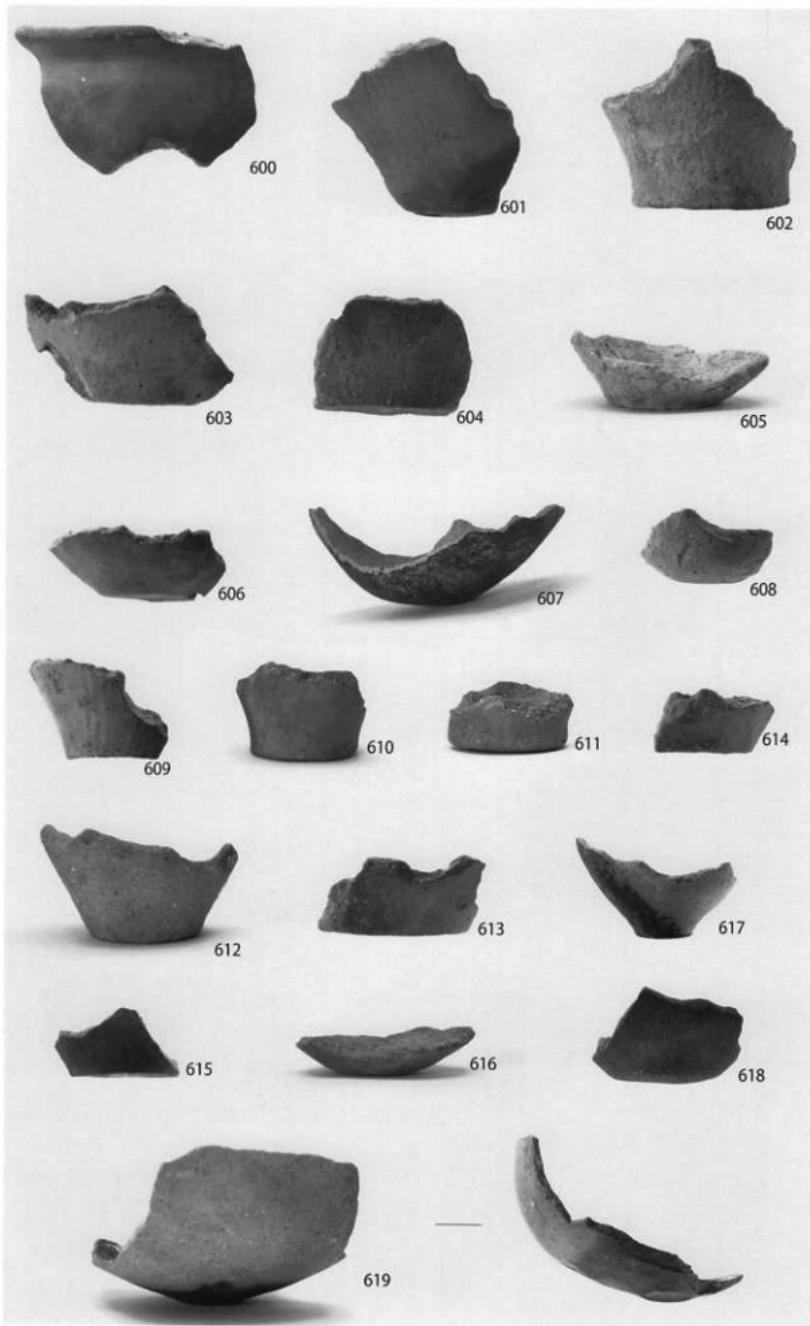
出土遺物 31

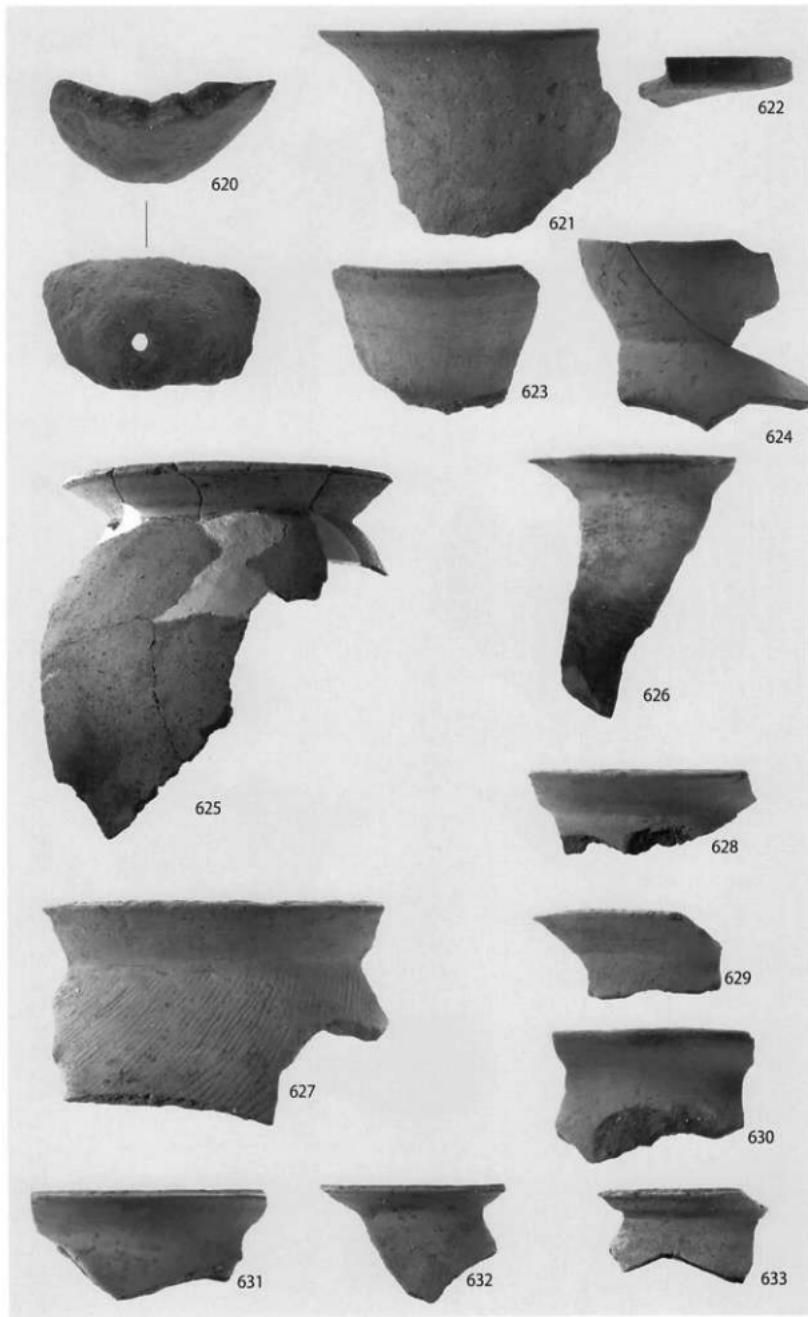


出土遺物 32

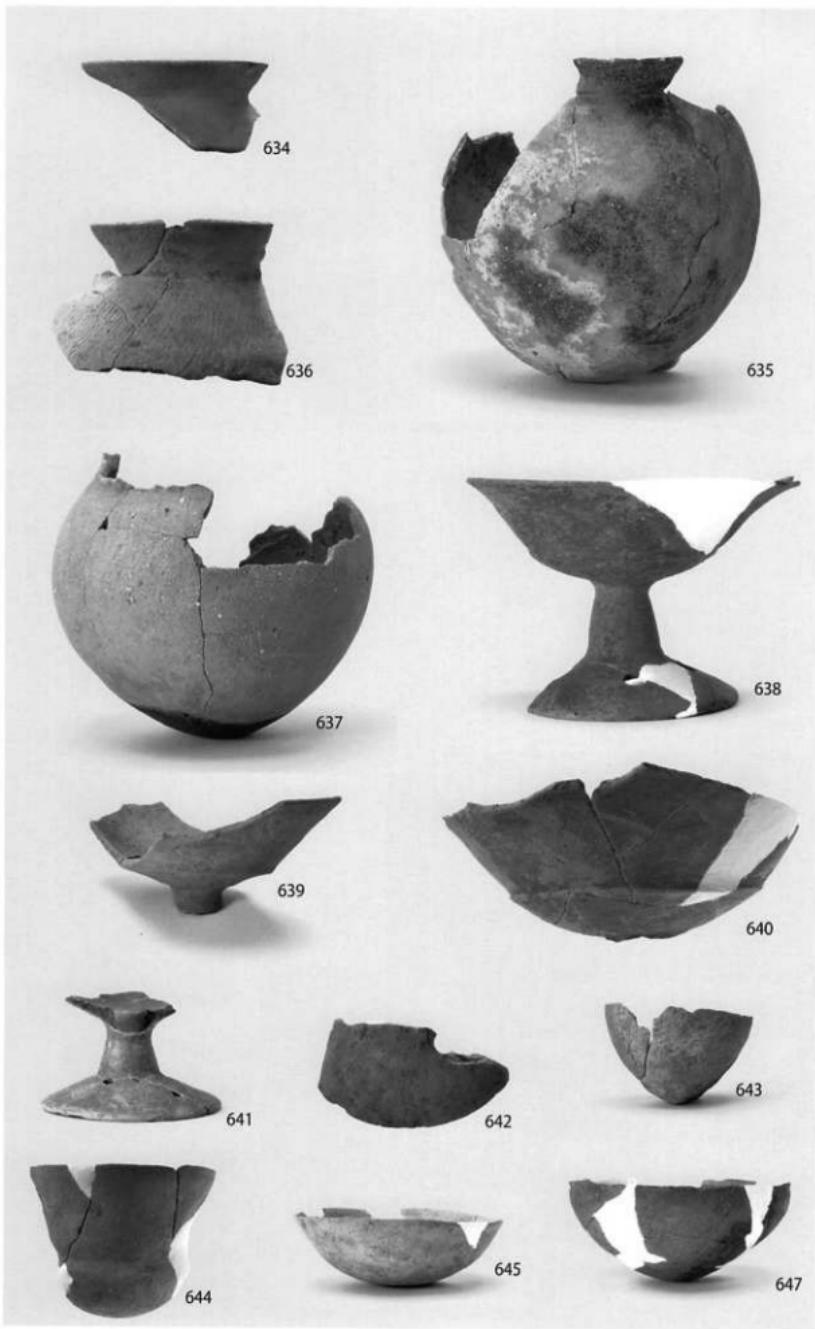


出土遺物 33

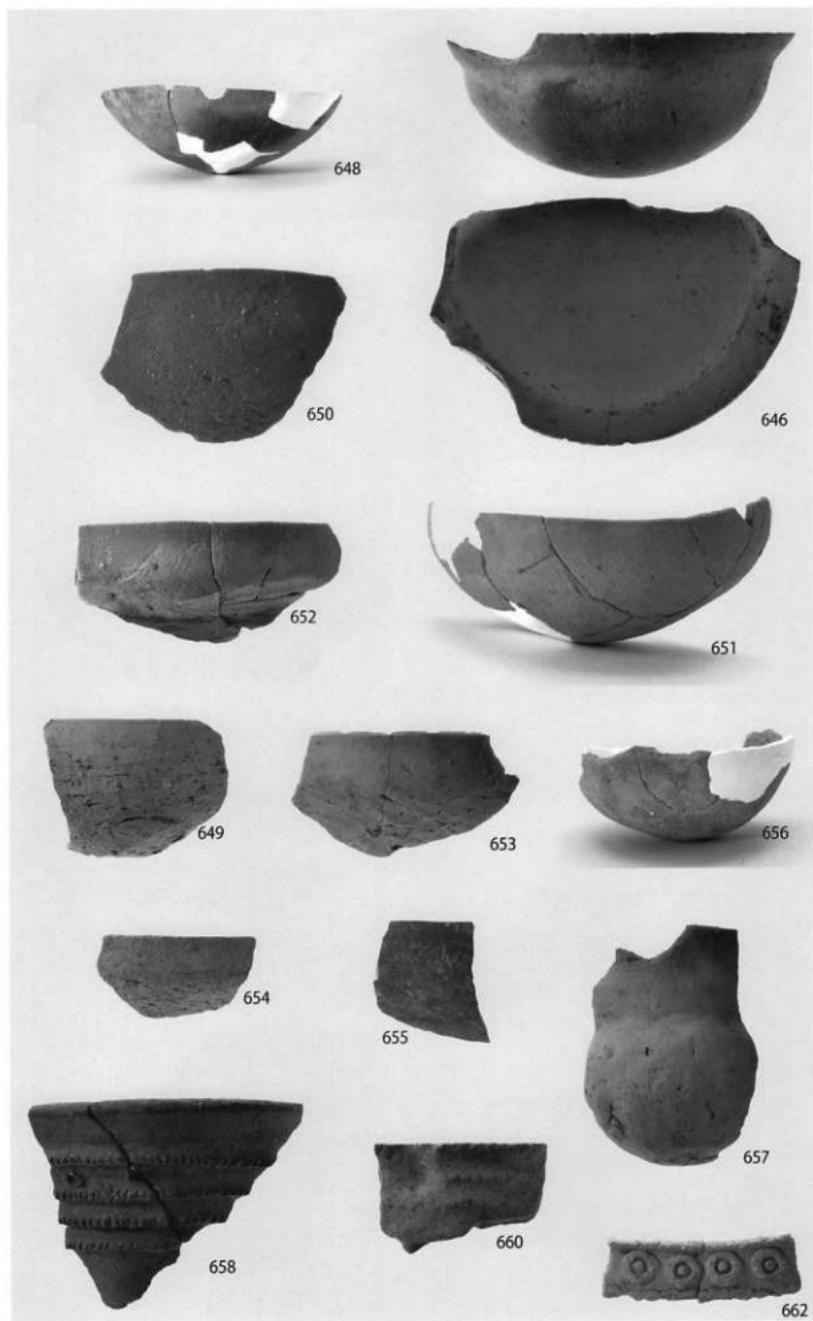


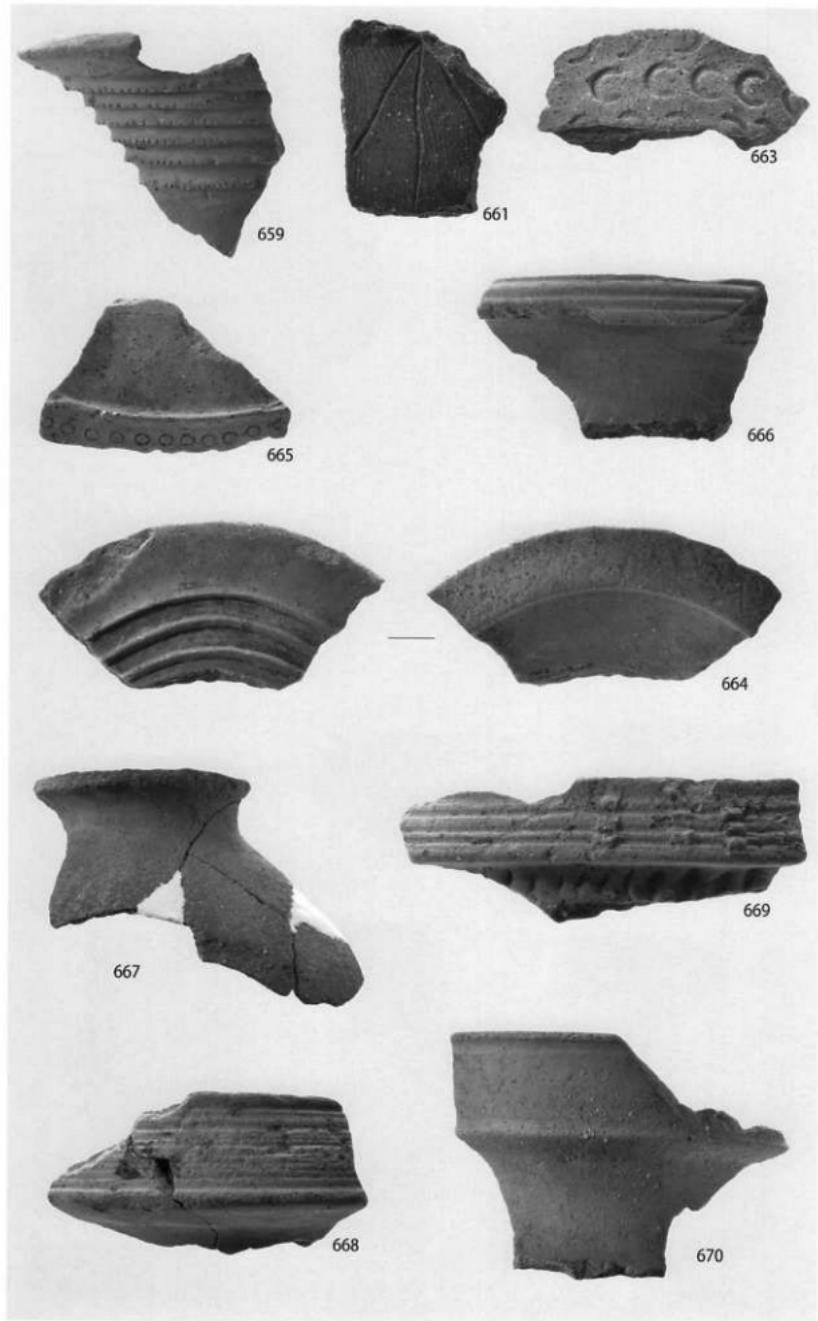


出土遺物 35

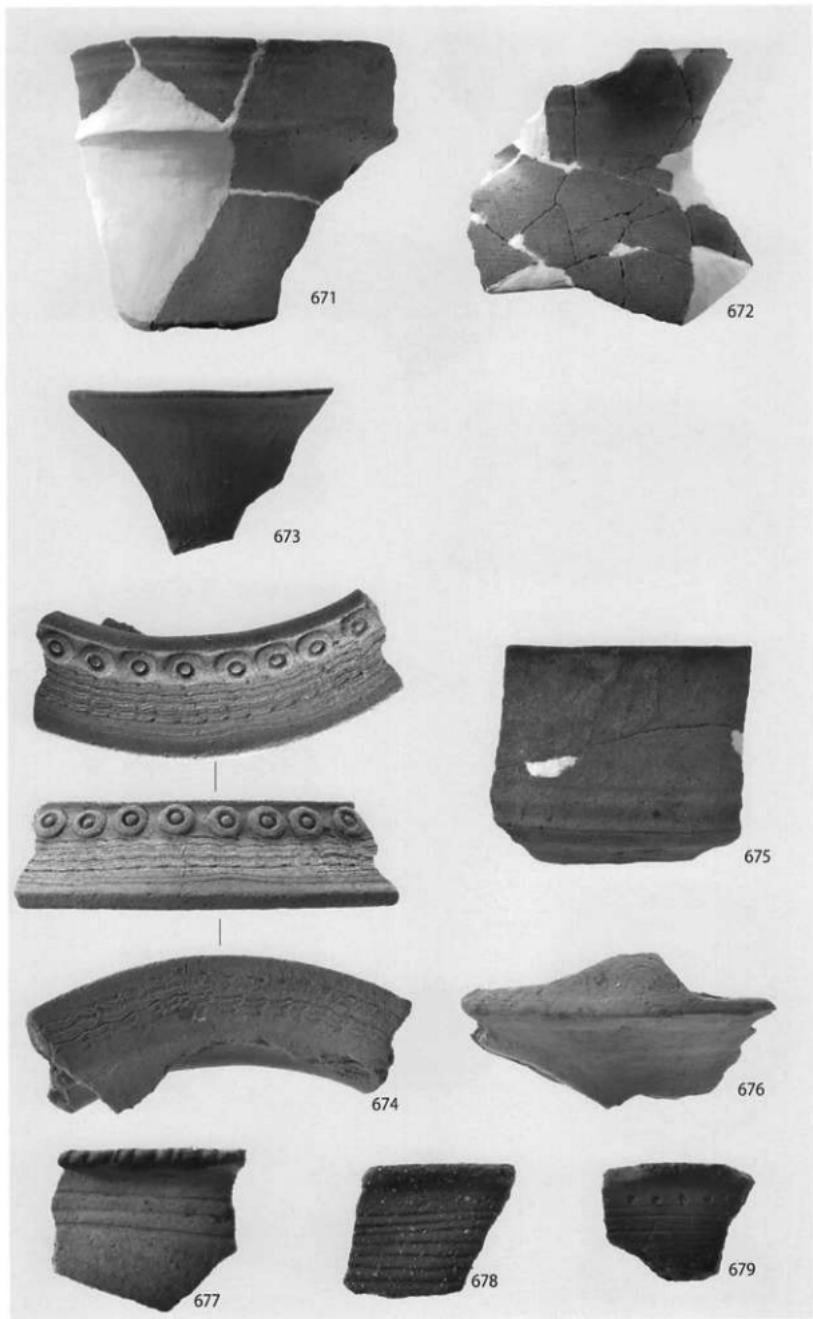


出土遺物 36

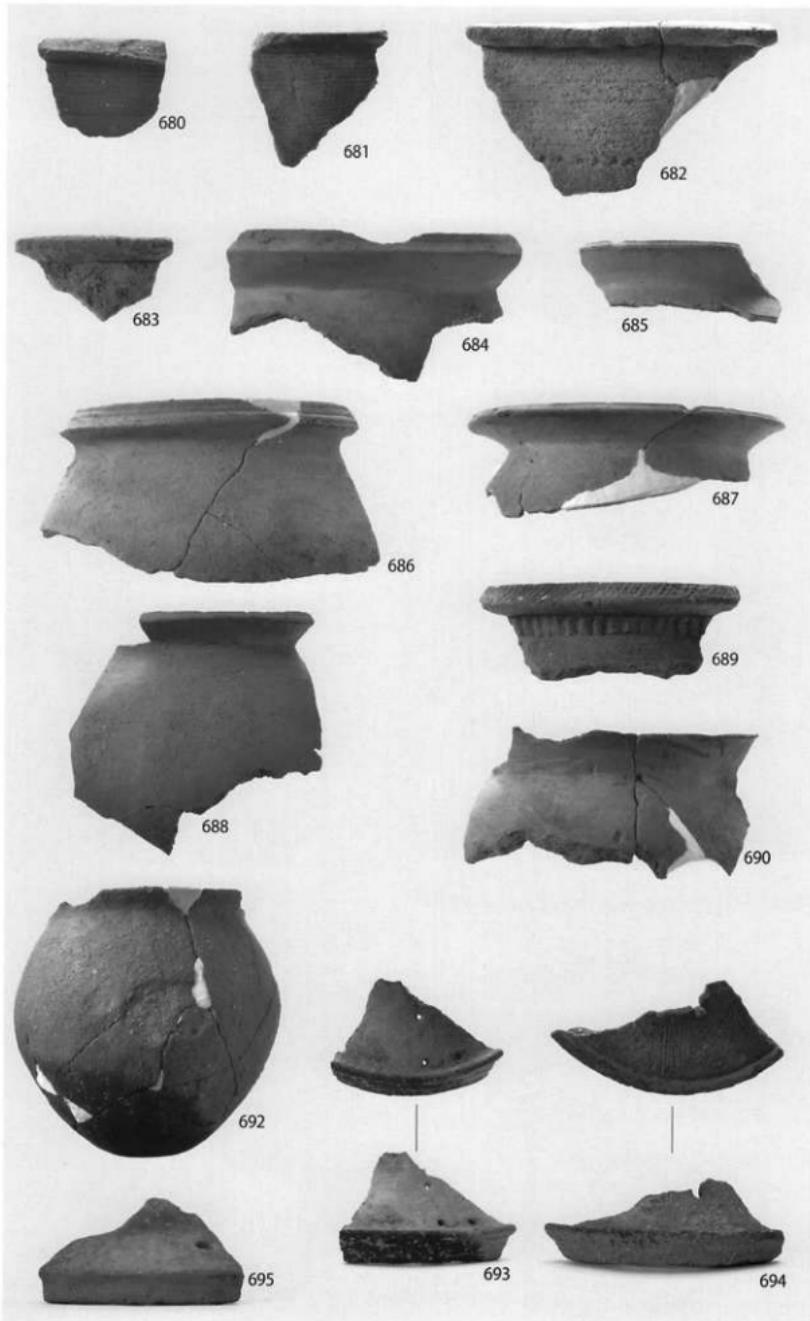




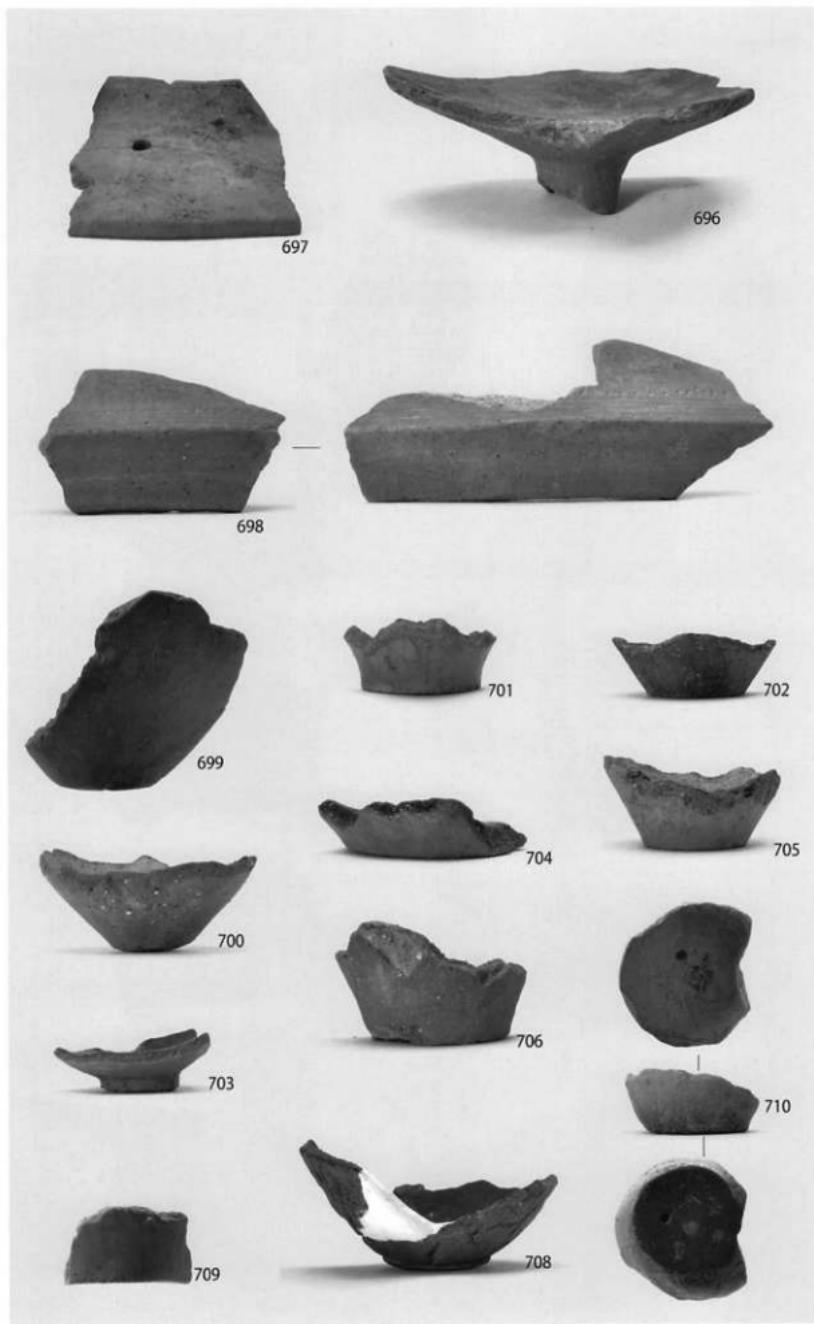
出土遺物 38



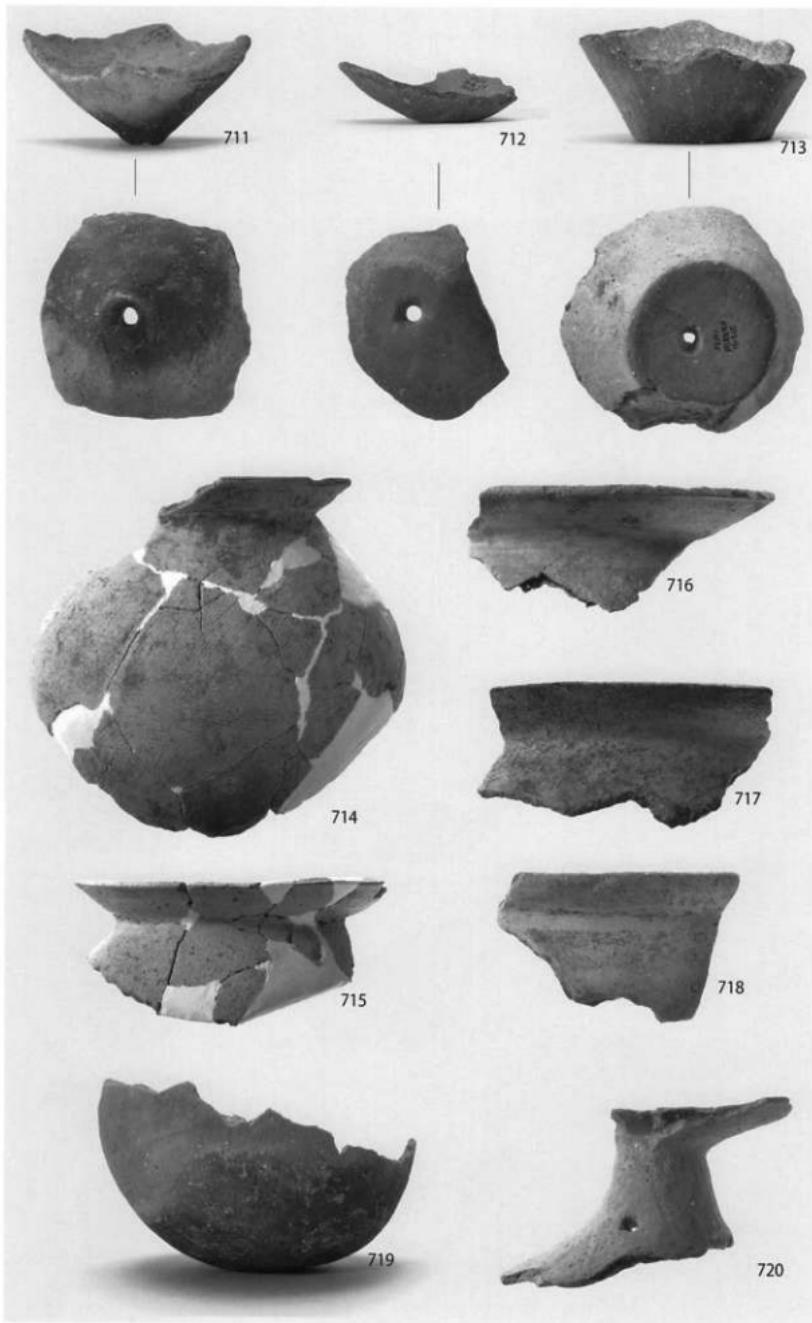
出土遺物 39

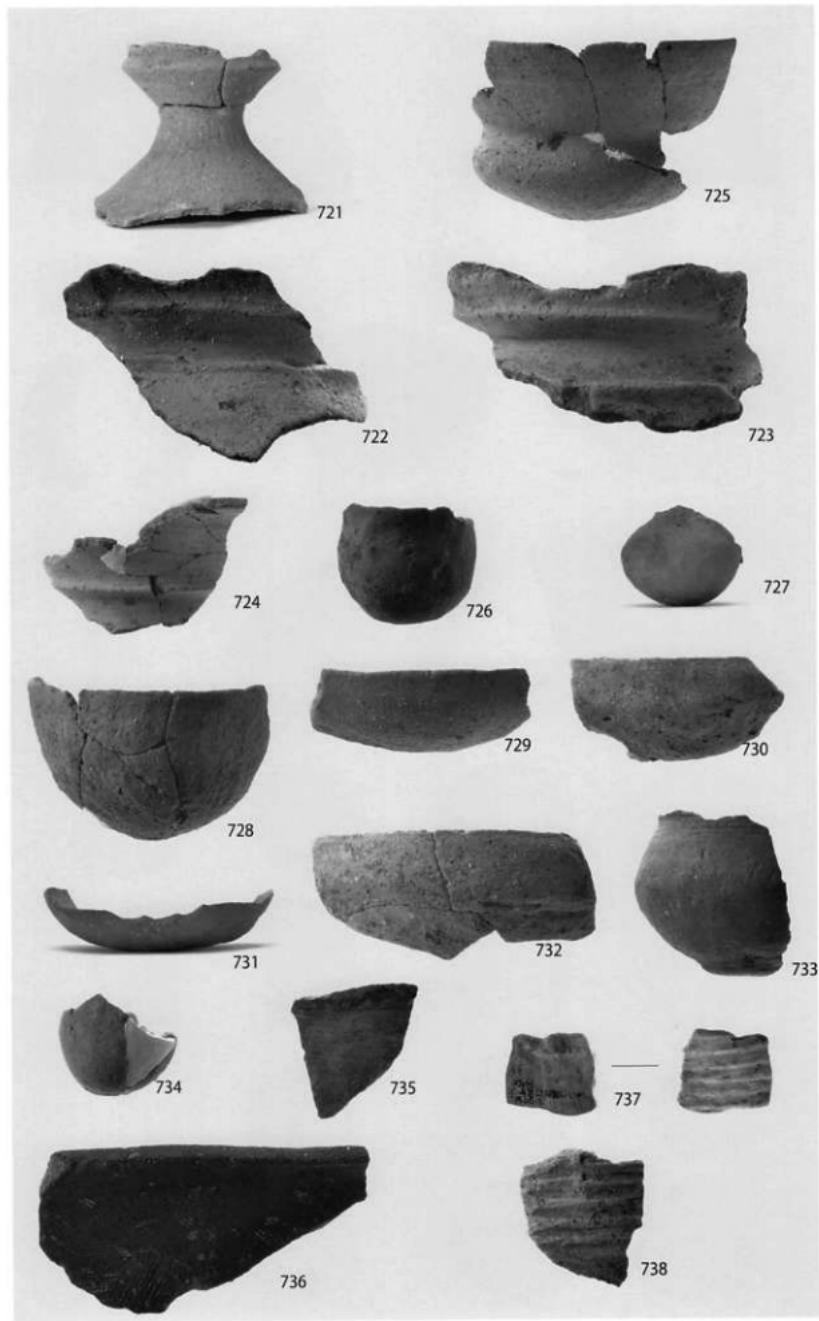


出土遺物 40

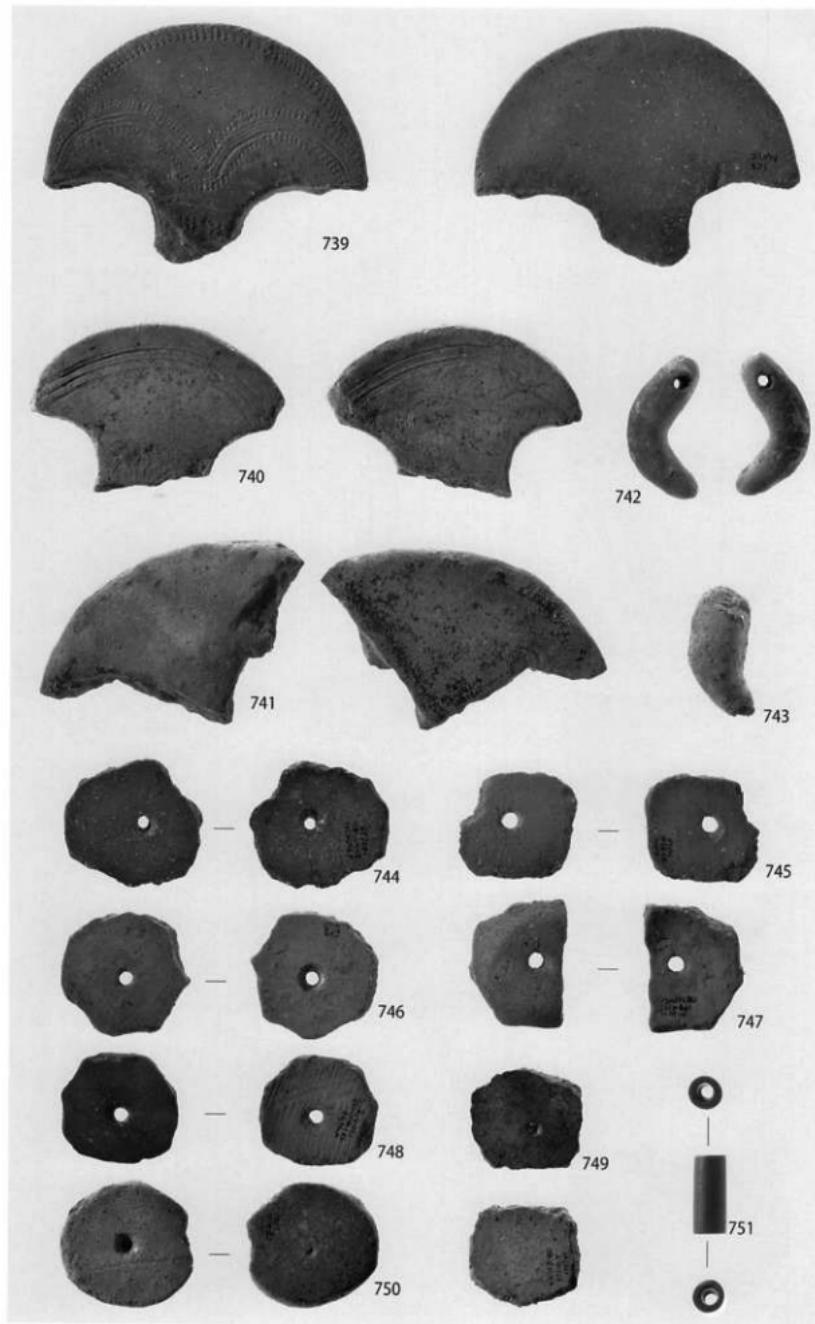


出土遺物 41

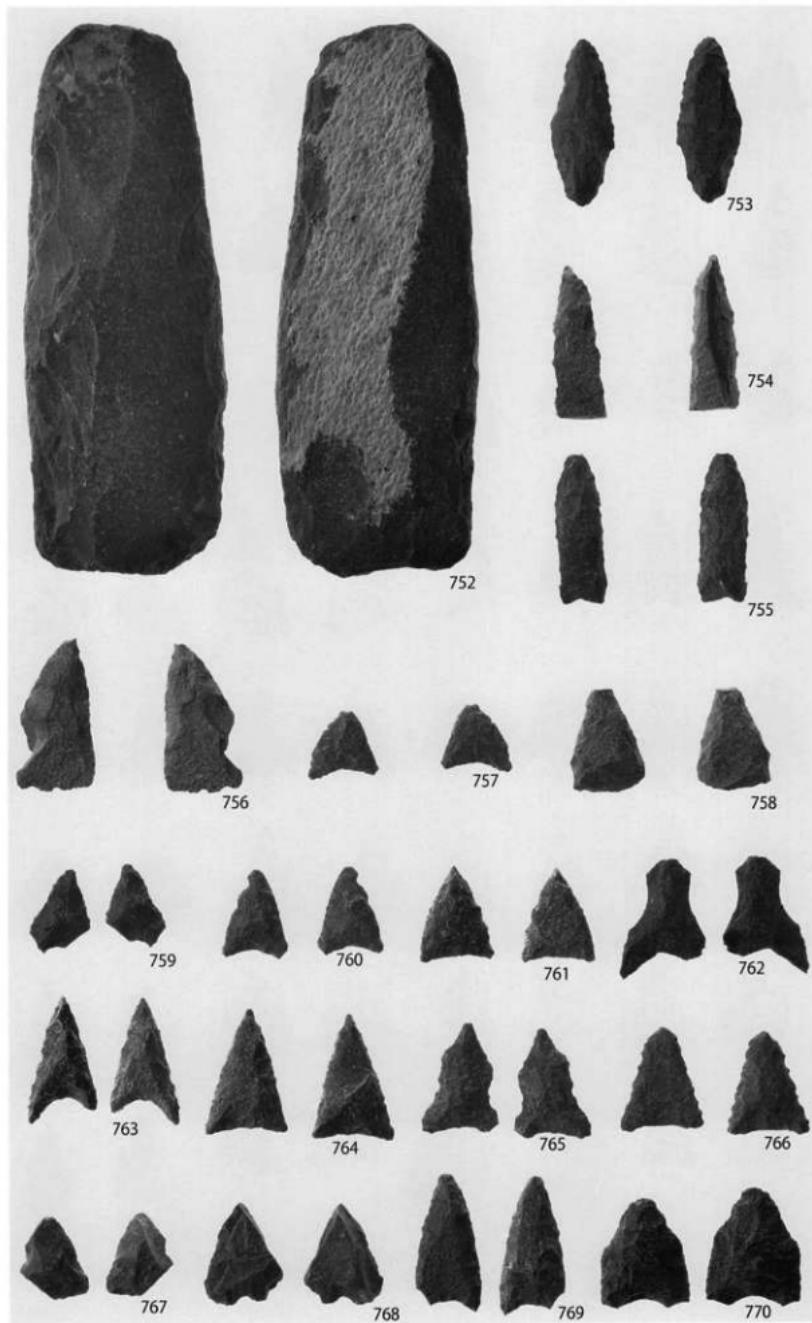




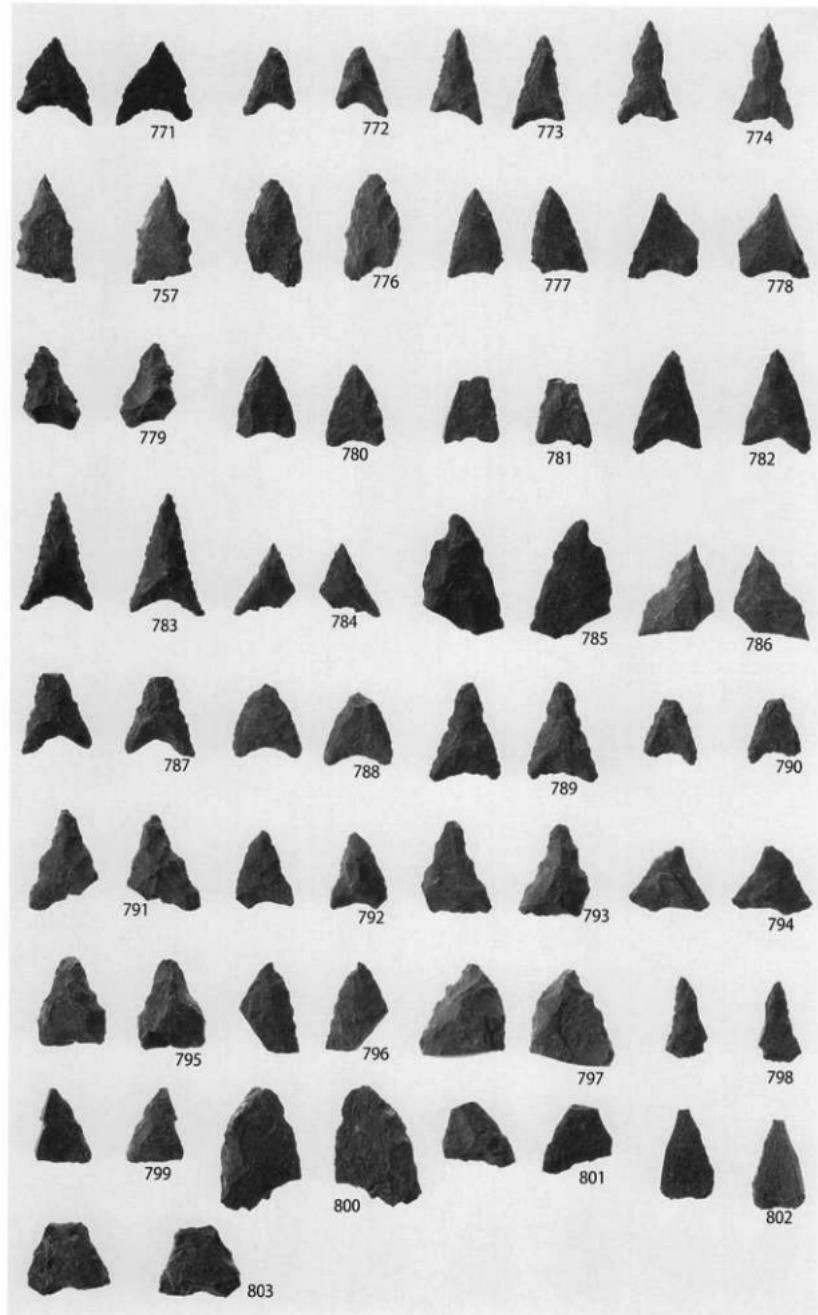
出土遺物 43

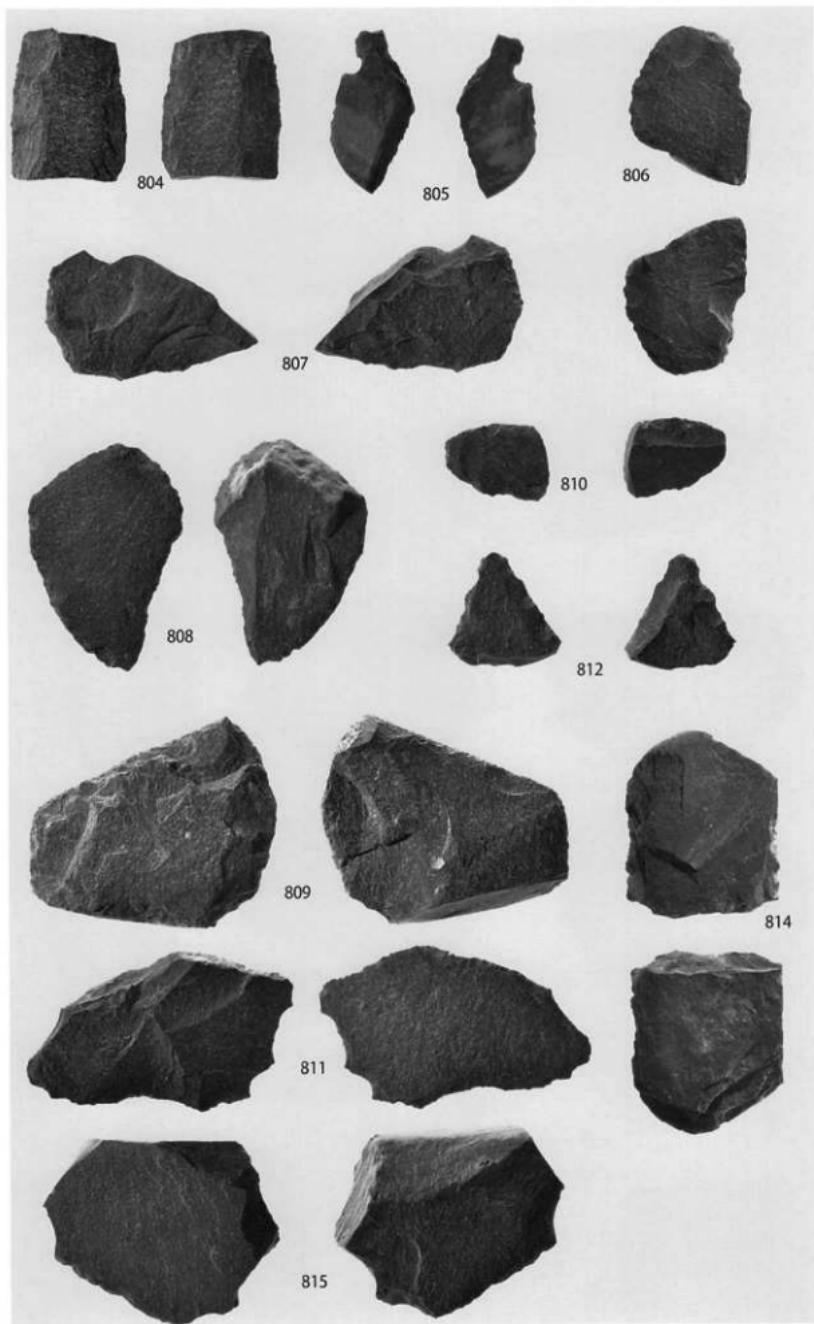


出土遺物 44

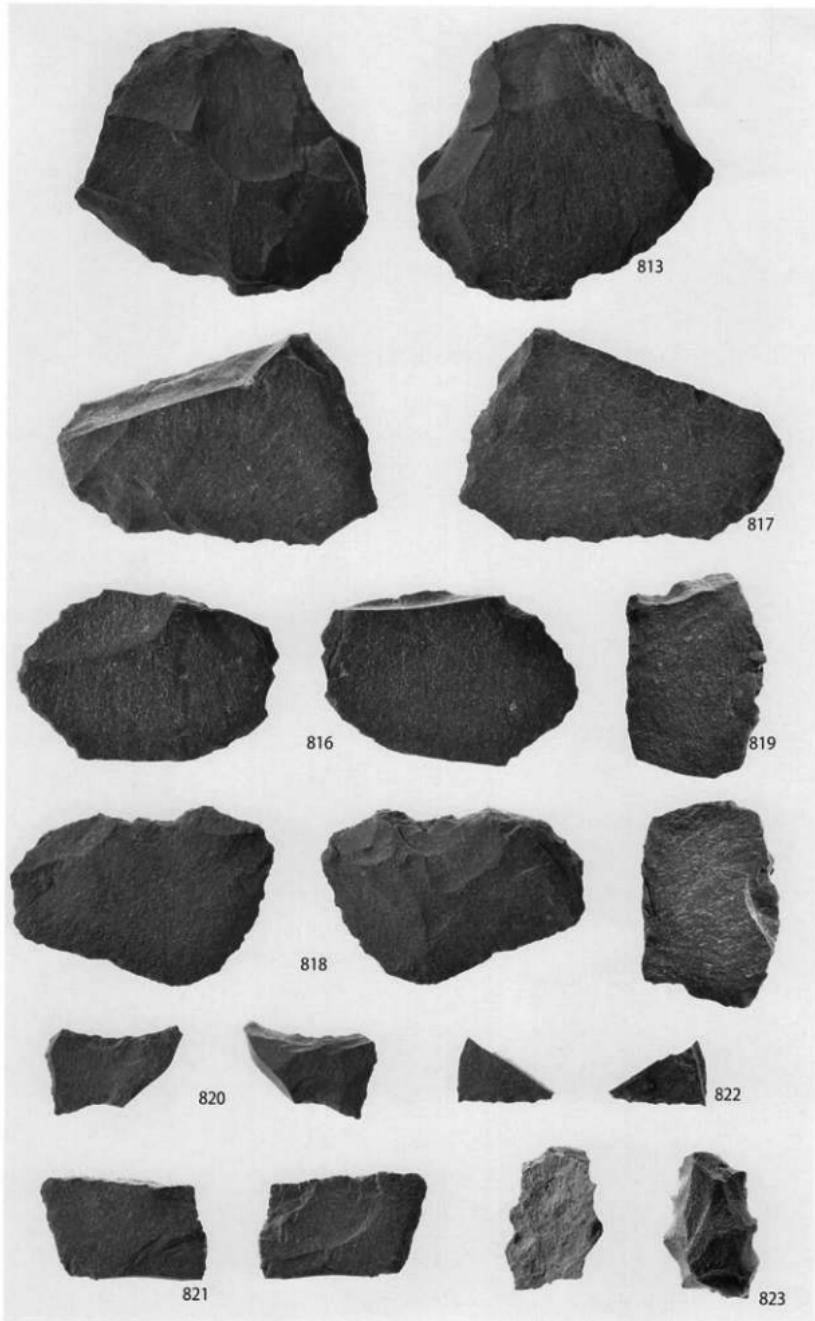


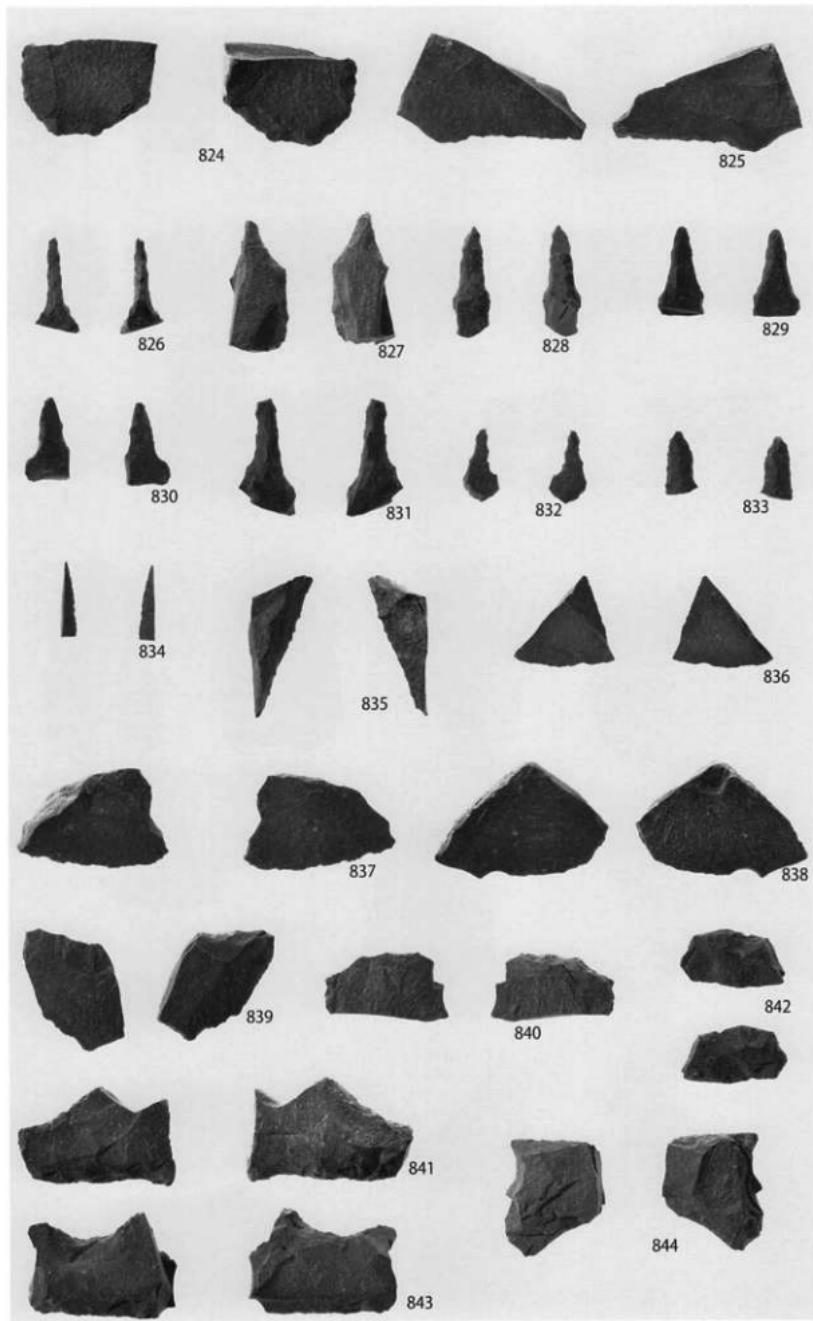
出土遺物 45

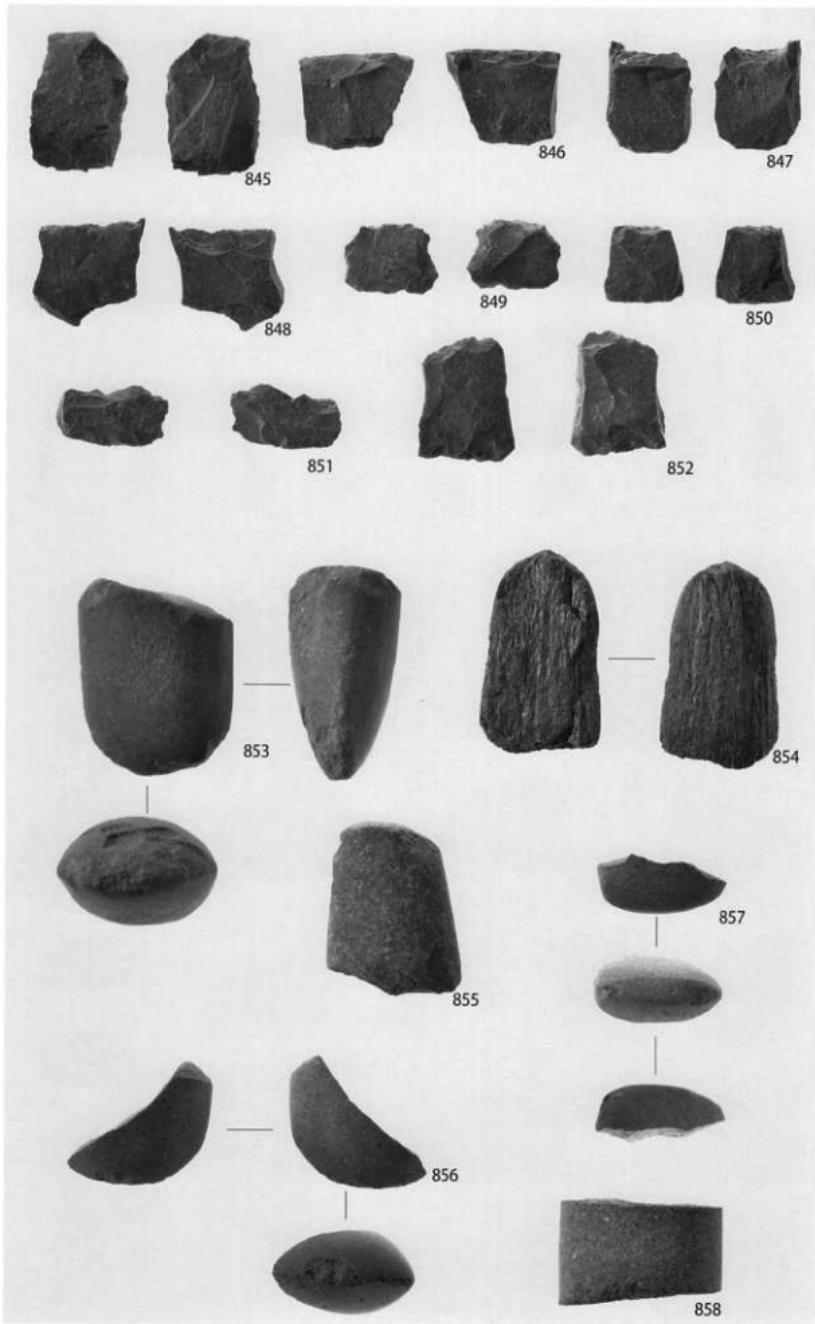




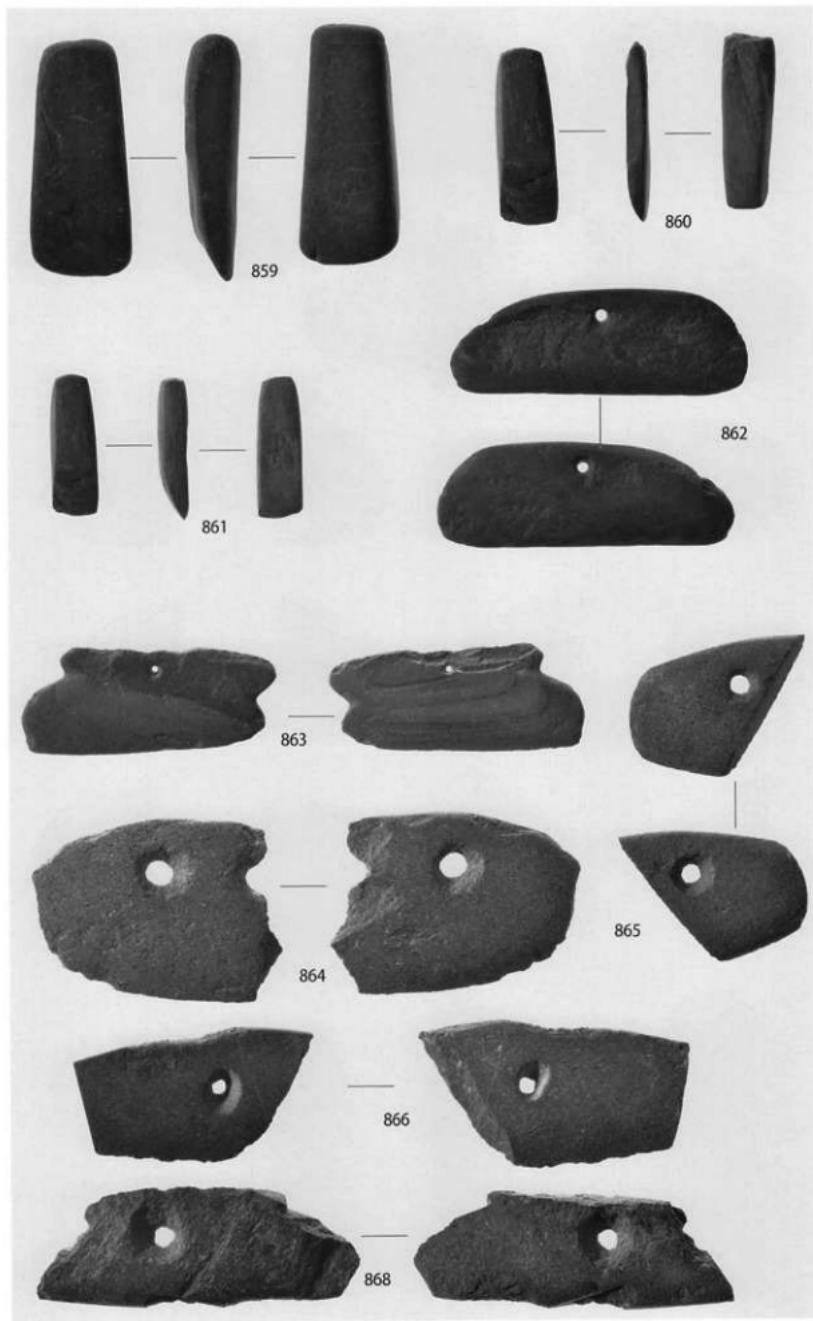
出土遺物 47



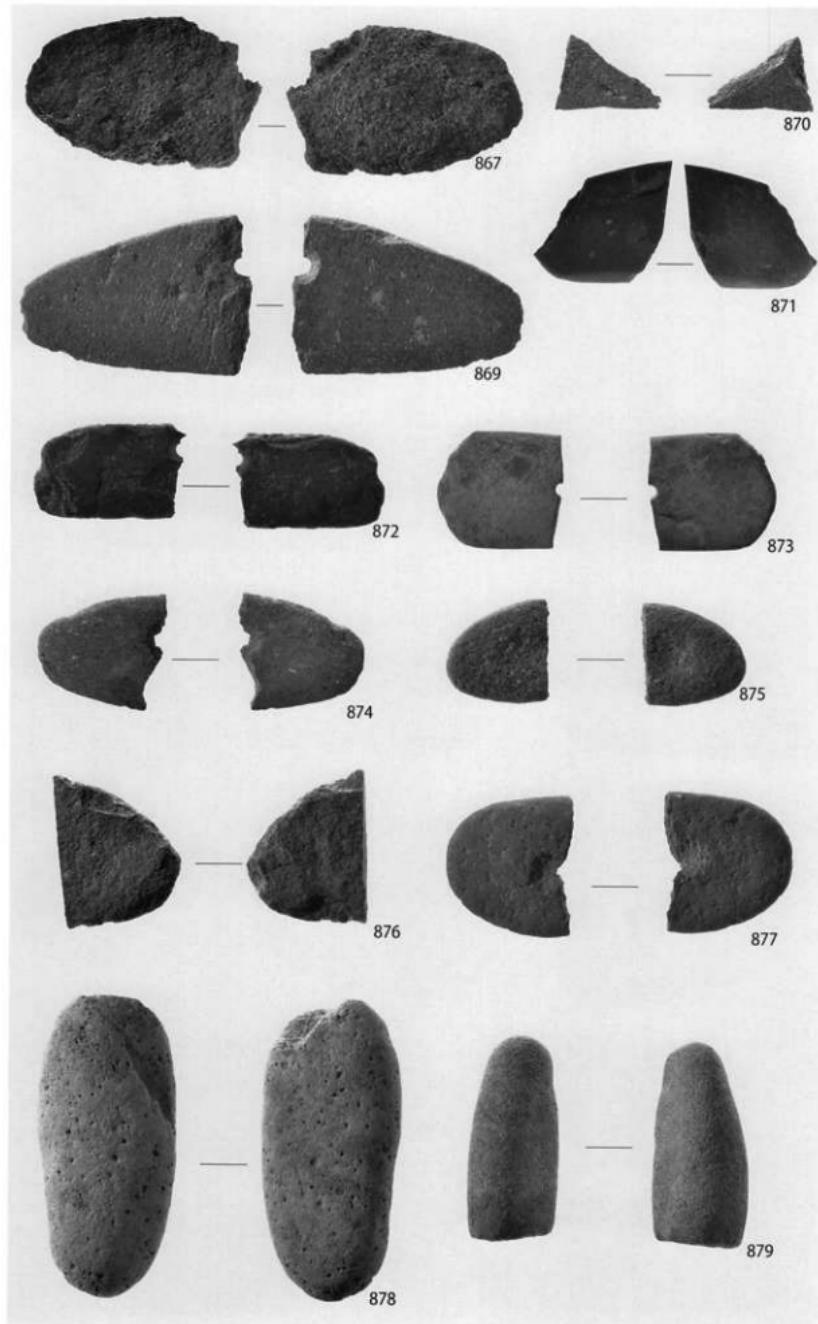




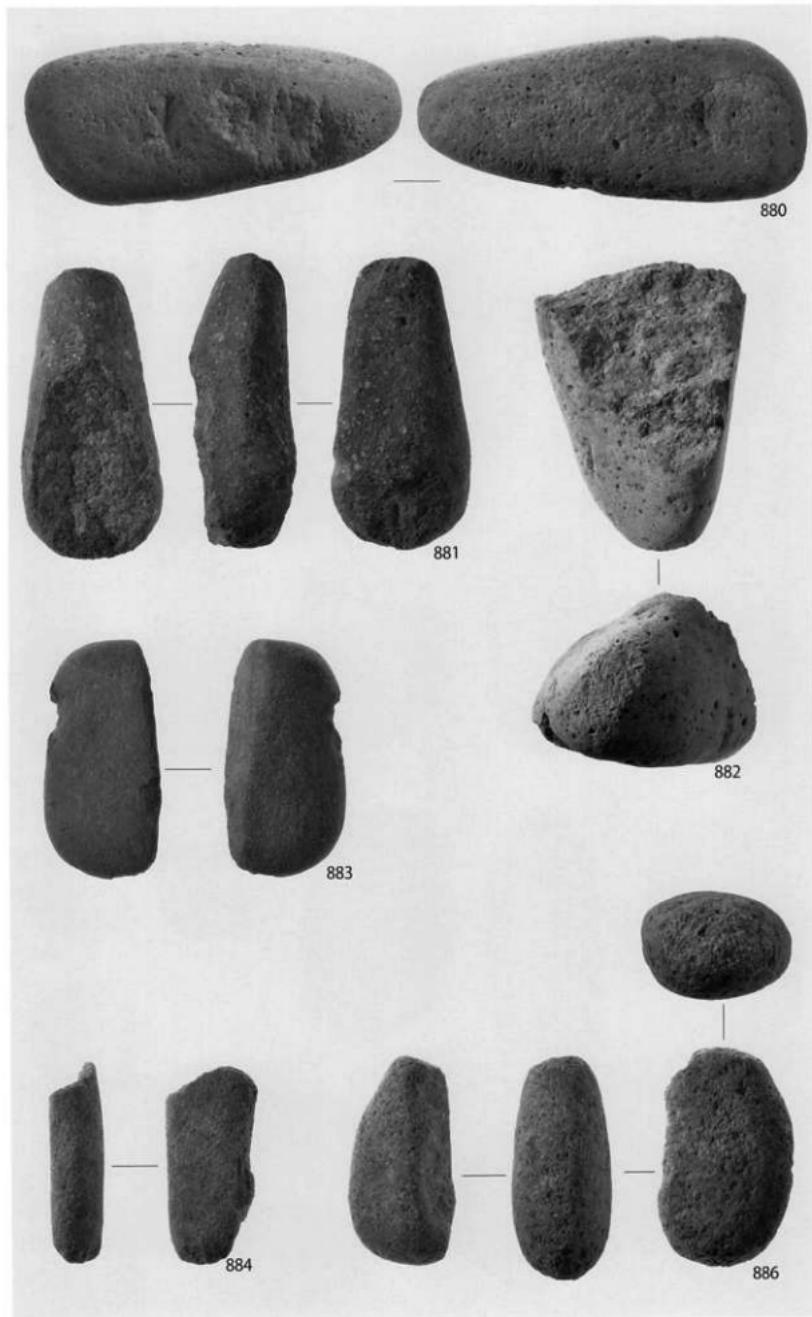
出土遺物 50



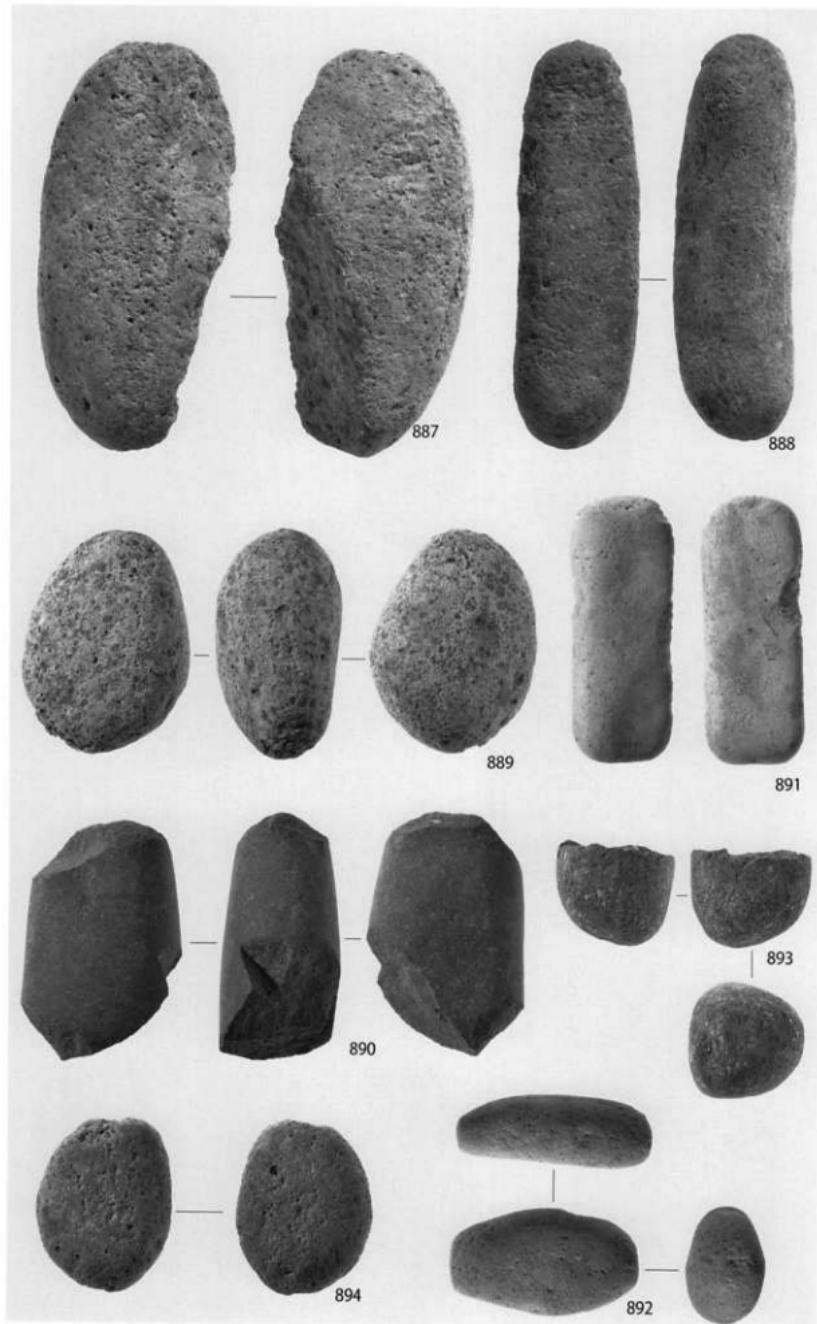
出土遺物 51



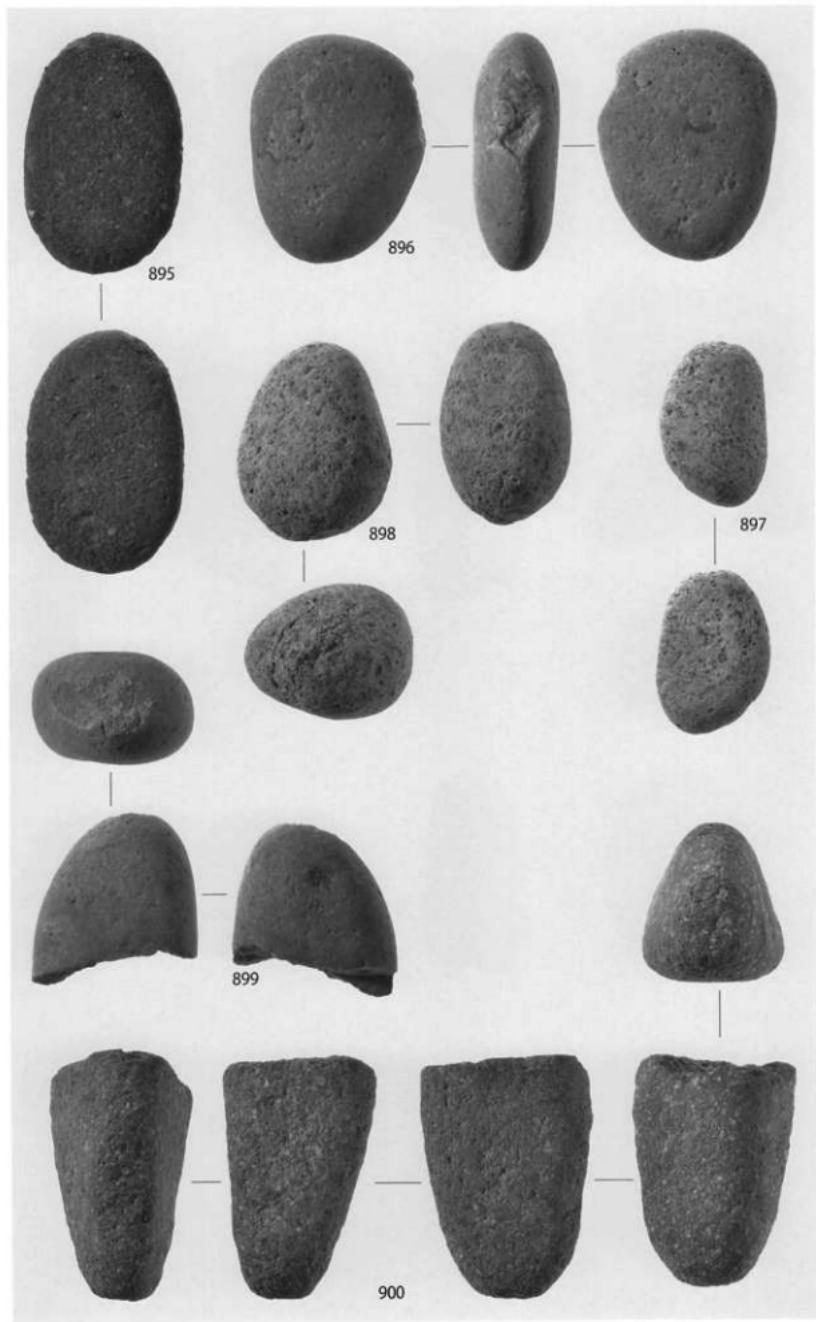
出土遺物 52



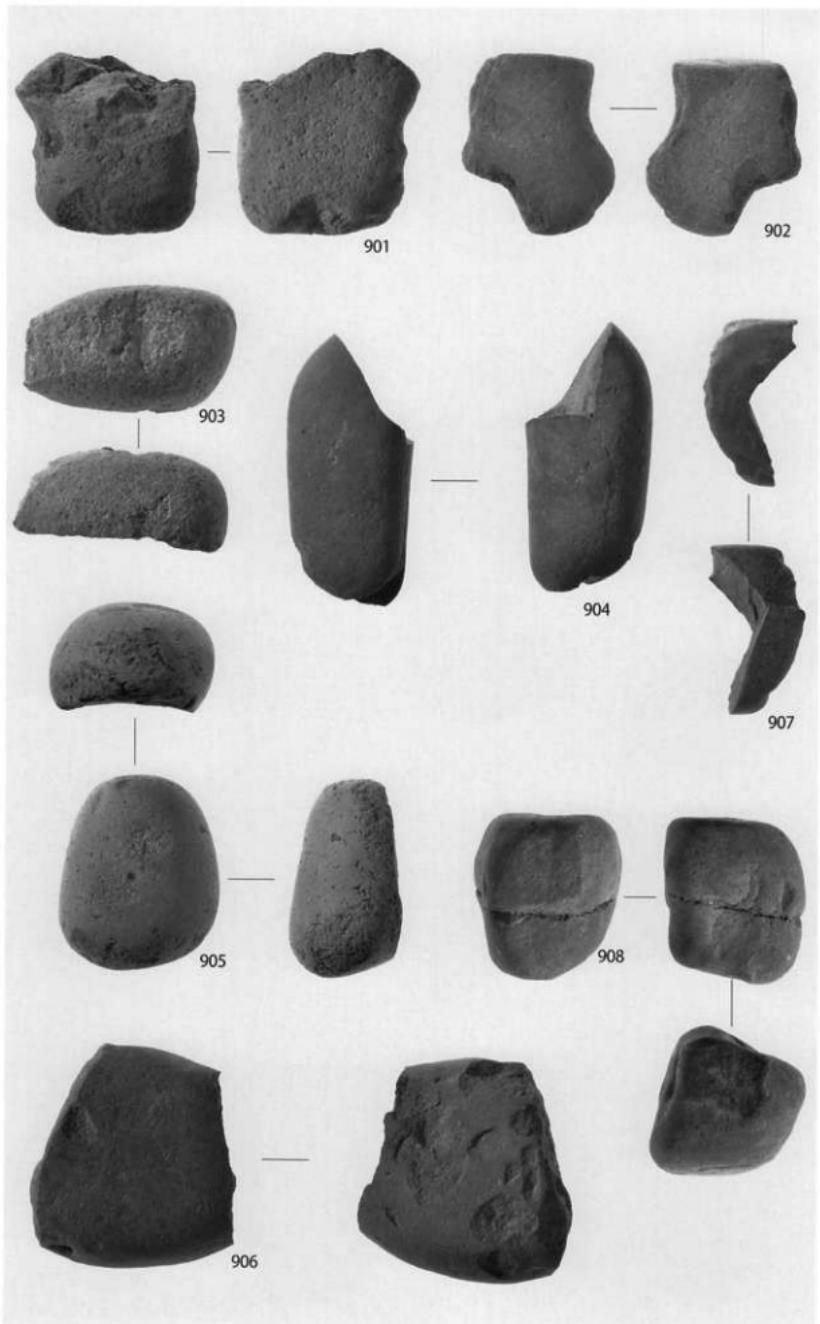
出土遺物 53

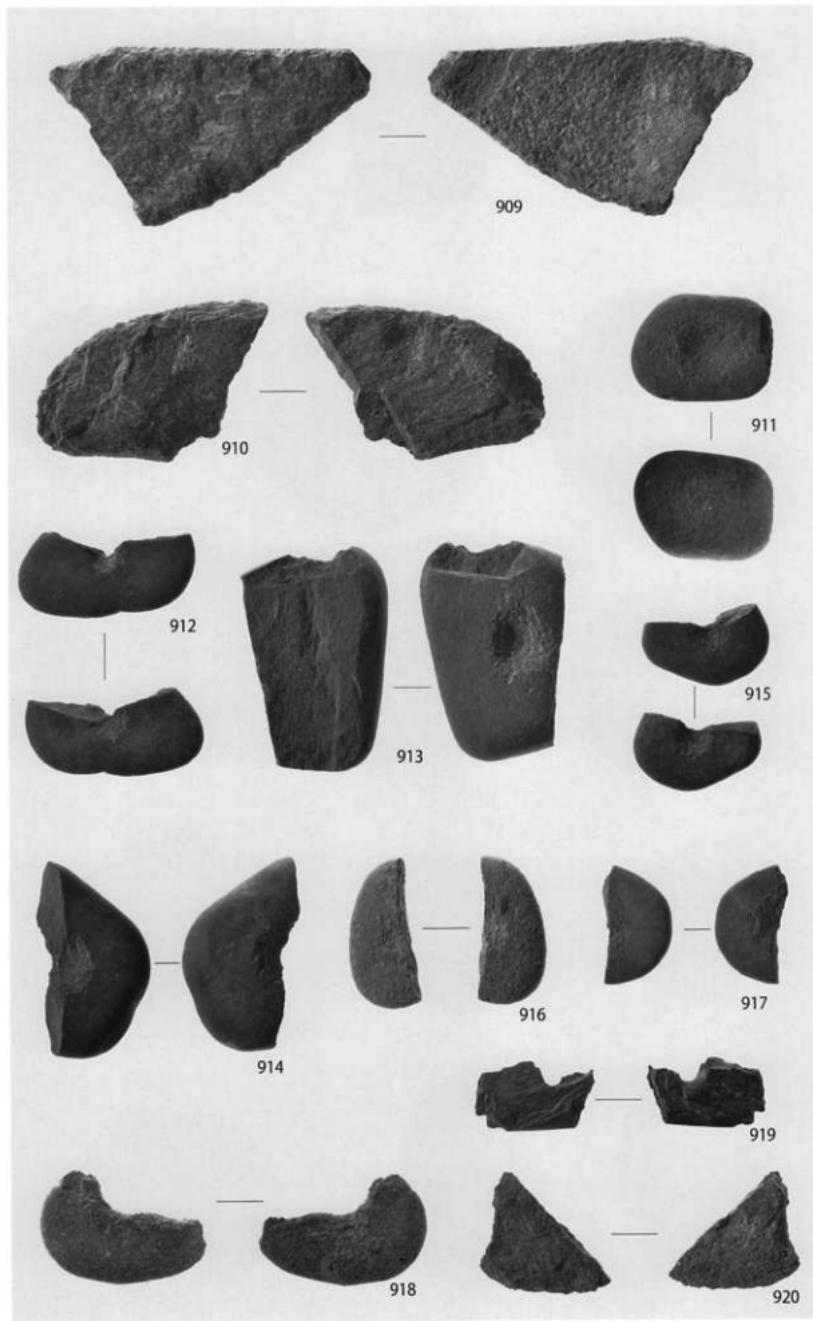


出土遺物 54

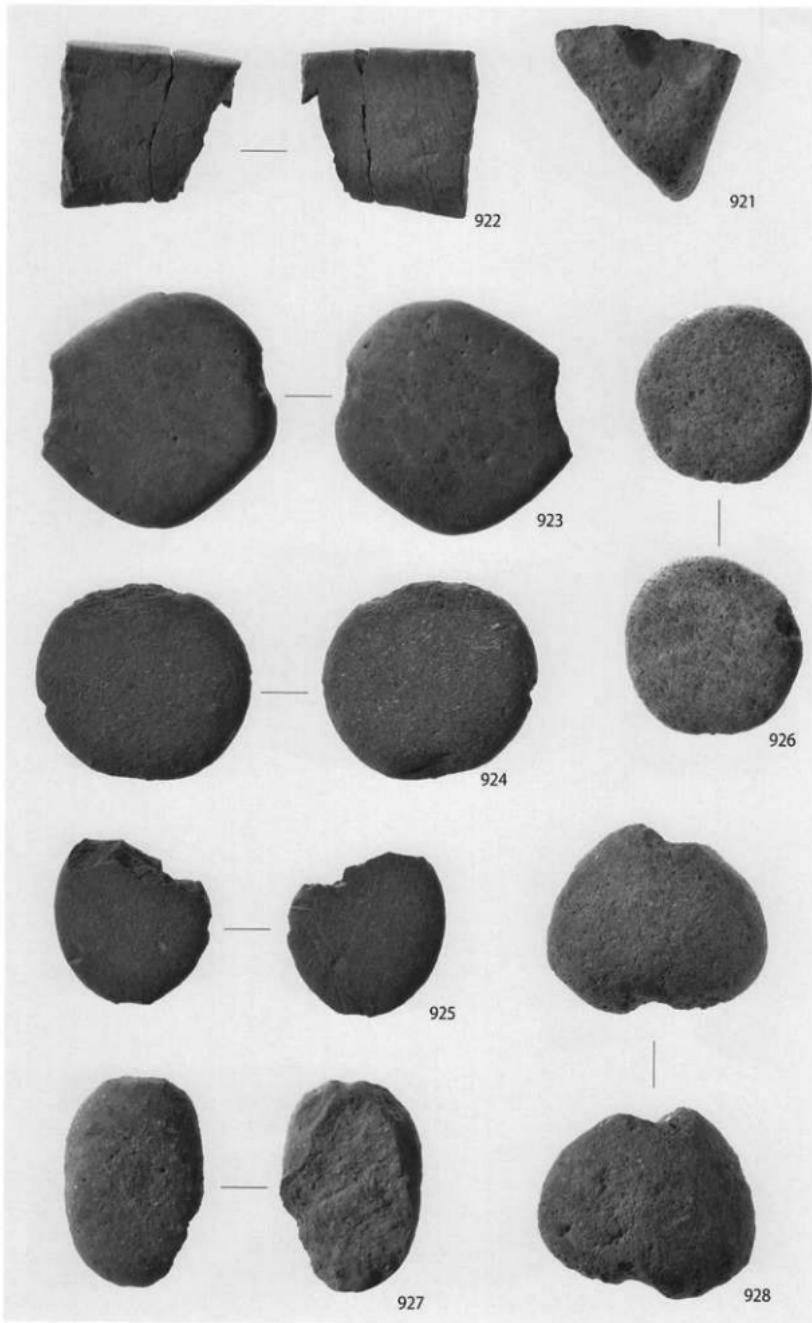


出土遺物 55





出土遺物 57



## 報告書抄録

ふりがな	こくどう 313 ごうどうろかいりょうじぎょうにともなうまいぞうぶんかざいはっくつちょうさ ほうこく（4）						
書名	国道 313 号道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告（4）						
副書名	御領跡（第 6 次調査 2013）						
巻次	4						
シリーズ名	公益財団法人広島県教育事業団発掘調査報告書						
シリーズ番号	第 75 集						
編著者名	辻 满久						
編集機関	公益財団法人広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室						
所在地	〒 733-0036 広島県広島市西区観音新町四丁目 8 番 49 号 TEL 082-295-5751						
発行年月日	2016 年 3 月 22 日						
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因
所収遺跡名	所 在 地	市町 遺跡番号				m <sup>2</sup>	
御領跡 (第 6 次調査 2013)	ひらしょくせき 広島県福山市 神辺町上御領	34207 307	34501-34° 33' 54"	133° 24' 28"	20130408 ~ 20130719	1633	記録保存調 査
所収遺跡名	種 別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
御領跡 (第 6 次調査 2013)	集落	弥生時代	溝状遺構	弥生土器 土師器			
要 御領跡 (第 6 次調 査 約 2013)	調査区中央部で東西方向に長さ 35 m、幅 2 m の溝状遺構を検出した。溝状遺構は西側でゆるくカーブしており、調査区外に延びていると思われる。また溝状遺構からは弥生土器を主とする大量的の遺物が出土した。これらの遺物から溝は弥生時代の中期から古墳時代にかけてのものと思われる。						

公益財団法人広島県教育事業団発掘調査報告書第75集

国道313号道路改良事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告（4）

御領遺跡（第6次調査2013）

発行日 平成28年3月22日

編 集 公益財団法人 広島県教育事業団埋蔵文化財調査室

〒733-0036 広島市西区観音新町四丁目8番49号

Tel (082) 295-5751 fax (082)291-3951

発 行 公益財団法人 広島県教育事業団

印 刷 株式会社 エル・コ